

令和8年度 沖縄振興特別推進市町村交付金事業計画 成果目標

令和8年4月7日

那覇市	1	嘉手納町	118
宜野湾市	25	北谷町	123
石垣市	32	北中城村	128
浦添市	38	中城村	134
名護市	47	西原町	137
糸満市	52	与那原町	142
沖縄市	57	南風原町	146
豊見城市	64	渡嘉敷村	157
うるま市	69	座間味村	160
宮古島市	76	粟国村	162
南城市	80	渡名喜村	166
国頭村	84	南大東村	167
大宜味村	87	北大東村	170
東村	90	伊平屋村	173
今帰仁村	92	伊是名村	177
本部町	96	久米島町	180
恩納村	99	八重瀬町	186
宜野座村	102	多良間村	192
金武町	106	竹富町	196
伊江村	109	与那国町	199
読谷村	114		

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	バ 細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
				1	1	観光案内所外国人対応スタッフ配置事業		
1	2	めんそーれ観光充実事業	H28 ～ R13	観光地としてふさわしい景観等を確保するため、国際通りを中心に迷惑行為の指導、是正要請等を行う。	・迷惑行為に対する是正指導及び、具体的手法の検討	「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導回数及び車両の違法駐車への指導回数 看板：月平均417回以内 車両：月平均338回以内	【今後のスケジュール】 今後も良好な観光地を保つため、巡回指導を続ける。また、関係団体との調整会議を行い、課題解決に向けて具体的手法の検討を行う。	【R8成果目標設定の考え方】 R8年度もR7年度に引き続き、具体的手法を検討するため、看板等の違法な設置と車両の違法駐車に目標値を分けて設定した。 成果目標値は、令和7年4月から10月分の平均に1割減した値とした。
1	3	那覇三大祭り関連事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、那覇市の三大祭りである「那覇ハーリー」「那覇大綱挽」「琉球王朝祭り首里」の開催支援等を行う。	・「那覇ハーリー」事業等の開催支援 ・「那覇大綱挽まつり」の綱製作など事業実施に係る支援 ・「琉球王朝祭り首里」の古式行列等を支援 ・「那覇ハーリー」及び「那覇大綱挽まつり」における会場設営・ボランティアスタッフの配置・広報 ・「那覇ハーリー」及び「那覇大綱挽まつり」における安心安全な開催に係る業務の委託 ・「那覇ハーリー」「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」における警備業務の実施 ・那覇大綱挽まつりでの旗頭行列体験参加事業費補助	・「那覇ハーリー」来場者数：169,200人 ・「那覇大綱挽」来場者数：273,000人 ・「琉球王朝祭り首里」来場者数：40,000人	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、那覇三大祭り開催の支援等を行う。 (那覇ハーリー) 令和8～9年度 会場移設に向け調整 【成果目標】 那覇三大祭りの観客平均動員（成果指標）を上回る、または維持できるような事業を実施していく。 那覇ハーリー：169,200人 那覇大綱挽まつり：273,000人 王朝祭り首里：40,000人	【成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	4	観光入込統計調査事業	H28 ～ R13	本市観光の実態を把握し、観光施策の企画・立案及び成果検証の活用、第2次那覇市観光基本計画の進捗管理の活用を図るため、本市における国内外観光客向けのアンケート調査を行う。	①統計調査 ②アンケート調査 (国内外観光客)	・国内観光客アンケート調査における回収件数1,600件以上。 ・国外観光客アンケート調査における回収件数800件以上。	【今後のスケジュール】 アンケート結果から得られるデータを基に過去の調査結果や全国・沖縄県と比較することで、今後の観光振興施策や第2次那覇市観光基本計画の推進に活用する。	【R8成果目標設定の考え方】 一般的な回収件数の基準や類似調査の実績を勘案して設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
1	5				プロ野球キャンプ等支援事業	H24 ～ R13			
1	6	那覇まちま〜い推進事業	H24 ～ R13	観光客の誘客を図るため、地元ガイドと那覇市内の観光地を巡る「那覇まちま〜い」への支援を行う。	「那覇まちま〜い」実施に要する費用の支援	・那覇まちま〜い参加者数 2,500人	【今後のスケジュール】 (一社)那覇市観光協会が十許する「那覇まちま〜い」に要する費用に対する支援を行う。	【R8 成果目標設定の考え方】 過去の実績を考慮し、設定した。	
1	7	外国人観光客受入整備事業	H26 ～ R13	外国人観光客の受入体制の整備を図るため、那覇クルーズ促進連絡協議会の活動支援を行う。	那覇クルーズ促進連絡協議会への活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・臨時観光案内所の設置 ・歓送迎演舞の実施 ・タクシー等への通訳補助 ・初寄港セレモニーの実施 	クルーズ乗船客数：607,809人	今後もクルーズ受け入れに関する体制を整備するために支援を実施する。	(R8成果目標設定の考え方) コロナ前の3年間（H29～R1）平均乗船客数607,809人で設定。 【那覇港へ寄港したクルーズ船の乗船客数】 ・H29年：547,055人 ・H30年度：651,778人 ・R1年：624,596人	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考		
事業番号	事業名			R8事業内容	R8活動目標（指標）		R8成果目標（指標）	今後の展開方針等	補足説明等
1	8	観光イベント等映像発信事業	H24 ～ R13	観光地や市街地への誘客促進を図るため、移動式車載大型ビジョンを活用して、観光客向けに那覇市の観光情報を発信する。	各イベントに移動式車載大型ビジョンを派遣して那覇市の観光情報を発信	年間稼働数：70回 (内訳) クルーズ船の那覇港寄港時の歓送迎：25回 ・那覇ハーリー：3回 ・那覇大綱挽まつり：2回 ・琉球王朝祭り首里：1回 ・首里城復興祭：1回 ・沖縄国際文化祭：1回（未定） ・那覇マラソン：3回 ・読売巨人軍那覇キャンプ：24回 ・那覇市観光基本計画の推進に資するイベント：10回	【スケジュール】 今後も観光誘客を図るため、各イベント会場での情報発信を実施する。	【R8 成果目標設定の考え方】 過去の実績と予算額を勘案して設定した。	
1	9	沖縄国際文化祭関連事業	R8 ～ R10	観光振興を図るため、沖縄国際文化祭の開催に係る運営費の一部を実行委員会に補助する。	沖縄国際文化祭関連イベント（レッドカーペット）の実施に対する支援。	沖縄国際文化祭の県外観光客数：14,500人	【今後のスケジュール】 沖縄国際文化祭を4月の観光メニューとして定着させ、一層の観光振興を図る。	【成果目標の設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	10	国際通りトランジットマイル推進事業	H24 ～ R13	観光客・地元客の誘客を図るため、那覇市国際通り商店街振興組合が実施するトランジットモールの取り組みを支援する。	那覇市国際通り商店街振興組合連合会のトランジットモール実施を支援 実施回数:34回 ※新型コロナの影響を受けていない過去5年間(R2.R3を除く)の平均値で設定。 【実績】 H30:35回 R1:33回 (R2:16回) (R3:8回) R4:34回 R5:35回 R6:32回 (R7:37回予定)	歩行者通行量(1日) 28,500人	【今後のスケジュール】 引き続き、トランジットモールの実施を支援するとともに、国際通りトランジットモールビジョンに基づき、通りの魅力を強化し、誘客につなげる。	【R8成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	11	一万人のエイサー踊り隊推進事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、観光資源である「一万人のエイサー踊り隊」の開催支援等を行う。	夏祭りin那覇実行委員会が実施する「一万人のエイサー踊り隊」を支援する。開催予定月：10月	来場者数：22,900人	【今後のスケジュール】 引き続き来街者の増加を図ることを目的に一万人のエイサー踊り隊の支援を行う。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
1	12	日米対抗ソフトボール支援事業	R8 ～ R8	那覇市をメイン会場として開催される国内唯一の女子トップチームによる国際大会「日米対抗ソフトボール」を通じた地域活性化、本市の観光PRを図るため、広報活動や大会開催の機運醸成を行う。	・大会開催に向けた機運醸成（シテイドレッシング）	・県内外からの来場者数：約7,000人（2日間）	今後、各種スポーツイベントや世界大会等を誘致について、県などと連携し、本市として観光誘客を図る取組を行う。 将来を担う子ども達も大会を見学したり、国際交流やスポーツ交流などを通じて、様々な分野で世界へはばたく機会の創出に繋げる。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の大会実績を参考に設定した。
1	13	首里城正殿復元の機運醸成及び首里周遊促進事業	R8 ～ R8	首里城正殿の復元に向けて、首里城公園へ集中する観光客の周遊観光促進及び観光の経済効果の波及を図るため、観光カードの制作や、シテイドレッシングなどの機運醸成事業を行う。	R8年度の首里城正殿復元に向けてシテイドレッシングなどの機運醸成や観光カード設置により首里城周辺の周遊促進を行う。	<観光カード設置予定> ・玉陵：入園者 71,000人 ・suikara：入場者 13,000人	【今後のスケジュール】 設置個所及び配布枚数を増やしていく。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	14	マチグー総合案内所事業	H26 ～ R13	観光客の利便性の確保を図るため、中心商店街（マチグー）に、案内所を設置する。 中心商店街（マチグー）への周遊促進を目的に、デジタルスタンプラリーのイベントを年2回開催する。	①案内所の運営 案内スタッフ：常時1名以上 配置 （開所時間9時～20時 年中無休 ※元日を除く） ②中心商店街（マチグー）情報の発信（HP、SNS、情報紙制作等） ③マチグー周遊促進スタンプラリー事務局の運営（首里城復興祭、ジャイアンツキャンプ時期）	①案内所利用者数：24,700人 ②利用者満足度：80%以上	【今後のスケジュール】 堅調な国内外旅行者の増加に伴い、今後も来街者の増加による案内所の利用増が見込まれる。スタッフの体制強化を図り、引き続き案内所を運営する。	【R8成果目標設定の考え方】 ①案内所のR7年9月末時点の実績平均と那覇市中心市街地歩行者通行量の伸び率を勘案し設定した。 ②現状維持
1	15	市内マリンレジャー実態調査事業	R8 ～ R8	市内のマリンレジャーPRや振興のため、市内マリンレジャー事業者や関係団体に対し、現状や実態、課題等の把握に向けた調査を行う。	・市内マリンレジャー事業者に対して、提供しているメニューや料金等、基礎的情報について、郵送又はWeb調査を行う。 ・市内マリンレジャー事業者や関係団体へ、マリンレジャーを提供する際の課題等についてヒアリング調査を行う。	・左記の調査を行い、調査結果を本市や観光協会等のHPにて公表を行う。	【R8年度】 事業者に対する郵送又はWeb調査及び関係団体等へのヒアリング調査を行い、HPにて公表 【R9年度以降】 R8年度の調査で得られた結果に基づき、パンフレット作成等をはじめとするPRを実施。	R8年度において調査、HPへの公表、R9年度以降は調査結果に基づいたPRの実施を目指す。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考		
事業番号	事業内容			R8事業内容	R8活動目標（指標）		R8成果目標（指標）	今後の展開方針等	補足説明等
1	17	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」支援事業	H25 ～ R13	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」支援事業	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」の開催に係る費用の一部を首里城祭実行委員会に補助する。 日時：令和8年11月1日（日）予定 場所：那覇市国際通り 補助上限額：5,000千円 補助先：首里城祭実行委員会	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」来場者数：33,400人	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、「琉球王朝絵巻行列」の開催支援等を行う。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	19	リュウキュウマツ害虫対策事業	H24 ～ R13	県木であり観光資源であるリュウキュウマツの松枯れ予防対策として薬剤注入等を行い、景観の保護を図る。	リュウキュウマツへの薬剤注入の実施	R8年度、リュウキュウマツ264本へ薬剤注入	【今後のスケジュール】 薬剤注入完了から2年後の松枯れ予防達成率を90%以上とする。	【R10成果目標設定の考え方】 枯損木の目標は過去の事業実績を基に、90%以上の予防達成率とした。	
1	20	花いっぱい運動推進事業	H24 ～ R13	観光都市として魅力的な景観を創出するため、観光ルート沿線を対象に草花苗の配布や公園花壇への花卉植栽を行うとともに、亜熱帯特有の樹木を活かした都市公園の環境整備や情報発信の向上を図る。	・観光ルート沿線を対象に市民・学校等に草花を配布 ・公共花壇及び公園花壇を対象に花卉植栽を実施 ・亜熱帯樹木活用及びエントランス魅力向上のための業務を実施	観光客へアンケート調査を行い ・花卉植栽について、観光振興に寄与するか(80%)以上 ・亜熱帯樹木活用及びエントランス魅力向上について、観光振興に寄与するか(80%)以上			
1	21	歴史散歩道整備事業	H24 ～ R13	観光客が那覇の歴史を感じて歩けるようになるため、歴史散歩道を整備する。	歴史散歩道の整備 ・道路整備工事 (整備路線：松城中学校東側線) ・基本計画策定業務 (首里杜地区)	本事業により、整備を行った歴史散歩道について、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じることができる道路整備となっているか（80%以上）を検証する。	【今後のスケジュール】 R8年度検討中 ・整備工事(松城中学校東側線) ・基本計画策定業務(首里杜地区) R9年度検討中 ・基本設計業務(首里杜地区) R10年度以降検討中 ・整備工事(大名沢岬線、大名1号、平良1号) ・実施設計(首里杜地区)	【R8成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、観光客へのアンケート調査等を実施し、「歴史を感じることができる道路整備となっている」と回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	22	亜熱帯庭園都市の道路美化事業	H24 ～ R13	幹線市道や観光地周辺市道の美化（剪定・除草・植栽整備等）を推進し、観光地としてふさわしい道路環境及び景観を創出する。	・観光に資する路線の街路樹剪定（約2,100本） ・観光に資する路線の除草（約1,500㎡） ・久米若狭線及び寒川4号の植栽整備（低木：約500本、高木：7本）	本事業（剪定・除草・植栽整備等）による道路美化の対象路線について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか（80%以上）を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に年間25路線ずつの道路美化（剪定・除草・植栽整備等）を行い、観光に資する55路線について観光地としてふさわしい道路環境及び景観を創出する。	【R8成果目標設定の考え方】 観光地としてふさわしい良好な道路環境及び景観の創出をはかるため、当該路線について観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じている人の割合を指標に設定した。 大多数の観光客がふさわしいと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
1	23	都市景観資源形成促進事業	R5 ～ R13	那覇らしい個性豊かな景観まちづくりを推進するために景観資源の維持保全費用の補助及び銘板設置を行う。	・都市景観資源の維持管理等に対する補助 ・銘板設置業務の実施	都市景観資源指定件数の維持及び向上：71件以上	【今後のスケジュール】 都市景観資源指定件数の維持及び向上：87件以上を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 那覇らしい個性豊かな景観まちづくりを推進するために景観資源の維持保全費用の補助及び銘板設置を行い、都市景観資源の指定件数の維持及び向上を指標に設定した。
1	27	NAHAマラソン大会推進事業	R5 ～ R10	安全・安心かつ円滑な大会運営を図ると共に、会場などの環境整備を図り、NAHAMマラソン大会を継続して実施できるよう開催支援等を行う。	警備費用、交通規制情報の発信にかかる費用を補助する。	参加申込者数：26,000人	【今後のスケジュール】 今後も円滑な大会運営と会場等の環境整備を図るため、「NAHAMマラソン大会」の開催支援を行う。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	1	市魚マグロ等水産物流通支援事業	H24 ～ R13	「那覇市の魚(市魚) マグロ」の消費促進を図るため、漁業組合等のイベントへ助成を行うとともに、民間企業及び組合等への業務委託をし、PR活動を実施する。	・情報発信業務：3回 ・イベント等開催支援：2回 ・水産教室等開催：4回	・市内世帯のマグロの年間購入数量の向上：前年比20.71%増 ・学生等若者向けの水産教室等マグロPR事業の参加者：137人以上 ・マグロが市魚であることを知っている人の割合：80%以上	【今後のスケジュール】 今後は漁業組合等への助成及び民間事業者等への業務委託を行うことでマグロの消費促進を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。 ・イベント実施により、マグロのさらなる消費促進等を図る。 ・アンケート調査を実施し、大多数が「マグロが市魚であること」の認知度向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	2	漁船近代化機械設置推進事業	H24 ～ R13	漁業者数の維持を図るため、漁船の近代化機械等の整備を支援する。	漁船近代化機器等の設置経費への支援実施：10件	漁業者数 199名	【今後のスケジュール】 今後も継続的に漁船の近代化機械等の整備を支援することで、漁業者数の維持を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
2	3	泡盛需要拡大支援事業	R8 ～ R8	県内外・インバウンドに対して「泡盛」に接する機会を提供、泡盛の歴史・文化を含めた認知度向上を図り、泡盛ファンを増やし需要拡大を目指すため、那覇七蔵会が実施するイベントに対する費用の一部補助を行う。	泡盛の歴史・文化を含めた認知度向上を図り、泡盛ファンを増やし需要拡大を目指すことを目的とした、那覇七蔵会が実施するイベントに対する費用の一部補助を行う。	イベント参加者へのアンケート調査を実施し、「泡盛に対して新たに興味を持った」旨の回答した割合70%以上		【R8成果目標の考え方】 事業の成果目標として、イベント参加者へのアンケート調査を実施し、「泡盛に対して新たに興味を持った」旨を回答した割合を70%以上とした。70%以上の設定については、対象者のうち、泡盛に関心なかった層が概ね肯定的であるという数値として設定した。
2	4	泊漁港等整備基本計画策定事業	R7 ～ R8	本市の水産業の中心地である泊漁港において、施設利用等の実態調査及び水産関係団体等のヒアリングを踏まえ策定した泊漁港将来像構想をもとに、具体的な漁港等の整備基本計画を策定し、本市水産業の振興・発展に繋げることを目的とする。	泊漁港等整備基本計画策定に必要な各種調査・検討・分析の実施。	泊漁港等整備基本計画の策定。	【R8以降の成果目標】 策定した整備基本計画にて生産者及び流通事業者等の目標値を設定し、これらを達成するための支援策を実施する。	本事業において策定する整備基本計画において目標値を設定するため、現時点で定量的な目標値を設定することは困難であり、将来像構想に基づいた目標値を基に水産業振興施策を実施する。
2	5	那覇市園芸施設機能強化事業	R7 ～ R13	本市における農業の振興及び育成を図るため、経年劣化や台風等の自然災害を受けた園芸施設を補強などで機能強化を図った経費に対し補助を行う。	補強・改修が必要な園芸施設数を確認し、補助を行う。 事業費：5,000千円（うち国費：4,000千円） ・1戸あたり1,000千円を上限で補助をおこなう。 ・補助率は80%とする。	・補助の実施 5戸	農産物の10a 当たり生産量の維持	沖縄県の補助事業である沖縄型耐候性園芸施設整備事業の成果目標と同じ内容で設定した。県の事業の採択基準では対象地域、栽培品目の指定があるが、本市の事業は、対象地域、栽培品目の指定をおこなわずに支援をおこなう。
2	6	那覇の海人キャリアモデルPR事業	R6 ～ R13	令和6年度に作成した、漁業者のキャリアモデルの詳細等を取りまとめた冊子を増刷し、学校教育や就業フェア等で活用することにより、後継者不足を解消し漁業者数の確保を図る。	・市内3漁協、市内小学校（36校）、中学校（18校）、高校（12校）へ冊子を配布。 ・アンケートの実施	市内3漁協および市内全小中学校へアンケートを実施し、「就業フェア又は授業等で活用した」の割合50%以上	【今後のスケジュール】 市内漁協が就業フェア等で冊子を活用して新規漁業者を確保する。また、市内小中学校の授業で冊子と動画を活用してもらう。 ※毎年3人以上の就業者の確保を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 市内3漁協及び市内の中学校、高校で活用してもらうことを想定し設定。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
3	1	中小企業者販路拡大支援事業	H24 ～ R13	市内中小企業者が開発もしくは代理店等として取り扱いをしている商品やサービスの販路拡大を目的として、商談会等へ出展する際の経費の一部を補助する。また、海外販路開拓に向けてセミナーや個別支援等実践的な支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ■販路拡大支援：8件（海外商談会1件、県内外商談会5件、オンライン商談会2件） ■セミナー開催：2回程度(20名以上参加) ■個別相談支援：9回 	<ul style="list-style-type: none"> ■商談成約率（商談成約件数/商談件数）が10%以上 ■物産展での売上目標を達成した事業者が3分の2以上 ■セミナー等参加者へのアンケート調査を実施し、「販路拡大に役立った」旨の回答割合を80%以上 ■個別相談支援事業者のうち、実際に販路拡大に取り組んだ割合30%以上 	【今後のスケジュール】 今後も販路拡大に取り組む中小企業者へ支援を実施する。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	2	なはし創業サポートセンター運営事業	H24 ～ R13	新たなビジネスを創出することで、那覇市が抱える課題の解決に寄与することを目的とする。経営ノウハウの提供や資金調達のサポートに加え、地域資源を活用したビジネスモデルの構築支援や補助金活用による創業時のリスク軽減を図ることにより、挑戦しやすい環境を整備し、地域の活性化や雇用の確保に繋げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口利用者：760人 ・セミナー開催：毎月1回以上 	・創業者12人以上	【今後のスケジュール】 就職機能を廃止し創業に特化することで、より効果的かつ丁寧な伴走支援が実施できるよう体制づくりを図る。	【R8成果目標設定の考え方】 過去5年間の実績を参考に、設定した。
3	3	頑張るマチグー支援事業	H25 ～ R13	観光客及び地元客の誘客を図るため、商店街等が行う事業を支援する。	<p>【補助】 商店街振興組合等が取り組み、中心商店街の活性化に向けた事業への支援（12件程度）</p> <p>【通行量調査】 市内40地点において歩行者通行量調査の実施</p>	中心商店街の平日歩行者通行量 101,600人	【今後のスケジュール】 引き続き中心商店街で実施するハード整備、誘客活動等の事業支援を行う。	【R8成果目標設定の考え方】 R6年度の実績を勘案して設定した。
3	4	企業誘致活動サポート事業	H24 ～ R13	本市への県外企業の誘致を推進するため、企業誘致活動を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ①企業発掘：本市へ立地可能性の高い企業を10社程度発掘 ③市内投資環境視察や勉強会及びビジネスマッチング：1回 	<ul style="list-style-type: none"> ①誘致企業：1社 ②ビジネスマッチング参加企業：10社 	【今後のスケジュール】 今後も継続的に本市への県外企業の誘致を推進するため、企業誘致活動を実施し、雇用の創出及び経済振興を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	R8事業内容				R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
3	5	市内企業経営基盤強化事業	H27 ～ R13	市内中小企業の経営基盤の強化を図るため、企業の実情に合った制度導入のための専門家派遣を行う。	専門家派遣を20社(計160回実施)	専門家派遣による支援を受けた事業者に対するアンケート調査等を実施し、「経営基盤の強化に役立った」旨の回答割合80%以上	【今後のスケジュール】 今後も企業の実情にあった経営課題解決のための専門家派遣を実施していく。	【R7成果目標設定の考え方】 アンケートにおける「経営基盤の強化に役立った」旨の回答は、経営者の意識改革や今後の具体的な取組実践に繋がる可能性が高いと考える。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。	
3	6	なは産業支援センター育成支援事業	H28 ～ R13	情報通信産業をはじめ、国際物流産業、観光関連産業等（沖縄振興特別措置法や沖縄21世紀ビジョン基本計画に規定する戦略的成長産業分野）の振興発展と那覇市経済の活性化に寄与するため、なは産業支援センターに入居する企業及び市内関連企業等を対象として育成支援のための事業を実施する。	(1) 入居企業へのヒアリングにより強み・弱みを分析し、経営課題に対して適切な支援を行う。 (2) ホームページやSNS等を活用し、施設の入居募集情報や入居企業に関する情報発信 (3) 入居企業間や関連企業との交流の促進	企業経営に役立った（80%以上）など、アンケート調査により、事業の成果や今後の支援内容を検討する。	【今後のスケジュール】 対象となる事業者に対するアンケート調査等を実施し、本事業の在り方について検討する。	【R8成果目標設定の考え方】 本事業の支援を受けた企業へのアンケートから、企業経営に役立った等の回答が80%以上得られることが本事業の成果と判断し設定した。	
3	7	企業立地促進事業	H28 ～ R13	地域の産業基盤を強化し、地域経済の活性化を図ることを目的として、合理的かつ継続性のある事業計画を有し、先進的な取組を行っている事業者を対象に、那覇市内で新規立地または新規創業によって事務所等を設置した場合に賃料助成金を交付する。	・市内立地企業への支援	・新規企業立地社（申請者）：3社	【今後のスケジュール】 ・誘致活動サポート事業との連携 ・なは産業支援センターやIT創造館等、関係機関との連携	【R8成果目標設定の考え方】 過去3年分の企業立地数の実績平均値を上回る数値を指標とする。	
3	8	新商品開発支援事業	H29 ～ R13	那覇市の観光・地域資源等を活用した商品の販売や売上の促進を図るため、新たな特産品、土産品の企画・開発を支援する。	・新商品開発支援対象事業者の選定（5事業者程度） ・商品開発にかかる経費の助成 ・テストマーケティング支援及び結果の分析 ・過年度開発事業者の定番化に向けた支援 ・次年度以降の商品化に向けた支援	・新商品開発については、実施年度、新商品の企画開発・テストマーケティングの実施。 ・商品化し販売開始した事業者：3者以上	【今後のスケジュール】 商品・サービスの販売・売上計画を立て販売等を行う。	【R8成果目標設定の考え方】 5事業者程度選定した内の翌年度から販売開始できる事業者数の割合が半数以上を目標とする。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
3	9				小中学生キャリア教育支援事業	R2 ～ R13			
3	10	那覇市IT人材育成支援事業	R3 ～ R13	次世代を担う市内の小中学生を対象にプログラミング講座を開催し、情報技術に関する興味を抱き、論理的思考を身につけ、かつ日常生活が情報技術を活用した産業で支えられていることに気付くことで、将来のIT人材の育成やキャリア形成に役立てる。	・市内小中学生向けプログラミング講座の実施。	知識習得度や情報技術への興味関心や就業意識の上昇（80%以上）を成果目標とする。	【今後のスケジュール】 受講者及び応募者アンケート調査等を実施し、事業効果や課題の洗い出しを通して本事業の在り方について検討する。	【R8成果目標設定の考え方】 今後の事業の方針や見直しのために、満足度や理解度の調査を実施する。	
3	11	市内事業者事業刷新支援事業	R3 ～ R13	人手不足による業務停滞を防ぐとともに労働力の有効活用促進を目的とし、市内事業者が人手不足解消のため実施する業態転換及び省人化への取組みに対し、費用の一部を補助する。	業態転換または省人化に要する経費の一部を補助	補助実績3事業者以上	【今後のスケジュール】 全産業における人手不足の深刻化に対応するため、市内の個人事業主を始めとした中小事業者に対し、創意工夫を凝らした新規事業の取組を支援していく。	【R8成果目標設定の考え方】 R7の補助金交付見込み件数2件から算出した。成果指標に加えて、事業実施後にアンケート等で満足度調査を行い、事業の貢献度について別途把握に努めたい。	
3	12	高度IT人材育成研修等補助事業	R4 ～ R13	那覇市民及び那覇市で働く従業員の人材育成等に係る費用の一部を助成することで、ITSSキャリアフレームワークレベル3・4程度の資格取得等を促し、売上高の向上を図る。	市民及び市内事業者の人材育成等に係る費用の一部を補助。	本補助金を活用した高度IT資格・トレーニング修了事業者：3者以上	事業の性質を考慮し目標を設定したが、成果指標に加え、事業終了後にアンケート調査を実施し、事業効果についても別途把握に努めるものとする。	【R8成果目標設定の考え方】 人材育成の成果は、一概に結果だけで判断することが困難であるため、補助実績（件数）を成果指標とした。	
3	13	那覇市長賞選定・販売促進支援事業	H24 ～ R13	那覇市長賞商品の募集・審査・選定を行う。 市長賞を受賞した商品等を知ってもらい、売上増加に繋げるため、様々な媒体を活用した情報発信等を行う。	・那覇市長賞商品の選定	・受賞商品の販売実績（金額）前年比10%増	【今後のスケジュール】 今後も市長賞商品の選定及びPRを展開する。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
3	14				市内事業者アジア戦略実証支援事業	R7 ～ R13			
3	15	那覇市産業DX促進支援事業	R5 ～ R12	業界団体等を通じた伴走支援の実施するとともに、成果報告会等の開催を通じて市内事業者に対しても広く支援事例を周知する。	(1) 業界団体等を通じた伴走支援 (2) 成果報告会の開催（1回）	支援企業 4団体（8社）以上	【R8年度成果目標】 支援企業 4団体（8社）以上 今後は、業界団体等を通じた伴走支援に注力するとともに、成果報告会等を通じて市内事業者に対しても広く支援事例を周知し水平展開を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 令和6～8年度は、令和5年度の倍となる4団体（8社程度）を目標として設定。	
3	16	中心市街地商業等振興計画（仮称）策定事業	R7 ～ R8	「那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画」を発展的に引き継ぐものとして、中心商店街における、商業・サービスが置かれた現状を整理するとともに、事業者等並びに行政が取り組むべき方向性を明らかにすることで、観光振興にも寄与する効果的な商業振興施策を推進するための計画を策定する。	中心市街地商業等振興計画（仮称）の策定完了	中心市街地商業等振興計画（仮称）の策定完了	【成果目標】 今後策定する計画の中で、年次的かつ客観的に把握可能な目標値の案を設定する 【今後のスケジュール】 R8 計画案の策定、具体的施策の提案、計画決定	商業活動の実態を、年次的かつ客観的に把握可能な目標値の案を設定する。	
3	17	なはし社会地域課題解決型起業支援事業	R6 ～ R10	本市が抱える社会地域課題の解決を目的とした起業及び新規事業を行うものに対して、費用の一部を助成及び専門家等の派遣等を行い、スタートアップ企業等の創出及び成長の後押しをし、地域課題の解決及び市内産業・経済のさらなる活性化を図る。	本市の地域課題解決を目的としたビジネスプランの事業化を行う事業者への支援 ・事業化に向けた経費の一部助成 ・専門家や先輩スタートアップ事業者による相談支援及びセミナー等の開催 ・広報支援	課題解決に向けた取組事業者数 5つ	【今後のスケジュール】 本事業で、年間5社、計25社の本市の課題解決を目的とするスタートアップ企業等の創出及び成長を後押しすることで、市内産業・経済のさらなる活性化とともに、本市地域課題の解消も目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
3	18				那覇MICE受入推進事業	R4 ～ R10			
3	20	なはし外国人材受入環境整備支援事業	R8 ～ R10	外国人材と日本人との異文化相互理解を図り、外国人材の定着、ひいては域内企業、産業等の維持・成長発展に資することを目的に、市内事業者や支援機関が外国人材と日本人従業員や市民との相互の異文化理解促進の取組や交流イベント等の開催に対して、費用の一部を助成するもの。	外国人材と日本人従業員や市民との相互の異文化理解促進の取組や交流イベント等の開催に対して、費用の一部を助成する。	本助成金を活用した事業者：5社以上		【R8成果目標の考え方】 助成の性質を勘案して目標設定を行った。成果指標に加え、各事業者の取組終了後に共通項目を含めたアンケートを実施し、事業の定性的な効果測定に努めたい。	
5	1	那覇市健康ウォーキング推進事業	H26 ～ R13	ウォーキングを通じた市民の健康づくりの推進に向けて、健康ウォーキング大会やウォーキング講座等を開催する。	健康ウォーキング大会 1回 ウォーキング講座 5講座	・健康ウォーキング大会 参加者 4,000人以上 満足度 90% (参加者アンケート) ・ウォーキング講座 受講後も継続して歩く割合 80% (受講者アンケート)	【今後のスケジュール】 ○健康ウォーキング大会の開催 ○「健康フェア」との同時開催 開催数：1回/年 ウォーキング大会参加者数： 4,000人以上 (参加者人数の定着化) ○ウォーキング講座の開催 開催数：5講座（20回）/年	【成果目標設定の考え方】 ・参加者数については、これまでの大会参加者数の平均が3,800人であることから、定着が図られたと考えられる数値として4,000人以上と目標値を設定した。 講座については、日常的な運動の習慣化が図られたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
大	細				R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
6	1		基礎学力向上のための学習支援事業	H24 ～ R13	<p>学力向上と学校教育環境の充実を図るために、小中学校への学習支援員の配置を行う。また、中学校において採点システムを利用する。</p>	<p>学習支援員配置： 小学校 36人 中学校 20人</p> <p>採点システムの利用： 中学校 17校</p>	<p>①小学校算数（3年） （翌年度4月実施 新4年生対象） 沖縄県学力定着状況調査の正答率の県平均との差 +4.2ポイント</p> <p>②中学校数学（1年） （当年度12月実施 1年生対象） 沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差 +3.3ポイント</p>	<p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校と教育委員会との連携を充実・強化し、きめ細かな教育環境を提供する。 引き続き学校教育に精通した退職教員を中心に人材確保に努める。 児童生徒の習熟度に合わせ個別に対応することによって、基礎学力の定着を図り、本人のやる気を導き出せる指導に取り組んでいく。 中学校において採点システムを利用することで、定期テストや小テスト、単元テストで採点・集計や分析を短時間で行うことができ、レスポンスを早めることで生徒の学習意欲の向上と学習の定着状況の把握、個別の学習支援に繋げ、授業の改善に資する。 	<p>【成果目標設定の考え方】</p> <p>沖縄県学力定着状況調査の対象学年が小学校4年生～5年生となった。（4月実施） 小学校3年生を対象とした学力調査を実施していない。 中学校1学年については、沖縄県学力到達度調査の結果を指標に設定する。 正答率は、テストの難易度に影響されるため、県全体の正答率の平均との差を指標とする。</p>
6	2		英語教育推進事業	H24 ～ R13	<p>英語コミュニケーション能力を育成し、多様性を理解する共生社会への理解を深めるために、小中学校に英語指導員を配置し、中学校へは生成AI英会話アプリを導入する。また、英語指導コーディネーターを配置し、これらの取組を統括・支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 英語指導員の配置 小学校36校、中学校（分校含む）18校へ英語指導員53人（外国人39人、日本人14人） 生成AI英会話アプリの活用 中学校17校 英語指導コーディネーターによる英語指導員及び生成AI英会話アプリ活用の統括・支援 	<p>①英語に対する興味・関心が高まった児童生徒割合80%以上</p> <p>②CEFRレベル 中1：英検5級相当 50%以上 中2：英検4級相当 49.5%以上 中3：英検3級相当 49%以上</p>	<p>【今後の方針】</p> <p>英語指導員の活用にあたっては、話す・聞くといった言語活動を多く取り入れた英語指導を行う。 生成AI英会話アプリを導入し活用を図る。 英語指導コーディネーターを配置し、英語指導員及び生成AI英会話アプリの活用について統括・支援を行う。</p>	<p>【成果目標設定の考え方】</p> <p>小学校においては、児童へのアンケート結果をもとに成果目標を設定する。 中学校においては、CEFRレベルにより実績値以上の成果目標を設定する。</p>
6	3		特別支援教育充実事業（小・中学校）	H24 ～ R13	<p>特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、保健師及び特別支援コーディネーターの派遣や特別支援教育補助員の配置を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育補助員配置：小中学校108人 保健師を教育委員会事務局に配置し、医療的ケア児等の支援体制の整備・相談業務等の実施 特別支援教育相談員派遣：教育相談・検査・面談等の実施 特別支援教育指導コーディネーター派遣 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育補助員の対応への満足度（80%以上） 対象児童生徒の保護者へアンケート実施 	<p>【今後の方針】</p> <p>特別支援教育補助員や保健師の配置及び特別支援教育相談員、特別支援教育指導コーディネーターの派遣を行い、支援を要する児童生徒への継続した支援を行う。</p>	<p>【成果目標の考え方】</p> <p>特別支援教育補助員の対応への満足度については、大多数の保護者が満足したと考えられる数値として「80%以上」と設定した。 また、アンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。</p>

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	バ 細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
				6	4			
6	5	不登校対策等支援事業	H24～R13	<p>不登校の改善を図るため、不登校など課題のある児童生徒に対応した支援(学習支援室、相談室、自立支援教室)を行う。</p> <p>①相談室の設置 ア 電話相談 150件 イ 来所相談 290件 ②問題行動が理由で不登校の児童生徒を対象とした自立支援教室の設置 ア 通級支援：80名 イ 一時支援：5名 ③心理的・情緒的不安が理由で不登校の児童生徒を対象とした自立支援教室の設置 ア 正式入級者数：6～8名 ④学習支援室の設置 ア 在籍者数：180人</p>	<p>相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校 16.7% 中学校 6.0%</p>	<p>不登校児童生徒等の教育相談全般に継続的支援を行う。</p>	<p>【成果目標設定の考え方】 【実績値 令和6年度】 小学校19.7%、中学校9.0% 令和8年度目標値は、令和6年度実績値の3%減とした。</p>	
6	6	教育相談支援員・生徒サポーター配置事業	H24～R13	<p>不登校の改善を図るため、学校内の相談室等において不登校傾向にある児童生徒の相談・支援等を行う。</p> <p>①相談支援件数 1,230件 ②相談支援回数 37,800回</p>	<p>相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校 16.7% 中学校 6.0%</p>	<p>不登校児童生徒等の教育相談全般に継続的支援を行う。</p>	<p>【成果目標設定の考え方】 【実績値 令和6年度】 小学校19.7%、中学校9.0% 令和8年度目標値は、令和6年度実績値の3%減とした。</p>	
6	7	青少年旗頭事業	H24～R13	<p>児童生徒の居場所や出番、地域との絆を作るとともに、伝統文化の保存継承を図るため、那覇の伝統文化である旗頭を活用した文化活動を実施する。</p> <p>・児童生徒へ旗頭演舞の指導を実施 ・旗頭の製作及び修繕 ・児童生徒の成果発表の場として「やる気・元氣旗頭フェスタinなは」の開催</p>	<p>「やる気・元氣旗頭フェスタinなは」に参加した児童生徒に加え、参加した大人も含めた全参加者数：1,000人</p>	<p>今後も、児童生徒の居場所や出番、地域との絆を作るとともに、伝統文化の保存継承を図るため「やる気・元氣旗頭フェスタinなは」を開催し、参加した児童生徒に加え、参加した大人も含めた全参加者数1,000人の参加を目指す。</p>	<p>【R8成果目標設定の考え方】 成果目標は過去3年度の実績値の平均値で設定した。</p>	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
大	細				R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
					6	8			
6	9	児童生徒のスポーツ県外派遣補助金	H24 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで、児童生徒に広い視野を持たせる。	児童生徒の県外大会派遣支援	児童生徒が島内ではできない経験をするのができたとの回答（80%以上）を含め、派遣された児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	児童生徒が島内ではできない経験をするのができたとの回答（90%以上）派遣後に保護者へのアンケート実施	【今後のスケジュール】 今後も、沖縄のスポーツ振興に資する人材育成のため、学校教育以外のスポーツ活動で、市・県を代表して派遣される児童生徒に対する補助を継続する。	【成果目標設定の考え方】 児童生徒が広い視野を持たせたいかを検証するにあたっては、当該児童生徒を普段から見守る立場である保護者が、児童生徒の変化の状況把握しているものと考え、島内ではできない経験をすることができたかどうかを聞き取ることで検証できることから本指標を設定した。 80%の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
6	10	児童・生徒の県外派遣旅費補助金（大会派遣）	H24 ～ R13	児童生徒の自立や意欲向上、能力の育成を図るために、児童生徒の積極的な参加を奨励し県外大会への派遣旅費を補助する。	学校教育活動の一環として出場する児童生徒の県外派遣支援	児童・生徒が島内ではできない経験をするのができたとの回答（90%以上）派遣後に保護者へのアンケート実施	児童・生徒が島内ではできない経験をするのができたとの回答（90%以上）派遣後に保護者へのアンケート実施	【今後の方針】 引き続き派遣費の補助を行い、保護者へのアンケート調査を実施する。結果を踏まえながら事業の在り方を検討する。	【成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 【6-9 児童のスポーツ県外派遣補助金との相違点】 6-9は、学校外で活動するスポーツ少年団などを対象とし、本件事業は学校教育の一環で行なわれる部活動を対象としている。
6	11	自然教室実施事業	H24 ～ R13	児童の社会性を育み豊かな人材の育成を図るために、市立の小学校5年生を対象に、沖縄独自の自然の中で様々な体験活動を実施する。	自然体験学習実施学校数：小学校：36校（5年生対象）	自然教室を通して、児童の社会性（協力的な姿勢）が向上したと評価する学校の割合 90%以上	自然教室を通して、児童の社会性（協力的な姿勢）が向上したと評価する学校の割合 90%以上	【今後の方針】 自然教室を継続して実施する。アンケートを実施し、児童の社会性が向上したという回答数が90%以上を維持する。	【成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	12	学校施設老朽化抑制事業（塩害防止・長寿命化）	H24 ～ R10	小中学校校舎等の塩害を防止し長寿命化を図るため、校舎等外壁面の塗装工事を行う。	・校舎等外壁の塗装 ・小学校1校	学校長及び教育委員会による点検を実施する。 ・外壁等の剥離件数：0件 ・外壁の亀裂等件数：0件	学校長及び教育委員会による点検を実施する。 ・外壁等の剥離件数：0件 ・外壁の亀裂等件数：0件	【今後のスケジュール】 令和10年度までに計画していた小中学校校舎等外壁面の塗装対応を完了し、令和10年度以降は、事業の効果（劣化の抑制状況）の確認のため、完了した校舎等の点検を実施する。	過年度に実施した事業については、学校長による点検を実施する。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考		
事業番号	事業内容			R8事業内容	R8活動目標（指標）		R8成果目標（指標）	今後の展開方針等	補足説明等
6	13	発達支援強化事業（乳幼児期）	H27 ～ R10	乳幼児の健やかな発達を保証し、就学後の学校生活での不適応行動を少なくするために、発達の気になる乳幼児及び子どものかかり方に不安を抱く保護者等を早期に把握し支援を行う。	・1歳6か月児、3歳児健診会場での保育観察の実施（年間82回） ・親子教室の実施（24回） ・育児教室等の実施（8回） ・発達相談の実施（140回） ・関係機関との調整会議（1回） ・発達支援研修会の実施（1回）	①アンケートにおける、親子教室後の保護者等の満足度80%以上。 ②乳幼児健診や育児教室等における支援を必要とする児及び保護者の早期把握の数（健診会場保育観察から地区保健師に情報提供した人数：年間180人以上）	【今後のスケジュール】 発達の気になる乳幼児及び子どものかかり方に不安を抱く保護者を健診等で早期に把握し、親子教室などの支援につながった保護者の満足度80%以上を維持しながら、令和10年度まで継続実施する。	【R7年度成果目標設定の考え方】 ①概ね肯定的であるという数値として満足度を80%とした。 ②過去3年間の保育観察人数の平均値を参考に設定した。	
6	14	認可外保育施設的环境整備事業	H24 ～ R13	認可外保育施設の衛生環境の向上を図ることを目的とし、保育室や調理室等必要箇所に衛生消毒及び害虫駆除等を実施するため専門業者へ委託を行う。	衛生消毒及び害虫駆除実施施設数 約23施設	認可外保育施設の衛生環境の向上及び入所児童の処遇向上を図り、子育て環境を整備することを目的としているため、認可外保育施設全施設（23施設）において実施することを成果ととらえ、衛生消毒及び害虫駆除実施施設数そのものを目標として設定し23施設100%実施する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に施設の衛生消毒及び害虫駆除を実施し、衛生環境の向上及び維持を目指す。	【R8 成果目標設定の考え方】 認可外保育施設全施設（23施設）対象。	
6	15	夜間認可外保育施設安全対策事業	R5 ～ R13	夜間認可外保育施設における児童の安全対策及び保育の質の向上を目的に、児童の睡眠中の事故防止対策を実施するため夜間に保育士を配置した施設に対し、その費用に要する一部を補助する。	当該事業における保育士数：2人	夜間保育時間中の保育士配置施設 ：2施設	【今後の取組内容】 令和8～10年度：2施設 令和11～13年度：3施設	現状を上回る値として設定した。夜間保育時間中の保育士配置施設 R7現状：2施設中1施設	
6	16	保育士負担軽減等加配事業	R4 ～ R13	保育士の離職防止及び雇用環境の改善を図ることにより保育士を確保し、待機児童を解消することを目的として、待機児童の多い2歳児クラスについて、国の配置基準を超えて配置とするために必要な常勤保育士分の人件費を保育施設へ補助する。	2歳児クラスの職員配置について、国基準を超えて配置した保育施設に対する補助数：46施設	事業を実施した施設の2歳児クラス保育士が「事業の効果を感じた、負担軽減に効果を感じた」とする割合：95%	2歳児クラスの職員を国基準を超えて配置した保育施設に対する補助を継続することにより、保育士の負担軽減効果を高める。	那覇市内私立認可保育施設等へR6年度の事業アンケートを実施したところ、当事業について効果があると感じた施設数の割合は93.5%であった。その実績値を元に達成可能な目標を設定し、段階的に引き上げる。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
6	17				学校ICT支援員配置事業	R4 ～ R10			
6	18	共生・多様性社会実現事業	R4 ～ R9	生涯学習施設や福祉施設等を機能集約し、多様な市民が施設の利用を通してつながることで、失われている地域のつながりを復活・再生させ、多様で複雑な課題に地域で対応できる社会を形成する。	・債務負担行為設定による事業契約（地域事業説明会・解体工事・基本設計・実施設計・建築工事を含む）のうち、雨水管移設工事・監理、建設工事・監理、モニタリング（R8年度分）の実施	・雨水管移設工事・監理の完了 ・建設工事・監理（R8年度分）の完了 ・モニタリング（R8年度分）の完了	【成果目標】 供用開始後5年目における市民の地域コミュニティ参加率31.6%（対前年増加率を7.5%増）を目指す。 （R3年度市民意識調査：市民の地域コミュニティ参加率22%） 【今後のスケジュール】 R5年度：事業者公募 R6年度：現市民会館の解体 基本設計・実施設計 R7～9年度：工事・監理 R10：供用開始	【成果目標設定の考え方】 供用開始後5年目における市民の地域コミュニティ参加率31.6%を目標として設定した。	
6	19	こどもの学習意欲を高めるためのICT環境整備事業	R5 ～ R9	市立小中学校の普通教室に液晶型電子黒板などのICT機器及び教育用ソフトを整備し、児童生徒の情報端末との連携を強化する等わかりやすい授業を展開することで、主体的かつ協働的な教育活動を展開し、学習意欲の向上を図り、学力向上につなげていく。	市立小学校（全36校）6学年及び中学校（全18校）3学年の全普通教室（160教室）に、電子黒板等ICT機器を導入する。	ICT機器及び教育用ソフトを活用した授業の効果について ○学習意欲が高まったとする児童生徒の割合：85%以上 ○児童生徒の学習の理解（知識・技能）が高まったとする教員の割合：85%以上	今後、市立小中学校の全普通教室に電子黒板等のICT機器を整備することにより、子ども達の学習意欲を高める。	電子黒板等のICT機器及び教育用ソフトの整備により、学習意欲を向上させ、学習への理解を深めることが期待でき、全国学習状況調査で正答率を向上させることにつながる。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
7	1				なは青年祭補助事業	H29 ～ R13			
7	2	壺屋焼物博物館機能強化事業	R6 ～ R8	壺屋焼物の貴重な文化財の保存環境の維持・向上を図るため、社会教育及び文化観光施設である壺屋焼物博物館のユニバーサルデザインを導入した外壁等工事を行う。	・ユニバーサルデザインを導入した外壁工事の実施	・ユニバーサルデザインを導入した外壁工事の完了	【令和9年度成果目標】 年間観覧者数を23,000人 【今後のスケジュール】 R8:ユニバーサルデザイン導入（外壁等）工事	【R9成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
7	3	市民文化支援事業	H24 ～ R13	那覇市の市指定無形民俗文化財をはじめとした、民俗芸能の保存継承を図ることを目的とする。	那覇市の市指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能団体へ補助金を交付する。	市民文化支援事業の対象となる、市指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能13団体の保存継承。	【今後のスケジュール】 今後も那覇市の市指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能の保存継承を図るため、当該芸能団体へ補助金を交付する。	【R8 成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
7	4	子どもが輝くまちづくり事業	H24 ～ R13	子どもたちの文化芸術に対する興味や豊かな感性等を育むため、子どもたちの活動発表の場である「子どもフェスタinなは」の開催を支援する。	「子どもフェスタinなは」の開催に係る事業費の補助	「子どもフェスタinなは」に参加した児童生徒数 出演者数：389人 スタンプラリー参加者数：225人	今後も、文化芸術に対する興味や豊かな感性等を育むため、「子どもフェスタinなは」の開催を支援し、出演児童生徒数389人、スタンプラリー参加者数225人を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 成果目標は過去3年度の実績値の平均値で設定した。	
7	5	文化芸術ふれあい事業	H24 ～ R13	那覇市の歴史や文化を再認識し、文化資産として普及・継承・発展させていくことを図るため、本市の指定無形民俗文化財等の地域に根付いた民俗芸能を一堂に披露する「地域文化芸能公演」を開催する。	地域文化芸能公演の開催	地域文化芸能公演への来場者 963名以上	【今後のスケジュール】 沖縄伝統芸能に触れる機会の創出し、普及・継承・発展へ繋げていく。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業番号 ハ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								7	6
7	8	デジタルアーカイブ機能強化事業	R6 ～ R13	利用に伴う歴史資料の劣化を防ぎながら地域学習や研究、観光振興等の多分野での活用を促進するため、那覇市歴史博物館が所蔵する歴史資料をデジタルアーカイブ化する。	・木製パネル約1,500件のデジタル化とデジタルアーカイブ公開 ・スライドフィルム1,234枚のデジタル化とデジタルアーカイブ公開	木製パネル約1,500件・スライドフィルム1,234枚のデジタル化とデジタルアーカイブでの公開を完了する。	【今後のスケジュール】 R7年5月～10月（6か月） 那覇市歴史博物館HPセッション数が約83,000件であり（R7年度4月は正確な数値が取れていない）、これを参考にすると、R8年度は165,600件のセッション数が見込まれる。 現段階でデジタルアーカイブで公開している資料点数は68,819件であり、資料1件あたり平均約2.4セッションがあった計算となる。 本事業により、木製パネル約1,500件、スライドフィルム1,234件、計2,734件のデジタル資料がアーカイブに追加されるため、約6500セッション数の上昇が想定される。 【R9年度目標セッション数】 165,600件（R8年度見込セッション数）+6,500件（資料追加に伴う見込セッション数）=172,100件	【R8成果目標設定の考え方】 令和8年度の目標は、木製パネル約1,500件・スライドフィルム1,234枚のデジタル化と、それらのデジタルデータのアーカイブ上での公開完了とする。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
7	9	うちなーぐち普及継承事業	R6 ～ R13	うちなーぐちの保存・普及・継承を目的に市民参加型の講座を実施し、そこでうちなーぐちの魅力と価値を再認識していただくことで、普及啓発と市民文化活動の活性化を図る。	うちなーぐち講座・成果発表の開催	受講者数（全体）：40名 受講者数（うち30代までの世代）：10名	【今後のスケジュール】 うちなーぐちに触れる機会を創出し、普及・啓発へ繋げていく。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
8	2	ふれあいのまちづくり事業	H27 ～ R13	生活課題を抱える、障がい者や高齢者、生活困窮者等からの相談を受け、課題の解決に資するため、総合相談窓口を設置する。	専任相談員の配置：1名	対象となる相談者等へのアンケートで、相談したことにより課題の解決に役立ったか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検討する。	【今後のスケジュール】 今後も生活課題を抱える方からの相談に対応するため、総合相談窓口への専任相談員を配置する。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が相談したことにより解決に役立ったと考えられる値として80%を設定した。 本事業のあり方については、アンケートにより実施する。
8	3	放課後まなび支援事業	R4 ～ R13	市内の低所得世帯の小学校4～6年生及び中学校 1～3年生の児童生徒が放課後に学習できる環境を整え確保することで、学習習慣が身につくとともに、勉強へのモチベーションを高め、ひいては児童生徒の学力向上につなげる。	市内の低所得世帯の小学校4～6年生及び中学校1～3年生の児童生徒に対し、教育サービスを受けるための費用の一部を支援する。 (2,120人分)	支援を受けた児童生徒へアンケート調査を実施し、児童生徒の学力の向上85%以上、学習意欲の向上70%以上を目指す。 また、事業者アンケートを実施し、支援を受けた児童生徒の学力向上85%以上を目指す。	支援を受けた児童生徒へアンケート調査を実施し、児童の学力の向上85%以上、学習意欲の向上70%以上を目指す。 また、事業者アンケートを実施し、支援を受けた児童生徒の学力向上85%以上を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 R6年度に実施したアンケート調査結果を参考に設定した。
9	1	海外移住那覇市出身者研修受入事業	H24 ～ R13	那覇市と関連が深い国や地域等を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、各種研修を通して沖縄伝統芸能・文化、歴史等を学ぶ機会を提供する。	・海外の那覇市民会等から推薦された研修生を2名受け入れる。 ・研修生へ沖縄伝統芸能・文化、歴史等を学ぶ機会、地元の人々と交流できる機会を提供する。 ・研修を通して得たことを発表する「報告会」を実施する。	研修生が、那覇（沖縄）の文化や歴史、自身のルーツにさらに興味関心を抱くことを目指す。目標の達成状況に関しては、研修生作成報告書の内容を含め、実施後アンケート調査の内容により確認を行う。アンケート中の興味関心に関わる項目について、「できた」「やってきた」が80%に到達するかを指標とする。（報告書やアンケート自由記述部分についてはその補足資料とする。）	【今後のスケジュール】 国際化・多様化していく社会において、那覇市と関係の深い国や地域等を繋ぐ人材の育成は重要となるため、今後も継続して事業を実施していく。	【R8成果目標設定の考え方】 懸け橋となる人材育成が図られたかについて、那覇（沖縄）の文化等に関心を持ったか、那覇を自身のルーツであるとの認識をより深めることができたかに着目し、アンケート調査等でこれを確認する。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業番号 バ 細	事業名	計画 期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								9	2
9	4	まーいまいNaha人材育成 外国語講座事業	R6 ～ R13	外国人観光客の満足度向上に向け、「うとういむち（おもてなし）」の出来る観光関連産業従事者を育成するとともに、市民が外国人観光客に気軽に対応できる風土の醸成及び異文化理解を図るため、英語・中国語・韓国語によるうとういむち講座及び交流会を実施する。	英語・中国語・韓国語の3か国語の中級及び観光関連産業従事者向け講座を計72コマ以上、講座受講生を対象とした交流会を2回以上実施する。	前年度の受講生に対し、受講後の語学活用状況（外国人との交流や仕事での接客）に関する追跡アンケート調査を実施し、語学を活用する機会があったと回答した受講生の割合について、中級講座では30%以上、観光関連産業従事者向け講座では90%以上を目指す。	【今後のスケジュールと目標】 今後も受講後の語学活用状況（外国人との交流や仕事での接客）に関する追跡アンケート調査を実施し、語学を活用する機会があったと回答した受講生の割合について、中級講座では30%以上、観光関連産業従事者向け講座では90%以上を目指す。	【成果目標設定の考え方】 中級講座は過去の実績を勘案して設定した。観光関連産業従事者向け講座では業務で活用する受講生が多いと見込まれることから設定した。	
9	5	多様性を尊重する社会実現 事業	R8 ～ R8	多様な背景を持つ人と助け合い、協力しながら共に生きる「ゆいまーる精神」を育むとともに、誰もが心豊かに安心して暮らせるまちづくりを推進し、沖縄らしい、優しく魅力ある地域に発展させていくため、多様性についてのシンポジウム等を開催する。	①なはーと基調講演・シンポジウムを開催する ②なは市民活動支援センターでセンター利用団体の活動を紹介及びレインボーワークショップを開催する	①なはーとで開催する「基調講演・シンポジウム」への来場者130名以上 ②なは市民活動支援センターで開催する「レインボーワークショップ」への参加者10人以上	【今後のスケジュール】 「誰もが心豊かに暮らせるまちを目指して、今後も男女共同参画社会及び性の多様性が尊重される社会を目指して、なは女性センターから講座やイベントを通して、その重要性を発信していく。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業番号 ハ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
11	1				救命講座普及啓発推進事業	H24 ～ R10			
11	2	保安灯LED化推進事業	R4 ～ R13	二酸化炭素排出量を削減するため、既存保安灯を消費電力の少ないLED照明へ切り替える設置者（自治会等）に対して補助金を交付する。	保安灯をLED照明へ切り替えを行う自治会等に対して補助金を交付し、保安灯250灯をLED照明へ切り替える。	二酸化炭素排出量の削減 26,805kg-CO2以上/年 削減	<ul style="list-style-type: none"> 【今後のスケジュール】 自治会等が管理する保安灯をLED照明への切り替えを図り、二酸化炭素排出量を削減する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【R8成果目標設定の考え方】 保安灯のLED化前後の消費電力の差及び補助対象の台数から、削減される二酸化炭素量の推計値を算定して設定した。 	
11	3	災害時利用可能井戸等調査業務	R8 ～ R8	近年多発する自然災害に備えて、市内に既存する井戸水・湧水（以下、「井戸等」）の現況を調査し、災害発生時の生活用水の確保を目的とする。	市内の井戸等約50地点について、災害時利用の可能性の判断を行い、年2回（夏季、冬季）の水質等調査を実施する。	災害時利用可能な井戸等を特定する。	<ul style="list-style-type: none"> 【今後のスケジュール】 R8年度：災害時利用井戸等調査業務 R9年度以降：関係部局と利用可能井戸等の整備検討、市民へ災害時協力井戸の募集等。 	市内全域に点在するよう災害時利用可能な井戸等の特定	
11	4	てんぶす那覇照明LED化事業	R8 ～ R8	既存照明設備をLED照明設備へ交換することにより、消費電力の削減による二酸化炭素排出量を削減し自然環境保全を図る。	・照明器具（蛍光灯）のLED照明化切り替え工事を実施。	・照明器具（蛍光灯）のLED照明化切り替え工事の完了。	<ul style="list-style-type: none"> 【R9年度成果目標】 月平均消費電力：50%減 【今後のスケジュール】 R8：LED照明化切替工事 	工事見積業者より提出された経済比較表を根拠とした。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
11	5	那覇市老人福祉センター等照明LED化事業	R6 ～ R8	既存照明設備をLED照明設備へ交換することにより、消費電力の削減による二酸化炭素排出量削減で自然環境保護を図る。	照明器具のLED化に係る設計・アスベスト調査の実施	照明器具のLED化に係る設計・アスベスト調査の完了	【今後のスケジュール】 R9那覇市小禄老人福祉センター R10那覇市末吉老人福祉センター R11那覇市壺川老人福祉センターの順に照明器具をLED照明に切り替え、CO2排出量の削減を図る。 なお、末吉・壺川は別事業である長寿命化改修工事にて実施予定。	【成果目標設定の考え方】 LED化による照明器具の種類ごとの電力消費削減量と各施設の照明器具の種類・台数を基に、年間CO2排出削減量の推計値を算定して設定した。
11	6	石嶺公民館・図書館他3館照明LED化事業	R6 ～ R8	既存照明設備をLED照明設備へ交換することにより、消費電力の削減による二酸化炭素排出量削減で自然環境保護を図る。	LED照明設備整備のための取替工事の実施（牧志、若狭、繁多川の公民館・図書館）	LED照明設備整備のための取替工事の完了（牧志、若狭、繁多川の公民館・図書館）	R8年度で事業完了	・整備前直近3年間の平均使用電力量（クーラー利用のない1月～3月平均×12か月）から、約50%以上を削減目標とする。
11	7	那覇市総合福祉センター照明LED化事業	R6 ～ R7	既存照明設備をLED照明設備へ交換することにより、消費電力の削減による二酸化炭素排出量を削減し自然環境保全を図る。	アスベスト含有調査・工事の実施	アスベスト含有調査・工事の実施	【全体のスケジュール】 R8年度 ・アスベスト含有調査 ・LED化切替工事	【R8成果目標設定の考え方】 類似施設の実績を参考に設定した。
11	9	那覇市立城北中学校他2校屋外運動場照明LED化事業	R8 ～ R9	既存照明設備をLED照明設備へ交換することにより、消費電力の削減による二酸化炭素排出量を削減し自然環境保全を図る。	照明設備LED化設計業務の実施	照明設備LED化設計業務の完了	【今後のスケジュール】 R8年度：設計業務 R9年度：照明LED化取替工事 令和10年度 消費電力の削減実績の確認	【R10年度成果目標】 取替前の消費電力量の50%程度
11	10	那覇市識名霊園照明LED化事業	R7 ～ R8	既存照明設備をLED照明設備へ交換することにより、消費電力の削減による二酸化炭素排出量を削減し自然環境保全を図る。	照明器具LED化に伴う設計業務	照明器具LED化に伴う設計業務の完了	【今後のスケジュール】 R7年度：設計業務 R8年度：照明LED化取替工事	【R9年度成果目標】 照明LED化により、取替前の消費電力量（3年間平均）の50%程度とした。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
11	11	エコモール那覇リサイクル標省エネ促進事業	R7 ～ R8	既存照明設備をLED照明設備へ交換することにより、消費電力の削減による二酸化炭素排出量を削減し自然環境保全を図る。	照明器具取替工事の実施	照明器具取替工事の完了	【今後のスケジュール】 R7 実施設計業務委託 R8 LED照明取替工事 R9 成果の検証	事業実施後に年間電力使用削減量を把握することができると、それに基づき算定される二酸化炭素排出量削減等を指標に設定した。
11	12	壺屋焼物博物館照明LED化事業	R8 ～ R8	既存照明設備をLED照明設備へ交換することにより、消費電力の削減による二酸化炭素排出量を削減し自然環境保全を図る。	壺屋焼物博物館の照明設備のLED照明への取り替え	壺屋焼物博物館の照明設備のLED照明への取り替え完了	【今後のスケジュール】 R8：取替工事	【R9成果目標設定の考え方】 ・市の類似事業の実績を参考に設定した。
11	13	森の家みんな照明LED化事業	R8 ～ R8	既存照明設備をLED照明設備へ交換することにより、消費電力の削減による二酸化炭素排出量を削減し自然環境保全を図る。	LED照明器具改修工事	LED照明器具改修工事完了	【R9年度成果目標】 照明にかかる年間消費電力量削減割合：50%以上 【今後のスケジュール】 R8：LED照明器具改修工事	省エネ効果を消費電力量の実績値で確認する。
13	1	ICT活用生活習慣病予防プログラム事業	R7 ～ R13	健康長寿復活に向け、若い世代からの生活習慣病予防及び適切な生活習慣の定着を図ることを目的に、肥満者（BMI25以上）を対象に、従来の保健指導ではなく、ICTを活用した生活習慣病予防プログラムにより「肥満の改善」を図る。	プログラム実施者：68名	体重2kg減、腹囲2cm減の方の割合：70%以上	将来の生活習慣病の発症リスクを下げるため、BMI25以上の方の体重減少に向けた事業を継続する。	特定保健指導のアウトカム評価及び実証実験結果を基に設定

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	宜野湾市西海岸エリア活性化事業	H24 ～ R13	県外・海外からの観光客誘客の推進を図る。	「はごろも祭り」、「産業まつり」、「琉球海炎祭」の開催を支援する。	・はごろも祭り・・・来場者数10万人 ・産業まつり・・・来場者数4万人 ・琉球海炎祭・・・来場者数1.9万人	今後も観光産業の振興を図るため、「はごろも祭り」、「産業まつり」、「琉球海炎祭」が継続して開催できるように支援を行っていく。	過去の実績をベースに来場者の約5%増を成果目標とする。
1	②	企画展開催事業	H24 ～ R13	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催する。	企画展の開催：年2本	企画展1本あたりの平均入館者数：1,390人以上	【目標】 R8年度：企画展1本あたり平均入館者1,390人以上	入館者のうち観光客数を正確に把握することが直ちには困難であるため、入館者数を成果目標とする。
1	③	文化財説明板・標識設置事業	H24 ～ R11	観光振興及び文化教育に資するため、市指定・登録文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板（ふるさと案内板）」を設置する。	文化財に文化財説明板と標識を作成設置する。地域文化財案内板を自治会事務所等に設置する。	地域文化財案内板作成設置件数：1件	【R9成果目標】 ・地域文化財を活用した学習会等への参加人数220人以上 【今後のスケジュール】 地域文化財案内板および文化財説明板を必要な個所に設置する。 そのことにより市内外の方々が市の自然・歴史・文化に対する知識と理解が深められる。	【R9成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1	④	宜野湾海浜公園施設等再編整備事業	H30 ～ R9	海浜という立地を活かした公園としての魅力の向上及び誘客の促進を図るため、文化スポーツ施設を中心に宜野湾海浜公園及びその周辺施設の整備を実施する。	海浜公園スケートボード広場整備工事、管理棟新築工事の実施	海浜公園スケートボード広場整備工事、管理棟新築工事の完了	【R10成果目標】 施設利用者数 655,000人 【今後のスケジュール】 R8：スケートボード広場整備工事 R9：こども広場・スポーツ広場整備工事 ※整備完了予定年度	【R10成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	⑤	ぎのわん美ら海クリーン活動支援	R3 ～ R13	「ぎのわんマリン協会」を支援することで、本市の西海岸の海を全国にPRし、ダイビング観光客の誘客を図ることを目的とする。	ぎのわんマリン協会の支援	ダイビング客：630人/年	サンゴの植樹、清掃活動等を継続して支援しながら、本市の美ら海をPRし、観光コンテンツとして確立する。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								1	⑥
1	⑦	宜野湾市西海岸地域開発検討調査事業	R7 ～ R7	中部圏域の西海岸地域については沖縄振興計画において、「世界水準のオーシャンフロント・リゾート地の形成を図る」とされており、宜野湾市西海岸地域もその一翼を担うものとなっている。 地域振興施策、観光関連施策、既存公共施設の活用及び拡充策、地域資源等、今後の社会経済状況を踏まえ、宜野湾市の個性が最大限に発揮できるように、宜野湾市西海岸地域についての現状の分析及び課題の整理、開発の方向性及び将来像を明らかにし、実現方策の検討等の基本構想を策定することを目的とする。	実現方策の検討等の基本構想を策定	実現方策の検討等の基本構想を策定	【後年度の成果目標】 オーシャンフロント・リゾートのグランドデザイン等の実現に向けた各事業の課題整理の達成状況100%（令和11年度） 【今後のスケジュール】 令和11年度までの早い時期に課題整理を終え、グランドデザインの達成のために各施設等の整備事業を展開する。	本市西海岸地域におけるオーシャンフロント・リゾートの実現に向けた課題を令和11年度までに整理。	
2	①	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24 ～ R13	スクールソーシャルワーカー（SSW）を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校や問題行動の未然防止、早期対応、改善に取り組む。	○SSW13名の配置 ○SSWによる児童生徒の支援数483名（支援数はR6年度実績）	不登校や課題の改善に向けて変容が見られた割合、前年度実績以上	【今後のスケジュール】 支援対象者は、長期的な支援が必要である場合が多いため、今後も継続した支援体制を整える。	【R8成果目標設定の考え方】 不登校等課題を抱える児童生徒や保護者の支援として、効果があったと考えられる値として設定した。	
2	②	教育支援センター事業	H24 ～ R13	不登校児童生徒の支援に関わる調査研究、教育相談を実施し、児童生徒の居場所づくりとして、体験学習活動及び他校との交流体験活動を実施するなど不登校児童生徒の学校復帰や社会的自立を支援する。	入級児童生徒の集団活動や学校適応等に関する支援を実施する。 （入級児童生徒数：3名）	入級児童生徒が教育支援センターまたは在籍校へ登校できた日数：出席すべき日数の65%	【今後のスケジュール】 他の教室との交流や講師を招いての体験交流会等を行い、集団生活に慣れ、コミュニケーション能力向上を図るための支援を行い、入級児童生徒が教育支援センター又は在籍校へ登校できた割合（出席すべき日数に対する登校日数）について、65%以上を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 令和7年度の実績を参考に設定。 【出席日数/出席すべき日数】 ※令和7年度は入級生4名のうち3名が高校受験を控えた中学3年生ということもあり出席率が高い傾向にある。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
					R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
2	③	児童生徒等相談事業	H24 ～ R13	臨床心理士、青少年教育相談指導員を配置し、相談等支援をとおして、不登校等の課題の改善に取り組む。	○臨床心理士等5名の配置 ○臨床心理士等による児童生徒の支援数180名 (支援数はR6年度実績)	学校生活への適応や状況改善に向けて姿が見られた割合前年度実績以上	【今後のスケジュール】 支援対象者は、長期的な心のケア等が必要である場合が多いため、今後も継続した支援体制を整える。	【R8成果目標設定の考え方】 不登校等課題を抱える児童生徒や保護者の支援として、効果があったと考えられる値として設定した。	
2	④	非行防止等巡回活動事業	H24 ～ R13	街頭指導員を配置し、夜間街頭指導等を実施し、青少年の健全育成に寄与するため関係機関や地域と連携しながら青少年の問題行動の未然防止、早期発見に取り組む。	○街頭指導員16名の配置 ○週3回、21時～23時頃、市内の公園を中心とした夜間街頭指導の実施 ○年1回研修の実施 ○特別街頭指導(中学卒業式)	19歳以下の青少年の深夜徘徊補導割合2.5%	深夜はいかいは非行の入口と言われるほど、不良行為との関わりが高いと言われている中、本県は気候や産業の形態から夜型社会と言われ、その影響は青少年にも及んでいると考えられる。 そのため、今後も街頭指導員を配置し、青少年の非行の未然防止や早期発見・抑止効果を目的に、夜間街頭指導を実施し、関係機関と連携し青少年の健全育成に取り組む。	【R8成果目標設定の考え方】 令和6年の宜野湾市内の19歳以下の青少年の深夜徘徊補導割合 2.54%	
2	⑤	学習支援員活用事業	H24 ～ R13	児童生徒の学習状況や定着状況に応じて学習支援をすることにより、児童が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かくサポートする学習支援員を配置し、個々の学力に応じた学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	小、中学校において児童生徒の学習状況や定着状況に応じて個に応じた学習指導を行うことで、基礎的・基本的な知識技能の習得を図り、学習意欲を高め、学力の向上を図る。	①沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・小学校 算数：+2.0ポイント以上 ・中学校 数学：-6ポイント以上 ②県学力調査（4月、12月実施）の正答率30%未満の児童生徒の割合（県平均差）を県学力調査 正答率30%未満の子の割合について、小中学校ともに県平均との差を-1ポイント減少（4月と12月比較）	【今後のスケジュール】 今後も、小、中学校において学力の定着に遅れがちな児童生徒に対して、個に応じた学習指導を行うことで、基礎的・基本的な知識技能の習得を図り、学習意欲を高め、学力の向上を図る。 支援を継続することにより、沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差を ・算数：+2.0ポイント以上、 ・数学：-6ポイント以上、 正答率30%未満の児童生徒の割合について、県平均との差を-1ポイントを維持することを着地点とする。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	⑥	派遣費補助金交付事業	H24 ～ R13	児童生徒が部活動等で県外の大会へ派遣される際の航空運賃に対し、補助金を交付する。	県外へ派遣される団体もしくは個人への支援を実施。 支援団体数：33件 (スポーツ活動団体：20団体、文化活動団体：4団体、個人：9人)	対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果、「補助を受けたことにより、県外の大会への参加が容易になった」：80%以上	保護者へのアンケート結果を勘案しながら、補助の対象範囲や補助額等を検討しつつ、事業を継続的に行っている。	【R8成果目標の考え方】 アンケート結果「県外の大会への参加が容易になった」80%は、大多数の児童生徒へ効果があったと考えられる値として設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業番号 バ 細	事業名	計画 期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
2	⑦				スポーツ少年団派遣費補助事業	H25 ～ R13			
2	⑧	特別支援教育支援員派遣事業	H28 ～ R13	宜野湾市立の幼小中学校における特別な配慮を要する幼児・児童・生徒の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員派遣 （幼稚園：6人、小学校：47人、中学校：14人）	・学校、保護者の満足度：85%以上 ・児童生徒の良い変容率：80%以上	今後も宜野湾市立の幼小中学校における特別な配慮を要する幼児・児童・生徒の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図るための支援を行う。	【R8成果目標設定の考え方】 昨年度の実績を勘案して設定した。	
3		歴史公文書等整理・活用事業	H24 ～ R13	市立博物館が所蔵する写真資料の整理を行い、写真データおよび歴史的公文書の公開を行う。	・写真資料の情報入力。 ・情報を入力した写真データの順次公開。 ・公開基準に基づいた公文書の順次公開。	・市の歴史や文化への理解が深まった方の割合：80%	【今後のスケジュール】 公文書と写真資料の整理（調査及び情報入力）を行い、これまでに整理を行った歴史公文書と並行して、順次公開をすすめ、アンケートにおいて本市の歴史や文化への理解が深まった方の割合が80%を越えることを目指す。	本事業のあり方については、アンケートにより検証する。	
4	①	平和市民啓発事業	H24 ～ R13	戦争の悲惨さ、平和の大切さ及び命の尊さを次代へ継承する人材を育成するとともに、市民啓発により平和を希求する心を発信する。	【平和大使育成事業】 県内研修及び県外研修に派遣する人数 ・市内中学生：8名、青年層：1名 ・フォローアップ研修：1回 【平和祈念事業】 啓発イベント回数：5回実施	本事業に参加した生徒や市民にアンケートを実施し （1）「平和に対する理解が深まった。」 （2）「この事業で学んだことを誰かに伝えたいと思う。」と回答する割合：80%以上	【R13成果目標】 平和大使として育成する人数 108人 【今後のスケジュール】 戦争の悲惨さや命の尊さについて理解が深まり、平和の心を波及していく機会となったかアンケートにより検証する。	【R8目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業番号 ハ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
					R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
4	②	英語教育推進事業	R4 ～ R13	小中一貫した英語教育を行い、児童生徒に、国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、ALTを小学校へ2名、中学校へ1名ずつ派遣する。	小学校においては1年生から英語教育を継続して実施することで言語や文化について体験的に理解を深め、積極的に英語によるコミュニケーションを奨励する態度の育成を目指し、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、英語によるコミュニケーション能力の素地を養うとともに、学習に対する意欲を高め、学力の向上を図る。 また、中学校においても、小中一貫した英語教育を行うことで、効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との英語による実践的コミュニケーション能力の基礎を育むとともに、学習に対する意欲を高め学力の向上を図る。	①ALT配置等による「英語が好き」な児童（小学校5・6年生）の割合85%以上（形成テストより） 生徒（中学3年生）の割合60%（全国版生徒質問紙より） ②児童英検の正答率（小学5年生）90点以上 ③児童英検の正答率（小学6年生）85点以上	【今後のスケジュール】 今後も英語によるコミュニケーション能力の素地を養うとともに、学習に対する意欲を高め学力の向上を図る。 支援を継続することにより、 ①「英語が好き」な児童の割合を85%以上、生徒の割合を60%以上、 ②児童英検（小5）の正答率：90点以上、 ③児童英検（小6）の正答率：85点以上、 ④中学校英語検定受験率（複数受験含む）60%以上を維持できることを着地点とする。	【R8 成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	③	学校ICT活用指導支援事業	H24 ～ R13	児童生徒の情報活用能力を育成するため、学校ICT業務担当員3名を配置し、ICTを活用する授業の支援、教職員向けの校内研修の実施、ICT機器の障害対応を行う。	学校ICT業務担当員：3名配置 各種研修会：13回	① 教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる割合：80%以上 ② 児童生徒にアンケート調査を実施し、ICT機器活用により、授業が分かりやすかったと答えた割合：80%以上	【今後のスケジュール】 教師用アンケート「授業にICTを活用して指導できる」割合について80%以上を目指し、積極的にICT機器を活用した授業の展開を促進させる。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が理解・習熟していると考えられる値として設定した。	
4	④	中学生短期海外留学派遣事業	H31 ～ R13	本市教育目標「創造性・国際性に富む人材の育成」に向けて、市在住の中学生に海外での短期海外留学の機会を与え、生活体験を通じた異文化理解と英語による実践的コミュニケーション能力の向上をめざし、国際性と国際的視野の育成に資する。	本市在住中学生10名を、アメリカ合衆国に短期海外留学生として約2週間（14日間）派遣し、ホームステイを基本として、語学研修や各種アクティビティを体験しながら、英語による実践的コミュニケーション能力の向上と国際的な視野を育成する。	短期海外留学派遣生徒に対する本事業へのアンケート調査による満足度を90%以上	【今後のスケジュール】 令和4～6年度は、国内の語学研修を実施した。令和7年度以降は海外での留学の機会を与え、生活体験を通じた異文化理解と英語による実践的コミュニケーション能力の向上を目指す。本事業に対するアンケート調査への満足度を90%以上を維持することを着地点とする。	【R8 成果目標設定の考え方】 昨年度の実績を勘案して設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
5	市民防災事業				H27 ～ R13	沖縄県は、島しょ県であるとともに、台風等の自然災害を被りやすい地域であるため、平常時から災害に対する備えを万全にする必要がある。本事業では、宜野湾市地域防災計画及び宜野湾市備蓄計画に基づき、食糧、保存水、生活必需品等の備蓄を行う。			
6	大山地区事業推進検討調査事業	R7 ～ R9	今後返還予定の普天間飛行場跡地を含めた周辺の広域道路と連携を推進し、西海岸地区としてのポテンシャルに対応した農地と市街地が共存した良好な市街地形成を図るため、大山地区における土地区画整理事業の事業化へ向けた検討調査を行う。	都市計画素案の作成、墓地の取扱い、地質調査、地区界測量、基本設計業務、無電柱化に関する検討業務、交通量調査、不動産鑑定、交差点解析、不動産鑑定、事業計画書作成、実施計画作成、換地検討（大街区の換地割込み）を行う。	都市計画素案の作成、墓地の取扱い、地質調査、地区界測量、基本設計業務、無電柱化に関する検討業務、交通量調査、不動産鑑定、交差点解析、不動産鑑定、事業計画書作成、実施計画作成、換地検討（大街区の換地割込み）が調査報告書として作成されている。	<p>【後年度の成果目標】</p> <p>土地区画整理事業の事業認可後、換地設計等の事業内容に対する市民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上</p> <p>【今後のスケジュール】</p> <p>R8：都市計画図書の作成、事業計画案の作成 R9：都市計画決定、事業認可</p>	【成果目標設定の考え方】 事業認可後の段階では、良好な市街地形成を図ることはできないため、検討調査段階の成果として、土地区画整理事業の換地設計等の内容に対する市民や地権者等の肯定的な評価が80%以上得られていることを成果目標とする。		

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
7	地域キャリア教育支援事業				H30 ～ R13	地域の企業、学校、保護者等が連携した連携協議会を開催、子どもたちが抱える課題の共有、解決策の検討をし、市内小中学校でキャリア教育プログラムを実施することで、児童生徒の就業意識の向上を図る。 また、市内の県立高校3校の生徒を対象に意識調査を実施し、その結果を基に本事業の評価・検証を行い、今後の事業発展に繋げる。			
8	広域火葬場整備負担金事業	R8 ～ R10	高齢化社会に伴う火葬需要に対応するため、沖縄市及び宜野湾市、北谷町、北中城村を構成市町村とし、火葬待機期間の短縮や住民負担の軽減など、広域的な火葬需要に迅速かつ効率的に対応できる新たな火葬場を整備する。	敷地造成工事に着手・完了し、擁壁工事及び杭工事（令和9年度中に完了）に着手する。	敷地造成工事に着手・完了し、擁壁工事及び杭工事（令和9年度中に完了）に着手する。	【施設整備】 施設整備事業として、令和8年度～10年度の3年間の工程を計画。令和10年度中の供用開始に向け、造成工事、擁壁工事、本体工事、外構工事の工程を計画的に実施し施設整備を完了する。 【整備完了後】 施設の供用開始に伴い、火葬受け入れを開始する。	【施設整備】 施設整備事業として、令和8年度～10年度の3年間の工程を計画。各年度の工程の進捗が後年度に影響するため、各年度に計画している工程を遅滞なく実施することを目指す。 【整備完了後】 死亡者推計等から施設利用の見込割合をもとに成果目標値を設定した。		

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
1	①				観光地受入基盤強化事業	H24 ～ R13			
1	②	スポーツ！ウェルカム！石垣島！事業	H24 ～ R13	各種スポーツ合宿が開催されることによって島外から競技関係者及び観客等の誘客を図るため、プロスポーツ等の誘致及び受入環境の整備を行う。	・スポーツ合宿の誘致活動 プロ野球チーム等への営業活動 ・スポーツ合宿受入環境の整備 プロ野球キャンプ開催に係る案内、広報、警備	・プロスポーツキャンプ及びスポーツクラブのキャンプ実施団体数 20団体以上 ・プロ野球キャンプ期間中を通してキャンプ会場に会場した観客数 10,000人以上	運動施設の有効利用、スポーツツーリズムの情報提供や受入が継続できるよう来場者と利用者に安全で快適な場を提供する。	R8目標設定について 過去実績を勘案して算出した。	
2	①	石垣市中央運動公園リニューアル事業	H27 ～ R8	スポーツを通じた観光誘客を含め、中央運動公園の利活用促進を図るため、駐車場、園路、広場等の再整備を行う。	・石垣市中央運動公園スケボーパークの整備	・石垣市中央運動公園スケボーパークの整備	【R14成果目標】 リニューアル整備後の施設を活用した団体等が主催するスポーツ大会等の開催数6回以上／年間 【今後のスケジュール】 公園全体の再整備に向けた基礎資料を整理（基本設計等）し、各施設の再整備を行っていく。	【R14成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	①	離島保育士確保総合対策事業	H28 ～ R13	待機児童ゼロの維持に必要な保育士の確保を図るため、島外からの保育士誘致や島内在住者の保育士資格取得支援等を行う。	・島外保育士の渡航費、転居費等の支援 ・保育士養成校への支援	・待機児童数：0名	【今後のスケジュール】 待機児童ゼロの維持に必要な保育士を確保する。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	②	ひとり親家庭生活支援事業	H30 ～ R13	ひとり親世帯の生活状況の改善を図るため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親世帯に対し、各家庭の状況に応じた支援を組み合わせ実施する。	①住宅支援 ②技術力向上支援	年度末にアンケートを実施し、生活状況の改善につながった世帯が3世帯以上となることを目標とする。	これまで支援開始1年度の自立した世帯の割合ではなく、アンケートを実施することで、定量化を図ることが出来る。	過年度の生活支援世帯の自立率を参考に設定。 年度末にアンケートを実施し、家計簿管理、付帯事業である技術力向上支援事業でのスキルアップなどで生活状況の改善につながったかを確認する。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業番号 ハ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								3	③
4	①	“石垣産の牛”生産推進事業	H24 ～ R13	肉用牛の生産拡大を図るため、素牛及び肥育牛の増産及び売上増加に向けた支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・優良繁殖雌牛の導入費の補助を行い、島内母牛郡の改良を図り、市場性の高い子牛生産を推進する。 ・子牛期間に要する濃厚資料の購入費の補助を行い、食用に供される島内産肥育牛の確保及び肥育一貫経営農家の経営安定化並びに生産体制の拡充及び強化を図る。 ・肉用牛生産に係る害虫駆除用の薬剤購入費の補助を行い、飼育環境の向上及び家畜疾病等を予防し、肉用牛の生産性の向上を図る。 ・ゲノミック育種評価に係る検査及びET技術活用に係る費用の補助を行い、島内繁殖雌牛の育種改良の促進を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①素牛の年間出荷頭数：6,060頭以上 ②素牛の平均販売額：490千円/頭以上 ③肥育牛の年間出荷頭数：850頭以上 ④肥育牛の年間売上高：1,118百万円以上 ⑤伝染病等にかかった頭数：0頭を維持 	石垣産の牛の供給量の増加及び価値向上に向けた施策を継続して行う。	〔R8成果目標設定の考え方〕 過去の実績及び現状を踏まえ設定した。	
4	②	水産振興事業	H24 ～ R13	<p>養殖業の生産量の増加を促進するため、養殖用の種苗を沖縄本島の本部にある栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。</p> <p>また、鮪漁等の水揚げ量の維持を図るため、漁船用冷凍鮪を沖縄本島から石垣島まで輸送する費用の補助を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・養殖用種苗の輸送費支援 ・冷凍鮪の輸送費支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・養殖魚類出荷量：6,200尾以上 ・鮪漁等の水揚げ量：590トン 	【今後のスケジュール】 ・養殖業者の種苗要望数や、栽培漁業センターの種苗数を把握し、養殖漁業の生産量増加を支援していく。 ・冷凍鮪の需要供給バランスを勘案するよう漁協と調整し、漁獲量維持を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・種苗購入数と出荷サイズに成長するまでの標準的な生存率を勘案して設定した。 ・過去の実績（平均）を勘定して設定した。 	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	R8事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
5	①	平和推進事業	H24 ～ R13	平和の大切さを児童生徒を含め市民が理解を深めるため、平和について学ぶ機会をつくる。	・児童生徒を対象とした「平和を考える作文」「平和を考える絵画」コンクールの実施 ・平和大使として広島・長崎への派遣学習 ・慰霊祭、平和フォーラム等の開催	・コンクールや催事に参加した児童生徒を対象にアンケートを行い、平和に対する理解が深まったか（80%以上）を含め、本事業の在り方について検証する ・作文・絵画コンクールへの応募者並びに慰霊祭、平和フォーラム等への参加者数 延べ740人以上	【今後のスケジュール】 市民が平和について学ぶ機会をつくる。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が平和に対する理解が深まったと考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 参加者数については、過去の実績を勘案して設定した。
5	②	石垣市発達支援システム事業	H28 ～ R13	発達の気になる子を早期に発見し、早期の支援につなげるため、乳幼児期から就労までライフステージに応じて、心理専門職による発達相談等を実施する。	心理専門職による発達に係る各種相談の実施	（乳幼児発達領域） ・乳幼児健診（1歳6カ月児・3歳児）等において、発達要フォロー児と判断された児について、1年以内に保護者が個別相談等の支援を受けた割合が35%以上。 （学校教育領域） ・心理専門職等への相談により、育児・発達等に対する不安が軽減されたか（80%以上）を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証。	発達の気になる子の早期発見・早期支援に向け、より多くの保護者等が発達相談を受けられるシステムを構築、及び、発達が気になる乳幼児・児童・生徒の発達支援システムを構築。	
5	③	児童生徒の自律支援事業	H24 ～ R13	自己肯定感の向上や自律的学習習慣の定着を図るため、子ども自律サポーターを配置する。	・子ども自律サポーターの配置：24名	・自分にはよいところがあると思う（自己肯定感）との回答割合：児童36%以上、生徒30%以上 ・課題の解決に向けて自ら考え、自ら取り組んでいるとの回答割合：児童30%以上、生徒30%以上 ・家庭で計画を立てて勉強しているとの回答割合：児童35%以上、生徒20%以上	【今後のスケジュール】 きめ細やかな自律を促進する支援により、自己肯定感の向上及び自律的学習習慣の定着を図る取組を継続して行う。	【R8成果目標設定の考え方】 児童生徒の自己肯定感の高まりや自律的学習習慣の定着が進んでいると考えられる数値として設定した。
5	④	外国語・日本語学習支援事業	H24 ～ R13	英語に対する興味・関心の向上を図るため、外国語学習支援員を派遣する。 また、日本語指導が必要な児童生徒が心身ともに安定し充実した学校生活が送れるよう、日本語学習支援員を配置し、日本語の学習支援や別室支援等を行う。	・外国語学習支援員の配置：5名 ・日本語学習支援員の配置：1名	・英語への興味・関心が向上したと回答した児童生徒の割合（80%以上） ・対象児童生徒が日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等の困難が改善されたことにより、児童生徒間の対話交流が深まり、学級や学年において国際理解に対する意識が高まった割合（80%以上） 上記2点を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 英語に対する興味・関心の向上を図る取組を継続して行う。また、帰国・外国人児童生徒等への日本語学習支援の取組を継続して行う。	【R8成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が英語への興味・関心が高まったと考えられる値、日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等の困難が改善されたことで児童生徒間の対話交流が深まり、国際理解が深められたと考えられる数値として設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
5	⑤	情報教育充実事業	H24 ～ R13	ICT機器を使用し、分かりやすい授業を実施するため、学校ICT支援員を配置し、ICT活用推進を支援するとともに、デジタル教材の整備等を行う。	・学校ICT支援員の配置：2名 ・教職員研修会の実施（定期研修会8回/年）	・ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか（80%以上）を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証	【今後のスケジュール】 ICT利活用に関する研修会等を実施し、教員の指導力向上と教科におけるICT活用の定着を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数にとってICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	⑥	専門人材育成事業	H28 ～ R13	島内から多くの教員採用試験合格者を輩出し、教育を担う人材の育成を図るため、教員採用試験対策講座を実施する。	・一般、教職教養、専門教科試験対策講座等の開催	・小学校での教員採用試験合格者数：6人以上 ・中学校での教員採用試験合格者数：4人以上 ・受講することで有効な試験対策ができたか（80%以上）を含め、受講者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 教員採用試験対策講座を継続して実施する。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 対象者のうち大多数にとって有効な試験対策ができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	⑦	姉妹都市カウアイ郡中学生派遣事業	H27 ～ R13	国際交流を通して児童生徒の視野を広げるため、姉妹都市ハワイ州カウアイ郡へ市内の中学生を派遣する。	・中学生のカウアイ郡派遣3名の実施	・国際交流を通して生徒の国際的な視野が広がったか（80%以上）を含め、派遣した生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・市内の生徒が、本事業による派遣・交流の報告書を見て英語や外国に以前より興味を持ったか（70%以上）を含め、市内の生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒の視野を広げるための姉妹都市米・カウアイ郡への派遣を継続して行う。	【R8成果目標設定の考え方】 派遣した生徒の半数以上が、国際的視野が広がり報告誌を読んだ生徒の大多数が以前より外国語に興味を持ったと考えられる値として「70%」と設定した。また、アンケートにより、本事業の在り方を検証する。
5	⑧	石垣市小学生・中学生教育交流事業	H28 ～ R8	異文化に触れることで本市の児童生徒の視野を広げるため、本市の姉妹都市である台湾蘇澳鎮の小中学生と相互教育交流を行う。	台湾蘇澳鎮の小中学生と相互教育交流を実施。	異文化に触れることで交流した児童生徒の視野が広がったか（80%以上）を含め、派遣した児童生徒並びに保護者へのアンケートにより本事業の在り方を検証。	児童生徒のグローバルな視野を広げるために教育交流を継続して行う。	対象者の内、大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートに基づき検証を行う。
5	⑨	不登校対策等支援員配置事業	H30 ～ R13	児童生徒の不登校未然防止及び不登校児童生徒の復学を図るため、市内の小・中学校にスクールライフサポーターを配置し、児童生徒の学校生活支援や不登校児童生徒の復学支援を行う。	・スクールライフサポーターの配置：11名 ・学校生活支援、復学支援の実施。	スクールライフサポーターが支援した児童生徒の状況に改善がみられた割合、前年度実績（19%）以上	小中学校連携した不登校児童生徒の支援を行うため、年次的に増員し、検証し市内全ての小中学校へスクールライフサポーターを配置する。	過去の実績を勘案して設定。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業番号 ハ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								5	⑩
5	⑪	石垣市省エネ推進事業	R5 ～ R8	低炭素島しょ社会の構築、環境負荷の軽減のため、公共施設におけるLED照明への切り替えを行い省エネ化推進の取組を実施する。	・LED取替工事の実施	・いこいの広場 LED取替工事完了	【R9成果目標】 ・LED照明導入後の館内使用電気年間削減率 25.8% 【今後のスケジュール】 市内公共施設等の省エネ化を図る施策を継続して行う。	【R9成果目標設定の考え方】 既存設備および導入予定設備の消費電力量の差を勘案し、削減される使用電力量の推計値を設定した。 照明のLED化により期待される削減率については、水銀灯（126.56kg-CO2/年）からLED照明（17.41kg-CO2/年）に切替えた場合のCO2排出量を参考に設定。	
5	⑫	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業	H24 ～ R9	歴史の継承及び観光資源として活用して誘客を図ることを目的として、所蔵資料の修復、デジタル化を行い、活用すると共に研究に資する。	所蔵資料の修復及び修復済資料のデジタル化	資料の修復及びデジタル化22点	【R10成果目標】 令和9年度までに修復した資料を活用した企画展を開催し、観覧者数1,000人以上を目指す。 【今後のスケジュール】 所蔵資料のうち、状態の良いものやレファレンスなどの優先度が高いものから年次的に修復・デジタル化を推進し、資料の保存管理を図る。	【R10成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した	
5	⑬	郷土の伝統文化継承事業	R7 ～ R8	三線などの伝統楽器を通して、子供たちが郷土の歴史や文化に対する理解を深めること共に、伝統文化の普及および継承を図る。	・市内小中学校に三線等を整備する。 ・市内小中学校において、三線教室等を開催する。	三線などの伝統楽器や郷土芸能等を通して、子供たちが郷土の歴史や文化に対する理解を深めることができた生徒の割合：80%以上	-	-	
6	①	救急講習会普及強化支援事業	R7 ～ R13	観光客や市民が安心して過ごせる安心、安全な観光地を形成するため、専属の救急講習会普及強化支援員を配置し、観光客や市民の安全の確保を図る。	応急手当普及員配置数：2名	救急講習会受講者数1600名	R7年度～R13年度までの7年間を活動期間と想定し、7年間で7,500名の受講者数を目標とする。	直近（R4年度～R6年度）3年間の講習会受講者数が2,400名となっているため、7年間で3倍の数値を目標と定めた。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業 番号	事業名	計画 期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
大	細				R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
					6	②			
6	③	防災体制整備事業	H24 ～ R8	災害時における市民や観光客の安全確保のため、情報提供手段の強化や避難誘導、応急対応などの防災活動を円滑に実施できる体制を整備するとともに、避難者に必要な食糧品や生活必需品などの災害備蓄品を整備する。	災害備蓄品の整備	石垣市防災訓練において訓練参加者に対するアンケートの結果「備蓄の重要性を感じた」：「80%以上」と設定。	【今後のスケジュール】 引き続き、必要な備蓄食糧・保存水・生活必需品等を備蓄し、災害に強いまちづくりを推進する。	【R8成果目標設定の考え方】 宜野湾市地域防災計画に基づき設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								1	ひとり親家庭等放課後児童クラブ費支援事業
2	てだこ市民によるウラソイ風景づくり推進事業	R4 ～ R13	観光地としての魅力向上及び地域の文化継承を図るため、「沖縄らしい美しいまちなみ景観」の創出・保全・再生に向けた各種取組みを行う。	①風景づくり推進調査業務による計画策定((仮称)前田北地区) ②補助工事の完了 風景づくり推進のためのまちなみ景観を修景するための支援 ③地域景観資源を保全、活用、創造する自主的なまちづくり活動団体等への支援	①意見交換会開催(計2回) ②助成金申請6件(年間) (内 補助工事件数) 赤瓦葺き工事：6件 石積み・石張り工事：3件 生垣等の工事：6件 ③地域景観資源を保全、活用、創造する自主的なまちづくり活動団体等への支援 歴史ガイド参加者(300人/1年)	【今後のスケジュール】 ・地域における景観の向上に関する計画等の策定 ・地域における景観の向上を図るための景観修景のための支援 ・地域景観資源を活用したまちづくり活動の支援			
3	浦添観光振興事業	H29 ～ R13	本市へ観光客を誘客するため、観光情報発信を継続的に行うことに加え、プロ野球春季キャンプ時のPR及び無料シャトルバスの運行、市内周遊企画を実施する。これらの施策で域外からの誘客を行い、市内経済活性化を図る。	・浦添ポータルサイト記事作成 PR120件 ・プロ野球春季キャンプ誘客イベント2回 ・無料シャトルバスの運行	①浦添ポータルサイトPV数： 447,000件 ②プロ野球春季キャンプファン来場者数： 36,600人	【今後のスケジュール】 観光PR活動に加え、プロ野球春季キャンプ時のPRを継続的に図っていく。	【R8 成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。		

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考			
事業番号	事業名				計画期間	R8事業内容		R8活動目標（指標）	R8成果目標（指標）	今後の展開方針等	補足説明等
4	未来へ翔たく太陽っ子育成事業	H24 ～ R12	市内在住又は市立小中学校在籍の児童生徒がスポーツ・文化活動の全国大会等において、県外生徒との競争や交流機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、全国大会等に参加する児童生徒を対象として、大会開催地までの渡航に必要な経費の一部を支援する。	県外大会等派遣支援の実施	保護者に対するアンケートを実施し、「県外大会に参加することで新たな課題や気づきを得られた（視野が広がったと思う）」という保護者の割合が80%以上を成果目標とし、本事業の効果を検証する。	今後も継続的に派遣支援を実施し、競争や交流を通じて児童生徒の技術向上やより広い視野を持った人材育成を図るとともに、経済的負担の軽減を図る。	児童生徒が新たな課題や気づきを得られたか（視野が広がったか）検証するにあたっては、当該児童生徒の变化の状況を把握しているものと考え、保護者に対して児童生徒の気づきや課題を聞き取ることで本事業の効果を検証できることから指標として設定した。 数値は、児童生徒の大多数が新たな課題や気づきを得られたといえる数値として設定した。				
5	自然体験学習事業	H24 ～ R13	協働的な学びを通じて、よりよい人間関係を築く力を育むため、自然豊かな環境で、集団宿泊活動を実施する。	市立全小学校5年生を対象に、平素と異なる生活環境での集団宿泊活動や沖縄の豊かな自然の中で行う様々な体験活動（登山・野外炊さん・キャンプファイヤー等）を実施する。	自然体験教室を通して、児童のよりよい人間関係を築く力（協調性・協働的な態度）が向上したと評価する学校の割合90%以上。	自然体験学習事業を継続して実施する。アンケートを実施し、児童のよりよい人間関係を築く力（協調性・協働的な態度）が向上したと回答する学校の割合が「90%以上を維持する。	90%以上の児童の（協調性・協働的）向上。				
6	学力底上げ推進支援事業	H24 ～ R13	児童生徒の学力向上を図るため、各小中学校へ学校教育支援員及び日本語教育支援員を配置し、学習支援を行う。	学校教育支援員 ・小学校14名（各校1名～2名） ・中学校8名（各校1名～2名） 日本語教育支援員 ・3名	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差を以下のとおりとする。 ・小学校：算数+0.2ポイント以上 ・中学校：数学+0.2ポイント以上	【今後のスケジュール】 R8年度 学校教育支援員・日本語教育支援員の配置 ・学校教育支援員 学校教育支援員を継続配置し、沖縄県学力到達度調査において正答率が小中学校ともに県平均を上回ることを、正答率30%未満の児童生徒の浦添市と県の差を減少させ、学力の底上げを図り、学力の二極化の改善を図る。 ・日本語教育支援員 支援を必要とする児童が小学校を卒業し、中学校の生徒数が増加するため、より計画的な支援を継続していく。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。				

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
7	課題を抱える児童生徒支援事業				H26 ～ R13	課題を抱える不登校児童生徒へ支援を行うために、各種相談員、支援員を配置し、不登校未然防止及び学校復帰を図る。また、個々に応じた体験活動や学習活動、小集団活動等を通じて児童生徒の将来的な社会的自立を目指す。			
8	青少年巡回指導員事業	H26 ～ R14	青少年巡回指導員5名を配置し、青色回転車両にて青少年の問題行動が発生しやすい公園やたまり場等の巡回及び子ども達の安全な登下校を見守る。また学校からの依頼による児童生徒の登校支援等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 青少年巡回指導員5名 毎月第2木曜日は「朝のあいさつ運動」を実施。 基本、第3金曜日は「夜間街頭巡回」を実施。 	巡回指導員数の 前年度比 11.6%減 (喫煙等の非行・危険行為への指導)	巡回指導員を配置し、青少年の非行の未然防止や早期発見をすることで青少年健全育成を図る。また、あいさつ運動や巡回時に声かけ、見守りを行うことで児童生徒との関係性を築くことが非行の抑止に繋がるため継続的に取り組んでいく。	【令和8年度成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定。		

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業番号 バ 細	事業名	計画 期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
9	浦添市南米移住者子弟研修生受入事業				H25 ～ R13	戦前戦後を通して南米へ移住した浦添出身者やその子弟とのネットワークを強化するため、浦添出身の子弟を招聘し日本語研修、文化研修等を通して、本市及び本県と移住先国との友好親善・沖縄文化の振興・発展に貢献する人材を育成してきた。歴代の研修生達が帰国後にどのような活躍をしているか、また、各国市人会とのネットワーク強化のため現地で事業の効果検証を行う。			
10	中学生平和交流事業	H25 ～ R13	平和への願いを風化させることなく次代に引き継いでいくため、中学生を対象に平和研修を実施する。研修を修了した者は、「浦添市ピースメッセンジャー」として認定され、壁新聞展などを通して平和伝承の活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 事前研修（ビデオ学習、戦跡巡り等） 本研修（宮崎県研修2泊3日） 事後研修（研修報告、壁新聞作成） 日向中学生との交流会（受入） 浦添市戦没者追悼式 事業報告会 パネル展示 ピースメッセンジャー認定：10名 研修報告書の作成 	研修やピースメッセンジャーの活動を通じ、平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証。	浦添市の平和行政を推進し、市民の平和意識の高揚を図り、平和社会の構築につながる取り組みを引き続き実施する。	保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証。		
11	てだこの都市・浦添「あまくま歩っちゃん浪漫ウォーク」事業	H24 ～ R13	地域住民の健康意識の向上及び青少年の健全育成を図り、本市の歴史・文化・地域特性を活かしたウォーキングイベント「てだこウォーク」を活用し、本市をPRすることで地域活性・経済効果を盛り上げ、本市の観光客入域増に繋げる。	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄県内最大級のウォーキングイベント「てだこウォーク」にて本市をPRし観光誘客、地域活性を盛り上げる。 開催予定日：2月 本市の地域特性を活かしたルートをウォーキングする。 	市外からの参加者：3,150人 市内からの参加者：2,800人	引続き、てだこウォークを開催を活用して、経済効果・地域活性化を盛り上げ、本市の観光客入域増に繋げる。			

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
12	災害時備蓄食糧及び保管倉庫等整備事業				R1 ～ R8	災害時における住民及び観光客の安全確保を図るため、災害用消耗品等を配備する。			
13	認可外保育施設こどものみらい緊急応援プロジェクト	R5 ～ R9	認可外保育施設におけるこどもの安全を確保するため、給食業務の委託、賃借料および保育体制強化の運営支援補助を行い、保育の質の改善を図る。	(1) 給食業務の委託 3施設で実施する。 (2) ①賃借料補助 6施設で実施する。 ②保育体制強化運営支援 7施設で実施する。	1月当たりの「子どもを見る時間」や「保育従事者の質の向上を図る時間」について、60時間以上の増加	【今後のスケジュール】 子どもの安全を確保しつつ、各施設ごとでバラバラだった食材料費にかける費用を引上げ、衛生的な環境下で栄養管理された給食の提供により子どもの健やかな成長を支える。 また、本事業実施期間で、運営費圧迫の大きな原因である保護者の利用料や給食費について、段階的に引上げについての理解を求め、運営の安定化を目指す。また、業務のICT化など業務改善の取組も行う。	【R8成果目標設定の考え方】 本事業において、保育従事者の業務負担の軽減や賃借料、保育体制強化への運営支援を行うことにより、実際に増えた「子どもを見る時間」や「保育従事者の質の向上を図る時間」の分だけ、子どもの安全性が向上されるとの考えで設定した。アンケート等で検証する。		
14	ありんくりんクリーン事業	H24 ～ R13	がし時代の古城である「浦添城跡」や歴史の道「中頭方西海道及び普天満参詣道」、信仰の場である御獄や井泉、歴史上の人物の墓などを適切に保存し、貴重な文化遺産を後世に継承するとともに、観光資源として活用するため、これらの文化財の環境整備を行う。	・文化財の清掃：1箇所 ・文化財の除草等環境整備：11箇所	文化財が適切に保護されているか、観光地としての安全・快適な景観形成を図れたか（85%以上）など、見学者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	清掃や除草等の環境整備を行い、文化財を適切に保護しながら、観光地としての魅力向上を図る。	見学者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。		

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
15	悠々ロマン漆に出会うまち浦添推進事業				H24 ～ R11	市民への文化の継承と観光振興を図るため、琉球漆器の歴史や文化等を紹介する市美術館において常設展の充実や関連講座の実施、「宮城篤正展」「漆芸作家展」などの企画展、作品購入、修復のための調査を実施する。			
16	うらそえ特産品等振興事業	R6 ～ R13	市内事業者の商品開発機運醸成及び売上向上を図るため、新商品開発や既存商品のブラッシュアップ・イメージアップ及び販路拡大を支援する。	7セミナー参加：30事業者 ハンズオン支援：5事業者	セミナー参加者アンケートによる「商品開発の役に立った」旨の回答割合：80%以上 新商品開発件数：5件以上	【今後のスケジュール】 商品開発機運醸成及び売上向上を図る取り組みを継続して実施し、「ものづくり」の活性化、市内事業者の育成に繋げる。	支援対象事業者のうち、概ね肯定的であるといえる数値として設定した。		
17	結の街施設機能強化事業	R6 ～ R9	スタートアップ企業に対する支援の拡充及び、起業の機運醸成のため、浦添市産業振興センター・結の街の機能を強化する。併せて、老朽化が進む本施設の長寿命化を図る。	機能強化工事(1/2)の実施	機能強化工事(1/2)の完了	【R10】 年間支援対象者数：30者 【今後のスケジュール】 R10供用開始	現在の入居企業数を基に設定。		
18	牧港補給地区地権者合意形成促進事業	R6 ～ R13	牧港補給地区返還後の跡地利用の円滑な推進を図るため、地主会若手組織による勉強会等の支援また市民向けのイベント等を開催することにより、地主・市民と行政の連携を強化する。	跡地利用計画に関する勉強会支援、イベントの開催	跡地利用計画への理解度についてアンケート調査を行い、その結果より本事業の在り方を検証する。（肯定的な評価80%以上）	跡地利用計画に示された各分野の方向性について調査研究を行い、地主の考えるまちづくりガイドライン(案)を作成する。	跡地利用計画の周知と理解度を深めることを成果目標とする。		
19	道路環境美化事業	R7 ～ R13	観光地としての魅力を向上させるため、観光地周辺の道路及び観光地へのアクセス道路について、道路環境美化を推進し、観光地としてふさわしい景観を創出する。	浦添市道路環境美化整備詳細設計	浦添市道路環境美化整備詳細設計の完了	【R9成果目標】 観光地周辺の道路及び観光地へのアクセス道路としてふさわしい道路景観であると感じるか（80%以上）を含め、観光客や市民へのアンケート調査により本事業のあり方を検証する。	【R9成果目標設定の考え方】 対象者の大多数が「観光地としてふさわしい道路景観である」と考えている値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。		

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
20	太陽っ子短期留学派遣事業				R7 ～ R13	国際性豊かな人材を育成するため本市中学生を英語圏への短期留学に派遣する。			
21	災害時応急給水体制強化事業	R7 ～ R8	危機管理計画において位置づけられている重要拠点施設や断水地域の避難所への応急給水を円滑に行うため、災害時の給水基地となる配水池内に防災倉庫兼車庫を整備する。	防災倉庫兼車庫の新築工事及び監理業務の発注	防災倉庫兼車庫の完成	【R8 成果目標】 重要給水拠点施設への応急給水訓練や他事業体との合同訓練の実施。 防災倉庫兼車庫が整備されたのち、配水池場内の消火栓から給水車へ注水し、水を各給水コンテナへ給水する実務訓練も実施する。 市民に対するの周知。 【今後のスケジュール】 R7：給水タンク車の購入、防災倉庫兼車庫の実施設計業務 R8：防災倉庫兼車庫の工事	【R8 成果目標設定の考え方】 災害時の応急給水体制強化が目に見えて実感できるよう、災害を想定した訓練や市民への周知を目標とした。		
22	浦添市スポーツコンベンション推進事業	R7 ～ R8	次年度のスポーツ推進計画策定に向け、令和7年度の調査・分析結果や市民アンケートの結果を踏まえ、本市の地域資源を活用したスポーツコンベンション推進体制を構築する。	浦添市スポーツ推進計画の改定	浦添市スポーツ推進計画の改定完了	【R9成果目標】 改定するスポーツ推進計画において、スポーツイベント参加者数などスポーツ振興に係る目標値を設定し、当該数値を目標としたスポーツ施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R7 基礎調査実施 R8 スポーツ推進計画改定	【R9成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けたスポーツ推進施策を実施していくことを成果目標として設定した。		

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
23	地域資源復元推進事業				H24 ～ R8	沖縄の歴史的景観を再生し、沖縄らしい風景づくりを推進することにより、文化・観光の振興を図るとともに、沖縄の先人たちの英知が刻まれた文化財の保護・継承と整備・活用に努め、貴重な文化遺産の後世への継承に取り組むことにより、市民、県民、観光客の方々に、歴史と文化を日常的に感じることができるまちづくりを推進する。			
24	親子通園型発達教室事業	R7 ～ R13	乳幼児健診等の結果から、支援の必要性が高い発達気になる子と保護者の受け入れを行い、日常生活における基本動作の指導や集団生活への適応の訓練及び保護者に対する療育上の助言等を行うことで、保護者の育児不安の軽減を図る。	1クール4～5組を3ヶ月（12回）として、年12クール48～60組程度の支援を行う	対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減が図られたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。		アンケートにより子の特性を知り、保護者の子への関わり方を一緒に考える。		
25	地域経済牽引企業創出事業	R7 ～ R13	地域経済を牽引する企業の創出を目的として、成長を目指す市内事業者に対し、付加価値向上に係る集中的な支援を行うことにより、地域における雇用・取引の創出、域外資本の獲得、積極的な設備投資等を促し、地域経済の活性化を図る。	支援事業者数：6事業者	支援事業者の付加価値額（営業利益、人件費、減価償却費の合計額）の向上 支援開始直前期と比較した付加価値額の成長率の平均値：4%増（支援開始から5年以内で成長率20%増を成長目標とすることを想定。）	【今後のスケジュール】 市内事業者の事業拡大等の機運造成及び付加価値向上を図る取り組みを継続して実施し、地域経済の活性化、市内事業者の育成に繋げる。	他自治体の事例、沖縄経済の成長率等を踏まえ、概ね肯定的であるといえる数値として設定した。		
26	特別支援教育支援事業	R8 ～ R13	特別な支援を必要とする児童生徒が学校生活を安心安全に過ごせるように支援する特別支援教育ヘルパーを配置する。	特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活を安心安全に過ごせるように支援する特別支援教育ヘルパーを学校に配置する。	・ヘルパー配置が児童生徒の安全安心な学校生活に役立っているとの評価 9割 ・派遣先の教職員によるヘルパーへの満足度 7割		特別な支援を有する児童生徒に日頃から接している教職員から支援内容を判断してもらうことで、適切な支援につなげたい。		

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
27					新市民体育館環境整備事業	R8 ～ R8			
28		浦添市モビリティマネジメント事業	R8 ～ R13	市内小学校等と連携し、生徒や保護者を対象としたモビリティマネジメントを実施する。	市内小学校におけるMM授業の実施支援及び授業前後のアンケートによる意識転換の調査	MM実施前後で対象児童に対する意識調査を行い、公共交通の利用意向を20ポイント以上上昇させる。		<p>沖縄と全国の自家用車分担率の差が約20ポイントであるため、まずは沖縄を全国水準に引き上げることが根拠とする。</p> <p>（参考） 自家用車の分担率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県 66.1% ・全国平均 46.9% <p>沖縄振興開発金融公庫レポート(2025.6)</p>	
29		浦添市ひとり親家庭運転免許取得支援事業	R8 ～ R10	ひとり親家庭が運転免許を取得することで就職の機会、就労時間を確保し、生活の安定とその自立を支援するため、その運転免許取得に係る教習等を自動車学校へ委託する。	運転免許取得人数：6人	運転免許取得人数：6人		<p>運転免許取得に関するアンケートの結果と本市の財政状況を踏まえ6人とした。</p>	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	学習指導支援者配置事業	H24 ～ R13	市内小中学校に学習指導支援者を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	学習指導支援員19人の配置 ※学習支援の一環として、ICTを活用した授業準備等を支援に含む	沖縄県学力到達度調査における平均正答率（県と市との差） ①小学校 -3.0以内 ②中学校 -2.0以内	【今後のスケジュール】 引き続き学習指導支援者による児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を実施し、沖縄県学力到達度調査において、平均正答率が県平均以上となるよう取り組む。 (県平均正答率との差: 0ポイント以上)	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	②	生徒指導支援者配置事業	H24 ～ R13	生徒指導支援者を配置し、特別な支援を要する不登校及び不登校気味の児童生徒個々のニーズに対応した支援を行う。	市内小・中学校へ生徒指導支援者を配置: 9人	支援対象の不登校児童生徒の登校復帰人数の割合 5%	【今後のスケジュール】 引き続き各学校が生徒指導支援者を有効に活用し、不登校及び不登校気味の児童生徒へ個々の状況に応じた支援を効果的に行う。 また、名護市において不登校児童生徒の登校復帰人数の割合12.5%以上を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	③	小中学校英語支援員配置事業	H24 ～ R13	市内小中学校に英語支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	小中学校英語支援員11人を市立小・中学校にシフト配置	①学力調査（英語）の正答率 ・小学校6年生: 正答率74% ②沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 中学2年生英語: ±0ポイント	【今後のスケジュール】 引き続き英語支援員による児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を実施し、沖縄県学力到達度調査（英語）において、平均正答率が県平均以上となるよう取り組む。 (県平均正答率との差: 0ポイント以上)	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	④	中学生海外短期留学派遣事業	H24 ～ R13	小さな世界都市をめざす本市の中学生を英語圏に短期留学派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	派遣生徒選考人数: 12人 事前研修会の実施 短期留学の実施 帰国後の研修会及び報告会の実施	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合: 100%	【今後のスケジュール】 今後も中学生海外短期留学派遣を継続し、保護者へのアンケートで、「帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合: 100%」を毎年度の目標とし、国際的な視野を持つ人材を継続的に育成する。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	⑤	適応指導教室支援員配置事業	H24 ～ R13	適応指導教室へ支援員を配置し、心理的、情緒的要因による不登校児童生徒及び不登校気味の児童生徒に登校復帰のための指導・支援を行う。	適応指導教室へ支援員3人を配置する。	①適応指導教室に通級している児童生徒のうち、学校復帰できた児童生徒の割合41% ②適応指導教室に通級している児童生徒のうち、チャレンジ登校できた児童生徒の割合94%	【今後のスケジュール】 引き続き適応指導教室の活動を指導・支援し、適応指導教室に通級する児童生徒の社会適応能力の育成及び学校復帰に資するよう取り組む。 また、適応指導教室に通級している児童生徒において、学校復帰できた児童生徒の割合85%以上を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業番号 ハ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								1	⑥
1	⑦	特別支援教育支援者配置事業	R4 ～ R13	特別支援教育支援者を配置し、特別な支援を要する児童生徒個々のニーズに対応した支援を行う。	市内各小・中学校へ特別支援教育支援者を配置：35人	特別支援教育支援者配置事業に対する満足度について、配置先の学校長へアンケートを実施し、満足していると回答した割合90%	【今後のスケジュール】 小中学校における、特別な配慮を要する児童・生徒の支援を行い、円滑に学校生活を送れるように取り組む。 また、名護市における特別支援教育支援者配置事業に対する満足度のアンケートについて、大多数が満足していると考えられる割合100%を目指す。	【R8 成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	①	スポーツキャンプ支援事業	H24 ～ R9	スポーツキャンプ受入体制を整えることで、来場者数の増を図る。また、観光誘客を図るため、スポーツチーム本拠地での名護市PRイベント等を開催する。	①スポーツキャンプ来場者の誘導・安全確保 ②名護市PRイベントの開催 ③プロモーションの実施	市内スポーツキャンプ来場者数 24,186人以上	キャンプ時における、球場周辺の交通渋滞、事故等の防止に取り組み、来場者の安全や利便性を確保し、スポーツキャンプを通じた観光地としての魅力の発信及び観光誘客を図る。	【R8 成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	②	羽地地域交流拠点機能強化事業	R8 ～ R9	名護市羽地地域にある羽地地域直売加工施設「羽地の駅」の隣接地に、当該施設の来場者が周辺の自然環境の学習、体験及び交流ができる機能を新たに整備し、羽地の駅周辺の拠点性を高め、観光拠点としての機能強化及び地域活性化を図るため、基本計画を策定する。	羽地地域交流拠点機能強化基本計画策定	基本計画の策定完了	【R8成果目標】 基本計画の策定完了 【今後のスケジュール】 R9 基本設計 R10 実施設計 R11～13 整備工事 R14 供用開始	【R14成果目標設定の考え方】 対象施設の既存設定されている目標見込数までの前5年間の伸び率の平均値を用いて設定。	
2	③	名護市地域商業グロウアップ支援事業	R1 ～ R8	市内事業者の売上増加を図るため、商品開発並びに市内外への販路拡大及び出展支援を行う。セミナー等の開催を含む総合的な支援を行う。	・専門家によるセミナーの開催 ・物産展への出展支援 ・商品開発支援	①県内外への出展支援及びプロモーション活動：2回以上 ②商談成約件数：15件以上	【今後のスケジュール】 県内外の出展支援やプロモーション活動を行い、市内事業者の売上増加、市商品の認知度向上を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考			
事業番号	事業名				計画期間	R8事業内容		R8活動目標（指標）	R8成果目標（指標）	備考	
										今後の展開方針等	補足説明等
2	④	観光客誘致プロモーション事業	R5 ～ R8	本市観光産業の発展のため、観光人材育成セミナーや観光デジタルコンテンツを制作することで、観光客の受入体制強化に繋げる。	・観光人材の育成に向けたセミナーの開催 ・観光デジタルコンテンツの制作	・市内入込客数（市内観光施設入込客数+市内宿泊施設入込客数） →R7年実績値以上	本事業にて、観光産業の発展を図るため、観光人材の育成に向けたセミナーの開催、観光デジタルコンテンツを制作することで、引き続き、観光協会と市内事業者が連携し観光客の受け入れ体制を強化することで、市内入込客数の増加に繋げる。 ・市内入込客数（市内観光施設入込客数+市内宿泊施設入込客数）→R7年実績値以上	【R8成果目標設定の考え方】 R7年実績値以上を参考に設定した。			
3		環境再生・活用整備時用	H29 ～ R11	喜知留川の集中豪雨による浸水災害防止を図り、地域の自然を活かした教育の場・憩いの場として活用する河川に整備する。	・物件補償 ・橋梁整備工事（磁気探査、河川整備含む）	・物件補償交渉及び合意形成 ・橋梁整備工事（磁気探査、河川整備含む）の完了	【R12成果目標】 ①環境学習参加数116人 ②地域の自然を活かした憩いの場として活用できたか（80%以上）を含め、市民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R4～R11： 用地取得・物件補償・ 橋梁整備工事・河川整備工事 R12： 供用開始	【R12成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した			
4	①	優良繁殖雌牛導入事業	H27 ～ R8	農家の経営安定化に向けて、子牛の品質及び価格の向上を図るため、優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入導入支援：18頭以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合108%以上	本事業で導入した子牛のセリ販売価格とそれ以外の販売価格を比較することで、品質及び価格の向上の成果として評価する。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した			

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業番号 ハ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								5	①
5	②	ハブ対策事業	H27 ～ R13	観光客や地域住民のハブによる咬傷被害を防止するため、危険なハブ等を捕獲・駆除する。	ハブ捕獲器の平均稼働数 810器以上	捕獲器設置箇所周辺における咬傷被害件数 0件	【今後のスケジュール】 捕獲器の年間平均稼働数を高めるとともに、捕獲数の推移などを地域毎に検証し、罠の設置数を増減させる等、事業の効率化に努め成果目標の達成につなげていく。	【R8 成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
6		スポーツ力向上促進事業	H31 ～ R13	児童生徒のスポーツへの興味・関心を高めるため、トップアスリート等を招聘した市民参加型のスポーツ教室や講演会を開催する。また、指導者の指導力を向上させるため、指導者講習会を開催する。	スポーツ教室等の開催（4回）	①スポーツ教室・講演会への参加児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識がさらに高まったか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 ②講習会を受講した参加者（指導者）に対して、指導力が向上したと感じたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	①参加者へのアンケート調査（80%以上の良い評価）	本事業の在り方について、アンケート調査にて検証する。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
7					ICT機器活用推進事業	R8 ～ R8			
8		名護自然動植物公園機能強化事業	R4 ～ R9	名護自然動植物公園は、動植物と直接触れ合える自然共生型動植物園である。令和3年7月に沖縄島北部が世界自然遺産に登録され、世界的にも注目されていることや新型コロナウイルスからの復調後、観光客の取り込み拡大及び滞在時間の伸長による観光振興を図る。	土木工事、磁気探査、物品購入	土木工事、磁気探査、物品購入の完了	【R10成果目標】 年間利用客数281,000名 【今後のスケジュール】 R8：土木工事、磁気探査、物品購入 R9：放送設備工事	【R10成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
9		嘉陽上グスクを活用した地域資源発掘事業	R8 ～ R10	嘉陽上グスクの発掘調査の成果を周知するため、展示会等の実施及び報告書の作成等を行い、市内外へ発信する。	・発掘調査で得られた資料の整理及び調査研究 ・出土遺物（鉄器）科学分析 ・出土遺物（ガラス玉）調査及び原稿執筆	展示会等来場者数：480人	【今後のスケジュール】 展示会等を通して嘉陽上グスクの調査成果を発信し、報告書やリーフレットを作成し広く周知することで、文化財指定を目指す。	展示会等への参加者について、過去の同様の実績より算定する。	
10		名護市総合交通ターミナル事業計画策定事業	R5 ～ R8	名護市漁港周辺エリアのまちづくり及び賑わいの創出する取り組みとして、名護市総合交通ターミナルの整備とその周辺エリアの施設配置等を具体化し、対象エリアの魅力の向上を図る。	まちづくり推進協議会及び総合交通ターミナル検討部会の開催（各2回） ・施設管理・運営に係るサウンディング調査 ・関係者等との調整	管理運営、施設配置計画の策定、基本設計実施	【R9成果目標】 当該計画の中で、名護市総合交通ターミナル利用者数の目標値を設定し、当該目標値の実現に向けた施策展開を図る。	【R9成果目標設定の考え方】 本事業において策定する事業計画の中で総合交通ターミナル利用者数を目標値として設定するため、現時点で定量的な指標を設定することが困難であり、当該計画に基づいた目標値を基に公共交通に関する利便性向上に向けた施策を実施していくことを目標とする。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	バ 細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
				1	①	沖縄らしい風景づくり事業		
2	①	観光地危険生物駆除事業	H25 ～ R13	観光客や地域住民等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ捕獲・駆除を行う	・ハブ捕獲器の設置150基	市内における観光客の年間ハブ咬傷被害0件	【今後のスケジュール】 既存捕獲器の設置個所を再考や、ハブ出没の連絡がある地域住民から要望があった際の捕獲器貸し出しの継続をし、 観光客に対するハブ咬傷被害0件を目標として安心安全な観光を推進する。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	観光地公園環境美化強化事業	R4 ～ R13	観光地及びスポーツ観光の一層の充実を図るため、公園の環境美化清掃を行う。	西崎運動公園 山嶺公園 みどりの遊歩道	観光地としてふさわしい景観であるか（80%以上）を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		
2	③	プロスポーツキャンプ推進事業	R5 ～ R13	選手及び見学者等が安全・快適に過ごせるよう受入体制を構築する。	プロスポーツキャンプ受入体制構築	プロスポーツキャンプ見学・来場者 15,000人	今後も選手及び見学者等が安全・快適に過ごすためにも受入体制構築の費用として負担が生じる。	過去の実績を勘案して設定した。
2	④	糸満市産業まつり開催事業	R7 ～ R13	本市の産業振興に向けて、産業まつりを開催し、本市の事業所及び地場産品等の糸満市の産業を市内外にPRする。	産業まつりへの出店事業者数 37 事業所	来場者数40,000人	【今後のスケジュール】 各事業所の多様なサービスや商品をPRができるよう産業まつりへの総出店事業者数を伸ばして行く	本事業の目的である本市産業のPRを通じて、地元事業所および地場産品の促進をはかるため、より多くの来場者を確保し、効果的な啓発につなげることが重要であると考え、直近5年間で最大の来場者数が37,238人であることをふまえ、これを上回る40,000人を目標として設定した。
2	⑤	救命処置普及事業	R8 ～ R13	市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組み、市民の安全の確保を図る。	・応急手当指導員2名の配置 ・救命講習会の実施：84回（救命入門コース/40回、普通救命講習/40回、上級救命講習/4回） ・救命講習に関する普及啓発活動	①救命講習会受講者数 1,256人以上 ②救命講習会受講者へのアンケートで適切な応急手当が理解できたか（80%以上）を含め本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 住民から土日開催や少人数からの開催希望があったため、市民ニーズに応えられるよう開講日を調整する。	【R8成果目標設定の考え方】 令和6年度及び令和7年度の受講者を参考に1講習の最大人数と半分の人数を20回ずつ行うことを想定した人数。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
3	①				確かな学力を育むサポート事業	H24 ～ R13			
3	②	英語指導事業	H24 ～ R13	英語における実践的コミュニケーション能力と基礎学力の向上を図るため、小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導をサポートする英語指導助手を配置する。	英語指導助手7人を小中学校17校（大度分校含む。）へ配置。 年3回、英語指導助手連絡会を開催。	・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか（85%以上）を、英語担当教諭へのアンケートにより調査 ・中学生 県学力到達度調査の県平均との差 中学校英語：-1.3	【今後のスケジュール】 ・年3回、英語指導助手連絡会を開催し、お互いの指導方法や教材などについて情報交換を行い、授業の工夫改善を図る。 ・アンケートの結果から改善すべき点を検証し、解決を図る。	小学校 毎年上昇する数値という捉え方ではなく、全体としてどれほどの興味の高まりを達成したかを指標とした。 中学校 過去の実績を参考に設定した。	
3	③	適応指導教室設置事業	H25 ～ R13	心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援及び教育相談を実施する。	・適応指導教室に人員を配置し、授業支援・登校支援等を行う（主任担当者1人、補助担当者2人、教育相談員2人）。教育相談に必要な巡回用自動車2台借用。	復帰率：35%（適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率）	【今後のスケジュール】 ・適応指導教室へ人員配置（主任担当者、補助担当者、教育相談員）を継続し、心理的・情緒的要因による不登校児童生徒の登校復帰を引き続き支援していく。遠隔授業を取り入れを検討する。	過去の実績を参考に設定した。	
3	④	障害児学習環境づくり事業（小中学校）	H24 ～ R13	児童生徒の障害による学習上又は生活上の支援をするため、小中学校へ特別支援教育支援員を配置する。 また、学校・関係機関の多方面の支援、連携強化を図るため、教育委員会へ特別支援教育指導コーディネーターを配置する。	・市内小中学校へ特別支援教育支援員配置。 小中学校16校：特別支援教育支援員：29人（1校1人～4人） ・教育委員会へ特別支援教育指導コーディネーター2人を配置。	・支援員の対応について、特別支援教育担当教諭へアンケートを実施→満足度：85%以上	【今後のスケジュール】 ・特別支援教育指導コーディネーターによる現場視察や現場職員との情報交換を通して、特別支援教育支援員の適正な人員配置と効果的な支援体制の構築を図る。	特別な支援を必要とする児童生徒の障害の状況はさまざまであり、達成目標として他と比較する数値を設定することは馴染まないため、特別支援担当教諭が特別支援教育支援員の対応への満足度向上が図られたと考えられる値として設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								3	⑤
3	⑥	情報教育環境づくり事業	H25 ～ R13	子どもたちの情報活用能力の育成や情報教育の充実を図るため、情報教育支援員を派遣する。	情報教育支援員2名任用、小中学校へ派遣、授業支援、技術的支援実施。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか（90%以上）の割合を確認する ・学校職員 情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか（90%以上）を含め、教員へのアンケートにより本事業のあり方の検証	【今後のスケジュール】 ・引き続き、情報教育支援員を派遣する。 ・電子黒板、教師用デジタル教科書・タブレット等の教材が十分に活用できるよう支援する。 ・遠隔授業の実施、新たなICT教育導入を支援する。	過去の実績を参考に設定した。	
3	⑦	糸満市スポーツ・文化活動の県内外等派遣費補助金	R5 ～ R13	県外等へ派遣される小・中学生等に対して補助金を交付して経済的負担を軽減することで、派遣参加を促進し、優れた人材を育成する。	・県外及び離島への派遣に係る費用のうち航空運賃の1/2を補助する。	・派遣された児童生徒等に対してアンケートを実施し、派遣されたことで視野が広がったとする回答割合80%以上	【今後のスケジュール】 ・島外での競争及び交流の機会を得られるように、継続して派遣費の補助を行い、移動に係る経済的負担の軽減を図る。 【将来的な目標】 派遣された児童生徒等に対してアンケートを実施し、派遣されたことで視野が広がった回答割合80%以上を目指す	【R8成果目標設定の考え方】 ・派遣対象者の大多数が、視野が広がったであると考える値として設定した。	
3	⑧	学校演奏活動推進事業	R8 ～ R9	楽器演奏ができる環境を整備することで生徒の音楽学習意欲向上を図り、音楽活動を通じ地域行事へ参加することで、地域活性化を推進し社会性豊かな人材育成に繋げる。	楽器の購入1校	①生徒に満足度アンケートを実施し、音楽学習に対する意欲向上が図れた割合：（85%以上） ②地域イベント等発表参加回数：（2回以上）	【今後のスケジュール】 R9：楽器購入	【R8成果目標設定の考え方】 楽器整備により音楽への関心の高まりや地域活性化、地域への関心が向上したかを図れる数値として設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
4	①	運動公園・体育施設機能強化事業	H24 ～ R8	スポーツ観光の一層の充実のため、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化を図る。	・西崎運動公園芝生年間管理業務 ・陸上競技場施設機能強化	・合宿誘致件数15件 ・プロ野球や社会人野球キャンプの誘致。	【今後のスケジュール】 ・西崎陸上競技場、球場の芝管理の継続 ・運動公園の機能を強化することにより、プロや社会人キャンプの誘致と更なる利用団体の増加を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を参考に設定した。
4	②	公共施設予防改修事業（塩害防止）	R5 ～ R8	市の公共施設の塩害を防止し、長寿命化を図るため公共施設の外壁塗装を行う。	外壁塗装工事（中央図書館）の実施	・外壁の剥離件数：0件 ・外壁の亀裂等件数：0件	【R8成果目標】 施設管理者による点検実施による安全安心な教育環境を維持。	【R8成果目標設定の考え方】 公共施設の長寿命化を図り子どもの安全な学習環境を確保する。
5	①	母子生活支援事業	H29 ～ R13	ひとり親家庭の子ども心身の健全な発達等を支援するため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親家庭に対して、民間アパート等を借上げし、地域の中で自立した生活が送れるよう支援する。	・住宅支援5世帯 ・相談件数500件 ・各種講座（技術力・子育て等）の開催5回 ・子どもへの学習支援12か月	・支援終了者のうち自立につながった割合100% ・就労率100%	自立の意欲が高いひとり親家庭に対し、安定した住環境を提供するとともに、ニーズに即した一体的な取組みの展開により、きめ細かい支援を行う。	当該事業の実績に基づき設定した。
6	①	平和の語り部育成事業	R8 ～ R13	沖縄戦の実相・教訓を次世代継承及び平和な社会を創造する人材の育成のための研修を市内中高生等へ実施し、研修の成果発表の場を設け、学んだことや平和への思いを自ら伝え、平和の発信を行う。	沖縄戦の実相・教訓の次世代継承 平和に関する取り組み推進や市民への意識啓発を自ら伝え、平和の発信を行う。	本事業に参加した生徒や市民へのアンケートを実施し①「平和に対する理解が深まった」②「学んだことを誰かに伝えたいと思う」と回答する割合80%以上	【今後のスケジュール】 ・沖縄戦の実相・教訓や沖縄の歴史を学ぶ市民を増やす ・平和に関する取り組みへ関心を持つ市民を増やす	【R8成果目標設定の考え方】 他自治体で行っている同様の事業を参考とした。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業番号 バ 細	事業名	計画 期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8 ～ R8	R8事業内容				R8活動目標（指標）	R8成果目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
7	①	農業用機械整備事業	R8 ～ R8	沖縄県の基幹産業であるさとうきび生産が本市は県内でも上位の生産量がある。植替え期の深耕(天地返し)や休耕地の再利用を円滑に行うため、油圧ショベルを整備する。	糸満市が機械を導入して、沖縄県農業協同組合糸満支店へ貸し出し、植替え期に深耕（天地返し）作業や遊休地解消に活用する。	油圧ショベル2台の導入	【今後のスケジュール】 春夏植替え期の促進を促し、さとうきびの生産量の増加を図る。 【R9成果目標】 さとうきび単収増加 5,800 kg/10a	【R9成果目標設定の考え方】 令和6年度から令和2年度までの過去5年間の中で5,800kg/10aが最大単収であったことから、この数値を目標とした。 油圧ショベルの耕耘に関する効果について、さとうきびで株出栽培(同じ苗で次年度以降も栽培すること)を行うと欠株などにより年々単収が減少していくといわれている。油圧ショベルでの耕耘には植え始めで単収が高い状態にするという意味合いで行っている。	
8	①	南山城跡発掘調査環境整備推進事業	R7 ～ R10	琉球三山時代（14世紀～15世紀前半）の主要な城跡の一つ、南山城跡については小学校が現存し、文化財調査が停滞している。また、中学校敷地にも南山城跡の遺構がある可能性が高いことから、文化財調査を進め、国史跡として適切な保存と活用を図るために、小中学校施設を移転する用地を確保し造成整備を行う。	過年度の土地評価内容の鑑定業務の実施。併せて、既存敷地内に残存する工作物や農作物等における物件補償算定業務の実施。土地の造成及び畑地かんがい施設等移設に伴う設計業務の実施 対象筆数：15筆 ・活動指標：業務の発注～履行開始（4件）	過年度の土地評価内容の鑑定業務の実施。併せて、既存敷地内に残存する工作物や農作物等における物件補償算定業務の実施。土地の造成及び畑地かんがい施設等移設に伴う設計業務の実施 対象筆数：15筆 ・成果指標：業務の履行完了（4件）	【今後のスケジュール】 今年度の業務等にて地権者等との調整が出来次第、用地取得に向けて調整を進めていく。		
8	②	文化のチカラしまくとぅば普及推進事業	R8 ～ R12	日常的に使われなくなりつつある糸満地域の「しまくとぅば」を普及・継承し、次世代の担い手育成と地域アイデンティティの継続的形成を図るため、ワークショップにより子ども劇団を設立し、地域の歴史や文化を題材とした南山劇を上演して、子どもが文化を学び・体験・発信する取組を実施する。	ワークショップ開催回数（全6回）	参加児童数	【今後のスケジュール】 R8年度 ワークショップ R9年度 ワークショップ、演劇公演 R10～12年度 ワークショップ 【R9成果目標】 演劇公演の観覧者数 150人	【R8成果目標設定の考え方】 地域の小中学生が継続的に活動できる劇団規模を想定し、複数班での練習や子ども同士の学び合いが可能となる人数を目標とした。 【R9成果目標設定の考え方】 市民の関心度を定量的に評価できるため。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
					R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	新商品開発等支援事業	R4 ～ R13	市内の食品製造業者や飲食店、工芸作家等の事業者を対象に、新商品開発および販路開拓を総合的に支援するとともに、市産品の情報発信等を行う。	・参加事業者（30事業者） ・専門家による支援事業者数（10事業者）	・新商品開発、販路開拓数（10商品）	【今後のスケジュール】 令和14年には、新商品開発および販路開拓数100商品を目指す	【R8成果目標設定の考え方】 市内の物産製造事業者や飲食店、工芸作家の数を考慮すると、30事業者以上が参加することで、10商品程度の新商品開発は可能だと考える。	
1	②	音楽観光誘客事業	H24 ～ R13	市内の音楽イベント情報などを発信し、音楽イベントと体験型ワークショップを開催。それらを連携することで、観光客の誘客を図る。	・音楽情報の発信（10月～1月） ・音楽イベント等の開催（3回） ・体験型ワークショップの開催（9月～1月）	「おきなわ音楽月間」期間中における音楽イベントの集客数：34,947人	【今後のスケジュール】 来年度以降も、市内の音楽イベント情報の発信をするとともに、大型音楽イベント等や体験型ワークショップを企画し、それらを連携させて観光誘客を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績をもとに勘定した。	
1	③	国際交流事業	H24 ～ R13	多言語生活相談窓口を開設し、多国籍外国人住民や日本に一時滞在中の外国人観光客等が抱える生活上の困難の改善を図る。 語学講座や交流会、イベントを開催し、国際感覚をもつ人材の育成を図る。	・多言語生活相談 ・語学講座（英語・中国語・スペイン語） ・多言語交流会（ゆんたく会、英語・中国語・スペイン語・日本語を隔週） ・国際交流イベント	来所者数：4,100人	【今後のスケジュール】 施設の認知度も上がってきている状況を鑑みて成果目標は去年よりも増える見込みで設定。引き続き交流会やイベント等の開催により成果目標の達成につなげていく。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	④	エイサーのまち推進事業	H24 ～ R13	エイサーのPRや振興等を通して、エイサーの保存継承や観光客の誘客拡大を図る。	①エイサーを活用したPR活動 ・エイサーグッズ製作・配布 ②エイサーのまちPRバナー等設置 ③沖縄全島エイサーまつりの充実 ・シャトルバス運行 ・まつり会場の空間演出	①エイサー会館来場者数：25,400人 ②沖縄全島エイサーまつり来場者数：347,000人	【今後のスケジュール】 今後も地域の伝統芸能であるエイサーの保存継承を図るとともに、観光客誘客を図るため、エイサーのまち沖縄市及びエイサー会館等エイサーを活用したPR活動を行うとともに、沖縄全島エイサーまつりの充実に取り組む。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して算定した。	
1	⑤	観光宣伝事業	H25 ～ R13	内外での観光PR活動を実施することで、本市の認知度向上及び誘客拡大を促進するとともに、滞在型観光の推進を図る。	・ガイド養成講座（10回）、モニターツアー（50回）の実施 ・SNS等を活用した観光広報活動 ・観光ガイドブックの作製、配布 ・観光情報動画制作業務委託 ・観光客受入環境整備委託（観光バリアフリー）	・主要ホテル宿泊延べ人数：388,000人	【今後のスケジュール】 ・観光誘客の拡大を図るため、戦略的なPR活動を実施する。 ・高齢者や障がい者を含む誰でも本市の観光を楽しんでもらえるよう受入環境を整備し誘客促進を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 本市の観光振興基本計画に定める目標（R8年度に388,000人）と一致させるよう設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
1	⑥				文化芸術推進事業	H25 ～ R13			
1	⑦	音楽産業拠点施設機能強化事業	H30 ～ R8	音楽産業の振興を図るため、音楽ライブや伝統芸能に加え、県内外有名アーティストのコンサート等幅広いジャンルで活用される音楽産業拠点施設の設備の機能強化をはかる。	音響調整卓系設備の機能強化	音響調整卓系設備の機能強化完了	【今後のスケジュール】 施設の来場者数増加に向け、PR活動を行うとともに、音楽イベントを開催するなど、当該施設の魅力発信に取り組む。	音響調整卓系設備の機能強化により、R6来場者数の5%増を設定した。	
2	①	スポーツコンベンション推進事業	H25 ～ R13	プロスポーツチームの応援機運醸成による市民のチームに対する愛着を醸成し、ホームゲーム年間来場者数の増加を図る。	・プロスポーツ応援機運醸成の実施。	①ホームタウンプロスポーツチームのホームゲーム年間来場者数：279,348人	【今後のスケジュール】 市内をバナー等の装飾等でホームタウンプロスポーツチームの活動の機運醸成を図ることや、ホームゲーム等において来場者の増加を図るとともに、多くの来場者が市内へ回遊するような取り組みを行う。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績やイベント日数及び会場規模を勘案して設定した。	
2	②	モータースポーツ推進事業	H27 ～ R13	モータースポーツ振興イベントを開催し、モータースポーツ愛好家等の観光誘客を図るとともに、モータースポーツの聖地化に向けた取組を推進する。	モータースポーツイベントの実施1件	イベント来場者数 33,000	モータースポーツ振興イベントを開催し、モータースポーツ愛好家等の観光誘客を図る。 来場者を増やし、イベントの認知度を県内外へ広げていく。	モータースポーツ振興を図るため、継続的にイベントを実施する。出展企業を増やし、イベント満足度を高め、更なるモータースポーツ振興につなげていく。	
3	①	緑化景観推進事業	H30 ～ R13	沖縄市の玄関口である南インター前に季節の植物を配置することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・壁面緑化パネルに季節の花を入替える。（1回）	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に亜熱帯植物を配置し、沖縄らしい風景づくりを行い観光地としての魅力向上を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 市民や観光客などの来街者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
バ	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
3	②	リュウキュウマツ保全事業	R4 ～ R13	沖縄独自の景観を保全するため、在来種であるリュウキュウマツの幹に薬剤を注入し、松くい虫による枯死被害を防止する。	市内公園内のリュウキュウマツ269本に薬剤注入	薬剤を注入した269本のマツのうち、260本（97%）の枯死被害を防止	【今後のスケジュール】 薬剤の効果が約7年となっていることから、市内公園のリュウキュウマツ約1,200本を7年周期（毎年同額程度）で薬剤注入できるよう計画的に実施していく	【R8成果目標設定の考え方】 被害拡大を防止するために、薬剤注入マツの97%を枯死させない数値として設定した。
4	①	こども科学力等育成事業	H24 ～ R13	こどもたちが科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学イベントの実施や、学校における出前科学講座や科学クラブを開催する。	・出前科学あそび（16回） ・出前科学講座（138コマ） ・小学校科学クラブ支援（35コマ） ・特別プログラム（5コマ） ・先進科学プログラム（4回）	①参加児童生徒の科学への興味・関心が高まったか（参加児童生徒へのアンケートで、満足度97.5%以上）	【今後のスケジュール】 ①出前科学講座などの実施 ①先進科学を研究している関係機関と連携を図り、講座等での協力体制の定着を目指す。 ②最終年度（R12）の参加児童生徒へのアンケート：満足度97%以上	【R6成果目標設定の考え方】 ①過去の実績を勘案して設定した。
4	②	児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業	H24 ～ R13	児童生徒のわかる・意欲・学ぶを支援するため、学習支援員、外国語指導助手等を配置することにより、きめ細やかな指導の充実に取り組む。	①学力調査（中3） ②学習支援教室業務 ③学習支援員（32名） ④中学校ALTコーディネーター（1名） ⑤日本語指導員（3名） ⑥小学校ALT（10名） ⑦中学校ALT（5名）	①全国学力調査において、国と本市との平均正答率の差 小学校：国との差-1.0ポイント以内を目指す。 中学校：国との差-5.0ポイント以内を目指す。 ②全国学習状況調査における設問、「小学6年生「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え自ら取り組んでいましたか」、中学3年生「1、2年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え自ら取り組んでいましたか」における「取り組んでいた」とする回答の割合 目標：小中学生ともに全国平均以上	【今後のスケジュール】 ・引き続き支援員等を配置することにより、全国学力調査の正答率向上と学習意欲の向上に取り組んでいく。 ・令和8年度会計年度支援員配置率100%	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業番号 ハ 細	事業名	計画 期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
4	③				気になる子等の学びを支援する事業	H24 ～ R13			
4	④	青少年等支援事業	H25 ～ R13	青少年の健全育成を目的として、児童生徒や若者、その保護者等を対象とした相談業務、個々の状況に応じた各種支援活動、夜間巡回指導等の取組を実施する。	①教育相談指導員7人配置 ②若者相談窓口相談員2人配置 ③心理士1人配置 ④青少年指導員の夜間街頭指導 のべ1,595人 ⑤相談環境整備（2期）	①支援活動について、対象となる児童生徒の学校・関係機関へのアンケート（目標値：満足度 70%以上） ②若者相談窓口での相談対応実人数（目標値：前年度の1.3倍） ③相談環境整備（2期）の完了			
4	⑤	中学生海外ホームステイ派遣等事業	H25 ～ R13	国際的な広い視野を持った人材を育成するため、市内中学校の生徒を対象にオンライン国際交流・英語教育デジタル教材活用を支援し、異文化体験をとおして、国際理解教育を推進する。	・オンライン国際交流・英語教育デジタル教材活用を支援する。	①生徒アンケートの回答（オンライン国際交流・英語教育デジタル教材に取り組んだことで世界中の文化や生活について、もっと知りたいと思いましたか？（70%以上）） ②教員アンケートの回答（オンライン国際交流を目標に、日々の英語の授業に取り組むことは、生徒の主体的な学習の促進に効果的でしたか？（70%以上））	【今後のスケジュール】 ・オンライン国際交流・英語教育デジタル教材を市立中学校に導入し、より多くの生徒の国際交流体験の機会提供に取り組む。	【R8成果目標設定の考え方】 ・R4年度県内ホームステイ実施時のアンケートにおける結果を指標の参考とした。	
4	⑥	学校ICT活用支援事業	R4 ～ R13	児童生徒の情報活用能力の育成を図るため、ICT支援員を学校へ派遣し、授業等においてICT（校務用PC、教育用PC、電子黒板、デジタル教材など）が効果的に活用されるよう支援する。	ICT支援員 7人（内勤1名含む） ICT推進コーディネーター 2人 巡回支援校 24校	授業にICTを活用して指導できる割合：85%以上 ICT活用により、授業がわかりやすかったと答えた児童生徒の割合：85%以上	【今後のスケジュール】 GIGAスクール構想の推進や児童生徒の情報活用能力の育成のため、ICT機器を効果的に活用できるように、教職員を引き続き支援していく。	【R8成果目標設定の考え方】 文部科学省の「学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」を参考にした。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								4	⑦
5	①	就労等支援事業	H24 ～ R13	主に沖縄市在住の若年者や子育て世代等に対する就労相談や各種セミナー等を実施し、求職者の就職決定に繋げる。また、就労に有利な実践的・専門的なIT資格取得に係る費用の補助を実施し、デジタル技術に対応した人材の育成を図る。	・就労相談 2,000人/年 ・デジタル人材育成 100人/年	①就職決定者数：125名 ②職場体験/講座/合同企業説明会等への参加者へアンケートで、職業理解が深まったか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 求職者の就職決定に繋げるため、引き続き就労相談や職場体験等の支援を実施する。また、就労に有利な実践的・専門的なIT資格取得に係る費用の補助を実施し、デジタル技術に対応した人材の育成を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 ①就職決定者数は、過去の実績（令和4年度を除く直近3年間）の平均値および支援対象者を勘案して設定した。 令和3年度就職決定者数：240名 令和5年度就職決定者数：248名 令和6年度就職決定者数：220名 ②職場体験及び講座や合同企業説明会参加者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
5	②	産業集積推進事業	R2 ～ R9	産業集積の取り組みを推進することにより、企業立地や創業効果を促進するとともに、企業による取引や情報交流、連携などの企業間関係の好循環を創出し、質の高い雇用の創出や市民所得の向上を図る。	・スタートアップ型創業スクール実施回数：4回 ・創業相談件数（個別相談）：200回 ・支援先スタートアップの具内外ピッチイベント出場支援 10件 ・スタートアップ機運醸成イベント（中高生向け含む）：20回 ・投資家や金融機関と起業家の面談実施回数 20回 ・新規航路実証実験（1回以上/週） ・企業誘致基礎調査業務 重点地区2か所	①創業スクール卒業生：30名以上 ②創業者数：20名 ③スタートアップ企業誘致：5社 ④新規航路実証実験による年間取扱貨物量：20,000トン ⑤企業誘致基礎調査 重点地区2か所	【今後のスケジュール】 ・R7年度の成果を検証し事業内容の重点化及び合理化を図ることで成果目標の着実な達成を図る。 短期的な目標としては、令和9年度末時点において、誘致企業数50社、新規雇用者数500人とし、長期的な目標としては、令和12年度時点において、失業率及び市民所得を県平均を目指す。 ・航路の実証実験については、1航路につき概ね3年間を目途に実施し、順次航路拡充に取り組む。 ・企業誘致を推進するために、産業用地の確保に取り組む。	【R8成果目標設定の考え方】 ①②③スタートアップ起業家支援、育成に集中的に取り組むことを踏まえたうえで、過去の実績や、他自治体の実績を基に勘案して設定した。 ④R8年度の新規航路実証実験における年間取扱貨物量20,000トンの達成に向けて、段階的に貨物量を増やしていくことを考えて目標値を設定した。 ⑤中城湾港新港地区における定期航路実証実験の相乗効果を踏まえ、産業用地として活用見込みのある候補地を勘案して設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
6	①				地域防災対策事業	H24 ～ R13			
7	①	キャンプ瑞慶覧返還地区等跡地利用推進事業	R4 ～ R10	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を推進するため、跡地利用整備計画推進支援事業を行う。	跡地利用整備計画推進支援業務の実施	跡地利用整備計画推進支援業務の完了	【R6年度以降】 当該跡地利用計画素案に対する地権者や市民等の「肯定的な評価」80%以上	【R6年度以降成果目標設定の考え方】 地権者や市民等のうち、大多数が「肯定的な評価」をしていると考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方については、アンケート調査により検証する。	
8	①	東部海浜地区開発事業	H25 ～ R13	東部海浜地区の認知度向上を図り、同地区の利活用が円滑に行われることを目的として、市民や県民等に対して人工ビーチの有効活用を通して東部海浜地区開発事業のPRを行う。 また、当該地区の民間活用を早期に展開できるよう、企業等の動向を情報収集するとともに認知度向上および企業進出の機運醸成に向けた情報発信や動画制作を行う。	①人工ビーチ部分使用実施業務の実施 ②県外企業等ヒアリング3回 ③潮乃森プロモーション業務の実施 ④潮乃森官民連携可能性調査業務の実施	①来場者等へのアンケートによる認知度（50%以上） ②ヒアリング企業数 9件 ③潮乃森プロモーション業務報告書の作成 ④潮乃森官民連携可能性調査業務報告書の作成	【数値目標】 ・県外企業誘致件数に関しては、将来的には、各民間分譲予定地6件の企業誘致を目指す。 ・事業PRを行うことにより、事業認知度について過年度の平均以上を目指す。 【今後のスケジュール】 国や県の埋立完了時期を確認しながら、県内外企業等に公募条件整理に向けたヒアリング等を実施し、公募条件を整理していく。 国・県と連携し事業PRを実施していくことにより、事業認知度向上、東部海浜地区の積極的な利活用が行われる。 国・県の埋立事業の進捗に応じて、東部海浜開発地区の魅力向上に向けての調査・検討業務などを実施。	【R8 成果目標設定の考え方】 ・PR事業の効果が図られたと考えられる値として、7年間の事業認知度の平均値を考慮し設定した。 ・潮乃森プロモーション業務実施件数で設定。 ・潮乃森協働企業可能性調査業務実施件数で設定	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
バ	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
9	①	平和推進事業	H30 ～ R13	沖縄戦の体験や教訓を次世代へ継承し、多様な視点から平和について考えてもらうことを目的に、平和に関する取組みを行い、広く市内外へ平和を発信する。	①沖縄市民平和の日記念行事開催	アンケートにより、平和について考える機会となったと回答した人の割合（80%以上）	【今後のスケジュール】 今後も沖縄市民平和の日記念行事等、平和に関する啓発事業を開催し、平和について考える機会を創出する。	
10	①	沖縄こどもの国整備事業	H24 ～ R13	沖縄県で唯一の本格的な動物園や科学館等を有し、広域的な児童・青少年のための人材育成拠点施設である沖縄こどもの国の機能強化のため、施設整備基本計画に基づき施設の整備をおこない、観光誘客及び人材育成拠点の充実を図る。	既存獣舎の環境整備、環境演出照明整備工事及び監理業務等、来園者便益機能整備工事	既存獣舎の環境整備、環境演出照明整備工事及び監理業務等、来園者便益機能整備工事	【R8以降成果目標】 令和8年度：約80万人 令和9年度：約80万人 【今後のスケジュール】 施設整備基本計画に基づき施設の整備をおこなう。	【R8成果目標設定の考え方】 夜間開園を実施し、国内外からの観光誘客も想定し、施設整備マスタープランに基づく来園者数を目指す。
11	①	ゼロカーボン推進事業	R6 ～ R13	二酸化炭素排出量の削減を図るため、道路照明を環境負荷の少ないLED照明への切り替えを実施する。 また、脱炭素化への転換を促進するため、市民・事業者に対する啓蒙活動や情報発信等を行う。	①道路照明LED化整備工事 ②セミナー等開催（9回） ③情報発信	①道路照明LED化整備工事完了 ②セミナー等参加者数：580名	【今後のスケジュール】 （道路照明LED化） （R8）：100t-CO2削減	【R8成果目標設定の考え方】 （道路照明LED化） 水銀灯からLEDへ更新した場合の電気使用量差額から換算した。 （セミナー等） 10名×8回+50名×1回×10ブース=580名

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタ	H25 ～ R13	市独自の文化や特産品等、市の魅力を県外・国外に発信する「とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタ」の開催に負担金を交付する。	とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタの開催	とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタの来場者数：60,000人	【今後のスケジュール】 市独自の文化や特産品等、市の魅力を県外・国外に発信する「とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタ」を同時開催し、経済的かつ効果的な運営と集客を図る。	【R8成果目標の設定の考え方】 過去の実績を参考に設定。
1	②	豊見城市観光施設環境美化強化事業	R4 ～ R13	観光施設としての魅力的な景観形成を図るため、広場及び道路等の環境美化作業（清掃・剪定・植栽等）を行う。	豊見城市内の観光施設及び周辺道路の環境美化の実施	施設利用者へのアンケート調査等を実施し、観光施設としてふさわしい景観形成と感ずるか（80%以上）を含め、アンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 施設利用者の増加による観光地環境の変化に注視しながら、最適な回数、美化活動箇所、内容を検討しながら、継続的な環境美化作業を行っていく。	【成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって観光施設としてふさわしい景観となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方については、アンケートにより検証する。
1	③	文化観光創出事業	H24 ～ R13	平成25年度策定の「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、必要な施設等の設計や整備等を実施する。	・屋外トイレ整備工事、工事に伴う監理業務及び磁気探査業務の実施。	・屋外トイレ整備工事、工事に伴う監理業務及び磁気探査業務の完了。	【今後のスケジュール】 ・屋外トイレ実施設計・整備工事（～R8） ・ガイダンス施設基本・実施設計（～R10） ・ガイダンス施設整備工事（～R12）	【R13成果目標設定の考え方】 類似観光施設の実績を参考に設定した。
1	④	創業支援強化事業	R6 ～ R9	特定創業支援事業として実施している個別相談の他に、多様な創業者を掘り起こすことを目的とした創業セミナーを実施する事業者に対し補助を行う。	創業セミナーを毎月開催	創業セミナーの参加者数5名/月以上	【今後のスケジュール】 引続き創業支援事業者への補助を行い、本市の実情に即した効果的な支援事業となるよう検証を重ね取組を行っていく。	創業セミナーではより多くの参加者が見込まれると想定
1	⑤	豊見城市観光PR事業	R4 ～ R8	首都圏在住者に対し、近場で沖縄県豊見城市の雰囲気を感じることのできるPR展を実施する。	首都圏にてPR展を行う。 PR展の中で、アンケートを実施する。	PR展実施回数：2回 アンケート回収数：750件	【今後のスケジュール】 アンケートで回収した回答を基に、本市のストロングポイントや、課題点など明確にする。その後分析を行い、今後の観光振興に反映させる取組等を検討する。	【R8成果目標設定の考え方】 ・PR展実施回数について、沖縄関連イベントや観光関連イベントに2回ブースを出展することを目標に設定。 ・アンケート回収数について、2日開催イベント250件、4日開催イベント500件回収を目標に設定。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業番号 ハ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								2	①
2	②	認可外保育施設給食委託事業	R6 ～ R8	認可外保育施設で行う給食提供を、業務委託することで、子どもへ対応する時間を増やし、保育の質の向上につなげる。	給食業務の委託	給食内容と保育の質に関して、認可外保育施設及び保護者の満足度80%以上	【今後のスケジュール】 給食業務の委託を行うことで、こどもの発達段階に応じた食事、アレルギー対応食、1日の栄養価を考慮した献立を提供し、継続して安心安全な給食提供を確保することで、利用者も安心して認可外保育施設を利用することができる。また、給食業務を委託することで、本来そこに費やす時間、労力を保育に還元することができ、保育の質の向上に繋がり、利用者の満足度も向上する。	【R8成果目標設定の考え方】 認可外保育施設及び保護者が保育の質が向上したことが図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	①	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R13	特別な支援を必要とする児童生徒に対し教育活動の支援を行うため、特別支援教育支援員を配置し、教育活動の充実を図る。	特別支援教育支援員の配置：36人 特別支援教育コーディネーターの派遣による教育相談、指導助言、面談等の実施：1人	特別支援教育支援員の配置による対応満足度（80%以上）と今後の事業のあり方について保護者アンケートを実施する。	特別な支援を必要とする児童生徒数が増加傾向にあることから、支援員の資質向上を図り支援体制の強化を図る。	複数支援に対する対応満足度が80%を超えられるよう、特別支援教育支援員の資質向上を図ることできめ細やかな支援を行い、誰一人取り残さない教育環境の実現を目指す。	
3	②	学力向上サポート事業	H24 ～ R13	小中学校において担任教諭の授業補助を行い、個に応じたきめ細かい支援を行うため、学力向上推進補助員を配置し、学力向上へと繋げる。	学力向上推進補助員を12人配置する。 小学校：8人 中学校：4人 学力検査の実施 中3：年1回	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ①小学校：+2.5ポイント以上 ②中学校：+1.5ポイント以上	沖縄県学力到達度調査の正答率30%未満の児童生徒数の把握とフィードバックを行い、正答率30%未満の児童生徒数の減少を目指す。	記述式問題への課題が続いている状況から県平均の学力を維持しながらも記述式問題への課題解決へつなげる。	
3	③	スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ～ R13	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境改善のため関係機関とのネットワーク構築を図るためスクールソーシャルワーカーを配置し、環境改善に向けた支援を行う。	スクールソーシャルワーカー4人を中学校区ごとに配置し、小学校8校と中学校4校を巡回する。	支援対象ケース改善率：41.0%以上 (改善ケース件数/支援対象ケース件数) × 100	スクールソーシャルワーカーの継続配置により長期支援を要する児童生徒に対し、切れ目のない支援を継続する。	問題解決が容易でない児童生徒に対する支援の手を途切れさせることなく継続して支援を行い改善へと繋げる。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								3	④
3	⑤	英語教育推進事業	H25 ～ R13	グローバルな社会情勢の変化に適応していく上で重要な素養と基礎知識を身に付けるため、中学校に外国人英語講師を配置し、小学校に日本人英語講師を配置する。	外国人英語講師（ALT）を市内4中学校に1人ずつ配置する。 日本人英語講師（JTE）を市内8小学校に配置する。	【小学校】 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合80%以上 【中学校】 沖縄県学力到達度調査（英語）での県平均正答率との差+0.0ポイント以上	小学校における英語への興味・関心度アンケート調査において「そう思わない」という回答をゼロへ近づける。 中学校の英語学力については、県平均を上回るとともに県学力到達度調査における正答率30%未満の減少を目指す。	興味・関心度アンケートにおいてマイナス評価をゼロへ近づける。 学力到達度調査においては、記述式問題への課題解決を目指す。	
3	⑥	ICT教育推進事業	H24 ～ R13	わかりやすい授業による児童生徒の学力向上と情報活用能力の向上に向けたICT機器等の整備及び情報教育指導補助員を派遣し、グローバル社会、情報社会に対応できる人材の育成を図る。	情報教育指導補助員派遣：4人 アクセスポイント整備：2台 電子黒板整備：23台 （機能強化分21台+教室増分2台）	①教員にアンケート調査を実施し、情報教育指導補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合（80%以上）を含め、本事業のあり方について検討する。 ②児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合（80%以上）を含め、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 ICT機器の整備及び情報教育指導補助員の派遣を継続し、R8年度のICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 ①事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の教師へのアンケート調査を実施し、ICT機器等の使用により効果的・効率的な板書や資料提示ができたと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 ②事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の児童へのアンケート調査を実施し、授業がわかりやすかったと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。	
3	⑦	児童生徒等派遣費補助事業（部活分）	H25 ～ R13	本市の児童生徒等がスポーツ及び文化活動において、県外及び離島大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費等の一部を補助	対象児童生徒の視野が広がったか（80%以上）を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	アンケート結果の「視野が広がった」と答える児童生徒の割合が80%以上の効果が得られるよう継続して支援を行う。	令和5年度以降のアンケート結果割合の平均値が80%以上となるよう継続支援を行う。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
3	⑧				児童生徒派遣費補助事業（部活外）	H25 ～ R13			
3	⑨	青少年国際交流事業	H25 ～ R13	市内在住の中学生から公募し、選抜した団員をハワイ州へ派遣し、英語環境での語学学習や教育・文化・歴史・産業等の視察・青少年団体との交流、ホームステイ等を通して個々の資質向上を図る。	・市内中学生14名をハワイ州へ派遣 ・報告会の開催（1回）	派遣後、団員アンケートで「自身の国際的視野が広がった」と回答した者の割合が80%以上	【今後のスケジュール】 引き続き児童生徒の派遣を実施し、団員派遣前の事前研修において、地元地域の文化、歴史、産業を通して団員自身のアイデンティティーを育てるプログラム実践していく。	【R8 成果目標設定の考え方】 参加団員の資質向上、特に国際的視野の拡大について、研修後にアンケートを実施し、「自身の国際的視野が広がった」と回答した団員の割合によって検証し、その数値が80%を上回れば、一定の成果が出ているものと判断する。	
3	⑩	お仕事体験事業	H30 ～ R13	豊見城市内の小中学生等を対象に、早期からの就労に対する意識付けや、将来の職業観を育むため、様々な職業が疑似体験できるイベントを実施する。	年1回の事業実施	就業意識が向上したか（85%以上）を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	事業の実施を通し、より効果の高い小中学生の職業観育成方法を検討する。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	①	デジタル博物館事業	R2 ～ R11	地域の歴史・文化に育まれた地域知的資産情報を電子化・コンテンツ作成・集約・整理・連携を図り、公開・普及啓発を行う。	電子情報連携発信 1,025件 地域資料収集作業 3地域 歴史資料の電子化 5,000点 電子地図系コンテンツ作成 2件	webサイトアクセス数 82,000回/年 地域資料共有報告書発行種類 3種類	【今後のスケジュール】 電子化資料の新規追加、利活用促進の広報活動を継続し、デジタル博物館webサイトの年間アクセス数82,000回/年を目標とし、更なる向上を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 成果目標値はR6実績アクセス回数74,650回/年より、10%増を目標値とした。	
5	①	サッカーキャンプ誘致推進事業	R1 ～ R13	サッカーキャンプ受入の準備として芝生の維持管理委託を行い、サッカーキャンプ誘致に向けた施設の受入体制を構築することで継続的なサッカーキャンプ誘致を実現する。	サッカーキャンプ受入に必要な芝生の維持管理	サッカーキャンプ誘致件数：2件/年	【今後のスケジュール】令和9年度以降 指定管理制度導入による維持管理費の削減額を調査・検討し指標を設定する。	【R8 成果目標設定の考え方】 他市町村のサッカーキャンプ受入状況を参考に設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								6	①
6	②	豊見城市学校プール環境整備事業	R7 ～ R10	屋外プール授業において児童生徒が安全に授業を行うことができるよう、熱中症対策等のために日よけ設備を設置する。	設置工事の実施	設置工事の完了	【R9成果目標】 児童生徒の熱中症者0人 【今後のスケジュール】 R7：設計業務 R8～R10：設置工事 R11：供用開始	整備スケジュールと事業の目的に基づき、対策事業完了後の成果目標を設定した。	
6	③	自動体外式除細動器設置事業	R8 ～ R9	外国人観光客が増加しているなか、重篤な傷病者が発生した場合に、誰でも迅速な救命活動を行える環境を構築し、安全安心に過ごせる観光地を形成するため、未設置の市内コンビニエンスストアに多言語機能付きAEDを整備する。	・コンビニエンスストアへのAEDの設置。 ・各種広報媒体を通じた設置場所の広報等。	・屋外で発生した心肺停止事案のうち、コンビニAED持ち出し率：5%以上	AEDを新規設置した6店舗を各種広報媒体を利用して広報する。 認知度が高まることにより、持ち出し率が増加することを見込む。 （持ち出し率：屋外での心肺停止事案×0.05）	市内コンビニエンスストアの内、比較的外国人の多い観光エリアに設置予定。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
					R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	めんそーれうるま！キャンプ・合宿事業	R1 ～ R10	プロスポーツチームや実業団などのアマチュアスポーツ団体に対して、市が保有する施設等のプロモーションをし、合宿・大会等の誘致を図る。さらに、本市にてキャンプ・合宿を実施したチームを活用して本市のプロモーションを行うことで地域経済の活性化を図ることを目的とする。また、受入環境の整備を行い、新規の合宿・大会誘致や定着化を図る。	・うるま市スポーツコンベンション推進協議会の開催・運営（2回） ・新規誘致活動件数 5件以上 ・受入環境整備の完了	新規合宿受入1件 野球以外の継続合宿受入1件 受入環境整備の完了	令和元年度に設立したスポーツコンベンション推進協議会を受入主体としてプロスポーツチーム等の誘致に取り組むことで、さらなる経済的効果の拡大に繋げていく。さらに、本市でキャンプを行うプロスポーツチームを活用した本市のプロモーションを行うことで、本市の認知度を向上し、通年を通じた観光誘客を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 サッカーチームのキャンプが定着化するための交渉。新規の誘致に注力する。	
1	②	モータースポーツ振興推進事業	R4 ～ R9	モータースポーツの推進による観光産業の振興により、地域の活性化を図るため、実証イベントの実施や自走化に向けた取組を行う。	モータースポーツイベントの開催 1件	イベントの来場者数 2,000人	【今後のスケジュール】 令和7年度の実証イベントの中で、民間開催に向けた課題の整理や必要な取り組みの実施及び検証を行い、令和8年度以降の民間主体によるモータースポーツイベントの実施及び観光誘客を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 イベント来場者数の設定については、R5・R6実証イベントの内容・結果を踏まえ、適切な目標値を設定した。	
1	③	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	H24 ～ R9	世界遺産として登録されている勝連城跡は、周辺施設の整備が不十分であることから地域への経済波及効果は薄い状況にある。そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした地域振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。	・魅力向上誘客業務実施 ・文化観光施設外構実施設計業務	文化観光展示施設(有料区域) 入場者数 R8年度 12万人	隣接する都市公園供用開始 あまわりパーク全体の来訪者 R10年度目標：30万人 うち文化観光展示施設：12万人	【実績】 H25 175千人 H26 156千人 H27 148千人 H28 171千人 H29 172千人 H30 183千人 R元 162千人 R2 68千人 R3 62千人 R4 88千人 R5 110千人 R6 108千人 施設が全面供用した場合、ピーク時と同じ18万人まで来訪者が回復、うち2/3が有料区域の入場者 18万人×2/3=12万人 公園利用者（無料区域）：18万人	
1	④	観光誘客促進PR事業	H31 ～ R10	うるま市の魅力をPRをするため、県内外でのプロモーション・市内イベントの実施・メディアを活用した情報発信を実施し、「観光のうるま」のイメージを定着させ、県内外からの誘客促進を図る。	①県内外でのプロモーション：1回以上 ②市内イベントの実施：3回以上 ③メディアを活用した情報発信の実施 ④アンケート調査、評価の実施	①入域観光客及び観光客滞在日数（観光消費額）の前年比増加 ②市内イベント時の人流データの前年比増加	【今後のスケジュール】 誘客効果の最大化を目指し、より効果的なプロモーション方法を検証し、展開していく。		

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								1	⑤
1	⑥	感動産業特区まちづくりブランディング事業	R7 ～ R9	「感動産業特区」をコンセプトとしたまちづくりをとおして、地域をブランド化するための地域戦略及び県内外向け戦略を具体化し、地域住民や事業者等の意識醸成と行動誘発を促進することで魅力的なまちとしてのブランディングを図る。	・地域戦略の進捗管理、効果検証 ・ファン登録制度の継続的な運用。 ノベルティ作成。 ・ブランドサイトにおける情報発信	・ファン登録数：100人以上	【今後のスケジュール】 今後もファン登録制度を継続運用し、地域戦略（インナーブランディング）および県内外向け戦略（アウトナーブランディング）の成果目標として位置づけ、ブランディングの浸透を図る。	新規事業で実績がないため、状況を総合的に判断し設定した。	
2	①	うるま市頑張る農業を応援します事業	H30 ～ R8	生産施設の整備及び農業用機械の導入に必要な支援を行い、農作物の出荷量の向上を図る。	強化型パイプハウス設置1,500㎡、農業用機械の導入、生産農家2戸	強化型パイプハウス設置及び農業用機械の導入	【今後のスケジュール】 導入した栽培施設にて安定生産を図り、直売所、給食センター等への安定供給に繋げ、地産地消・ブランド化への推進に努める。	【R8成果目標設定の考え方】 沖縄県農林水産部指標を主にして、ない品目は実績値を参考に設定する。 R4：ゴーヤ 5,000kg/10a 小麦 218kg/10a R5：きゅうり 5,000kg/10a	
2	②	病害虫防除資材補助金事業	R4 ～ R8	指定病害虫防除資材販売所が市内耕作者に対して販売した病害虫防除資材費の一部を補助する。	病害虫防除資材の適正な利用を促すための補助事業を実施する。	病害虫の適期防除により蔓延予防を目的とする。	病害虫のまん延防止・被害軽減のため、適正防除により、病害虫まん延を防止する。		
2	③	津堅島農業活性化事業	R1 ～ R9	島の5割が優良農地にも関わらず灌漑施設が未整備である津堅島において、散水作業を行う。また、有人離島における農業経営に必要な堆肥等の円滑な供給を図るため、海上輸送費の一部を補助することで津堅島農業の活性化を図る	津堅島農業支援業務の実施 ・散水車借り上げ、ニンジンほ場への散水実施 ・堆肥等の円滑な供給を図るため、海上輸送費の一部補助。	津堅島農業支援業務の完了	【R8 成果目標】 津堅ニンジン反収1.5 t /10a 【今後のスケジュール】 津堅ニンジンを含めた栽培に係る支援を実施し、津堅島における農産物の増産に取組む。	【R8 成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
バ	細				R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
					2	④			
2	⑤	うるま市農水産業振興戦略拠点施設機能強化整備事業	R4 ～ R8	農水産業振興のより一層の充実を図るため、拠点施設であるうるま市農水産業振興戦略拠点施設（うるマルシェ）の機能強化を実施する。	セルフレジへの更新	セルフレジの更新完了			
3	①	石川地域まちづくり推進事業	R4 ～ R9	石川IC周辺における交流拠点形成、石川庁舎周辺での滞在促進や人流創出による石川地域全体の賑わいづくりを目的としたまちづくりを推進する。また、県営石川団地再整備に伴うエリア再活用を踏まえた周辺整備を検討する。	・石川IC周辺交流拠点形成検証業務の実施 ・石川庁舎周辺利活用推進業務（その2）の実施 ・石川団地周辺整備手法検討業務の実施	・石川IC周辺交流拠点形成検証業務の完了 ・石川庁舎周辺利活用推進業務（その2）の完了 ・石川団地周辺整備手法検討業務の完了	【R8成果目標】 事業エリア及び導入機能の確定後、事業者サウンディングを踏まえた上で、域内就業者数の創出に係る目標値を設定や想定集客数（利用者数）を設定し、当該数値等を目標とした各種施策を実施する。 【今後のスケジュール】R8d ・石川IC周辺交流拠点形成検証業務 ・石川庁舎周辺利活用推進業務 ・石川団地周辺整備手法検討業務	【令和8成果目標設定の考え方】 過年度計画で位置付けたプロジェクトの事業化に向けた、個別具体的な各種施策を展開する。	
3	②	勝連・与那城地域まちづくり推進事業	R4 ～ R8	R7dに調査完了予定の「勝連・与那城地域まちづくり推進調査業務（R7）」に基づき、旧与那城庁舎周辺の利活用に向けた検討・県道37号線沿道・ロードパークの利活用に向けた検討、事業エリアの価値と魅力を高める景観形成に資する伐採・剪定業務を実施する。 また、東照間商業等施設周辺の機能強化を行う。	・旧与那城庁舎周辺（西側エリア）の事業方式の決定 ・県道37号線沿道・ロードパークの利活用に向けたロードマップの作成 ・東照間商業等施設周辺の賑わい創出 ・事業エリアの価値と魅力の向上	・旧与那城庁舎周辺の利活用に向けた検討調査業務の完了 ・県道37号線沿道・ロードパークの利活用に向けた検討調査業務の完了 ・県道37号線沿道樹木伐採業務の完了 ・県道37号線沿道の飛砂調査業務の完了 ・東照間商業等施設機能強化整備工事の完了	【R8成果目標】 ・旧与那城庁舎周辺の民間事業者意向を踏まえた事業（宿泊及び商業施設等）の公募準備の整理 【今後のスケジュール】 R9d ・旧与那城庁舎周辺の公募に向けて都市公園区域の変更やアドバイザー業務の準備など	【令和8成果目標設定の考え方】 過年度計画で位置付けたプロジェクトの事業化に向けた、個別具体的な各種施策を展開する。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
					R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
3	③	企業誘致推進事業	H24 ～ R9	上江洲仲嶺地区や石川地域及び勝連与那城地域等、各まちづくり計画を中心とした本市投資環境について首都圏企業等へ誘致活動する他、台湾企業向けの誘致活動も行う。企業の更なるインセンティブを図るため、投資環境ツアーも実施する。	① 市と企業とのマッチング ② 市投資環境ツアーへの参加 ③ 台湾企業誘致コーディネート業務	① 市と企業とのマッチング 30件以上 ② 市投資環境ツアーへの参加 10件以上 ③ 台湾企業等訪問 5社以上	上江洲・仲嶺地区の整備スケジュールを踏まえて継続して企業誘致を行う。確度が高い企業に対しては、市長が直接誘致活動を行う（トップセールスの実施）。		
3	④	市内事業者販売力向上支援事業	H25 ～ R13	販売力向上を目的とした団体や組織の設立に向け、計画策定を行い、併せて効果的な物産振興及び市内事業者同士の連携強化を促進する。	・物産振興団体のビジョン・アクションプラン作成 ・商品開発・販売力強化セミナー ・市産品の販売及びPR場の機会創出（物産展等の出展） ・事業者連携による活動（販路拡大等の支援）	①計画策定、方向性の決定 ②物産展、イベント出展の支援：10社 ③事業者間連携による販路拡大等支援：3団体	令和8年度以降は、物産振興のビジョン・アクションプランに基づき、より戦略的に事業を展開する。既存産品の市場優位性や埋もれている地域資源の価値を再評価し、うるま市の強みを明確にする。今後は、小規模事業者の販売力の底上げを図りつつ、競争力のある市場や伸ばすべき産品に焦点を当てた、実効性の高いプロモーションを推進していく。		
4		就労支援事業	H24 ～ R13	市内及び近隣市町村の求職者や高校生等へ雇用吸収力のある中城湾新港地区立地企業を中心とした企業見学バスツアーを実施し「うるま市で働き、暮らすこと」へのイメージを具体化、企業への興味関心やマッチング機会創出を図る。また、学生等のインターンシップを支援することで就業機会を拡大し、市内企業の人材確保に繋げることを目的とする。	①市内及び近隣市町村の求職者や学生等を対象に中城湾新港地区バスツアー事業の実施 ②市内企業にインターンシップを行う学生（離島高校、専門学校、高等専門学校、大学）に対し、インターンシップを実施する際にかかる宿泊料等を補助。	①学生の訪問企業への興味・関心が湧いた・・・80%以上 ②参加企業の満足度・・・70%以上 ③就業先の選択肢に入った・・・80%以上	【今後のスケジュール】 市内及び近隣市町村の求職者や学生等に市内企業へのバスツアーを実施。就業意欲の向上・ミスマッチの解消・離職率の低下を図る。 学生等のインターンシップの支援をすることで就業機会を拡大し、市内企業の人材確保に繋げることを目的とする。		
5	①	うるま探求プロジェクト事業	R2 ～ R13	生徒の学習に対する目的意識の醸成のため、うるま市のビジョンに沿った地域探究型の学習を学校と地域等が連携・協働して実施し、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力の育成を図る。	・教育課程での実施 3校 ・学習プログラムの開発 3件	生徒アンケートにおいて、 ・社会との接続を意識することができましたか・・・「はい80%以上」 ・学習意欲が向上しましたか・・・「はい80%以上」			

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
5	②	教育ICT支援員派遣事業	R3 ～ R9	ICT機器を効果的に活用し、児童生徒の学習意欲の向上や情報活用能力の育成環境を整えるため、ICT支援員を各学校に派遣し、授業等でのICT機器の活用支援を行う。	ICT支援員の配置：5名以上 学校支援回数：各学校に対して月3回以上（計936回以上）	児童生徒及び教員へのアンケート調査【児童生徒】 ICT機器の学習活動により、学習意欲が向上したと思うか⇒「思う：80%以上」 【教員】 ICT機器を活用し、児童生徒の学習意欲を高める授業づくりができていると思うか⇒「思う：80%以上」		
5	③	学力向上対策推進事業	H24 ～ R13	現状を改善するため支援員配置やデジタル教材等ICTを活用し、個別最適な学習を提供することで学力の向上を図る。	・学習支援員配置人数 38名 ・すららドリル導入 小学校 ・スタディサプリ導入 中学校	・全国学力・学習状況調査の結果より ①学習意欲の向上：全国平均同等 ②自学学習の意識の向上：全国平均同等 ③学びの定着：平均正答率全国水準		
5	④	教育相談事業	H24 ～ R12	与勝・具志川地区、石川地区相談室に相談員を配置し、児童生徒・保護者・教師の教育上の問題や悩みの相談に応じ支援し、課題の解決を図る。	教育相談員（7人）	相談件数実績に対するケース終結の割合を46.7%以上を目標にする。		令和7年度実績数値見込みが難しいため、令和7年度の目標数値と同様とした。
5	⑤	適応指導教室事業	H24 ～ R13	小中学生の心理的・情緒的要因による不登校児童生徒に対し、適応指導教室を開校し、児童生徒に自立心や社会性を高めることを目指す。	適応指導教室指導員配置数（6人）	体験活動に参加することができた割合91%以上 中学校3年生の卒業後の進路決定割合82%以上		令和7年度実績数値見込みが難しいため、過去3年間の平均値と令和7年度の進捗を含めて設定した。
5	⑥	博物館施設の集約化及び多機能強化事業	R8 ～ R9	歴史文化を基軸としたまちづくりに寄与するため、本市が有する博物館施設（資料館）の集約化、環境整備に関する基本計画等を策定する。	・集約化に向けた既存施設の基礎調査45% ・マーケットサウンディング等45% ・工程会議等10%	・博物館施設の集約化及び多機能強化に関する基本計画検討業務100%		
6	①	伝統文化・民俗芸能伝承活動事業	R5 ～ R9	伝統行事や民俗芸能を継承する団体や自治会が、行事等を開催する際に必要な用具の購入や修繕費等を補助する。	自治会・民俗芸能保存団体等に補助	伝統芸能等の披露やイベント等の出演回数：3回程度	伝統芸能等を披露する活動機会の状況を把握する。	過年度実績に基づき設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
6	②				文化財環境整備事業	R6 ～ R11			
7	①	ひとり親家庭生活支援事業	H25 ～ R12	支援が必要なひとり親家庭の中でも自立する意欲のある家庭に対し、民間アパート等の居室を提供するとともに、就労や児童生徒の学習支援等を実施し、自立に向けた総合的な支援を行う。また、各支援世帯に合った、より細やかな支援計画を作成し、支援の充実を図る。	①_居室借上事業（10部屋） ②_技術力向上支援事業（10回） ③_家計簿管理支援事業（50回） ④_児童、生徒の学習支援事業（560回）	【居室借上】 ①_生活改善世帯：85% 【技術力向上支援事業】 ②_就労スキルアップ講座資格取得者（50%以上） 【家計簿管理支援事業】 ③_家計簿管理支援（50回） 【学習支援事業】 ④_学習習慣の定着度（90%）	自立の定義及び支援者層の設定を行い、各家庭に寄添った支援を展開する。	目標値と実績値が乖離している所があるので、過去の実績に近い目標値とする。	
7	②	中学校教育指導推進事業	H24 ～ R13	問題を抱えた児童生徒とその置かれた環境の改善のため、関係機関と連携し、多様な支援方法を用いて課題解決を図る。	・市立中学校校区ごとにスクールソーシャルワーカーの配置（12人）	・（不登校含め）課題の改善に向けて変容が見られた割合45% （改善件数／支援対象者数）			
8	①	地域防災力強化事業	H29 ～ R8	災害時において、いち早く活動できる自主防災組織の活動強化のため、災害のしくみや、実践的な知識と技能を学ぶため、防災士の資格取得支援や防災資機材の点検及び整備等の活動支援を行い地域の組織力の醸成を目的とする。	①防災士資格取得講座案内数 全市民対象（20人） ②防災資機材支援対象団体調整 5団体 ③防災活動支援対象団体調整 20団体 ④防災教育講座開催に向けた委託先との調整	①防災士資格取得者数 20人 ②防災資機材支援補助 5団体 ③防災活動支援補助 20団体 ④防災教育講座契約 1回	防災士の充実と防災資機材の充実、避難行動計画、避難訓練の実施につなげ、さらに、防災士を中心に「防災士連絡協議会（仮称）」を設置し、災害に強いまちづくり、人づくりの構築を目指す。	防災士の養成支援については、可能な限り増員を目指す。 防災資機材のみならず、避難場所としての機能構築（避難環境、食料備蓄、水の確保、プライバシー保護環境の構築等）も視野に防災環境の充実を図っていく。	
8	②	うるま市循環型未来創造事業	R8 ～ R9	循環型社会の形成とゼロカーボンシティの実現を推進するため、ごみ発電設備やリサイクル設備を備えた基幹施設整備の検討を行うことで廃棄物の減量化・エネルギー適正利用の促進、環境負荷の軽減と地域の持続可能な発展に寄与することを目的とした構想等を策定する。	基本構想の策定	基本構想の策定完了	段階的に以下の事業を実施し、将来的にR22年度に新たなごみ処理施設の供用開始を目指す。 【今後のスケジュール】 R8 基本構想策定 R9 基本計画策定 R10～R21 環境アセス・設計・工事 R22 供用開始		

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考		
事業番号	事業内容			R8事業内容	R8活動目標（指標）		R8成果目標（指標）	今後の展開方針等	補足説明等
9	①	新たな交通システム検討調査事業	R3 ～ R8	津堅島を対象地として、市民や観光客など誰もが快適で使いやすい交通環境の実現を図るため、新たな交通システムの構築に向けた調査検討を行う。	・公共ライドシェア実証運行 ・実証計画作成・効果分析 ・Web予約管理システム運用 ・車両購入（EV1台）	・実証運行利用者：9,348／年	【今後のスケジュール】 実証運行の効果分析を行い、R9年度以降の本格運行につなげていく。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
9	②	うるま市総合食育センター整備事業	R5 ～ R8	早世割合が非常に高い本市において、学校給食センター機能と、食育交流の推進拠点としての機能を有した総合食育センターを一体的に整備し、住民の健康増進の充実を図る。	建設工事の実施	建設工事の完了	【R9成果目標】 ・バランスの良い食生活の認識が深まった割合80%以上（受講者アンケートより）	【R9成果目標設定の考え方】 ・食育センター整備事業完了後における、本施設を利用した者のうち大多数の認識が深まったかを図る値として設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	地下水保全調査事業	H29 ～ R8	本市の唯一の淡水資源である地下水の保全を行う。	水道水源保全地域及びその周辺において、地下水流域界及び水理地質構造を把握するとともに、高野水源において既存水源を用いた揚水試験、地下水賦存量把握のための地下水シミュレーションの実施、並びに3次元地質構造モデルを作成することを目的とする。	水道水源流域水理地質構造精度向上及び高野水源可能揚水量の資料作成、3次元地質構造モデル作成、地下水賦存量把握のための地下水シミュレーションの実施。	【今後の展開】 定期的に地下水利構造の把握・観測を行い、地下水の保全に努める。 また、現在の本市を取り巻く環境に見合う保全方法を検討していく。	調査結果を基に検討していく。
1	②	地下水質モニタリング調査事業	R6 ～ R10	本市唯一の淡水資源である地下水の水質管理を行う	1) 地下水に含まれるネオニコチノイド農薬類の汚染状況把握のために、水道水源流域内にて、原水及び浄水の水質検査を行う。	1) ネオニコチノイド系農薬類検査委託業務の完了	【今後の展開】 定期的に地下水質の把握・観測を行い、地下水の保全に努める。また、現在の本市を取り巻く環境に見合う保全方法を検討していく。	1) 調査結果を基に検討していく。
2	①	“宮古島産の牛”生産推進事業	R4 ～ R12	肉用牛の生産拡大を図るため、素牛増産及び売上増加に向けた支援を行う。	優良母牛更新 80頭/年	・素牛の年間出荷頭数：3,552頭 ・平均販売価格：640千円	宮古島産牛の供給量増加及び価値向上に向けた施策を継続して行う。	・直近6ヶ月（R7.4月～9月）の出荷頭数の平均296頭×12ヶ月＝3,552頭 ・平均価格：640千円
3	①	宮古馬ステップアップ事業	R7 ～ R10	県天然記念物である宮古馬の乗馬、引き馬、餌やり体験などのふれあい体験を通して、広く市民、観光客などに宮古馬の周知を行い、今後の観光、学校教育現場への利活用のステップアップを図る。	①宮古馬利活用施設の工事 ②宮古馬の馴致、調教、見学案内	①宮古馬利活用施設の工事完了 ②乗馬可能な馬5頭を目指す	令和10年度までに、一般の人を乗馬、引馬までできるように8～10頭の馬を仕上げる。	【成果目標の考え方】 令和10年の目標達成に向け、2年間で調教する必要があることから、目標頭数の半数を設定した。
3	②	八重干瀬及び周辺地域自然環境保全活用促進事業	R4 ～ R9	国指定文化財（名勝及び天然記念物）となっている八重干瀬の国定公園等への指定を目指すため、八重干瀬とその周辺地域について自然資源の現況を把握し、保全活用体制の整備を図る。	自然環境調査の実施 R6年度成果の公表 保全体制構築検討	①約3.9万haの対象地域のうち、特筆すべきサンゴ群集の概要を明らかにする。 ②R7年度までの業務の成果を踏まえ、公園計画案作成に向けた保全活用促進に係る協議会を設立する。	R7年度成果を公表しつつ、国定公園指定に向けた保全活用の適正化を図る。	八重干瀬及び周辺地域が国定公園等に指定されるよう、その自然環境特性を明らかにするとともに、保全体制を構築する。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業番号 ハ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
					R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
3	③	宮古島市歴史文化活用推進事業	R5 ～ R9	宮古島市には芋麻績み文化や埋蔵文化財などの分野において、宮古島市独自の文化の形成が認められる。本事業では、これらの独自の文化の魅力の発信を行い、市民及び観光客へその歴史文化の周知と活用の促進を図る。	・歴史文化資料館の芋麻績み展示室における展示資料（宮古上布）の製作 ・歴史文化資料館の利用促進及び文化講座の開催 ・『綾道・自然・地形地質編-』の発刊	宮古島市歴史文化資料館の利用者数3,600人	歴史文化資料館の芋麻績み展示室の展示資料（宮古上布）を充実させ、資料館の利活用の推進を図り、市民や観光客の利用の拡大を図る。	入館者の目標を3,600人とする。	
3	④	宮古島市総合博物館デジタル・ミュージアム推進整備事業	R5 ～ R8	宮古島市総合博物館における継続可能なデジタルアーカイブの構築、公開、運用のための基盤を整備する。加えて博物館資料のデジタル化を行い、公開用コンテンツを作成、公開する。	①デジタル・ミュージアム（仮称）サイト構築、運用・公開。 ②公開用機材の導入。	①サイトの公開開始 ②公開用機材の設置	サイト公開後、デジタル・ミュージアムサイトアクセス数13,000件、年間入館者数22,000人	アクセス数や入館者数は、既存の計画の数値およびこれまでの平均来館者に基づき設定した。	
3	⑤	宮古方言保存継承事業	R7 ～ R10	宮古方言は、ユネスコの消滅危機言語の一つに認定されており、その保存継承が重要な課題となっているが、市民が宮古方言を知り興味を深めるために手に取ることのできる資料は極めて少ない。大正時代に宮古島方言を研究したコライ・A・ネフスキーが遺した「宮古方言ノート」は、宮古方言が丹念に採録された第一級の資料とされるが、現在入手可能なのは手書きで一部判読困難な複写版とポーランドの研究者が刊行した解説版があるのみで、いずれもロシア語や英語などの表記が多いため市民一般の利用に供することができない。そこで「宮古方言ノート」の複写版及び解説版をもとに必要な注釈等を加えた日本語翻訳版を刊行するとともに、関連シンポジウムや講座等を開催することで宮古方言の保存継承に資する。	「宮古方言ノート」日本語版の編集作業着手、宮古方言保存継承に関するシンポジウム・講演会の実施（年1回）	①コライ・A・ネフスキー「宮古方言ノート複写本」（上670頁・下508頁）のデータ化 ②宮古方言保存継承に関するシンポジウム1回（参加者70名以上） ③宮古方言に関するアンケート実施1回「講演の前後で今後の方言伝承に繋がる行動変容の動機付けとなったか」の回答（上昇率5%）	①「宮古方言ノート」改訂版（日本語版）編集（R7～R9年度） ②「宮古方言ノート」日本語版刊行（R10年度） ③宮古方言保存継承に関するシンポジウム、及び講演会にて宮古方言に関する理解関心度意識アンケートを実施 ④アンケートにて「講演の前後で今後の方言伝承に繋がる行動変容の動機付けとなったか」の回答、（R7上昇率5%、R10上昇率10%） ⑤シンポジウム参加者平均動員率70人以上 ⑥R10年度（発刊後）に方言講座を実施（学校2回、一般向け2回、沖縄本島1回） ⑦市立図書館に紙書籍を、同電子図書館に電子書籍を収蔵し、R11年における、貸出・閲覧数等3,000回以上とする。	シンポジウム（R7～R10）計4回開催、講演会（R7,R10）計2回開催 シンポジウム、講演会への参加者にアンケート実施 これまでのシンポジウムへの平均動員率は約50人 電子書籍閲覧数等は宮古島市の人口55,000人の約5%として算出	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
4	①	選手派遣支援事業	H24 ～ R13	島外との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、スポーツや文化活動において、県大会や全国大会へ派遣される際の旅費の一部を補助する。	児童生徒の大会派遣（県内・県外）	児童生徒が広い視野を持てたか（80%以上）を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒が広い視野を持つことを目標に大会派遣への支援を行う。	対象者のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	②	課題を抱える児童生徒の支援事業	H24 ～ R13	課題や問題のある児童生徒の生活環境や不登校の改善を図るため、個々に応じた適切な指導・支援を行うスクールソーシャルワーカーおよび学習支援員を配置する。	・社会福祉士配置：1人 ・スクールソーシャルワーカー配置：4人 ・学習支援員配置：11人	・不登校児童生徒のうち登校復帰または学びの場へつながった児童生徒：60%以上	【今後のスケジュール】 本事業の周知とスキルアップのための事例検討会や教育相談等連絡会、福祉医療等制度の勉強会等の研究及び研修を実施する。 また、学校訪問による情報連絡会の開催、連携支援を実施する。生徒の登校復帰及び学びの場へ繋ぐ取り組みを行う。	
4	③	学校ICT機能強化整備事業	R6 ～ R8	「個別最適な学び」・「協働的な学び」の推進を図る上で、機能強化として校内ネットワークへの接続や学習者用端末と連携が可能な電子黒板を整備する。	学校ICT機能強化に必要な機器の整備。	学校ICT機能強化に必要な機器の整備。	R8:機器整備（100台） 【R9年度成果目標】 「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」（授業中にICTを活用して指導する能力） 83pt以上 (参考) R5年度 82.6pt(未整備) R6年度 86.3pt(R6整備後)	【R9 成果目標設定の考え方】 現状値として、本市は79.6ptと高い数値で推移しているため、各年度で1pt増加させることを目指し83pt以上と設定。
5	①	救命処置普及強化支援事業	H28 ～ R13	市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組み、観光客や市民の安全の確保を図る。	・応急手当普及員3名の配置 ・定例救命講習会の実施：23回 (普通救命講習Ⅰ/14回、普通救命講習Ⅲ/3回、上級救命講習/6回) ・出前救命講習会の実施：随時受付開催 ・救命講習に関する普及啓発活動	①救命講習会受講者数 1,600人以上 ②救命講習会受講者へのアンケートで適切な応急手当が理解できたか（80%以上）を含め本事業のあり方を検証する。	住民からの要望もあり、定例講習会を3時間コースの普通救命講習会を減らし、8時間コースの上級救命講習会を増やし、質の向上を図る	平成28年度から令和7年度（目標数）（コロナ禍を除く。）までの実績を平均し設定を行った。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
					R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
6	①	宮古島市ひとり親家庭生活支援事業	R5 ～ R9	ひとり親家庭世帯の自立を図るため、自立に向けた具体的な目標及び意欲のある世帯に対し、民間アパートを活用した住宅支援や就労支援、子育て支援等を原則1年間行う	3世帯への支援実施	本事業により自立に向けて生活改善した世帯の割合：100%	今後も同支援を継続し、ひとり親世帯の自立を図る。	最大3世帯への支援を予定しており、うち3世帯の自立を目指す。	
7	①	宮古島市斎苑火葬炉増設事業	R7 ～ R8	2040年をピークに火葬需要の増加が見込まれているが、宮古島市は近隣市町村との相互補完が困難であり、域内での完結が求められる。また、近年内に大型の修繕を予定しているが、修繕中に長期間の減炉が発生し、火葬を逼迫する恐れがある。従って、現在の宮古島市斎苑の体制では健全な火葬場運営が行えなくなる為、新規に火葬炉の増設を行う。	増炉工事の実施（新規炉1基）	増炉工事の完了（新規炉1基）	R7 火葬炉実施設計・備品手配 R8 増炉工事 R9 新規炉稼働 令和8年度において新規炉1基増設	令和8年度において新規炉1基増設	
8	①	宮古島市墓地基本計画策定事業	R8 ～ R10	良好な住環境を構築していくため、今後の土地利用、景観、不法投棄等にも目を向けた墓地基本計画を策定する。	墓地現地調査を行い、本市の墓地の実態の情報収集を行う。	R9年度の墓地基本計画策定に向けた情報整理。 ・墓地現地調査報告書作成 ・墓地台帳作成 ・墓地分布図作成	R8 墓地実態調査 R9 墓地基本計画の策定 R10 墓地基本計画内容の実行	墓地基本計画を策定することで、墓地の管理と集約化を実施していく。	
9	①	観光地アクセス道路環境美化強化事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地形成を図るため、各観光地へのアクセス道路の環境美化（除草・清掃）を行う。	観光地アクセス道路の環境美化の実施：32路線	観光地周辺について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であるか（80%以上）を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光地アクセス道路環境の美化強化のため、引き続き取り組みを実施する。	【成果目標設定の考え方】本事業のあり方について、	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
					R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	スポーツツーリズム推進事業	H24 ～ R13	プロサッカーチームのキャンプ誘致を図るため、市陸上競技場における天然芝の適正管理を行い、キャンプ受入に適した環境整備を行う。	良質な芝生を維持する為の適正管理（利用による損傷に強くする）	プロサッカーチームのキャンプ誘致件数：3チーム以上	サッカーチームのキャンプを継続的に3チーム以上誘致できるよう目指す。 【今後のスケジュール】 芝生の良質な状態を維持・管理し、キャンプ受入に適した環境整備を行う。	【R8成果目標設定の考え方】 キャンプ実施期間に受入可能な最大チーム数を目標として設定	
1	②	デジタルアーカイブ事業	H30 ～ R13	地域学習の機会の創出及び観光誘客を図るため、南城市に所在する文化財等をデジタルアーカイブ化し、ウェブ上で公開する。	・歴史資料のデジタル化、資料情報の充実化及び新規資料の公開 5,000件	・「なんじょうデジタルアーカイブ」「南城アーカイブツーリズム」の利用者数 延べ28,000人以上 ・「なんじょうデジタルアーカイブ」「南城アーカイブツーリズム」の間覧数163,000 p v 以上	将来的な目標として、下記の達成を目指す。 ・「なんじょうデジタルアーカイブ」「南城アーカイブツーリズム」の利用者数 (R13) 延べ171,000人 ・間覧数778,000pv 【今後のスケジュール】 引き続き歴史資料等のデジタル化、公開資料の充実化を図りつつ、情報の周知をおこなうことで成果目標の達成に取り組む。	【R8成果目標設定の考え方】 R7の実績（見込み）をもとに設定した。	
1	③	観光地美化等環境整備事業	H28 ～ R8	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、東海岸を望む道路沿線や景勝地の環境美化作業を行う。	環境美化作業の実施	環境美化作業による草木処分量：90.6t/年	高台からの眺望、異動景観の創出範囲 総延長：4,610m 【今後のスケジュール】 定期的に環境美化作業を実施し、魅力的な景観形成の維持に務める。	【R8成果目標設定の考え方】 伐採可能量を勘案して設定した。	
1	④	尚巴志ハーフマラソン大会を核とした地域振興事業	R5 ～ R8	県内屈指の人気スポーツイベントとして定着している尚巴志ハーフマラソンの観光連携、D X 推進を図ることで、関係人口増加や地域経済の発展につなげる。	・大会を軸としたツアーの磨き上げ ツアー数 1件 ・県外での誘客活動実施 1回以上 ・顧客関係管理の仕組構築 一式 ・環境に配慮した大会運営を目指す取組み 一式 ・後夜祭の開催 1回 ・大会イメージや尚巴志王のキャラクター活用 1回以上	令和8年度大会での県外・国外申込者655名を目指す。	本事業の成果目標は、定量的な成果目標として令和9年度に開催される第24回尚巴志ハーフマラソン大会において県外・国外申込者655名を目指す。	計画策定時の令和5年度（第20回大会）における県外・国外の申込者は437名に対し50%アップを目指す。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業番号 バ 細	事業名	計画 期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
1	⑤	アプチラガマ関連施設環境整備事業	R8 ～ R8	平和学習の場として多くの人が訪れる糸数アプチラガマでは、ガマ内から119番への緊急通報ができない状況にある。このため、来訪者の安全確保を目的として、緊急通報システムの再整備を行う。あわせて、平和学習施設的环境整備の一環として、受入施設の照明設備を見直し、温室効果ガス排出量の削減を図るため、南部観光総合案内センターの照明をLED化する。	・緊急通報システム整備 ・南部観光総合案内センターのLED化	・緊急通報システム整備完了 ・南部観光総合案内センターのLED化完了	【R9成果目標】 ・緊急通報システム整備により安心してガイド業務ができている職員の割合：80%以上（R9年度） ・年1回以上、緊急通報の訓練を行う。（R9年度） ・年間CO2排出量対R7年度より3.3ト>削減（R9年度） 計算式：7,595kWh × 0.436kg=3,311kg-CO2	【R9成果目標設定の考え方】 ・緊急通報システムの整備により、施設の緊急連絡体制が構築されたと考えられる数値として設定した。 また、本事業の効果をアンケートや訓練により検証する。 ・既存の照明を省エネ化することで見込まれるCO2削減量を推計して設定した。	
1	⑥	シェアサイクル実証事業	R8 ～ R10	沖縄県は、観光産業への依存度が高いが、公共交通機関が未発達な地域や路線バスの減便が拍車をかけ運転免許を持っていない観光客の市内周遊が課題となっている。そのため、本市で運行する既存の市内線バス（Nバス）やデマンド交通（おでかけなんじい）を補完し、多様化する観光ニーズに対応するために、シェアサイクル導入の実証実験を行う。	シェアサイクル導入の実証実験	シェアサイクルの実証実験を行い、利用状況、課題等を整理する。	【R9成果目標】 R8の利用実績を踏まえて設定する。	【R9成果目標設定の考え方】 R8の事業内において、シェアサイクルの利用状況を把握し、成果目標の設定や考え方を整理する。	
2	①	学習支援員配置事業	H25 ～ R13	児童生徒の学力向上を図るため、市内の小中学校に学習支援員を配置し、児童生徒の習熟の程度に応じた学習支援を行う。	・市立8小学校へ9名配置 ・市立4中学校へ8名配置	・小学校：児童生徒理解度調査の算数の満足度80%以上 ・中学校：沖縄県学力到達度調査における中学1年生及び中学2年生の数学の平均正答率の県平均以上	【今後のスケジュール】 引き続き、学習支援員による児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を実施し、学力向上に取り組む。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	②	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R13	特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、市内のこども園、小中学校に特別支援教育支援員を配置し、それぞれに対応した支援を行う。	各公立認定こども園・公立小、中学校において特別教育支援員を配置し、個々の実態に応じた適切な対応を行う。 ・市内公立1認定こども園：13名配置 ・市内8小学校：27名配置 ・市内4中学校：7名配置	特別支援教育支援員の対応への満足度（80%以上）を含め、保護者のアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 特別支援教育支援員の配置対象について審議会において審議を行い、特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【成果目標設定の考え方】 大多数の対象児童生徒等が支援員の対応に満足していると考えられる値として設定した。 また、本事業の効果についてアンケートにより検証する。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
					R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
2	③	ICT支援員派遣事業	R3 ～ R8	ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図り、教育の質を確保するため、市内の小中学校にICT支援員を派遣する。	市内13小中学校にICT支援員3人を派遣する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上 ・教諭にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合が70%以上	【今後のスケジュール】 教員によるICT機器を活用した魅力ある授業、わかる授業を促進するため、教員へのアンケートを取得しICT機器の習熟度が上がったと考えられる数値70%以上と設定し持続的な授業に活用を行うため、ICT支援員を継続的に派遣する。 令和6年度：70%以上 令和7年度：70%以上 令和8年度：70%以上	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	④	不登校児童生徒支援体制強化事業	R4 ～ R10	不登校児童生徒に対する更なる支援体制を強化するため、校務支援システムの導入、適応指導教室・校内自立支援教室の設置、不登校支援員の配置等を行う。	校務支援システムの運用による情報共有及び教員の児童生徒対応時間の確保、適応指導教室、校内自立支援教室及び不登校支援員が連携した支援を実施。	校務支援システムの運用。 適応指導教室での支援。 校内自立支援教室での支援。 不登校支援員による連携。	学校と適応指導教室、校内自立支援教室及び不登校支援員が連携して児童生徒にあった不登校支援を行っていく。	【R10成果目標設定の考え方】 事業採択時の不登校率から改善が図られたと考えられる値を設定した。（R3年度不登校率：小学校2.1%、中学校4.0%）	
2	⑤	電子黒板等学校ICT機器機能強化事業	R5 ～ R8	GIGAスクール構想で整備したタブレット等との連携や、ICT活用によるわかる授業、魅力ある授業の質を保障することを目的に、市内各小中学校へ電子黒板を整備する。	南城市立各小中学校における電子黒板整備	電子黒板整備：83台	【R9成果目標】 児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上	本事業の効果についてアンケートにより検証する。	
3	①	優良繁殖牛導入支援事業	H26 ～ R8	市内の内用牛繁殖農家の経営の安定化に向けて、農家が生産する子牛の品質及び価格の向上を図るため、優良繁殖牛を貸し付けるものに対して支援を行う。	優良母牛導入頭数：50頭	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合：117.1%以上	【今後のスケジュール】 今後も発育能力の高い優良繁殖牛を継続して導入し、母牛から産まれた子牛の平均価格の向上を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	②	優良乳用牛リース支援事業	H27 ～ R8	酪農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の確保を図るため、優良乳用牛を導入し、市内の酪農家に貸し付ける。	優良乳用牛導入頭数：50頭	乳用牛1頭あたりの 生産乳量：7,988kg以上（年間） 乳質（脂肪率）：3.87%以上	【今後のスケジュール】 優良な乳用牛へ更新していき、酪農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の向上を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
3	③	循環型農業機械導入事業	R7 ～ R8	安定的な循環型農業を目指すために必要不可欠である専用機械を導入する。	循環型農業に係る専用機械の発注 ・4種類（各1台）	循環型農業に係る専用機械の導入 ・4種類（各1台）	循環型農業に係る機械導入を行い、飼料用さとうきび圃場の拡大や荒廃農地の解消に努める。	【R9成果目標設定の考え方】 過去3年間の圃場増加実績平均を基に10%上回る量を設定した。 ・飼料用さとうきび圃場 R3：0.26ha R4：0.59ha R5：0.85ha 3年平均0.57ha×1.1≒0.63ha
4	①	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24 ～ R13	南城市の歴史・文化について調査研究を行い、冊子や学習会等で普及し、その継承を図る。	・『年報』刊行 ・学習会等の開催(3回)	学習会等への参加延人数 60人以上	【着地点】 学習会等の参加延人数累計（R5年度～R13年度）900人以上 【今後のスケジュール】 市の歴史・文化の調査研究及び成果の普及を継続し、その継承を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
5	①	南城市農畜水産物利用促進拠点整備事業	R5 ～ R8	地元農畜水産物の高付加価値化に向けた加工品の製造・販売を行う利用促進拠点機能を有する観光交流施設において、市民・観光客の憩いの場を整備するため、ランドスケープ整備工事を行う。	・ランドスケープ整備工事（1期）、現場技術業務	・ランドスケープ整備工事（1期）、現場技術業務の完了	【R10年度成果目標】 本事業参画生産者数：200生産者以上 南沖縄市場集客数：60万人以上 【今後のスケジュール】 【R9年度】 ランドスケープ整備工事（2期）	【R10年度成果目標設定の考え方】 後年度成果目標の設定については、マスタープランにより決定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

国頭村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
バ	細				R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
					1	①			
2	①	国頭村公共施設低炭素化推進事業	R6 ～ R9	二酸化炭素の排出量の削減を図るため、公共施設等の照明機器を省エネタイプのLED照明に切り替える。	調査設計業務の実施 LED照明切替工の実施	R8年度中に切り替えるLED照明による二酸化炭素排出量の削減0.710kg-CO ₂ /kWh・年	【今後のスケジュール】 順次、公共施設等のLED照明への切り替えを行い、二酸化炭素の排出量を削減する。	【R8成果目標設定の考え方】 R8年度中に切り替えるLED照明の基数から二酸化炭素の削減量を算定。	
3	①	ハブ類咬傷対策事業	R7 ～ R12	地域住民の生活圏や観光施設周辺などにおいて、ハブ類が多く出没していることから、探索犬による駆除を実施することで、地域住民や観光客の咬傷被害防止を図る。	探索犬による調査・駆除 N=100回 住民向け講習会 N=10回 事業者向け講習会 N=5回	ハブの咬傷事故件数ゼロを目標とする。	【今後のスケジュール】 R8年度以降 探索犬による駆除 普及啓発	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考にした	
4	①	やんばるの自然環境保全事業	R4 ～ R9	村営林道を中心とした監視体制強化及び外来種の侵入や増加を早期に発見し希少種等に対して必要に応じて対策を講じる。	・村営林道における林道パトロール及び外来植物等の対策の実施 160回	・村営林道における林道パトロール及び外来植物等の対策の実施 160回 ・村営林道における無許可で設置されたトラップ N=0件	【今後のスケジュール】 R7村営林道防除等の業務	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考にした	
5	①	国頭村エコツーリズム推進事業	R7 ～ R12	ガイド養成用教材制作業務 ガイド利用促進業務 星空案内人養成講座 ガイド交流業務 周知・PR業務	ガイド養成用教材制作業務の実施 ガイド利用促進業務の実施 星空案内人養成講座の実施 ガイド交流業務の実施 周知・PR業務の実施	ガイド養成用教材制作業務の完了 ガイド利用促進業務の完了 星空案内人養成講座の完了 ガイド交流業務の完了 周知・PR業務の完了	【今後のスケジュール】 R8-12 ガイド講習用教材制作、ガイド利用促進、人材育成、周知・PR、効果検証業務の実施	【R8成果目標設定の考え方】 当事業で設定した目標値に向けた観光振興、保全の両立を目指すことを成果目標として設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

国頭村		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
6	①				スポーツコンベンション観光振興事業	H25 ～ R10			
7	①	観光施設機能強化事業	R4 ～ R8	観光施設等の利便性と魅力を高め、観光客の満足度を向上させるとともに運営効率の向上、持続可能な運営、地域経済の活性化を図る。	観光プロモーション事業の実施 （国頭村東部地域：東部周遊拠点施設・やんばる学びの森・安田くいなふれあい公園等）	②観光プロモーション事業の完了 （国頭村東部地域：東部周遊拠点施設・やんばる学びの森・安田くいなふれあい公園等）	【R9成果目標】 R9年度に効果発現 東部周遊拠点施設施設利用者数： やんばる学びの森施設利用者数： 安田くいなふれあい公園施設利用者数：		

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

国頭村		計画 期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考		
事業 番号	事業名		R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等	
								バ
8	①	国頭村産品魅力発信・販売力強化事業	R7 ～ R9	国頭村産品の魅力を村外へ発信し、ブランド力を高め販売力を強化を図る。	・村産品の魅力発信、販売力強化事業の実施	村産品の新たな販路の開拓:3件以上 県外都市部での村産品の販促イベントの主催実施:2回以上	協議会が携わった販路の開拓、協議会主催の販促イベントの実施について過去3年間の数を基に設定した。	協議会が携わった販路の開拓、協議会主催の販促イベントの実施について過去3年間の数を基に設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

大宜味村		事業番号 ハ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								1	①
1	②	環境保全・美化推進事業	H28 ～ R13	地域住民や観光客の安全確保及び貴重な野生生物の保護を図るため、ハブ、野良犬、野良猫対策を行う。保護した猫については譲渡強化を図る。	・賞金作業職員の配置（二人） ・各保護・捕獲器の設置（ハブ：40台、犬：3台、猫：10台） ・保護し譲渡したネコの去勢・避妊、マイクロチップ装着の実施 ・保護した野良猫の譲渡強化を図るため、愛護団体と連携し保護ネコの引き渡しを実施する。	①ハブ咬傷被害：0件 ②ヤンバルクイナの生息率：33.3%以上 ③保護した猫の譲渡：70件以上	【今後のスケジュール】 咬傷被害等の未然防止と野生生物の保護を継続的に実施していく。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	③	ふるさと河川環境再生・活用整備事業	H26 ～ R9	観光誘客や観光教育の場としての活用を図るため、大川川とその周辺整備を行う。	・落差工 1カ所 ・護岸整備工事の実施 L = 25.2m	・累計河川工事整備率 88.5% (2,302m/全体延長2,600m)	【R10成果目標】 ・整備した河川周辺で花見客数 6,500名以上 ・整備した河川周辺での環境学習参加者数 500名以上 【今後のスケジュール】 令和4年度 事業中止 令和5年度 整備工事 令和6年度 整備工事 令和7年度 整備工事 令和8年度 整備工事 令和9年度 整備工事・台帳整備 R10 全体供用開始	【R10成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	④	塩屋湾周辺利活用推進事業	R4 ～ R9	本村の観光産業の振興を図り、かつ定住促進を進めるため、沖縄八景として指定されている塩屋湾の持続的な利活用に向けた計画の策定を行う。	・基本計画策定のための検討委員会の開催	基本計画の策定	塩屋湾来訪者満足度80%以上 【令和10年度】	塩屋湾を活用する事業者と連携し来訪者へ塩屋湾における満足度を把握するためアンケートを行い、満足度の向上を目標とする。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

大宜味村		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								1	⑤
2	①	学習支援員配置事業	H25 ～ R13	学力の向上を図るため、村内小中学校に学習支援員を配置する。	・小学校3名（低・中・高学年 各1名） ・中学校2名（1年～3年 2名）	・令和5年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 県平均値をさらに超える2.3ポイント以上 中学校 県平均値に近づく-0.6ポイント以上	【今後のスケジュール】 引き続き学習支援員による児童生徒への学習指導を実施し、沖縄県学力到達度調査における目標達成へ向け取り組む。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	②	地域支援員配置事業	H25 ～ R13	不登校および不登校気味の児童生徒のニーズに対応した支援を行うことで、不登校に至らない支援を行う。	・地域支援員配置数 教育委員会1人 （対象：小学校及び中学校）	不登校出現率10%以下	【今後のスケジュール】 今後も継続して地域支援員を配置し、不登校および不登校気味の児童生徒のニーズに対応した支援を行うことで、不登校に至らないよう支援を行う。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	③	「ぶながやの里」地域人材育成支援事業	H25 ～ R13	本村の自然や文化等についての学習機会を拡充し、人材の育成を図る。	生涯学習講座 12回以上開催	講座受講者数：144名以上	【今後のスケジュール】 本村の自然や文化、社会への基礎的な興味関心を培い、地域リーダーとなる人材の育成を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	④	児童生徒等県外派遣支援事業	H26 ～ R13	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援する。	児童生徒への県外派遣支援	児童生徒が広い視野を持てたか（80%以上）を含め、派遣された児童・生徒の保護者に対するアンケートにより、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援し、広い視野を持った人材の育成を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

大宜味村		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
2	⑤	大宜味村海外短期留学派遣事業	R6 ～ R13	海外での生活や体験または英語学習を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、夏休みを利用し村内及び村出身の中高生を英語圏へ短期間派遣を行う。	村内及び村出身の中高生を英語圏へ短期間派遣（3週間）	短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広がったか（80%以上）を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に村内中高生を英語圏へ派遣し、海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野が広まったといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
2	⑥	電子黒板等ICT機器機能強化整備事業	R8 ～ R8	村立小中学校の各教室に、EDLA認証を取得した86インチ以上の液晶ディスプレイ一体型電子黒板を整備する。これにより、授業におけるデジタル教科書の活用及び情報モラル教材の提示を行うとともに、GIGAスクール構想により整備した学習者用端末と教育機関向け電子黒板専用ソフトウェアを連携させた指導を推進し、授業におけるICT活用の一層の促進を図る。	液晶ディスプレイ一体型電子黒板の購入 17台	児童生徒にアンケート調査を実施し、電子黒板を活用した情報モラル等の授業が分かりやすかったと答えた割合が80%以上	【今後のスケジュール】 ICT機器を活用した授業実施により、児童生徒の授業に対する興味・集中力を高めるとともに、情報活用能力の向上を図る。	【R8 成果目標設定の考え方】 ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考えられる値として設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

東村		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
1	①				特別支援教育支援員配置事業	H27 ～ R13			
2	①	環境保全・ネコ適正飼養推進事業	R4 ～ R9	地域住民の安全確保及び世界自然遺産登録された貴重な自然生態系の保全のため、R4年度に実施した実態調査の結果を踏まえ、R5年度実施した飼いネコの適正飼養及び飼い主不明ネコ・地域ネコの譲渡強化を継続して実施する。	①飼いネコの適正飼養推進 ②飼い主不明ネコ・地域ネコの保護・避妊・去勢手術等の適正管理及び譲渡強化 ④ネコ適正飼養推進検討会の開催 ⑤作業員1名配置し、以下の取組を実施する。 ・ネコの保護器を設置・巡回・回収 ・保護したネコの状況確認等を実施し、保護したネコを委託先へ引き渡し。	R8ネコの捕獲頭数30頭	R6ネコの捕獲数45頭 R7ネコの捕獲数45頭 R8ネコの捕獲数20頭→30頭 R9ネコの捕獲数10頭→25頭	R5成果目標を過去5年の実績及び地域ネコを勘案して設定した。 R5の事業が途中のため、R6以降についても過去の実績及び本事業の継続実施による飼い主不明ネコ・地域ネコ頭数減を勘案し設定した。譲渡に時間がかかり、当初の予定通りとはいかないが、徐々に頭数は減る予定である。	
3	①	東村新規就農者育成センター整備事業	R7 ～ R8	村内で新規就農を志す就農希望者を育成するための研修を実施するにあたり、充実した研修環境を整えるため、座学スペースやトイレを兼ね備えた施設を整備する。今年度は実施設計を行う。	整備工事の実施	整備工事の完了	【R10成果目標】 村内における新規就農者数5名 【今後のスケジュール】 R7：実施設計 R8：建築・設備工事 R9：供用開始	【R10年度以降成果目標設定の考え方】 過去40年間の農家戸数の推移から必要な新規就農者数を設定した。	
4	①	東村オンライン学習塾支援事業	R7 ～ R13	村営塾を開校し、児童生徒の個々の学力に応じた学習支援員による指導及びICTを活用したオンライン学習塾支援を実施し児童生徒の学力向上を図る	東村オンライン学習塾：10ヶ月	①全国学力テスト正解率の上昇率：5%上昇 ②利用児童等の満足度：80%以上	【今後のスケジュール】 今後も東村オンライン学習塾支援事業等を実施し、児童生徒の学力向上を図る	【R8成果目標設定の考え方】 沖縄県到達度調査の過去の実績を勘案し設定した	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

東村		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
5	①				有銘地域便益施設整備事業	R8 ～ R8			
6	①	東村村民の森つつじ園園内安全性向上・景観整備事業	R8 ～ R8	村内観光拠点のひとつである東村村民の森つつじ園内の安全性確保と景観の質向上を図り、施設管理職員や来園者が安心して利用できる環境を整備する。	園内つつじ橋・かなめ橋の構造改善	つつじ園来園者数2.8万人	R8年度つつじ園来場者数2.8万人	過去の実績を参考にして設定した。	
7	①	東村中学生海外短期留学派遣事業	R8 ～ R13	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成する為、村内中学生を英語圏内へ短期間派遣する。	村内中学生を英語圏へ短期間派遣（3週間）	短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広がったか（80%以上）を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	今後も継続的に村内中学生を英語圏内へ派遣し、海外での生活体験等を通して、国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。		

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	教育環境充実事業	H25 ～ R13	児童生徒、個々の特性に応じたサポートを行うため、各小中学校に支援員を配置する。	小中学校にそれぞれ特別支援員（有資格者）と特別支援員（無資格者）を配置する。 ・小学校 特（有）3人 特（無）9人 ・中学校 特（有）1人 特（無）3人	対象となる児童生徒が学校生活や学習上の困難の改善を図ることができたか（90%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒、個々の特性に応じたサポートを行うため、各小中学校に必要な数の支援員を計画的に配置する。	
1	②	今帰仁村児童生徒等の県外派遣事業	H25 ～ R13	県外の人との競争や交流により、児童生徒の主体的なスポーツ競技への参画を後押しするため、村内児童生徒が各種スポーツ大会等に参加するための県外派遣の費用を支援する。	保護者へのアンケートによる効果検証：（全数実施）	アンケートで「児童生徒の競技参画への主体性が増した」 割合：（95%以上）	○今後のスケジュール 通年で継続的に事業を実施し、県外での経験を積むことにより、児童生徒の主体的な競技への参画を目指す。	・事業利用者（児童生徒）の主体的な競技への参画につながったか、アンケートにより検証する。
1	③	キャリア教育推進支援事業	R2 ～ R13	農業が基幹産業の本村にとって高校卒業を機に村外へ出る生徒が少なくない。キャリア教育を通して基礎的・汎用的能力を育み、地域の良さや長所を違う場所から見たり、新しい環境に適応できる人材を育成する為、県外の世界を体験させ、より幅広い視野と選択肢を見つけるため、県外インターシップ事業、アプレンティス育成事業等を行い、以て将来地域貢献・社会貢献できる人材の育成に努める。	・各校の授業カリキュラムと地域の人材を把握、活用、連携し子ども達の職業観を育む活動を行う。 ・職業観、経営意識を育むため、子ども達が自分たちで考えたイベントやテナント運営を行う。 ・県外事業所を活用したインターシップを行う。 ・講演会を開催する。	本事業によって基礎的・汎用的能力が育まれ就業に対する意識の向上が図られたか（向上度90%以上）を含め、各プログラムに参加した児童生徒からのアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 キャリア教育を通して児童生徒の基礎的・汎用的能力を身につけ職業観を育み、将来地域貢献・社会貢献できる人材の育成を図る。	
1	④	教育支援事業	R2 ～ R13	特別な支援が必要な児童生徒が、就学から卒業にわたる切れ目ない支援を受けられる体制の強化に取り組む為、専門的な知識や経験を有する者の面談、助言等支援体制の構築が必要である。児童生徒の心理に関して専門的知識及び経験を有する者が、村内の小中学校で面談、助言を行うことにより、集団生活や日常生活に対応できるような支援体制を図る。	・臨床心理士による巡回相談（月1回4時間）を実施する。 ・教育支援指導員による対象児童生徒の心理検査を実施する。	対象となった児童生徒のうち、問題の解消や症状が改善したと判断した割合（70%以上）を含め、養護教諭や特別支援コーディネーターへのアンケートにより本事業のあり方を検証する。		

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								1	⑤
1	⑥	中高生海外語学留学支援事業	H25 ～ R13	海外でのホームステイ等を通じ、外国文化の交流を行うことで、国際的な広い視野を持つ人材育成を図る。	本村今帰仁中学校に在学する中学生2人、北山高等学校に在学する本村出身高校生6人をアメリカに2～3週間ホームステイさせる。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(90%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 国際的な視野が広がった生徒が成長し、今帰仁村の次世代を担う人材となる。	【R8成果目標設定の考え方】 大多数の保護者がより、国際的な視野が広がったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートによる検証をする。	
1	⑦	人材育成事業	H24 ～ R13	小学生を対象に、県外児童と将来のリーダー育成の為、交流事業を行う。南国沖縄県にとって、日本の北に位置する地方はまさに「異文化」であり、異なる環境で生活している同年代との交流を行うことにより、子供達の視野が広がり及び教養に対する意欲と、将来に向けての刺激を与えることで、人材育成を図る。	小学生を対象に県外児童との交流や、気候・暮らし・文化等を学ぶ。 派遣児童数：36人	交流を通じて児童の異文化に対する視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に交流事業を行うことで、児童の視野を広げ、人材育成を図る。		
2	①	環境保全美化推進事業	H24 ～ R13	観光地として魅力的な景観形成を図るため、観光地及び観光ルートの美化を行う。また、併せて観光客の安全確保のため危険生物等の除去を行う。	・今帰仁城跡及び村内観光地並びに観光ルートの美化作業の実施。 ・観光地として魅力的な景観形成を図る。 ・危険生物等を除去する事で安全の確保を図る。	今帰仁城跡及び観光地等の美化を行い、観光地として魅力的な景観が確保されているか(80%以上)を含め、観光客に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 継続的に村内観光地の美化及び、村が管理する道路の美化を実施する。 併せて観光客が訪れる機会の多い海辺やその周辺地域において確認される危険生物等の除去を行う。		

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
バ	細				R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
					2	②			
2	③	観光力基盤強化事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、村内で実施するイベントの支援を行う。 ・現代版組踊「北山の風」 ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり ・今帰仁まつり ・今帰仁ハーリー大会	村内で実施する以下のイベントの運営費等に対して補助を行う。 ・現代版組踊「北山の風」 （11月・2月） ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり（2月） ・今帰仁まつり（8月） ・今帰仁ハーリー大会（8月）	・現代版組踊「北山の風」 来場数：1,200人 ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり 来場者数：3,500人/日 ・今帰仁まつり来場者：10,500人 ・今帰仁ハーリー大会 参加者数：770人	【今後のスケジュール】 経済の活性化を図るため、村内で開催するイベント等の支援を継続して行う。	【成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	④	観光地安全強化事業	H24 ～ R13	世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、繁忙期に駐車場、横断歩道等へ交通整理員を配置する。	1月～2月に、今帰仁城跡の駐車場及び横断歩道に交通整理員を配置する。	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件。	【今後のスケジュール】 繁忙期においても観光客が安全でスムーズに入場できるように、交通整理員を配置して安全確保に努める。	【R8成果目標設定の考え方】 環境客が安全でスムーズに入場することを目的に、交通整理員が配置された箇所において事故が無いことを目標として設定した。	
2	⑤	今帰仁城跡周辺環境整備事業	H24 ～ R12	魅力的な景観形成を図る為、河川全体の自然環境を最大限に活かし、景観に配慮した河川の整備を行う。	河川改修工事の実施。	全体計画における2.9%整備 （累積整備率80.7%）	【R13成果目標】 R13 供用開始後 魅力的な景観形成が図られたか（80%以上）を含め、観光客等に対するアンケートにより、本事業を検証する。	【R8成果目標設定の考え方】 魅力的な景観形成が図られたかは、観光客に対するアンケートを実施、大多数が肯定的であると考えられる数値として80%以上を設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
				2	⑥			
3	①	今帰仁村優良繁殖雌牛導入 支援事業	H25 ～ R13	安定した素牛生産地の確立に向け、素牛ブ ランドかを推進するため、優良繁殖雌牛を導入 する際に支援を行う。	今年度は21頭の導入を支援する。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子 牛との価格差の割合 103%以上	（今後の展開方針） ・今後の母牛の品質向上を図るため、導入した牛 から産まれた雌子牛のうち、発育良好な雌牛を保 留する。 また未導入農家に対しても導入に向け働きかけ村 内全域の母牛品質向上を図る。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
バ	細				R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
					1	①			
1	②	伝統興行観光化事業	H25 ～ R8	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」、「古典・民謡」等を新たな観光資源として活用し、ナイター闘牛や闘山羊大会、伝統芸能等の夜間イベントを定期開催することで、観光客の誘致を図る。	伝統興行の実施 2回	伝統興行来場者数：742人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にイベントを開催し、観光客の誘致を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考にして設定した。	
1	③	もとぶマイクロツーリズム推進事業	R4 ～ R9	本町を訪れる観光客等に対し地域資源を案内する人材の育成と、ガイドツアーの企画・運営を行う事務局員を配置し、地域住民主体のマイクロツーリズムの推進を図る。	町観光協会への補助金の支出 1件/年	モニターツアーの実施：10回/年	①ガイドツアーの企画・運営を行う事務局員と補佐員を1.5人配置。 ②モニターツアーを年10回実施。 ③町認定ガイドの養成講座を年1回実施。 ④認定ガイドのスキルアップ研修を計9回実施。	①ガイドツアーの企画・運営を行う事務局員と補佐員を1.5人配置。 ②モニターツアーを年10回実施。 ③町認定ガイドの養成講座を年1回実施。 ④認定ガイドのスキルアップ研修を計9回実施。	
1	④	もとぶ観光地クリーンアップ事業	R3 ～ R13	本県は亜熱帯性気候に属し、年間をとおして至るところで雑草が繁茂している状況である。年間500万人（平成29年度）が訪れる観光立町として観光地や観光地アクセス道路の環境美化を図るため、作業員を配置し年間を通してクリーン作業を行う。	観光アクセス道路（町道及び農道）や観光地の除草作業等を実施。	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか（80%以上）	【今後のスケジュール】 今後も継続的に作業員を配置し、年間を通してクリーン作業を行い観光地としてふさわしい環境美化を図る。	【R8成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。	
1	⑤	花いっぱい運動の推進事業	H24 ～ R13	観光地としての魅力的な景観形成を図るため、国道及び県道沿い等に花木の植付を行い、花いっぱいの環境づくりを行う。	・プランターへの植付＝1115基 ・町花壇、観光アクセス道路沿い植栽マスの植付	観光地の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じたか（80%以上）を含め、観光客に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に花木の植付を行い、地域ぐるみの花いっぱい運動を推進する。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてはアンケートにより検証する。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								1	⑥
2	①	もとぶブランド牛改良促進事業	R4 ～ R13	肉用牛生産農家及び農業生産法人が生産する牛のブランド化に向けた改良を促進するため、採卵用優良雌牛の導入の支援等の支援を行う。	獣医師より飼養管理者向けの研修等を実施するなどして、採卵成績の向上を図る。採卵成績には個体差もあるため、獣医師の専門的な知見を取り入れながら、当該採卵牛に適した採卵計画を検討していく。	受精卵移植の実施 3件以上	【R10成果目標】 本事業で生産された子牛のセリ平均価格：その他の子牛のセリ平均価格以上	【R10成果目標設定の考え方】 牛群の改良を評価として、生産農家の所得向上に直結するセリ価格の上昇を目指す。従来の子牛のセリ価格を上回るような設定をしている。	
2	②	メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業	H28 ～ R9	本部町の地域の特性を活かしたもとぶ産品のPRや販売支援員の配置、町産品活用推進に向けた企画制作の販促支援、物産展等への出展等を支援し、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。	・商工会への支援の実施（メイドインもとぶ産品のリスト化） （メイドインもとぶ産品のPR及び販売の支援） （町産品活用推進に向けた販促支援） （県内外物産展等への出展支援）	新規取引契約数 10件以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に特産品PR及び販売支援を行うことで、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 過去実績を勘案し設定した。	
4	①	本部町学力向上学習支援事業	H26 ～ R13	町内小・中学校に学習支援員等を配置し、国語、算数・数学、英語及びその他の主要教科において児童生徒の学力に応じた個々の学習指導等を行うことにより、学力の向上を図る。	・町立小学校 4校へ配置 ・町立中学校 3校へ配置	令和8年度沖縄県学力到達度調査での本町平均正答率 小学校 49.5%以上 中学校 38.5%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に学習支援員等を配置し、児童生徒の学力に応じた学習指導等を行うことで、学力の向上を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	②	特別支援教育環境充実事業	H28 ～ R13	特別な支援を要する園児児童生徒（心身の障害及び発達障害）に対し、特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカー・カウンセラーを配置することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員 12名配置 スクールソーシャルワーカー 2名配置 スクールカウンセラー 1名配置	・特別支援員の対応への満足度（80%以上）を含め、園児児童生徒の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカー・カウンセラーを配置することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の保護者が園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
バ	細				R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
					4	③			
4	④	児童、生徒の派遣費補助事業	R6 ～ R13	児童、生徒の県内離島又は県外での、スポーツ及び文化的活動での競争や交流の場を増やし、児童生徒に広い視野を持たせる。	町又は県を代表し、各種大会へ派遣される児童、生徒に対し派遣費の一部を補助する。	派遣対象の児童生徒に対しアンケート調査を実施。「沖縄本島内ではできない経験をすることが出来た」という回答が80%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に町内の児童生徒の県外及び県内離島派遣を補助し、児童生徒の視野の拡大を図る。	【R8 成果目標設定の考え方】 補助対象者の大多数の視野が広まったと考えられる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。	
4	⑤	本部町内中学校ICT機能強化事業	R7 ～ R10	児童生徒の情報活用能力を育成するため、町内小中学校に電子黒板を整備し、併せて体育館施設のネットワーク環境を整備し校内インターネット環境の強化を行う。	本部中学校電子黒板導入、体育館アクセスポイント整備	児童生徒にアンケートを実施。「電子黒板等のICTを使った授業が分かりやすい」という回答が80%以上	【今後のスケジュール】 今後も町内各学校に電子黒板等の整備を通して、授業の質の向上に取り組み、学習意欲の向上を図ることで町内の子どもたちの学力の底上げを図る。	【R8 成果目標設定の考え方】 ICT機器を活用した児童生徒の大多数の理解に繋がったと考えられる数値として設定した。また、教職員等にもアンケートを実施し今後のICT機器の活用方法について検証する。	
4	⑥	本部町内中学校ICT支援員派遣事業	R7 ～ R13	ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図り、教育の質を確保するため、町内の小中学校にICT支援員を派遣する。	町内各学校にICT支援員を派遣する。 小学校 4校 中学校 3校	児童生徒にアンケートを実施。ICTを使った授業が分かりやすい」という回答が80%以上	【今後のスケジュール】 今後も町内各学校にICT支援員を派遣し子どもたちがICT機器に親しみやすい環境を整備する。また、教師に対してもICT機器の活用を促し授業の質の向上に取り組み、情報活用能力の育成を行うことで町内の子どもたちの学力の底上げを図る。	【R8成果目標設定の考え方】 ICT機器を活用した児童生徒の大多数の理解に繋がったと考えられる数値として設定した。また、教職員等にもアンケートを実施し今後のICT機器の活用方法について検証する。	
5	①	低炭素なまちづくり推進事業	R5 ～ R13	二酸化炭素の排出量の削減を図るため、公衆街灯路や公共施設等の照明機器を省エネタイプのLED照明に切り替える。	LED照明切替工事発注	R8年度中に切り替えるLED照明による二酸化炭素排出量の削減21.22t-Co2/年	【今後のスケジュール】 順次、公共施設等のLED照明への切り替えを行い、二酸化炭素の排出量を削減する。	【R8成果目標設定の考え方】 R7年度に行ったLED照明切替の実施設計をもとに二酸化炭素の削減量を算定。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

恩納村		事業番号 ハ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
1	①	観光地危険生物駆除事業 （ハブ駆除事業）	H24 ～ R13	観光客や地域住民のハブ咬傷被害防止を図るため、村内各地に生息するタイワンハブ等のハブの駆除を行う。 今年度はハブ捕獲機を460箇所に設置する。	村内各地へのハブ捕獲機設置数：450箇所	捕獲機設置箇所周辺におけるハブ咬傷被害件数：0件	【今後のスケジュール】 ・捕獲機設置エリアの見直し 1将来的な目標として		
1	②	恩納村観光誘客・おもてなし推進事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、イベント及びプロモーション活動を実施する。また観光客の利便性確保を図るため、村の観光案内所である文化情報センターに観光案内人を配置する。またナビマップを製作し、観光情報の発信、観光客の利便性の向上を図る。	・観光誘客人の配置 ・観光案内人の配置 ・イベントの開催 ・プロモーションの実施 ・スポーツコンベンション事業 ・情報媒体の整備	①イベント入場者数：11,000人程度 ②村内主要ホテルへの年間宿泊客数：延べ250万人以上 ③観光客の利便性が確保されたか（80%以上）を含め、観光案内所を訪れた観光客等にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 観光誘客プロモーションやイベント活動をはじめとして、地域資源を活用したPR活動及び観光案内人の育成等を継続して行う。 将来的な目標値として ①イベント入場者数：11,000人程度 ②村内主要ホテルへの年間宿泊客数：延べ254万人以上 ③観光客の利便性について、アンケートを実施し80%以上を維持とする。	【R7成果目標設定の考え方】 ・イベント入場者数は過去最高のR5年度の来場者を参考に会場の容量を考慮し設定した。 ・宿泊客数は過去の実績平均のおおよそ10%増を見込んで設定した。 ・観光案内所利用者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	③	赤間総合運動公園機能強化整備事業	R4 ～ R8	赤間総合運動公園内のサッカー場の機能強化を行うことでスポーツ合宿の受け入れや利用者の増加を図る。	サッカー場拡幅工事実施	サッカー場拡幅工事完了	機能強化計画をもとに計画的な整備を行うことで、スポーツ合宿環境の充実及び利用者の利便性向上を図る。 スポーツキャンプ・自主トレーニング・合宿の受け入れ件数 2件	過去のスポーツキャンプ・自主トレーニング・合宿の受け入れ実績を勘案して設定した。	
2	①	特別支援教育支援員配置事業	H29 ～ R13	特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。	・特別支援教育支援員充足率：100% ・特別支援教育支援員配置数： 小学校4校：14人 中学校1校：4人	特別支援教育支援員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか（80%以上）を含め、対象となる児童生徒等の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 特別支援教育支援員を今後も継続的に配置し、支援を必要とする児童生徒の学習環境の充実に努め、学校教育における機会均等を図る。 将来的な目標として 対象児童生徒の大多数にとって困難の改善が図られたと考えられる数値として「80%以上」	【R8成果目標設定の考え方】 特別支援教育支援員の対応への満足度について、アンケートを実施し、児童生徒の大多数が困難の改善が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

恩納村		事業番号 バ 細	事業名	計画 期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
2	②				学校ICT支援員配置事業	R5 ～ R13			
2	④	日本語通級指導教室補助員配置事業	R5 ～ R13	外国籍児童の学習や学校生活の対応のため、英語の堪能な日本語通級指導教室補助員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。	・日本語通級指導教室補助員充足率 100% ・日本語通級指導教室補助員配置数 小学校1校：2人	日本語通級指導教室補助員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか（80%以上）を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 日本語通級指導教室補助員を今後も継続的に配置し、支援を必要とする児童の学習環境の充実に努め、学校教育における機会均等を図る。 将来的な目標として 対象児童の大多数にとって困難の改善が図られたと考えられる数値として「80%以上」を維持	【R8成果目標設定の考え方】 日本語通級指導教室補助員の対応への満足度について、アンケートを実施し、児童の大多数が困難の改善が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	②	恩納村防災事業	H24 ～ R13	大規模自然災害が発生したと想定し各自治会、観光事業所等と連携し、避難訓練及び避難所運営訓練を実施する。又、防災倉庫や備蓄品を整備し、災害に強いまちづくりを推進する。	防災訓練の実施 防災倉庫の設置 備蓄食料等の整備 海拔表示板・避難所案内板設置	【防災訓練】 防災士数：3名 備蓄食料（主食）：備蓄率64.3% 備蓄飲料水：備蓄率50.1% 【海拔表示板・避難所案内板設置】 多言語対応表示板の設置比率100%	【防災訓練】（R14予定） 村内事業所（GM会）、観光協会及び村内16自治会で防災訓練をとおし防災意識の向上を図り、村内16自治会に各2名、合計32名の防災士の育成、連携を強化する。 食料（主食）：約29,000食 備蓄率100% 飲料水：94,304ℓ 備蓄率100% 必要資機材等 沖縄県地震・津波被害想定調査結果より 日常的に海拔を目にする事で 「自分が今いる場所がどれくらい危険か」 を村民及び観光客が自然と認識できる状態をつくる。	【R6成果目標の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けた整備計画を実施していくことを成果目標として設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

恩納村		事業番号 バ 細	事業名	計画 期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
5	①				地域特産品等開発支援事業	R5 ～ R12			
6	⑤	学力向上支援員配置事業	R5 ～ R13	授業における学習指導を補助し、学習内容の定着と思考力、判断力、表現力等の育成のために、個に応じたきめ細やかな学習支援を行うとともに不登校状態の児童生徒や教室に入ることが難しい支援が必要な児童生徒に対し、一人ひとりの特性や興味関心に応じて、個別最適で効率的な知識やスキルの習得、自立に向けた支援を行う。	・学力向上支援員充足率：100% ・学力向上支援員配置数： 小学校4校：4人 中学校1校：1人	各学校全国学力学習状況調査の結果を全国水準を目標とする。全国平均との正答率の差5%以内とする。	【今後のスケジュール】 学力向上支援員を今後も継続的に配置し、児童生徒の基礎・基本の学力の定着を図り、学習意欲の向上を図る。 将来的な目標として 各学校全国学力学習状況調査の結果を全国水準を目標とする。全国平均との正答率の差5%以内とする。	【R8成果目標設定の考え方】 文科省が全国水準の平均正答率を±5としているため。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	阪神タイガース春季キャンプ受入事業	H24 ～ R13	阪神春季キャンプ受入による観光誘客を図るため、防球ネットやテント、グラウンド等を整備し受入体制を強化する。	阪神春季キャンプの受入体制の構築 ・野球場防球ネット、エアアーチ、パワーテント、テント等設置 ・キャンプ会場の衛生管理 ・野球場・総合グラウンド黒土搬入 ・野球場芝管理	・阪神春季キャンプ見学者数（80,000人）	【今後のスケジュール】 今後も人員配置やプロの競技環境の確保、受入体制の構築に取り組みキャンプ受入による観光誘客を図る。 コロナ禍以降、減少している来場者数を毎年10万人程度、継続的に動員するため来場者の利便性及び安全性の向上を図る。 （令和5年度は日本一の効果もあり10万人を越えた）	【R8成果目標の考え方】 コロナ改善の実績とその他のイベント等の来場者数を参考にして設定した。
1	②	宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業	H24 ～ R13	村民が質の高い芸術公演に触れる機会の確保及び、村外からの誘客を図るため、宜野座村文化センターがらまんホールを中心に芸能文化・伝統芸能公演等の実施及び映像配信を行う。	【がらまんホール公演】 「伝統芸能」「音楽コンサート」「創作演劇」「ワークショップ」など様々な芸術文化・伝統芸能公演を6回以上開催する。 【お出かけ公演】 教育施設、福祉施設、観光施設等で文化事業を行い、文化芸術を通して交流できる芸術普及活動を行う。 【事業アーカイブ及び映像制作配信】 過去に開催した事業の写真や映像等の動画配信を3項目行う。	・芸術文化・伝統芸能公演の1公演あたりの平均集客数（285人以上） ・お出かけ公演1公演あたりの平均集客数（1,350人以上）	【今後のスケジュール】 今後も文化振興及び魅力発信に取り組み、村民が質の高い芸術公演に触れる機会の確保を図ると共に、村外からの誘客を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績等を勘案して設定した。
1	③	宜野座村着地型観光誘客推進事業	H25 ～ R13	本村の魅力ある観光資源の発信を目的としたプロモーション活動を実施するとともに、観光プログラムの開発や観光イベントの企画、人材育成の強化など着地型観光の推進に向けた取組を実施する。	・観光誘客プロモーション活動の実施 ・観光プログラムの開発 ・イベントの開催（4回） ・外部専門家（アドバイザー）の招請	宜野座村の観光入客数（23万人）	【今後のスケジュール】 SNSや誘客プロモーションの強化、イベントを開催して地域資源を活用した着地型観光を継続的に実施し、観光客230,000人以上を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	④	宜野座村美ら島花火大会事業	H28 ～ R13	宜野座村農村公園を中心とした場所で大花火大会を開催し、宜野座村の魅力を発信することにより観光誘客を図る。	・花火の打上 ・ステージイベント（伝統芸能等） ・会場設営 ・PRチラシの作成 ・警備員の配置	美ら島花火大会集客数（15,266人/2日間）	【今後のスケジュール】 今後も花火の演出やイベントの充実化に取り組み、新規リピーター獲得に向けて観光誘客を図り、15,000人以上の来場者を目指す。	【R8成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業番号 バ 細	事業名	計画 期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								1	⑤
2	①	小学校学力向上対策事業	H24 ～ R13	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながら授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を小学校に配置し、個々の児童の学力に応じた学習指導等をを行う。	【学習支援員配置数】 ・松田小学校 2名 ・宜野座小学校 2名 ・漢那小学校 2名	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上を目指す。（差0ポイント以上） 小学校 5年・6年（算数）	【今後のスケジュール】 沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上を目指す。（差0ポイント以上） 学習の基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図り、学級全体のレベルアップを目指す。	【R7成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	②	中学校学力向上対策事業	H24 ～ R13	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながらチームティーチングによる指導を行い、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置し、個々の生徒の学力に応じた学習指導等を行う。	【学習支援員配置数】 宜野座中学校 3名 （国語及び社会 1名） （数学及び理科 1名） （英語及び社会 1名）	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上を目指す。（差0ポイント以上） 中学校2年（国語・数学・英語）	【今後のスケジュール】 沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上を目指す。（差0ポイント以上） 学習の基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図り、学級全体のレベルアップを目指す。	【R7成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	④	宜野座村ジュニア海外語学研修派遣事業	H28 ～ R13	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、夏休み期間中に、中・高校生6名を英語圏へ派遣する。	中・高校生6名を英語圏へ派遣	帰国後、保護者へアンケートを実施し、生徒の国際的な視野がより広まったか（80%以上）を中心に、本事業のあり方を検証する。また、研修生OBへ追跡調査として、アンケートを実施し、本事業のあり方の検証を行う。	【今後のスケジュール】 今後も中高生を派遣し、広い視野をもった人材を派遣していく。	【R8成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野がより広まったと考えられる数値として設定した。また、研修生OBが事業に参加した経験が、現在どのように活かされているかも併せて、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	①	有機の里宜野座村確立事業	H24 ～ R13	①推進協議会の開催（協議会1回 部会3回） ②アドバイザーの配置（1人） ③会計年度任用職員の配置（2人） 栽培指導員 ④エコ販売袋、シール等の購入 ⑤講演会の実施	①栽培指導回数（480回） ②生産販売目標（116t）	①エコファーマー認定数（3名） ②エコ農産物販売目標（116t）	エコ農産物の生産拡大を図るため、継続して栽培指導及び販路拡大を行っていく。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
4	①	観光景観向上対策事業	H27 ～ R13	観光地の景観向上を図るため、監視カメラを設置及び観光ルートに専属の監視員を配置し、観光地に放置された不法投棄物の撤去等を実施する。	作業員配置1名 ・監視カメラによる監視 ・観光ルートのパトロール ・放置された不法投棄物の撤去、解体 ・不法投棄防止看板の設置	・観光地における不法投棄件数：0件/年	【今後のスケジュール】 今後も不法投棄を減少させ、景観向上を図ることで、観光振興につなげていく。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	②	危険生物駆除捕獲事業	H27 ～ R13	観光地におけるハブやハチ等の咬傷事故を未然に防ぎ、観光客や修学旅行生等の安全を確保するため、危険生物捕獲・駆除及びパトロールを行う。	・観光各所のパトロール：12回/月 ・ハブ捕獲器設置：村内150箇所 ・ハチ等の捕獲・駆除	観光客及び住民のハブの咬傷件数：0件	【今後のスケジュール】 今後も引き続き、来村者が安心して観光できるよう危険生物の駆除等を行っていく。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5	①	宜野座村企業誘致促進事業	H28 ～ R13	定住人口増加の基盤となる雇用の創出を促進するため、企業誘致活動・広報活動等を行う。 ・県内外の I T イベントへの P R ブースの出席。 ・宜野座村への招聘セミナーの実施。	①県内外の I T イベントへの P R ブースの出席。 ②宜野座村への招聘セミナー及びワークショップの実施。	①県内外の I T イベントへの P R ブースへの来場者数。200名 ②宜野座村への招聘セミナーの実施。10名/5社	【今後のスケジュール】 過去に事業にて接触した企業へも積極的にフォローアップ営業をかけながら、成果目標達成に向け取り組みを行っていき一社でも多くの新規進出企業の獲得につなげていく。施設入居率を70%を目指していく。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	①	世界のギンザンチュ子弟研修生受入事業	H29 ～ R12	海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、宜野座村出身の海外移住者子弟を受け入れ、研修及び村民との交流を行う。	宜野座村出身者海外移住者子弟4名を招聘し、3ヵ月間の研修を実施する。	受入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか（80%以上）を含めアンケートにより本事業のあり方を検証するとともに村人会へのアンケート調査も追加して本事業の成果を量る。	【今後のスケジュール】 今後も子弟研修生4名の受入を行い、海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材の育成を図る。また、事業実施中には、子弟研修生が村立小学校等で出前授業を行い、村民の国際理解教育に繋げる。	【R8成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄の文化や歴史により興味を持ったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、研修生や村人会へのアンケート調査により検証する。
7	①	小中高キャリア教育支援事業	R3 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図るため、産学官が連携したキャリア教育支援を行う。	・村内3小1中1高に対する総合的な学習及びキャリア教育に係る支援 ・グッツョブ連携協議会の開催（2回） ・周知広報等の取組み（SNSや村広報誌、事業報告パネル展の実施）	対象校の児童生徒に事前・事後アンケートを実施し、就業意識が向上したと回答した割合（80%以上）を含め、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、産学官が連携して各学校のニーズにあったキャリア教育を支援し、児童生徒の就業意識の向上に取り組む。また、児童生徒に事前・事後アンケートを実施し、就業意識が向上したと回答した割合80%以上を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の就業意識が向上したと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
				8	①			
9	①	防犯灯脱炭素化推進事業	R5 ～ R11	環境に優しく、脱炭素化に寄与するLED照明器具を整備し、環境負荷を低減を図る。	福山区51台 漢那区6台の既設防犯灯をLED照明器具へ切り替える。 (村内水銀灯および蛍光灯光源箇所を優先とする)	年間CO2排出量を脱炭素化工事前と比較して約6割削減	宜野座村内の防犯灯の脱炭素化を推進する。 R9年度 松田区157台 宜野座区12台 惣慶区2台 R10年度 漢那区 約200台 松田区約50台 宜野座区約190台 R11年度 惣慶区約180台 漢那区約10台 福山区約20台 宜野座村約70台 松田区約30台	R4年度に行った「宜野座村防犯灯省電力化実施設計」を基に算出した。 当該年度に工事が完了する翌年度に効果が発言するため、定量的な成果目標は翌年度以降に設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

金武町		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業概要	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								R8事業内容	R8活動目標（指標）
1	①	プロスポーツ受入事業	H28 ～ R13	芝生の適正管理やグラウンド整備、受入体制の強化等により、プロ野球、プロサッカーキャンプの継続受入を図る。	プロスポーツキャンプを継続して受入れるための環境整備 ・競技環境の整備（芝管理、グラウンド整備） ・見学者受入体制の整備（清掃、警備対策） ・プロスポーツ受入体制構築（テント設置、プレハブ設置） ・スポーツ教室の開催	プロチームキャンプの受入 4チーム以上	【今後のスケジュール】 引き続き前年度と同様なプロチームの受入を行い、町のスポーツ振興及び観光振興に寄与する。	【R8年成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	②	金武町観光振興推進事業	R1 ～ R13	①観光誘客を図る。 ②イベント・観光物産PRによる認知度向上を図る。 ③滞在時間・日数の延伸を図る。	①イベントの開催：(1)ハーリー大会（6月：1日間）(2)たんぼフェスタ（9月：1日間）(3)ビーチサイドイベント（7月：1日間、11月：1日間 2回）(4)新開地フェスティバル（12月：2日間、2月：1日間 2回） ②観光物産PR等の実施：(1)県内観光物産展（7月・10月）：5日間 2回） 県外観光物産展 東京（5月：2日間） 山形・岩手（8月：1日間） 埼玉・岡山（11月：1日間） (2) PRツールの作成・配布	①観光イベント 7回以上 合計来場者数 10,800人 ②観光物産PR 6回以上 合計来店者数 6,800人	【今後のスケジュール】 魅力ある観光地の整備、県内外における本町の認知度向上活動及び誘客イベントの開催により誘客数の増加に取り組む。		
2	①	金武町就職活動支援補助事業	H27 ～ R13	雇用の拡大を図るため、求職者等に対する職業相談等を行う。また、求職者及び町内事業所の従業員のスキルアップのための各種講座を開催。児童・生徒の就職意識向上を図るため、キャリア教育を行う。	求職者等に対する職業相談や求人・求職等の情報提供、各種講座、キャリア教育等を実施。 ①各種講座・講習 12回 ②キャリア教育 8回 (小学校3回、中学校5回) ③合同企業説明会 1回	①就活支援センターで就職活動した利用者へのアンケートを実施し、「就職活動に役立った」旨の回答割合が80%以上 ②資格取得率80%以上 ③キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心がわいたという回答が80%以上	国政調査で、本町の完全失業率が沖縄県の完全失業率より下回ることを目指す。	【R8年度成果目標設定の考え方】 ・本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・資格取得率は過去の実績を勘案して設定した。 ・対象者のうち、大多数が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる数値として設定した。	
2	②	観光地周辺環境美化事業	R5 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光地へのアクセス道路の環境美化を行う。	観光地へのアクセス道路及び公園（観光資源）の環境美化実施	本町が観光地としてふさわしい景観であるか（80%以上）を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 対象路線（26路線）を3回/年作業を実施する。 観光客の増加による観光地環境の変化に注視しながら、最適な回数、美化活動箇所、内容を検討する。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって観光地としてふさわしい景観となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

金武町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考		
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		R8成果目標（指標）	今後の展開方針等	補足説明等
3	①	小中学校学習支援事業	H24 ～ R12	児童・生徒の学力（英語）の向上を図るため、日本人英語指導員・外国人英語指導助手・英語コーディネーターを配置する。	小中学校学習等指導員配置数 7名 (内訳) ○日本人英語指導員 小学校：2名 ○外国人英語指導助手 小学校：2名 中学校：2名 ○英語コーディネーター 教育委員会：1名	児童・生徒にアンケートを実施し英語の授業は楽しかったと回答した割合が90%以上	【今後のスケジュール】 引き続き小中学校へ日本人英語指導員及び外国人英語指導助手・英語コーディネーターを配置し、サポートしながら児童・生徒の英語への関心を高める。	【R8成果目標設定の考え方】 アンケートの結果（R5）を踏まえ設定した。	
3	②	特別支援教育支援事業	H24 ～ R12	支援を必要とする幼児・児童・生徒の学習や学校生活面におけるサポートをおこなうため、特別支援教育支援員を配置。	特別教育支援員配置数 19名 (内訳) ○小学校14名 ○中学校5名	特別支援員教育支援員の支援により学校生活や学習上の困難が改善されたか（80%以上）を含め、対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き対象となる幼児・児童・生徒へ特別支援教育支援員の配置をし、個々に応じたサポートを行う。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が学校生活や学習上の困難が改善されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	③	金武町ハワイ短期留学派遣事業	R2 ～ R12	中学生・高校生（10人）及び引率職員（1人）をハワイへ派遣する。	○町内在住の中学生・高校生（10人）及び引率職員（1人）をハワイへ派遣 ○「金武町ハワイ派遣事業体験記」の作成及び発行（帰国後）	短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広がったと感じたか（80%以上）を含め、生徒へのアンケートにより、本当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き海外において異文化等を体験できる機会を確保し、人材の育成に取り組む。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な広い視野が持てたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	
3	④	学校ICT教育推進事業	R6 ～ R10	双方向型のよりわかりやすい授業実施のため、既存のプロジェクター型電子黒板からテレビ型電子黒板に機能強化するとともに、ICT教育支援員を派遣し、児童・生徒の学習習熟度の向上に寄与することとする。	テレビ型電子黒板の整備 10台 ICT教育支援員配置数 2名	児童・生徒にアンケートを実施し、テレビ型電子黒板を活用した授業がわかりやすかったと回答した割合が80%以上 教員にアンケートを実施し、ICT教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと回答した割合が80%以上	【今後のスケジュール】 R8 電子黒板10台更新 ICT教育支援員2名配置 R9 電子黒板10台更新 ICT教育支援員2名配置 R10 電子黒板10台更新 ICT教育支援員2名配置 ※年度ごとにアンケートを実施し、その効果を確認する。	【R8成果目標設定の考え方】 テレビ型電子黒板へ更新したことにより既存のプロジェクター型電子黒板よりも画面の明瞭さが改善され授業がわかりやすかったと回答した割合が80%以上とした。 ICT教育支援員を配置したことによりICT機器を授業に活用できるようになったかどうかを計るため、習熟度が上がったと回答した割合が80%以上とした。 80%以上の設定については、概ね肯定的な意見としての数値を設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

金武町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	バ 細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
				3	⑤			
4	①	金武町海外移住者子弟等研修生受入事業	H29 ～ R13	海外と本町を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、海外移住者子弟等研修生を受け入れる。 受入人数：3人 研修期間：8月～12月の間 研修報告（閉講式）：1回	研修生アンケートや研修生が所属する各国金武町人会にアンケートを実施し、「沖縄の歴史や文化について知識を深める事ができたか」「研修に参加した子弟が、帰国後本町と移住国におけるネットワーク強化に貢献できる人材として活躍できているか」について80%以上を目指し、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き伝統芸能等の文化教養の継承及び人的な交流を通して、移住地と本町の交流の懸け橋となる人材を育成し、本町との交流への活動参加人数を前年度比100%以上にする。	【R8成果目標設定の考え方】 当年度の研修生や各国金武町人会の会長、役員等へアンケートを実施し、当該事業のあり方を検証できるものとしている。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								1	①
2	①	伊江村自動車航送コスト負担軽減事業	H26 ～ R13	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。そのため、自動車航送運賃コスト負担の軽減を目的に助成を行うことで定住条件を改善し、「住みよい村づくり」の振興を図る。加えて、上記助成適用後、離島患者を対象に航送運賃1/2の助成を行い離島患者支援を図る。	・車両航送に対する運転手1名分の運賃補助 ・上記助成適用後、離島患者を対象に車両航送運賃1/2の補助	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか（80%以上）を含め、村民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 車両航送に対する補助を行い、離島の地理的条件による不利性を軽減することで、定住促進への取り組みを継続して実施する。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートの実施により継続して検証していく。	
3	①	村花・世界のゆり植栽推進事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、村花であるテッポウユリと世界のゆり球根を植栽し、花の島づくりを推進する。	ゆりの植栽 テッポウユリ 52,000球 世界のゆり 38,000球	令和8年度第29回伊江島ゆり祭り来場者数 R8年 17,000人	【R8成果目標】 品質の良い球根確保とイベント企画による来場者数の増 (R8目標 17,000人)	※前年度を上回ることを目標として数値を設定。 【実績】 H30：26,000人 H31：36,000人 R2：中止 R3：中止 R4：4,500人 R5：28,000人 R6：12,300人 R7：13,000人	
3	②	観光地クリーン事業	H27 ～ R13	・魅力的な観光地としての景観形成及び観光客数の維持・増加を図るため、観光地の環境美化及び保全をし、観光客の受入体制を強化する。	・観光地環境美化保全 【主な美化保全観光施設】 城山周辺、リリーフィールド公園、ミースイ公園、伊江港周辺、ニヤティヤ洞、湧出、青少年旅行村	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光地の継続的な環境美化及び保全に努め、観光客数の維持、増加につなげるべく、観光振興の取り組みを継続的に実施していく。	【成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
3	③				観光誘客整備事業	H26 ～ R13			
3	④	ゆり祭り活性化推進事業	R6 ～ R13	村の一大イベントである伊江島ゆり祭りを活性化させるため、祭りイベントの企画・運用及び会場までの無料送迎バスを活用した取り組みを行う。伊江島ファンを増やすことで、根強い魅力ある祭りへ展開することができる。	・4月初旬までにゆり祭りイベント委託業務の発注 ・4月初旬までにゆり祭り会場等送迎バス運行委託業務の発注 ・4月初旬までにゆり祭り駐車場等警備委託業務の発注	令和8年度第29回伊江島ゆり祭り来場者数 R8年 17,000人	【R8成果目標】 イベント企画・運用及び送迎バス等によるゆり祭り来場者数の増 (R8目標 17,000人)	※前年度を上回ることを目標として数値を設定。 【実績】 H30：26,000人 H31：36,000人 R2：中止 R3：中止 R4：4,500人 R5：28,000人 R6：12,300人 R7：13,000人	
4	①	確かな学力を育む学習支援員配置	H25 ～ R13	学習支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	・学習支援員の配置 小学校（2校8人配置） 中学校（1校4人配置）	・小学校・中学校共に沖縄県学力到達度調査での県平均正答率を上回る。	【今後のスケジュール】 正答率30%未満の児童生徒の割合を小学校で10%以下、中学校においては各教科において30%以下に減らすべく取り組みを継続的に実施していく。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績等を勘案して設定した。	
4	②	各種大会派遣費助成事業	H25 ～ R13	村外の児童生徒との競争や交流の機会を増やし、広い視野を持たせるため、本村の児童生徒のスポーツ活動・文化活動において、地区大会や県大会等への派遣旅費について支援する。	各種大会派遣費の助成：1,550人	・対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	(今後の展開) 派遣費助成人数(累計) R13年度末時点：約15,500人		

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								5	①
6	①	伊江村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業	R2 ～ R8	村内の戦跡保存及び周辺整備・安全柵・案内板・説明版を設置し、歴史の生きた教材として平和学習に活用する。	整備工事の実施	整備工事の実施完了	・施設利用者に対してアンケート調査を実施し、効果的な平和学習による施設利用が可能となったか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	対象者のうち大多数が平和学習の促進が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
7	①	ICT支援員配置事業	R3 ～ R13	教員のICT機器の習熟及びICT機器を活用した授業や学習教材等を効果的かつ持続して実施できるよう、小中学校にICT支援員を配置する。	12人（小学校8人、中学校4人）	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合が80%以上 ・教員にアンケートを実施し、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合が80%以上	教師がICT機器を活用した分かりやすい授業を行い、児童生徒の興味・集中力を高め、学力の向上を図れるよう展開していく。	教師がICT機器を活用した分かりやすい授業を行い、児童生徒の興味・集中力を高め、学力の向上を図ることを目的としているため、児童生徒にアンケートを実施し、「ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合が80%以上」、教員にアンケートを実施し、「ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合が80%以上」とする。	
8	①	ひとり親世帯等学童利用支援事業	R4 ～ R13	ひとり親世帯等の育児の負担軽減を図るため、学童保育施設がひとり親世帯等の学童利用者に対して利用料を減免した場合に補助を行う。	学童保育を利用する家庭への経済的負担軽減を行い、学童保育を利用できる環境を整える。 対象者：非課税世帯及びひとり親世帯 対象経費：学童保育利用料 月額10,000円（8月のみ20,000円） 年間一人あたり130,000円	安全・安心に子どもを預けることができ、子育てへの負担が軽減されたか（80%以上）を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き利用者への支援を行うことで、保護者の負担軽減を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が負担が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業番号 ハ 細	事業名	計画 期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								9	①
10	①	伊江村山羊振興対策事業	R7 ～ R9	山羊生産組合の輸送コスト削減を目的に、家畜運搬車を整備することにより、複数頭の山羊を効率的に運搬でき、輸送コストを低減を図る。山羊生産の拡大や優良種畜の増頭が進み、地域畜産業の振興となる。	優良種畜山羊（雄・メス）の導入補助：20頭（年間）	優良種畜山羊（雄・メス）の導入：20頭（年間）	山羊生産事業を促進するために、優良種畜を導入することにより、繁殖生産基盤の拡大を図ること、新たな産業としての位置付けと、古くからの沖縄の食文化である山羊生産振興に努める。事業実施前における年間セリ市出荷頭数の実績から、令和9年度に出荷頭数が20%増加を目標とした。	事業実施前における年間セリ市出荷頭数の実績（R5年度88頭）から、令和9年度に出荷頭数が20%増加を目標とする。 セリ市場輸送頭数 R9年 105頭	
11	①	伊江村立聖苑施設機能強化整備事業	R7 ～ R9	施設全体の機能強化を図り、無煙・無臭で明るい空間を維持しつつ、より環境に配慮した運営を可能にするための機能強化工事を行う。	施設全体の機能強化を図り、無煙・無臭で明るい空間を維持しつつ、より環境に配慮した運営を可能にする。さらに、長期的な施設の持続可能性を確保し、施設の信頼性と利便性を向上させることで、住民の安心・安全な生活環境をつくる。	・伊江村立聖苑施設機能強化工事監理業務 ・伊江村立聖苑施設機能強化火葬炉設備工事 ・伊江村立聖苑施設機能強化空調設備工事	・伊江村立聖苑施設機能強化修繕工事監理業務 ・伊江村立聖苑施設機能強化火葬炉設備修繕工事 ・伊江村立聖苑施設機能強化空調設備修繕工事		
12	①	伊江村公共施設LED化推進事業	R8 ～ R11	公共施設のLED化を行うことで温室効果ガス削減における環境負荷の軽減、省エネ化推進を図る	・伊江村公共施設LED化推進事業実施設計業務	・実施設計業務の完了	LED化を行い、電力量・CO2排出量の削減（50%以上の削減を目指す。）	各月LED整備前、整備後の電力量を比較し50%以上削減されているかを確認する。（データ・資料にて作成・保管する。）	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
13	①	離島診療所代診医派遣事業	R8 ～ R13	代診医を招聘する事で、伊江村立診療所の常勤医師2名の医師不足を解消し、島民の生活基盤である医療体制及び診療体制の充実化を図る。	伊江村立診療所の安定的な診療体制確保による診療体制の構築を図り、定住促進を図る。	利用者や利用者ご家族へアンケートを取り、利便性が高まったとの回答80%以上を目標とする。	<p>村立診療所は、1日の患者数が約100件あり、現在の医師2名体制だけでは過重負担となるため、当面は常勤2名と代診医師派遣で診療体制を維持する必要がある。</p> <p>医師の適正な労働環境を維持しながら、村民の医療ニーズに対応したサービスを提供し、満足度向上を図る。</p>	<p>アンケートの内容（案）</p> <p>①代診医派遣の必要性の有無</p> <p>②代診医派遣時の診察待ち時間</p> <p>③代診医の専門料への要望</p> <p>などの質問より利便性、満足度を検証する。</p>
14	①	気象観測機器機能強化事業	R8 ～ R9	新たな気象観測機器の導入による機能向上及び設置見直しを図る事で、停電や災害時にも観測を行う事ができるようになり、適時適切な気象観測データの集計が可能となる。また、村内を一円したデータ取得のための観測地点の追加整備を行う事で、さらなる農業生産振興の発展に寄与する。	気象観測機器の設置に係る調査及び設計。	調査・設計の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・気象観測機器機能強化調査設計業務 ・気象観測機器機能強化設置工事 	スムーズ且つ的確な観測情報により農業支援に寄与できたか主要農家や農業団体へのアンケートを実施しデータ・資料を保管する。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
ハ	細				R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
					1	①			
1	②	読谷村スポーツコンベンション促進事業	H24 ～ R13	スポーツキャンプ等の誘致を促進し、地域への波及効果を高める取り組みを行う。また、キャンプチーム本拠地等でファン層に向けた観光・物産PRを実施し、観光誘客を図る。	・各種スポーツキャンプ等誘致活動（3回） ・キャンプチーム本拠地等での観光誘客活動（3回以上） ・キャンプ期間中の集客イベントの実施（1回以上） ・受入体制強化・協議会運営	・スポーツコンベンション受入件数・・・18件以上 ・県外誘客イベントPR観客数・・・49,000人以上 ・キャンプ期間中の来場者数・・・20,000人以上	【今後のスケジュール】 スポーツキャンプ等について、新規及び継続的なチームについて誘致を行い、地域への波及効果の最大化を図るために受入体制の強化も行う。また、県内外においてファン層等に向けた観光・物産のPRイベントや一年を通じた情報発信を行うことで、村内への誘客を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。	
1	③	農村風景環境保全事業	R6 ～ R13	観光地周辺道路等の環境保全（除草・清掃・剪定）を行い、本村の魅力ある沖縄らしい農村風景を保全・活用することで、快適で魅力ある観光地づくりを図る。	・除草：農道L=4,850m、防風林帯L=4,850m、沈砂池S=7,500㎡ ・清掃：農道L=4,850m、防風林帯L=4,850m、沈砂池S=7,500㎡ ・剪定：防風林帯L=3,330m	農村環境について、観光地としてふさわしい農村風景になっているかについてアンケート等実施。観光地としてふさわしいと回答した割合80%を目標とする。	【今後のスケジュール】 魅力的な観光地としての農村景観形成が図られたか（80%以上）を含め、観光客や観光関係団体等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	④	読谷村陸上競技場機能強化事業	R7 ～ R9	読谷村陸上競技場の機能強化により、利活用の向上を図るとともに、スポーツコンベンション誘致の一層の充実を図る。	読谷村陸上競技場機能強化工事の実施	読谷村陸上競技場機能強化工事に内、芝生の張替及び散水栓の設置の完了	【R10成果目標】 ①スポーツキャンプ受入数5回以上 【今後のスケジュール】 R7：実施設計・機能強化工事 R8：機能強化工事 R9：機能強化工事 R10：供用開始	【R10成果目標設定の考え方】 読谷村陸上競技場の機能を強化させることにより、施設の利活用が向上したことを客観的に評価するため設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村		事業番号 バ 細	事業名	計画 期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
2	①				特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R13			
2	②	中学生海外ホームステイ派遣事業	H25 ～ R13	<p>海外での生活や体験を通して、国際的な視野を持つ人材を育成するため、村内在住の中学生を英語圏へ派遣する。</p>	<p>村内在住の中学生を英語圏へ派遣</p>	<p>【保護者を対象としたアンケート】帰国後に国際的な視野が広まったと回答した割合80%以上</p>	<p>【今後のスケジュール】 継続的に派遣を実施し、国際的な視野を持つ人材の育成を図る。</p>	<p>【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の生徒の国際的な視野が広まったと考えられる値として設定した。</p>	
3	①	沖縄語（しまくとぅば）保存継承事業	H25 ～ R13	<p>現在では日常生活で会話することも少なくなった沖縄語の保存継承に寄与するため、身近な生活の中で語られてきた沖縄語をわかりやすく学び、親しむためのデータベース及び辞典などを作成・公開する。併せてそれらを活用し講座や普及・継承活動を実施する。</p>	<p>①HPへ単語・民話・音声の追加・追記と公開 ②講座実施 ③普及・継承活動実施</p>	<p>①HP総表示回数：9万件以上。しまくとぅば語彙に付随する画像1000点、音声データ100件追加。 ②実施回数150回、総受講者数3,000人及び講座満足度80%以上。 ③コミュニティFMや村広報での周知、自治会や各種団体での周知など30回以上。</p>	<p>【今後のスケジュール】 しまくとぅばに親しみつつ理解を深めるためのツールとしてHPへの語彙追加、画像、音声データ追加を継続し、その後のコンテンツ強化へとつなげる。講座は、年々需要が高まっており、質量ともに向上に努める。しまくとぅばに親しむための普及活動とともに指導者養成につながるような講座や取組にも着手する。</p>	<p>【R8成果目標設定の考え方】 ①HPの総閲覧回数。R7年度目標値と同等。 ②講座実施回数、受講者数：質量を担保するためR7年度実績値から設定。 ③R7年度と同等。広報・PR活動等。</p>	
3	②	歴史資料の整理活用事業	R4 ～ R13	<p>沖縄や本村に特徴的な歴史を後世に継承していくため、本村が所蔵する種々の歴史資料や歴史公文書等を調査し、整理・保存する。また、貴重資料や閲覧需要が見込まれる資料から順次デジタル化、データベース化をすすめ公開する。</p>	<p>①村史編集室およびユンタンザミュージアム収蔵貴重資料のデジタル化及びファイリング（歴史公文書、民俗学的調査に関する写真、音源など）。 ②戦後村復興に関する貴重資料をHPへ追加、公開。 ③収蔵資料の整理、目録化。 ④R7年度構築ウェブサイトへ収蔵図書（資料）の追加。写真資料の公開。 ⑤令和5～7年度作成4ウェブサイトの運用。</p>	<p>①デジタル化写真点数約1万点。その他資料のデジタル化約200点。 ②公開資料点数200点。 ③村史編集室およびミュージアム収蔵図書・資料約2,000点登録。 ④図書（資料）追加登録2,000件以上。写真資料1万点公開。 ⑤HP総表示回数4万回以上。利用満足度80%以上。</p>	<p>【今後のスケジュール】 所蔵資料の整理を進める過程で貴重資料あるいは資料の閲覧需要が見込まれると位置づけられた資料のデジタル化や公開を順次行う。今後は構築、公開したデータベースへの資料追加のほか、需要が見込まれる写真資料のデータベース公開を行い資料点数充実を目指す。併せて事業の成果を活用し、展示等により村の歴史・文化の普及、発信にも取り組む。</p>	<p>【R8成果目標設定の考え方】 ①概算したデジタル化可能資料件数。 ②概算したHP公開可能資料点数 ③新規登録資料点数、月100点ほどを想定。 ④令和7年11月現在試算公開可能資料点数。 ⑤令和5～7年度公開HPの総閲覧回数。令和6年度の総閲覧回数を設定。満足度はHP上でアンケートを集計し、読谷村の歴史・文化への理解が深まったと回答した割合。</p>	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
3	③				フィールドミュージアム整備活用事業	R5 ～ R13			
4	①	読谷村工芸品県外等プロモーション戦略事業	H26 ～ R7	本村工芸品であるヤチムン、読谷山花織、琉球ガラスの販路拡大とヤチムン等を活用した観光誘客を図るため、県外へマーケティングやプロモーションを行う。	・県外PR及びテストマーケティング（3回） ・観光客向け県内プロモーション（3回） ・周知用媒体ツールの修正及び増刷（琉球ガラス、ヤチムン冊子、パンフレット） ・ヤチムンを活用した作陶人形の製作及び絵付け体験の実施	①県外プロモーション事業 イベント時の集客数2,000人以上 ②県外プロモーション時のアンケート回答者数300人 ③ヤチムンで制作した作陶人形の絵付け体験者300名	・国内のPRも継続して実施し、認知度向上を目指す ・体験を実施し伝統工芸の振興に役立てる	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
5	②	楚辺通信所跡地シムクガマ戦跡・カー森広場整備事業	H26 ～ R11	悲惨な戦争を引き継ぐとともに、ガマという特徴的な自然資源を保全し、均衡のとれた整備・保全により、戦跡・平和学習を核とした総合的な学習の場として新たな観光地づくりを図る。			【R12成果目標】 「シムクガマ戦跡・カー森広場を訪れた人数：9,000人以上」 【今後のスケジュール】 令和6年度：基本設計 令和7年度：実施設計及び土地境界確定測量 令和8～10年度：用地購入 令和11年度：整備工事 令和12年度：供用開始	【R9成果目標設定の考え方】 H26年度策定の「楚辺通信所跡地シムクガマ戦跡・カー森広場整備基本計画」で設定した入込目標を基に設定した。 ※H26年調査時の現在の入込数 約5,800人	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
5	③				読谷村駐留軍用地跡地「瀬名波通信施設」廃棄物処理事業	H30 ～ R11			
5	④	瀬名波通信施設跡地（非農用地）利用推進事業	R3 ～ R8	瀬名波通信施設跡地の振興及び非農用地の早期着工に取り組むため、開発許可申請の手続きを行い、現在施工中の県営土地改良事業（農用地）との一体的跡地利用（田園都市形成）を推進する	開発許可申請の実施	開発許可申請の完了	【R8成果目標】 整備可能になった非農用地面積 15ha 【今後のスケジュール】 開発許可申請の手続きが完了次第、不発弾探査や整備工事等早期着工に向けて取り組む。	【R8成果目標設定の考え方】 開発許可により、整備可能になった非農用地面積を用いて設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	観光プロモーション事業	R3 ～ R13	観光誘客を図るため、観光関連イベント等においてプロモーション活動を行う。	・観光イベントへの出展（8回） ・誘客イベントの実施（2回）	町入域観光客数 587千人 誘客イベント来場者数 6千人	【今後のスケジュール】 今後も魅力的な観光情報を発信し、本町を知ってもらう機会を創出し、成果目標達成に繋げていく。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	②	スポーツツーリズム推進事業	R5 ～ R13	プロスポーツチームのキャンプやスポーツ大会などを誘致し、飲食業、地域の特産品などを促進し、地域全体の経済活動を活性化させることを目的とする。	・プロスポーツキャンプの誘致 ・スポーツコミッション連絡協議会の設立へむけた関係団体への勉強会による意識醸成。	・プロスポーツキャンプ誘致 1団体 ・スポーツコミッション連絡協議会の設立へむけた関係団体への勉強会による意識醸成。	【今後のスケジュール】 R7-R14 ・受入競技団体の誘致活動 ・スポーツツーリズム連絡協議会活動実施。	
2	①	学習支援事業	H24 ～ R13		学習支援員の配置数 小学校：6人 中学校：6人	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校：県平均並み、それ以上 中学校：県平均-3ポイント以内 沖縄県学力到達度調査において、正答率30%未満の児童生徒減少 小学校：正答率30%未満の児童の割合が県平均より低いこと 中学校：正答率30%未満の生徒の割合が県平均より低いこと	【今後のスケジュール】 学習支援を要する児童生徒の学力の向上を図るため、「県の正答数に満たない児童生徒」へ重点的に支援するとともに、対象者に合わせた補習の内容の工夫や対象者を明確にして関わる職員で共有することで、支援の効果を高め小学校平均正答率県平均並若しくはそれ以上、中学校：県平均-3ポイント以内を目指す。 沖縄県学力到達度調査において、正答率30%未満の児童生徒減少を目指す。 小学校：正答率30%未満の児童の割合が県平均より低いこと 中学校：正答率30%未満の生徒の割合が県平均より低いこと	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業番号 バ 細	事業名	計画 期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
2	②				英語力強化事業	H24 ～ R13			
2	③	生徒指導強化事業	H24 ～ R13	居場所づくりや登校支援を中心として、対象児童生徒への支援の充実のために小中学校へ生徒指導支援員を配置する。また、問題を抱えた児童生徒に対し、当該児童生徒が置かれた環境へ働き掛けたり、関係機関等とのネットワークを構築するために教育委員会へスクールソーシャルワーカー（SSW）を配置する。	生徒指導支援員 配置数：2人 スクールソーシャルワーカー（SSW） 配置数：1人	不登校出現率 ・小学校5.3%以下 ・中学校5.5%以下	【今後のスケジュール】 各学校の不登校の実態や要因を把握し、不登校につながっている要因のアセスメントをおこない、要因に合わせた対応をおこなう。また、問題を抱えた児童生徒に対し、当該児童生徒が置かれた環境へ働き掛けたり、関係機関等とのネットワークを構築し不登校出現率の目標値を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業番号 ハ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								2	④
2	⑤	特別支援教育支援事業	H28 ～ R13	学習や生活面で特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難への支援を図るため、町内の各小中学校に特別支援教育支援員を配置し、必要な支援を行う。	支援員の配置数 小学校：14人 中学校：3人	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き、特別な支援を要する児童生徒に対して、安心して教育を受けることができるよう配置するとともに研修の内容において、具体的な多様な支援方法について充実を図り、アンケートで、特別支援員の対応への満足度（80%以上）を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 対象となる児童生徒の保護者のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	⑥	プログラミング力育成事業	R8 ～ R8	情報通信関連産業と連携し、プログラミング出前講座を放課後時間を実施し、プログラミングの仕組みや思考を体験することによりプログラミング力を養い、プログラミングへの興味関心を高めることで、将来的なIT関連産業の担い手となる児童がICTに親しむ機会確保を図る。	町立小学校と町公共施設にて、情報通信関連産業によるプログラミングの出前講座を125回以上の開催。	参加者へ体験後にアンケートを実施し、プログラミングへの興味関心が高まったか（80%以上）を成果目標とする。	プログラム思考の習得度、プログラミングへの興味関心が高まったか（80%以上）など、アンケート調査を通じて事業の成果や今後のあり方について検証し、講座の難易度などを習熟度をとって充実を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 今後の事業の方針やさらなる充実のために、ニーズ調査を実施する。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考		
事業番号	事業内容			R8事業内容	R8活動目標（指標）		R8成果目標（指標）	今後の展開方針等	補足説明等
2	⑦	嘉手納町史企画展パネル等制作事業	R7 ～ R8	令和8年1月1日に嘉手納町が町制施行50周年を迎えるにあたり、町に関する資料等を改めて収集・整理し企画展等を実施することで町が歩んできた歴史の継承を目的としている。	・図録の制作 ・企画展の開催	・図録の配布 ・企画展の開催	【R8年度以降成果目標】 ○町内公共施設等での企画展： 年1回開催 ○歴史・文化講座参加者数：250人	R7年度に制作したパネル等について、R8年度に企画展を開催する事を皮切りに、翌年度以降のパネル展示、歴史・文化講座での活用により町の歴史の継承を図る。	
2	⑧	海外短期留学派遣事業	R8 ～ R12	国際社会に対応できる人材を育成することを目的として、町内中学生を英語圏へ短期間派遣させ、海外留学を通じて若者に異文化理解や国際的な視野を養わせ、地域社会の発展に貢献できる人材の資質向上を図ることとする。	嘉手納町の次代を担う中高校生をアメリカ合衆国に派遣することにより、その国の風土及び文化、歴史を学び、青少年の親善交流を通して相互理解を深め、国際性豊かな人材育成並びに将来国際社会に適応する能力と資質向上を図る。	保護者アンケートにおいて、帰国した生徒の国際的な視野が広がったか（80%以上）を含め、当事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 今後も継続的に町内中高生を海外へ派遣し、そこの生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野が広まったといえる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	①	雇用促進事業	H25 ～ R13	求職者の就職促進を図るため、就職相談窓口を開設し、就職活動の支援を行う。	相談窓口開設 90日	①相談者のうち就職が決まった人数：11人以上 ②相談者のうち就職が決まった人数の割合：5.8%以上 ※「就職が決まった人数」は、支援後に就職が決まった（内定を得た）人数。支援後の後追い調査（年2回）で確認。	【今後のスケジュール】 相談窓口の開設のほか、就職に有利な資格取得支援を行い、失業率改善を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	①	廃棄物リサイクル事業	H25 ～ R12	ごみの排出量を削減し、ゴミ処理施設及び最終処分場の長寿命化を図るため、本町で排出される草木を回収、チップ化し、再資源化を行う。 事業実施の効率化を図るため、トラックスケールを購入する。	草木の回収及び再資源化（チップ化）の実施 機器購入の入札の早期実施	草木の再資源化率100% 機器の購入	【今後のスケジュール】 今後も継続的に町内から排出される草木をチップ化し、再資源化することで環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築する。 【将来的な目標】 草木の再資源化率100%を継続し続け、再生可能なまちづくりにつなげる。	本事業によってごみ処理施設及び最終処分場がどの程度長寿命化されたかを計測することは困難であるが、本町から排出される草木が再資源化されることで確実に施設の長寿命化に資することから、排出された草木ごみ全てを再資源化（チップ化）することを指標として設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考		
事業番号	事業内容			R8事業内容	R8活動目標（指標）		R8成果目標（指標）	今後の展開方針等	補足説明等
5	①	避難施設防災備蓄機能強化整備事業	R5 ～ R13	沖縄県は島嶼県であり、自然災害による被害も多いことから、町民や観光客等の災害時の安全確保を図るため、防災非常食等の計画的な導入を図る。	町内の避難所等における備蓄品等の必要数量の整備を計画的に行う。 ○食料等の整備 ・サバイバルフーズ25年保存（48セット） ・備蓄食料用備蓄水（2ℓ）15年保存（242本） ・備蓄飲料水（500ml）15年保存（5,796本） その他7年保存備蓄食料・水等	年1回以上防災訓練及び防災啓発活動等を実施し、アンケートにより、備蓄の重要性を感じたとの回答割合：「80%以上」	○町内の避難所等へ町内避難者及び観光客避難者等の非常食料等を整備 ・備蓄品の更新を年次的に行い、大規模災害等に備える。	備蓄食料等整備計画に基づき設定。	
5	②	防災啓発事業	R8 ～ R8	嘉手納町内の防災・減災の強化の実現に向けて、ハザードマップの情報や避難場所が掲載されている防災マップを作成し冊子を一般町民及び防災関係部署へ配布を行う。	防災マップ冊子及びデジタル媒体を作成、町民及び関係各所に配布設置を行う ・防災マップ 全戸6,500部 町内主要施設設置 ・WEB版 一式	防災マップ等の作成・配布を行う。	【今後のスケジュール】 防災マップを作成し町内全戸及び主要関係施設への配布設置を行う。町民及び観光客に対し、災害時の避難知識向上を図る。		
6	①	嘉手納町公共施設等省エネ化推進事業	H30 ～ R9	CO2の排出量を削減するため公共施設等の照明を環境負荷の少ないLED照明に切り替える。	・嘉手納小中学校グラウンド照明設備のLED化	R8年度中に切り替える器具による二酸化炭素排出量の削減効果 【嘉手納小中学校グラウンド】 削減量 19,971kg-CO2/年	【今後のスケジュール】 ・今後も嘉手納町地球温暖化防止計画目標（3,538,159kg-CO2）の達成に向け、町全体で継続してCO2削減を推進する。	【R8成果目標設定の考え方】 既存照明をLED化することで見込まれるCO2削減量を推計して設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								1	①
1	②	北谷町観光物産プロモーション事業	H24 ～ R13	知名度向上、観光客誘客推進として、国内外を対象に観光資源の効果的なPRを行う。	日本国内及び台湾におけるプロモーションを実施する。	北谷町観光情報ポータルサイト（北谷日常）閲覧回数 R8年度目標値：150,000回	【今後のスケジュール】 今後も継続的にプロモーションを実施し、観光客の誘客を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定	
1	③	安良波公園整備事業	R6 ～ R8	人気スポットである安良波公園の園路を拡張し、利用する観光客や地元住民らの利用者による混雑を解消することで、安心して利用できる環境を整え、更なる観光誘客を図る。	R8整備工事（園路工、排水工、照明工、植栽工）	整備工事のうち、園路工、排水工、照明工、植栽工の竣工。	【R9年度成果目標】 ・安良波公園利用者数 54万人/年	安良波公園利用者数実績 H26 454,705人 H27 436,114人 H28 437,921人 H29 407,585人 H30 412,832人 R1 343,001人 R2 205,727人 R3 261,778人 R4 495,854人 R5 463,508人 R6 468,662人 ※R4利用者数について、R3のインディアンオーク号・バスケットコート改修とコロナ明けのため、過去最大となった。	
1	④	北谷公園園路整備事業	R8 ～ R9	県内有数の観光スポットであるサンセットビーチと安良波公園を結ぶ北谷公園園路の拡張・整備を行い、安心して利用できる環境を確保するとともに、地域の魅力度を高め、観光客の来訪促進を図る。	R8 実施設計（測量、地質調査、公園設計）	北谷公園園路整備実施設計のうち、測量業務、地質業務、公園設計の完了。	【R10年度成果目標】 回遊ルート利用者の満足度80%向上（アンケート調査による） 【今後のスケジュール】 R8 実施設計 R9 北谷公園園路整備工事	【R10成果目標設定の考え方】 大多数から肯定的な評価を得ていると考えられる数値として「80%以上」と設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
2	①	英語指導助手派遣事業	H24 ～ R13	小学校児童の英語への興味・関心を高めるため、英語指導助手（AET）を配置する。（隣接する幼稚園兼務） 中学校生徒の英語能力の向上を図るため、英語指導助手（AET）を派遣する。	小学校 4名（各校1名、幼稚園兼務） 中学校 2名（各校1名）	小学校：児童の英語への興味・関心が高まったか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 中学校：沖縄県学力到達度調査において、英語の県と本町の平均正答率の差0.2ポイント以上	引き続き英語指導助手を配置する。	【R8成果目標設定の考え方】 小学校：対象児童のうち大多数が興味・関心が高まったと考えられる値として設定。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 中学校：過去実績を勘案して設定した。
2	②	日本語指導学習支援員派遣事業	H25 ～ R13	日本語による会話能力の向上を図るため、日本語指導学習支援員を学校に配置し、日本語が十分に理解できない外国籍児童や帰国児童等への学習支援を行う。	日本語指導学習支援員配置：2名	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合80%以上等を含め本事業のあり方を検証する。	日本語指導学習支援員を継続して配置し、日本語指導が必要な児童生徒の早期の困り感解消に取り組む。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。評価者は学級担任及び日本語指導学習支援員とする。
2	③	学力向上学習支援員派遣事業	H26 ～ R13	児童生徒の学力の向上を図るため、学習支援員を全小中学校に各校1名（計6名）配置し、個々の学力に応じた学習指導を行う。	小学校 4名（各校1名） 中学校 2名（各校1名）	沖縄県学力到達度調査において、県と本町の平均正答率の差 小学校 △0.9ポイント以上 中学校 △2.3ポイント以上	学習支援員を継続して配置することにより、沖縄県学力到達度調査の平均正答率の向上に取り組む。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	④	北谷町ハワイ短期留学派遣事業	H25 ～ R13	海外での生活や体験を通して国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、本町の中高生をハワイへ短期留学させる。	中・高校生ハワイ短期留学派遣：14名	学生へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合（80%以上）を含め、当該事業の充実を図る。	引き続き町内中高生をハワイ州に派遣し語学等研修及び人材交流を実施する。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定
2	⑤	特別支援教育支援員派遣事業	R6 ～ R13	町立幼稚園及び小中学校に在籍する特別な支援が必要な幼児児童生徒について、学校生活や学習活動上の支援を行うため支援員を派遣する。	幼稚園 各園1～2名 小学校 各校4～6名 中学校 各校2～3名	特別支援教育支援員の派遣により、学校生活や学習活動における幼児児童生徒の困り感が改善されたとする割合が75%以上等を含め、本事業のあり方を検証する。	支援を必要とする幼児児童生徒の増加に伴い、今後も引き続き特別支援教育支援員を派遣し、対象幼児児童生徒の学校生活上の介助や学習活動上の支援を行う。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。評価者は学級担任とする。
2	⑥	学校ICT支援員配置事業	R8 ～ R13	小中学校にICT支援員を派遣し、教員がICT機器を授業等で活用できるようサポートを行い、児童生徒のGIGA端末を活用し、学力の向上や人材育成を図る。	ICT支援員配置数	ICT支援員の対応で教員のICT活用指導力の向上等が図られたか（80%以上）を含め、教員へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	教員のICTを活用した指導力の向上により、児童・生徒が学校・家庭で主体的にオンライン学習が行えるようになるよう計画を進めていくことができる。	児童・生徒がICTを活用した授業・学習ができるようになり、学習指導要領でも位置づけられているICTの積極的な活用につながり、また、教員の業務の負担軽減にもつながる。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
2	⑦				北谷町立小中学校LAN機器等機能強化事業	R8 ～ R8			
3	①	北谷公園屋内運動場省エネ推進事業	R8 ～ R8	温室効果ガス排出の削減を図るため、北谷公園屋内運動場の照明器具をLED照明に切り替える。	北谷公園屋内運動場照明施設LED化の実施設設計及び工事実施	北谷公園屋内運動場照明施設LED化の実施設設計及び工事の完了	【今後のスケジュール】 令和8年度 ・北谷公園屋内運動場照明施設LED化の実施設設計及び工事 令和9年度以降 ・成果目標の達成度検証	【成果目標設定の考え方】 事業前後の年間CO2排出量を比較し、削減量60%を目標とする。	
3	②	広域火葬場整備負担金事業	R8 ～ R10	高齢化社会に伴う火葬需要に対応するため、沖縄市、宜野湾市、北谷町及び北中城村を構成市町村とし、将来にわたって安定的な火葬サービスの提供及び住民負担の軽減など、広域的な火葬需要に迅速かつ効率的に対応できる新たな火葬場を整備する。	造成工事に着手・完了し、擁壁・杭工事（令和9年度中に完了）に着手する。	造成工事に着手・完了し、擁壁・杭工事（令和9年度中に完了）に着手する。	【施設整備】 施設整備事業として、令和8年度～10年度の3年間の工程を計画。令和10年度中の供用開始に向け、造成工事、擁壁工事、本体工事、外構工事の工程を計画的に実施し施設整備を完了する。 【整備完了後】 施設の供用開始に伴い、火葬受け入れを開始する。	【施設整備】 施設整備事業として、令和8年度～10年度の3年間の工程を計画。各年度の工程の進捗が後年度に影響するため、各年度に計画している工程を遅滞なく実施することを目指す。 【整備完了後】 死亡者推計等から施設利用の見込割合をもとに成果目標値を設定した。	
4	①	北谷の縄文ブランド化実行事業	R8 ～ R12	「北谷の縄文ブランド化実行計画」に基づき、マルシェイベント等ブランディング施策を実行し効果検証を行う。	ブランディング実行体制の整備・伴走支援を受けながらマルシェイベント等のブランディング施策の実行・効果検証を行う。	イベント等開催期間中のアンケート調査において縄文に関するアンケート調査を行い、北谷の縄文を新たな魅力として広めたい意識度80%以上を目指す。	【今後のスケジュール】 R9～13年度 「北谷の縄文ブランド化実行計画」に基づき、継続したイベントの開催、あらたな企画等を生み出し、地域との連携を図るとともに計画で設定したKGI達成を目指す。	基地返還後に見つけた新しい魅力を地域資源としてとらえ、地域ブランドとしての価値を高めるためには実績の積み上げ及びトライアンドエラーを繰り返す必要があるため時間を要す。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								4	②
5	①	跡地利用推進事業	H24 ～ R12	今後返還が予定される駐留軍用地の有効かつ適切な跡地利用計画策定に向けた跡地利用推進調査及び説明会等を実施する。	・桑江第一タンクファーム地区：関係機関との協議参加及び記録作成 ・キャンプ瑞慶覧（インダストリアル・コリドー）地区：地権者への継続的な情報提供、跡地利用基本計画（案）作成、地権者合意形成活動	（桑江第一タンクファーム地区） ・協議報告書 （インダストリアル・コリドー） ・調査報告書の作成	【R12成果目標】 （キャンプ桑江南側） 跡地利用基本計画（素案）策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上 【R12成果目標】 （桑江第一タンクファーム） 跡地利用基本計画（素案）策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上 【R11成果目標】 （インダストリアル・コリドー） 跡地利用基本計画（素案）策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上	数値については、大多数から肯定的な評価を得ていると考えられる数値として「80%以上」と設定した。	
6	①	里海モニタリング事業	R8 ～ R12	生物調査「里海プロジェクト」の成果をもとに、豊かな自然の普及啓発活動を行うとともに、継続的なモニタリング調査が必要なサンゴ等生物調査を行う。	生物調査の結果に関する企画展（昆虫を中心に）、参加型モニタリング調査（干潟観察会）およびサンゴ等海域のモニタリング調査を行う。	生物調査の結果に関する企画展（昆虫を中心に）、参加型モニタリング調査（干潟観察会）開催時などにアンケート調査を行い、「北谷の自然に対する関心が高まった」80%以上を目指す。	【今後のスケジュール】 R9～13年度 生物調査からわかった内容を活用した企画展示・観察会を行うとともに、サンゴ等のモニタリング調査を継続する。 ・貴重さをPRするとともに保全意識の醸成を図る。 ・観光資源としての価値を高める。 ・町、地元業者等と連携した情報共有 R13～17年度 第2回大規模調査を行う	自然環境保全意識の醸成には長期的な普及啓発活動の継続等が必要となる。また、環境の変化等をとらえるには継続したモニタリング調査が必要となる。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
				7	①	北谷町平和を愛するまち推進事業		

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業番号 バ 細	事業名	計画 期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
1	①				北中城まつり活性化事業	H24 ～ R13			
1	②	観光誘客プロモーション事業	H26 ～ R13	ウェブやSNS等のICTを活用したプロモーションや、データ収集分析などDXの推進を図る。また、観光案内や観光イベントでのプロモーションを実施するとともに、観光ガイドの育成及びWebマッチングをおこない、さらなる誘客を図る。	・観光イベントでのプロモーション ・インターネット上、SNSの観光案内の情報発信強化 ・来訪者アンケート収集、分析による観光動向調査 ・観光ガイド民泊客受入れ調査	・主催観光イベント参加者数：700人 ・観光案内WEBコンテンツの閲覧数：73,300回/月 ・民泊客受入れ事業者観光ガイドモニタリングツア－満足度：80%	【今後のスケジュール】 観光誘客のため、SNSやウェブサイトでのプロモーションの強化を図るとともに、観光イベントの実施や観光ガイド等体験商品のPRにより、観光地としての認知度の向上に努める。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。	
1	③	ウェルネスツーリズム推進事業	R4 ～ R13	女性長寿日本一の健康長寿ブランドを活かしたウェルネスツーリズムの推進を図る。	・ウェルネスワークショップの開催（1回以上） ・ツーリズムイベントへの出展	・ウェルネスワークショップへの総参加者：20人 ・ツーリズムイベントでの商談実績：各5件	ワークショップ参加目標：20人 商談目標：各5件	-	
1	④	コミュニティバス実証事業	H30 ～ R10	交通弱者及び村内を訪れる観光客の移動利便性を高めるため、コミュニティバス（デマンド型）による実証実験を行い、本村に適した地域公共交通の本格導入に向けた検討を行う。	・運行日数：360日以上 ・運行台数：2台	年間利用者数：18,000人	【今後の展開方針】 デマンド交通による実証運行を実施し、村に最適な地域公共交通モードを検討する。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								1	⑤
1	⑥	ライカム地区公園整備事業	R8 ～ R13	本村の新たな顔となる観光拠点のまちづくり 及び安心安全なまちづくり推進と、災害にも 強い魅力あるまちづくりを目指すため、防災 公園の整備を行う。	公園整備基本設計業務の実施	公園整備基本設計業務の完了	【R14成果目標】 公園整備後、当該整備に対する観光客や住民 の「肯定的な評価」80%以上 【今後のスケジュール】 R9実施設計 R10～R13整備工事 R14アンケート実施	【R14成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が「肯定的な評価」をしてい ると考えられる値とを設定した。また、本事業のあり 方について、アンケートにより検証する。	
2	①	キャンプ瑞慶覧返還地区等跡 地利用推進事業	R3 ～ R10	キャンプ瑞慶覧ローワー・ブラザ住宅地区の 跡地利用を推進するため、土地利用計画の 検討を行う。	・関係機関等との協議の実施 ・跡地利用整備計画（案）のブラッシュアップ	・跡地利用整備計画の見直し及び必要に応じ修 正	【令和8年度以降】 跡地利用整備計画(案)作成後、当該計画に 対する地権者の「肯定的な評価」80%以上	地権者のうち、大多数が「肯定的な評価」をして いると考えられる数値を設定した。また、本事業 のあり方については、アンケート調査により検証す る。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	バ 細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
2	②	喜舎場住宅地区跡地利用推進事業	H25 ～ R10	キャンブ瑞慶覧喜舎場住宅地区の跡地利用を推進するため、返還予定区域の跡地利用の検討を行う。	跡地利用の基本計画（案）の作成 喜舎場 SIC の機能向上に係る検討	・本地区における跡地利用の検討に対する地権者や村民等の「肯定的な評価」80%以上	【R8成果目標】 本地区における跡地利用の検討に対する地権者の「肯定的な評価」80%以上 【今後のスケジュール】 今後も喜舎場住宅地区の跡地利用について地権者の意向を確認する。	【R8成果目標設定の考え方】 指標の設定については、概ね大多数の人が興味を持っていると言える数値として設定。
2	③	駐留軍用地跡地の土地利用再編検討業務	R8 ～ R12	駐留軍用地跡地（泡瀬倉庫地区）の土地利用再編に向けた検討を行う。	土地利用再編に向けたコンセプト検討 民間活力導入可能性調査の実施	民間活力可能性調査の完了	【R14成果目標】 駐留軍用地の跡地が有効活用されたかを把握するため、土地利用再編後の施設整備における利用者や住民等へのアンケート調査により、魅力的な施設整備が図れたか（80%以上）を検証する。 【今後のスケジュール】 R8 基礎調査 R9 跡地利用計画（案） R10 跡地利用計画 R11 基本設計 R12 実施設計 R13～ 整備工事	【R14以降成果目標の考え方】 土地利用再編後の施設整備における利用者や住民等へのアンケート調査による満足度の指標を設定することで、駐留軍用地の跡地が有効活用されたかを把握する。
3	①	グッジョブ連携推進事業	H27 ～ R13	児童生徒の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験等を実施する。	・ジョブシャドウイング：小学校2校 ・職場体験：中学校1校 ・小学生向け起業家教育プログラム実施 ・高校生向け起業家教育プログラム実施 ・登録企業開拓：20件 ・求職者の個別支援：30件	・就業に対する意識が向上したか(80%)以上を含め、アンケート調査により本事業の検証を行う。 ・就業者数：3人 ・職業訓練校マッチング人数：3人 ・相談件数140件以上	【今後のスケジュール】 追跡調査の結果も踏まえ、企業や学校、地域との連携を密にし、引き続きキャリア教育の推進に取り組む。 【今後のスケジュール】 求職者が求める求人企業の開拓を進め、求職者と求人企業のマッチング向上を図る。 本村の失業率（6.5%）を沖縄県平均失業率（5.6%）まで改善を目指す。	【R6成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒が就業に対する意識が向上したと考えられる数値として設定した。 【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
4	①				営農支援強化事業	H24 ～ R13			
4	②	農を活かした健康・福祉の里づくりに向けた推進事業	H30 ～ R8	耕作放棄地を利活用するため、民間事業者による医食同源・農福連携・健康長寿への取組支援及び円滑な事業展開を図るためのエリアマネジメント組織設立に向けた支援を実施する。	・事業エリア（市街化調整区域）における地区計画素案の策定 ・遺産影響評価にむけた委員会の立ち上げ	各段階別事業進捗率 ・第一段階（100%）R6完了 ・第二段階 30% ・第三段階 47% ・第四段階 9% ・第五段階 9% ・第六段階 11%	【今後のスケジュール】 ・各段階整備区域ごとのタスクを進めながら整備完了を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 タスク管理表をもとに今年度実施業務の進捗率で設定する。	
4	③	水産養殖スタートアップ支援事業	R7 ～ R9	本村の海洋環境変化に対応した新たな水産養殖の可能性を調査し、地域資源を活かした水産業の振興と地方創生を推進する。	・新規養殖事業者支援者数：5人以上 ・テストマーケティングの実施 ・プロモーション（試食会等）：1回以上	・新規牡蠣養殖事業者数：5人 ・北中城村産牡蠣の販路：10社	当該事業終了後は漁業組合による自走を目指す。		
4	④	漁業用施設等の整備に向けた調査検討業務	R8 ～ R9	北中城村漁業協同組合の事務所及び加工施設について、将来を見据えた整備のあり方を検討する。	新規漁業用施設等整備にむけた調査	新規漁業用施設等整備に向けた調査の完了	【R13成果目標】 策定する水産加工施設整備計画の中で、水産物の加工量、加工品目数、衛生管理体制の向上等に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした水産加工体制の強化および地域振興施策を実施する。 令和6年度加工量実績：12ト 令和13年度加工目標量：15ト 【今後のスケジュール】 R8 整備検討調査業務 R9 基本設計業務 R10 実施設計 R11 工事着手 R12 竣工 R13 運用開始	【R13成果目標の考え方】 本事業で策定する水産加工施設整備計画に基づき、施設運用開始後においては、水産物の加工量拡大、新規加工品の開発、衛生管理体制の向上、販路拡大などの目標値達成に向けた取組を進めることを成果目標として設定する。これにより、地域水産業の競争力強化と漁業者所得の向上を図る。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	バ 細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
5	①	総合英会話指導支援事業	H24 ～ R13	生きた英語に触れることで、児童生徒の英会話への興味・関心を高めるため、村立小中学校に英会話指導員を配置する。	村立小中学校に英会話指導員を配置する。 ・小学校 2 校：2 人（うち1名は子ども園兼務） ・中学校 1 校：1 人	・英語検定の受験者数：215人 ・児童生徒へのアンケートにより英会話が楽しいと感じる割合80%以上	【今後の展開方針】 国際性豊かな人勢育成の素地を培うため、継続して生きた英語に触れ合う機会を創出する。	【R8成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案し設定した。 ・大多数が楽しいと感じると考えられる数値として「80%以上」とした。
5	②	国際人材育成事業	H24 ～ R13	英会話力、英作文力、英文読解力の向上を図るため、IT機器を活用した小・中学生向けの英語講座を実施する。	・講座・交流体験参加人数：30人 ・英語検定試験：1回	英語検定試験各級合格率70%	英語検定の取得者が各学年に向けた指導体験による循環が行えるように機会検討する。	英語検定取得者による体験指導では、専門部によるフォローを実施する。
5	③	海外移住者子弟研修生受入事業	H24 ～ R13	南米3カ国（ペルー、ブラジル、アルゼンチン）から海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため研修生を受け入れる。	・海外移住者子弟受入人数：3人 ・研修報告会：1回	・受入れた研修生が、沖縄の文化や歴史により興味を持ったか（80%）を含め、アンケートで本事業のあり方を検証する。	指標の設定については、概ね大多数の人が興味を持っていると言える数値として設定。 今後の展開方針としては、各国村人会の役員交代がある際には、元研修生が役員に就任するよう村人会へ働きかける。北中城村で研修を受け、対面での人的交流をした元研修生が役員へ就任することにより、今後も引き続いたネットワークの形成に寄与できると考えます。	指標の設定については、概ね大多数の人が興味を持っていると言える数値として設定。
6	①	米国統治下の北中城村実態調査事業	R4 ～ R8	米国統治下における本村の歴史的経過（集落復興、村行政の歩み、教育、産業、軍用地施設の推移など）を明らかにするため、各種調査を実施する。	・冊子原稿執筆・編集・監修	・冊子発行	【今後のスケジュール】 R9.3月：冊子の発行 R9：報告書利用者アンケート調査 【R9 成果目標】 冊子利用者に対し村の歴史への理解度等に関するアンケートを実施し本事業の成果を検証する。	【R9】成果目標設定の考え方 冊子利用者のうち大多数が理解が深まったと考えられる値（80%以上）とした。
7	①	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R13	特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行い、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、支援員を配置する。	特別支援員を配置する。 ・小学校：9人 ・中学校：3人 ・こども園：4人	支援員に対する満足度（80%以上）を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、ニーズ・課題の把握を行う。	【今後の展開方針】 本事業の継続により、早期から一貫した支援の充実を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 ・大多数が満足していると考えられる数値として「80%以上」と設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	バ 細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
				7	②			
7	③	児童生徒の県外派遣旅費等支援事業	H29 ～ R13	児童生徒が学校教育の一環として県外に派遣される場合に、その派遣費用について補助を行う。	県外への派遣団体数：5団体（90人）	派遣された児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後の展開方針】 本事業の継続により、児童生徒の意欲向上及び健全育成に取り組む。	【R8成果目標設定の考え方】 指標については、対象者のうち概ね肯定的であると言える数値として80%を設定した。
7	④	小中学生県外派遣支援（社会教育関連）事業	H29 ～ R13	県外大会への参加を村内に在住する小中学生に等しく機会を与え、子ども達の視野を広げるため、社会教育の一環として派遣されるスポーツや文化活動に係る大会派遣に対して航空運賃を補助する。	派遣者数50人	保護者アンケート「子どもの視野が広がったか」の問いに80%が広がったと回答	本事業の周知活動を引き続き継続し、目標派遣人数及び成果目標の達成につなげていく。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業番号 ハ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
					R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①		民間事業者の活力を活かした新たなまちづくり促進事業	R4 ～ R13	地域課題や住民ニーズに即した商業施設を誘致することで、良好な住環境の確保、村内雇用の創出、村内農家の販路拡大、更に本村内にこれまでなかった交通結節点を整備し商業施設と連携させることで、交通弱者対策や多世代交流の促進など、魅力的で持続可能なまちづくりを推進する。	・事業者公募アドバイザー業務	・商業施設事業者との契約	【今後のスケジュール】 (R9年度) ・インフラ整備 ・タウンセンター地区排水設計・工事 (R10年度) ・既存建物解体設計 (R11年度) ・既存建物解体工事 ・施設整備 (R12年度) ・施設誘致 (R13年度) ・施設供用開始	
1	②		防災体制整備事業	H27 ～ R11	沖縄県は台風等の自然災害が多く、本村は津波被害や土砂災害の危険性の高いことから、自然災害に強い村づくりを推進していくため防災基盤の整備を実施する。	・防災行政無線屋外子局機の整備	・防災無声難聴地域の解消(10カ所)	・間取りに問題がないか継続して調査を行い防災体制の維持に努める。	
2	①		吉の浦公園施設機能強化整備事業	H28 ～ R13	本村のごさまる陸上競技場におけるキャンプ誘致を推進することでスポーツコンベンションを魅力とした観光メニューを実施するとともに、スポーツ振興の拠点である吉の浦公園等施設の機能強化を行う事で、スポーツを活かした観光振興を図る。	①ごさまる陸上競技場芝生の適正管理 ②多目的広場整備	①プロ・アマチュアサッカーの合宿誘致件数3件、 大学チーム等のキャンプ受入 ②多目的広場整備設計完了	【R9成果目標】 年間利用客数人：32,000人	【R9成果目標設定の考え方】 施設利用実績を参考に設定した。
2	③		観光地周辺環境美化事業	H29 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地へのアクセス道路の環境美化（除草・清掃）を行う。	アクセス道路の美化清掃の実施	魅力的な観光地としての景観となっているか（80%以上）を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		
2	④		中城護佐丸まつり事業	R8 ～ R12	地域経済の活性化を図り村の発展に資することを目的に、地域資源を活かした観光振興事業として中城護佐丸まつりを開催する。	中城護佐丸まつり開催に係る運営費の補助	来場者数：1日4,500人	【今後のスケジュール】 今後も地域経済の活性化を図り村の発展に資することを目的に、中城護佐丸まつり開催に係る運営費を支援する。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
				4	①	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業		
4	②	きめ細かな児童生徒支援事業	H24～R13	特別な支援を必要とする児童生徒に対し、個に応じた支援を行うため、特別支援員を配置する。また、不登校や発達障害等の課題解決を図るため、教育相談員と心理相談員を配置する。	①小中学校へ特別支援員配置 11人 ②相談員の配置 教育相談員 3人 心理相談員 1人	①特別支援員の対応への満足度（70%以上）を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ②不登校児童生徒復帰率31.4%		
4	④	子育て保育支援事業	H29～R13	特別な支援を必要とする子を預かる保育園を対象に、保育士の加配に対する支援を行う	加配保育士 29名	保育園での生活の困難が改善されたか（80%以上）を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		
4	⑥	オンライン英会話学習支援事業	R5～R13	村内在住の小学生・中学生を対象として、外国人講師とオンラインによる実用的な英会話学習を実施する。	中学クラス：前期32回、後期32回 小学クラス：前期32回、後期32回	・英語習熟度テストで講座を受けた生徒全員80点以上（100点中）		
5	①	歴史的資料整理公開活用事業	R4～R9	NPO法人 琉米歴史研究会が中城村に一括寄贈した沖縄戦直後から戦後間もないころにかけて米軍関係者が撮影した1万5千点近い写真・映像・発刊物などの各種資料を公開活用するため、これらの整理を行う。	・デジタルアーカイブシステムの構築 ・展示会の開催	・デジタルアーカイブシステムのプレ公開 ・展示会の開催：来場者数4,000人	R6～R7：資料に関する情報収集・調査・分析 R7～R8：公開システムの検討、システム構築、公開準備 R9～：資料の公開	
6	①	中城村農業振興推進事業	H30～R13	本村の主要品目の生産振興及び新たな推奨品目の検討にむけ栽培試験を行うと共に、営農指導員による営農指導により生産技術の普及を図る。また、農作業の省力化を図るため農業者へバックホーの貸出を行う。	①営農指導員1名及び補助員1名の配置 ②重点品目及び推奨品目の栽培方法の検討のため栽培試験を実施する。 ③バックホーの貸出	①農業指導員及び補助員の配置し営農指導及び栽培試験を実施する。 ②重点品目2品目、推奨品目2品目の継続的な栽培試験の実施 ③バックホーの稼働率 7割以上	【今後のスケジュール】 引続き試験栽培及び営農指導を実施する。	【R8成果目標設定の考え方】 農家の大多数に栽培試験の効果を行き渡らせる事ができたと考えられる指標として設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
7	①	P F I 導入による地元小規模事業者等経営安定化事業	R2 ～ R13	教育施設の再整備及び維持管理にPFIを導入することにより、沖縄の主要な産業のひとつである建設業における地元小規模事業者等の長期にわたる安定的な事業を支援する	モニタリングの実施	教育施設（小学校）グラウンド整備完了 教育施設整備（中学校）工事着手	【今後のスケジュール】 （小学校） R5 基本設計 R6 実施設計・建築工事 R7-8 建築工事 （中学校） R7 基本設計 R8 実施設計・建築工事 R9-10 建築工事 R11～ 開校準備・開校	【R8成果目標設定の考え方】 P F I 事業募集要項に記載ある内容を勘案して設定した。
7	②	中城村中学生平和体験学習事業	R5 ～ R13	【平和体験学習の実施】 ※中城中学校全生徒対象※ 1学年：村内コース（中城村内の戦跡や資料館等を巡るコース） 2学年：中部コース（県内中部地区の戦跡や資料館等を巡るコース） 3学年：南部コース（県内南部地区の戦跡や資料館等を巡るコース）	平和学習の計画的な実施	平和体験学習を今後も継続して実施した方がよいか（80%以上）を含め、参加した中学生・教員へアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	R5～R6まで事業を実施し、アンケートの結果等から効果的な事業であると判断されたため、事業をR13まで継続していくこととした。今後は学校との連携強化等を検討していく。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
1	①				観光地美化・緑化等環境整備事業	H24 ～ R13			
1	②	文化財環境整備活用事業	H25 ～ R13	西原町内にある文化財及び文化財周辺の環境美化・整備や文化財ガイドの育成及び文化財巡り等イベントを開催し、観光誘客に向けた基礎的環境整備を図る。	・文化財及び文化財周辺の環境美化・整備の実施 (環境美化) 24箇所 (整備) 文化財 1件 ・町指定天然記念物「内間御殿のサワフジ(サガリバナ)」の診断 ・文化財ガイドの育成 勉強会：12回 ・文化財巡り等イベント開催：3回	文化財巡り等イベント参加者数150名	【今後のスケジュール】 今後もガイド団体等の人材育成を行い、文化財の案内ルートパターンを増やし、活用及び周知を行う。そして、文化財めぐりイベント等においても、150人の目標を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績及び開催イベントの規模、内容を勘案して設定した。	
2	①	小学校外国語活動指導員派遣事業	H24 ～ R13	外国語活動指導員を小学校に派遣し、外国語教育の充実を図り、外国語への興味・関心を高める。	外国語活動指導員 2名派遣 (町立4小学校)	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して外国語活動指導員を派遣し、外国語教育の充実を図る。 児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検討する。	【R8成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が外国語への興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	②	不登校等児童生徒支援事業	H24 ～ R13	町教育相談室に教育相談員を配置し、学校生活等に悩みを抱える児童生徒及び青少年やその保護者等の支援を行うことで、学校生活等の困難の改善を図る。	・町内教育相談室設置及び教育相談員 3名配置 ・校内自立支援室及び自立支援員 2名配置 (全中学校配置) ・教育支援センター(仮)設置及び自立支援員 1名配置	教育相談員及び自立支援員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた人数の割合 50%以上	【今後のスケジュール】 定期的な小中学校への巡回訪問を継続しつつ、関係機関と連携を図ることで課題を抱える児童生徒や世帯に対して継続的、効果的な支援を行い、課題解決を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
					R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
2	③	学習支援員配置事業	H25 ～ R13	学習支援員を小中学校に配置し、各児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、児童生徒の学力向上を図る。	学習支援員配置数（全小中学校配置） 小学校：6人 中学校：2人	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差 ・小学校 国語 3.0以上 算数 3.0以上 ・中学校 国語 1.0以上 数学 1.0以上 英語 ▲1.0以内	【今後のスケジュール】 今後も継続して個々の学習指導を行うことで、学力向上に努める。 沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差を、小学校中学校共に全教科3ポイント以上が目標値となるよう学力向上に努める。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	④	特別支援教育推進事業	H25 ～ R13	特別支援教育支援員を小中学校に配置し、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	・特別支援教育支援員配置数 小中学校：17人 ・特別支援教育アドバイザー 6名 ※状況に合わせて各学校へ配置 ※支援対象者の数に応じて支援員数の増減あり ・支援員の資質向上のために、内部研修を実施（2回）	年度末に実施する支援対象児の状況調査において、困難が改善した児童数を85%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して個に応じた支援を行い、支援の充実と質の向上を図る。 支援対象児の状況調査において、改善した児童数を90%以上を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	⑤	西原こども園発達支援保育支援員配置事業	H26 ～ R13	幼稚園特別支援教育支援員をこども園に配置し、障がいや発達の遅れにより特別な支援を要する園児に対応した支援を行うことで、学園生活や学習上の困難の改善を図る。	・特別支援対象児の人数に応じた支援員の確保 ・支援計画で集団生活の目標を立て、支援員一人ひとりに対して適切な支援を実施	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度（80%以上）を含め、本事業の在り方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して個に応じた支援を行い、支援の充実と質の向上を図る。 対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度90%以上を目指す。	支援児個々の状態に適した支援を展開していたかを検証するため、対象となる園児の保護者のうち大多数が「特別支援員の対応へ満足している」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方・課題等についても、アンケート項目を精査しながら意見聴取を行う。	
3		親子通園事業	H28 ～ R13	乳幼児健診等の結果から、支援の必要性が高い発達気になる子と保護者の受け入れを行い、日常生活における基本動作の指導や集団生活への適応の訓練及び保護者に対する療育上の助言等を行うことで、保護者の育児不安の軽減を図る。	親子通園受け入れ組数：8組	対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減が図られたか（80%以上）を含め、本事業のあり方を実証する。	【今後のスケジュール】 今後も効果的な事業展開が実施し、対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減（80%以上）を達成できるよう継続的に取り組む。	【R8成果目標設定の考え方】 対象となる児童の保護者のうち大多数が育児不安の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業番号 バ 細	事業名	計画 期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
4	西原町雇用サポートセンター 活性化事業				H27 ～ R13	求人企業に既存支援制度の活用に向けた 助言等を行い、求職者と企業のマッチング や、就職セミナーやスキルアップ講座を開催す ることで、雇用の拡大を図る。			
5	輸入感染対策推進事業	R2 ～ R13	麻疹風しん（MR）予防接種率の向上を図 るとともに、外国人観光客受入に起因する感 染症のまん延を防ぐため、予防接種の費用を 助成する。	麻疹風しん（MR）予防接種の費用の助成 ・MR1期：1歳児 ・MR2期：小学校就学前の1年間 ・MR1期末接種者：2歳から5歳になる年度の末 日まで ・MR2期末接種者：小学校1年生から小学校6 年生まで	・麻疹風しん（MR）ワクチンの接種率95%以 上 ・外国人観光客受入に起因する麻疹風しん （MR）集団感染の発件数 0件	【今後のスケジュール】 今後も継続し、予防接種の接種勧奨に取り組 み、接種率向上を目指す。	【成果目標設定の考え方】 感染症まん延を防止するために接種率の向上を 図り、集団免疫を高め、外国人観光客受入による 集団感染を防ぐ目的であるため、集団感染の発 生件数を目標値として設定した。		
6	平和の約束運営事業	R4 ～ R13	西原町平和事業の一環として、音楽文化を 通じて平和の尊さを考え、平和の心を醸成す るとともに平和意識の高揚に努めることを目 的に、西原町平和事業「平和の約束 2026」を実施する。	「平和の約束2026」を開催	①「平和コンサート」イベント来場者350名 ②「平和バスツアー」参加者20名 ③「作品制作」作品制作数10作品 ④「平和の語りベアークイブ動画企画制作」戦争体 験者1名動画制作	【今後の取り組み】 本事業の平和を発信する取り組みは、毎年続けて 発信していくことが重要と考えられる。「平和の約 束」という取り組みを継続させるとともに、子どもや 若者等の新しい世代を巻き込んでいく。 それを踏まえ、R7年度目標同等規模の実績を後 年度も目指す。 ①「平和コンサート」イベント来場者350名 ②「平和バスツアー」開催 ③「平和資料展・作品制作」実施 ④「平和の語りベアークイブ動画企画制作」実施	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績や参加受け入れ可能な規模を想定 して設定した。		
7	西原町観光P R 促進事業	R4 ～ R13	交流人口の増加・歴史・文化の継承、ブラン ド力の強化を実現するため西原劇場への人 員配置、観光P R、町産品のP R業務、 観光・歴史・文化情報等の発信にかかる経 費として計上する。	①観光・歴史・文化情報等の発信事業 ②誘客イベントの実施 ③観光キャラクター運営事業の委託 ④町産品P R事業	①誘客イベント 6回開催 ②観光キャラクター出動 100回以上 ③町産品P R事業 6回以上 ④販路拡大・新商品開発実績（8商品） ⑤物産展イベントにおける町産品の魅力満足度 （70%）	誘客イベント、観光キャラクターの連携により交流 人口の増加を図る。また、制作した観光P Rコン テンツを活用して、P R活動の強化を図る。 今後も下記のイベント等の実施を目指す。 ①誘客イベント 6回開催 ②観光キャラクター出動 100回以上 ③町産品P R事業 6回以上、県外物産展参 加、物産展イベント開催、事業者支援事業	【R8 成果目標設定の考え方】 ①～③過去のイベント数、キャラクター出動数等よ り設定。 ④～⑤他市町村の類似事業における目標設定 値を参照に設定。		

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業 番号	事業名	計画 期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
バ	細				R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
					8				
10	②	西原町防災情報発信強化事業	R6 ～ R8	災害発生時に住民や観光客等に対して、迅速で適切な情報発信を行うため、防災行政無線の機能強化や、屋外子局（スピーカー）の性能向上や、聞こえづらい地域等の見直しを行う。	整備工事（第2工区）着工	整備工事（第2工区）完了	・実施設計を基に判明した聞こえづらい地域のスピーカーの配置等を見直し、聞こえない場所を0か所とする。 ・複数メディア同時配信や高性能スピーカーで周知することで迅速で適切な情報発信を行う。	防災行政無線システム機能強化を図ることにより、住民や観光客に対して、迅速で適切な情報発信を行うことで、災害による被害の軽減に繋げる。	
11	①	学校DX推進支援事業	R5 ～ R13	ICT機器やシステム・アプリ・サービスの活用を支援する支援員を学校に配置する。	町立小中学校6校へ支援員配置 計2名	教職員のアンケートにて昨年よりもICT技術の活用能力が向上したとする回答を90%以上とする。 児童生徒アンケートにて昨年よりもICT技術の活用能力が向上したとする回答を70%以上とする。	【今後のスケジュール】 今後も支援員による支援を継続し、学校におけるICT活用能力の継続的な向上を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 ICT支援員を配置した学校の教諭及び児童生徒へアンケート調査を実施し、教諭においては前年よりもICT技術の活用能力が向上したとする回答を90%以上、児童生徒においては、同70%以上とする、数値の設定については、90%が教諭のほとんどが向上、70%については概ね肯定的であるといえる数値として設定した。	
11	②	学校教室ICT環境整備事業	R5 ～ R10	町立小中学校の教室に大型提示装置等のICT機器を整備し、授業におけるデジタル教科書（含む独自教材などの教材）の活用、GIGAスクール構想にて整備されたタブレットの効果的な活用など授業でのICT活用の促進を図る。	大型提示装置22式の整備	児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合が80%以上	【今後のスケジュール】 次年度以降も同様に整備を継続し、5年間ですべての教室でICT機器を効果的に活用できるようにし、ほぼ毎日活用する状況を目指す。今後も児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合が80%以上を目指す。		
12		西原町ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用支援事業	R5 ～ R13	ひとり親家庭等へ利用料の減免を行った放課後児童クラブに対し、減免額を助成する。	利用料減免を行う放課後児童クラブへ助成	助成対象世帯（保護者）に対し、アンケート実施。「利用支援を受けたことで、役に立った」等の回答80%以上	事業を継続して行うことにより、当該家庭の生活の安定と自立の促進に寄与する。	【R8成果目標設定の考え方】 広く効果があったと考えられる数値として80%以上と設定。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								13	西原町公園照明LED化事業
14	西原町和牛生産推進事業	R6 ～ R13	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援及び優良種助経費の一部を支援する。また、農家の生産意欲を高めるため、畜産共進会を開催する。	・優良母牛導入（4頭）の導入支援 ・優良種付経費の一部を支援 ・畜産共進会の開催	・導入母牛の子牛とそれ以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合 110%以上	【今後のスケジュール】 導入した優良母牛から生産される子牛を保留し、母牛の改良強化を行うことで子牛のブランド化を図り、農家の経営安定化へ繋げていく。	【R8成果目標設定の考え方】 全体的なゼリ価格の高騰や低落等、市場の状況に関わらず、優良母牛から生まれた子牛の価格とそうでない子牛との価格差の割合を一定以上にしていくことにより、優良な子牛のブランド化が図られていると考えられることから、成果目標として設定した。		
15	PFI導入による効率的な小学校・児童館の整備事業	R8 ～ R8	小学校・児童館等の整備について、民間資金とノウハウを活用した効率的な整備・維持管理を図るため、PFI導入のための諸条件を整理・検討する。	PFI導入可能性調査の実施 児童館基本構想	・PFI導入方針の策定	【R14成果目標】 PFI導入による効率的な小学校・児童館の整備 【今後のスケジュール】 R8 導入可能性調査（基礎調査） 児童館基本構想 R9 導入可能性調査（公募要領・仕様書の作成） R10～ 民間による施設整備	【R14成果目標の考え方】 現時点で定量的な指標を設定することが困難であり、当該方針に基づいた目標値を基に施策を実施していくことを目標とする。		

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	与那原町魅力発信事業	H26 ～ R13	・与那原町の魅力を県内外に発信し、また観光客の誘致を図る為、各種事業により整備した新たな観光資源等を活用し、各種イベントを実施する。	・SNSを活用しての与那原大綱曳まつりを幅広くPRすることで多くの集客を図り、与那原町の魅力を町内外に発信する。 ・与那原地区社交飲食業組合への補助を行い「ゆかたまつり」の開催、「スタンブラー」を開催する。 ・地域活性化イベントを行い、与那原町の魅力を町内外に発信する。 ・軽便与那原駅舎のコンテンツを強化し、積極的なPRを行うことで観光客の誘客に繋げる。 ・大綱曳を県内外ないしはインバウンド客にも安全かつ楽しんで綱担ぎを担って頂くために、担き方・引き方レクチャー動画を作成する。	・与那原大綱曳まつりへの60,000人誘客とアンケートによる満足度70%の達成（ぜひ、次回も参加したい人の割合） ・その他事業（地域活性化イベント・ゆかたまつり）での8,000人の誘客。 ・PR強化後の軽便与那原駅舎来館者数7,000人/年の誘客。	・与那原町観光ビジョンを軸しつつ、既存の観光施設の強化、歴史伝統文化の観光コンテンツを活かした催事、地域の特色に合わせた催事等を通して、与那原町の魅力を町内外に発信していく。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	②	美化・緑化きれいなまちづくり事業	H24 ～ R13	コンパクトな町域を活かして、町内を安心・安全で気持ちよく回遊・散策できるように公共空間（道路等）の美化・緑化を促進し、環境を整え、町民のみならず町外・県外の方々が訪れた際にきれいなまちという印象を与えられるような景観・美観の創出を図る。	観光スポット及び対象ルートの景観美化保全に係る繁茂対策等を行い、散策しやすいきれいなまちづくりの創出を図る。	・本事業による取組の結果、散策しやすいきれいなまちとしてふさわしい景観及び環境であるを含め、再度訪れたいと概ね肯定的な回答（80%）について、アンケートで検証する。	【今後のスケジュール】 継続して繁茂対策、美化作業を実施する。	【R8成果目標設定の考え方】 当事業を実施したことによる町へ再度訪れたい、概ね肯定的な人の割合をアンケート調査で80%以上とした。
2	①	きめ細かな児童生徒支援事業（小学校・中学校）	H24 ～ R13	学習に遅れのある児童生徒や、特別な支援を要する児童生徒や保護者に対し、きめ細かな支援を行う為の各種支援員を配置する。	・学習支援員 9名配置 ・特別支援教育支援員 17名配置 ・特別支援教育コーディネーター 1名配置 ・保幼小中連携コーディネーター 1名 ・就学支援コーディネーター 1名	・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校：県との差0.3ポイント以上 中学校：県との差0.9ポイント以上 ・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度80%以上	R 1 3 年度まで事業を継続し、個に応じたきめ細かな指導により、基礎学力の定着に取り組みつつ、不登校児童生徒についても学習意欲や登校意欲を引き出すような支援に努める。	【R 8 成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を参考に設定した。 ・過去実績を基に削減率を設定することが困難な為、少しでも減少させるとの理由により設定した。 ・対象者のうち、大多数が対応へ満足したと考えられる値として設定した。
2	②	国際理解人材育成事業	H24 ～ R13	・英語の授業の指導助手及び小中学校の教職員とALTとの授業に関する連携・助言・支援の補助を行う。 ・クラウド型英語授業支援ソフトの導入及び英語圏諸外国学校とのオンライン交際交流授業の開催	・主任英語指導助手 1名配置 ・英語授業支援コンテンツによる授業の実施をおこなう。	・英検合格率50%以上	R 1 3 年度まで事業を実施するため英語指導コーディネーターを配置する。児童の英語学習への興味や関心度を高めることにより、英語及び他教科への学習意欲にも繋がることを目指す。	【R 8 成果目標設定の考え方】 対象者の学習意欲向上の結果を表す値として設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
バ	細				R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
					2	③			
2	④	不登校対策等事業	R6 ～ R13	不登校児童生徒に対する登校復帰、不登校となる状況を未然に防ぐために、小中学校に校内自立支援室の設置、および校内自立支援員の配置。また、学校カウンセラーの配置を小中学校に行い、学校現場に支援体制を構築し、不登校率の改善を目的とする。	・学校カウンセラーの派遣 ・校内自立支援室の設置 ・校内自立支援員の配置	児童生徒の不登校復帰率 小学校10%、中学校10%	R13年度まで事業を継続し、不登校児童生徒の学習意欲や登校意欲、社会的自立を引き出すような支援に努める。	【R8成果目標設定の考え方】 過去実績を基に削減率を設定することが困難なため、少しでも減少させるという理由により設定した。	
3	①	きめ細かな児童生徒支援事業（幼稚園等）	H30 ～ R13	特別な支援を要する児童に対し支援をする事により、幼稚園等における集団生活での対応や先に控える小学校生活のスムーズな促しを図るため、個に応じたきめ細かな支援を行うことが出来るよう特別支援保育支援員及び加配保育士を配置するとともに、特別支援保育コーディネーター及び臨床心理士による巡回相談、外部講師による研修を行う。	【配置】 特別支援保育支援員 及び加配保育士 12人 特別支援保育コーディネーター1人 臨床心理士2人 外部講師による研修3回	・対象となる園児の保護者へのアンケート調査を実施し、「特別支援員等の対応への満足度」（80%以上）を成果目標とする。	教諭及び児童、保護者の障害理解を促すことで、支援員配置を減らす。	【R8成果目標設定の考え方】 対象となる園児の保護者のうち大多数が「特別支援員の対応に満足した」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	②	ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用支援事業	R4 ～ R13	ひとり親家庭等の児童が放課後児童クラブを利用した場合の経済的負担を軽減するために、利用料を減免する放課後児童クラブへ減免に要した費用の一部を助成する。	利用料減免を行う放課後児童クラブへ助成。（ひとり親家庭等の児童受入クラブ）	対象家庭（保護者）へアンケートを行い、80%以上が「利用料減免により放課後児童クラブを利用することができた」等の回答を成果目標とする。	利用料減免を継続して行うことで、ひとり親家庭等が放課後児童クラブを利用しやすい環境を整え、子どもたちの安心・安全な居場所の確保に資する。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者の80%以上の支持を設定。	
4		与那原町海外友好親善大使人材育成事業	H27 ～ R13	与那原町出身者の海外移住先である南米やハワイとの文化交流を推進するため、語学や文化研修等を通して本町及び本県と移住先国とのネットワークを強化し、友好親善並びに沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。	研修生の受入 1名 ・地域との交流 1回 ・文化等の研修 40回 ・交流会でのアンケート実施 1回 ・帰国後報告会 およびアンケート実施 1回	・交流会の開催 1回 ・帰国後報告会 1回 ・交流会でのアンケート 国際交流に関心がある人の割合91% ・帰国後報告会でのアンケート 沖縄・与那原に関心がある人の割合100%	【今後の方針】 交流会等を継続して行うことで人的ネットワークの強化を図り、相互の文化振興や友好親善の推進へつなげていく。 研修生は、帰国後積極的に国際交流や町人会・県人会の活動に参加し、本町及び本県のネットワークの強化を図り、両国において沖縄伝統文化の継承・発展に寄与する。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								5	新しい公共交通検討事業
6	与那原町防災力強化事業	H28 ～ R0	・災害時備蓄食料等の購入及び入替 ・防災土育成の支援	災害時備蓄食料の購入 ・保存水（500ml） 3,120本 防災士資格取得補助金 6人	令和8年度備蓄食料カバー率 100%	平成28年度～令和10年度にかけて計画に基づき必要数を整備する。	令和7年度～令和10年度 ・保存水（500ml） 3,120本 非常用食料等以外の備品等は、使用年限を考慮して随時入替購入。		
7	与那原町豊かな暮らしを支える交通環境構築事業	R4 ～ R13	将来の公共交通利用に係る児童への学習会の実施、コンパクトなまちを活かした自転車利用の促進を図る為、環境整備を行う。	①交通教育の実施 ②シェアサイクル導入の実証実験継続	①公共交通教育の理解： 参加人数の80%が理解 ②シェアサイクル導入の実証実験継続	本町のコンパクトな町域を生かした移動環境の向上を図る（自転車等）。 また、自動車だけではなく公共交通等の利用を促進するための環境整備、意識啓発等を実施継続して実施することで、安全で安心な交通環境の構築する。	【R8成果目標設定の考え方】 ①過去の実績を勘案して設定した。 ②与那原町交通戦略の施策に基づき設定した。		
8	市街地拡大地区可能性調査事業	R5 ～ R8	与那原町都市計画マスタープランにおいて「市街地拡大検討地区」と位置づけられた「町道上与那原前の井線」周辺において、地権者等への市街化に対する意向調査及び市街地拡大の事業手法等を検討するとともに、都市拠点としての当該地区における都市機能の充実や良好な住宅市街地の形成を目指す。	事業実施主体の設立準備	事業実施主体の設立準備	事業実施主体の設立準備	事業実施主体の設立により、事業が進んでいくため現時点で定量的な指標を設定することが困難であり、事業実施主体の設立準備を目標とする。		

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
9	与那原町青少年人材育成交流事業	H24 ～ R13	町内の児童生徒及び青少年が、風土・文化の異なる地域での経験を通じ広い視野を持つことで、これからの町の発展に寄与する人材となることを目的とする。県外へ派遣し現地に交流事業等を実施し、異文化に触れることでより一層の郷土愛、地元愛を育む。	・町内社会教育団体への補助 (実施団体) ・県外への派遣 15人 ・報告会の開催 1回 ・ジュニアリーダークラブまたは準会員としての登録	・事後アンケートの実施。達成度の回答80% ・報告会の開催 1回 ・ジュニアリーダークラブまたは準会員としての登録 5名以上	今後も派遣事業を続けていくことで、継続的に人材育成を図る。研修受講後は積極的に町のイベントや行事に参画することで、協働のまちづくりの一端を担ってもらう。	【R8成果目標設定の考え方】 本事業において人材育成に係る活動目標については派遣事業における視点視野の広がり子どもたちが持つことであることから、事後報告やアンケートにおける参加者の達成度を成果目標とした。	
10	スポーツツーリズム構築事業	R7 ～ R11	本町は朝日が昇るエリアであり、海岸線に面している風光明媚な景色を有しており、健康やスポーツとの親和性が高い。 地域特性を活かしたスポーツツーリズムを推進することで、スポーツ合宿利用や関連した来訪者の増加及び町民との交流の機会創出を図り、スポーツを活用した新たなまちづくりを推進していくため事業を実施する。	・スポーツツーリズム構築委託事業の実施委託 ・合宿支援助成事業	・合宿受入年 3 回程度 ・町民との交流機会 3 回程度 ・助成団体2団体	【今後のスケジュール】 スポーツキャンプや合宿が定例化し、地域との交流機会を継続的に行えるようになり、地域のスポーツ振興及び住民のスポーツ参画機会を増やす。	【R8成果目標設定の考え方】 沖縄県は冬季におけるスポーツキャンプや合宿等の利用が主であるため、下半期において3回の誘致とし、町内に小学校2校、中学校1校あることから3回の交流機会とした。	
11	与那原町県外等各種大会派遣費補助事業（部活動以外）	R7 ～ R13	部活動以外の児童生徒が参加するスポーツ大会や文化活動による能力の育成と、自立心や意欲の向上を目的に県外等大会への積極的な参加を支援する。派遣旅費の一部を補助する。	個人、団体と合わせて30件の派遣費助成する。	派遣された児童生徒のうち、大会派遣後のアンケート等により知見や経験が広がったと答えた人数が80%以上	【今後のスケジュール】 派遣された生徒の自立や意欲、競争能力の向上を図るため、スポーツ及び文化活動に係る県外派遣費を支援する。	【R8成果目標設定の考え方】 派遣後に保護者または派遣された児童生徒に知見や経験が広がったと考えられる数値として設定した。	
12	与那原町県外等各種大会派遣費補助事業（部活動のみ）	R7 ～ R13	町内の学校に通う中学生に等しく機会を与え、運動大会及び文化活動による能力の育成と、自立心や意欲の向上を目的に積極的な参加を支援する。派遣費用の一部を補助する。	県外で開催予定の大会に参加する生徒に対し、航空運賃や船舶の旅費の補助を行う。	派遣された町内の学校に通う中学生のうち、派遣により知見や経験が広がったと答えた人数が80%以上	【今後のスケジュール】 令和13年度まで継続して事業を行う。継続して補助を行うことで、経験や知見を広め、健全育成及び沖縄の将来を担う人材の育成に繋げる。	【R8成果目標設定の考え方】 派遣後に保護者または派遣された児童生徒に知見や経験が広がったと考えられる数値として設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	1	青少年国際交流事業	H26 ～ R26	海外移民者との交流や海外での生活体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、青少年を海外へ派遣し、教育・文化・歴史・産業などの視察学習、ホームステイ、及び現地の学校への体験入学を実施する。	・交流事業派遣生徒数：10人 ・事前研修の開催：18回 ・事後研修の開催：10回 ・研修報告会の開催：1回	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか（80%）を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【将来的な到達点】 多様な異文化を持つ人たちの交流を通じ、様々な考え方を学び、国際的な視野を持った80%以上の生徒が実感することで国際理解教育を推進し、人材育成につなげる。 【今後のスケジュール】 国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、青少年の海外派遣を継続して実施していく。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者の内、大多数が国際的な視野が広まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	2	小学校英語指導助手配置事業	H24 ～ R13	小学生のうちから英会話に触れさせ、英会話や英語圏の文化について興味を持たせ英語力を向上させるため、小学校に英語指導助手を配置する。	小学校英語指導助手配置数：6人 ・4人 4校各1人 ・2人 中学校区各1人	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う児童の割合：80%以上	【将来的な到達点】 80%以上の児童が英会話や英語圏に興味を持つことで、国際的視野を持ち、国際社会において主体的に行動できる人材を育成につなげる。 【今後のスケジュール】 英会話や英語圏に興味を持つ児童を少しでも多く増やせるよう、今後も小学校英語指導助手を配置し、成果目標の達成につなげていく。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績と大多数の児童が興味を持ったと考えられる数値として設定した。
1	3	学力調査等事業	H24 ～ R13	学力調査等により個々の学力を把握することで、一人ひとりの課題を明確にし、学習の目的意識の醸成をはじめ、「わかる授業」の強化や家庭学習の習慣化を通して「確かな学力」の向上に繋げるため、学力調査等を実施する。また、リーディングスキルテストにより読解力の課題を把握するとともに、分析と指導法を研究・共有しながら、読解力の向上を取り入れた授業改善に取り組む。	①標準学力調査の実施 ・小学校4校 3年～4年：国語・算数 ②学力調査の実施 ・中学校2校 3年：国語・数学・理科・社会・英語 ③リーディングスキルテストの実施 ・小学校4校 5年～6年 ・中学校2校 1年～2年 ・教員 ④達成度確認テストの実施 ・中学校2校 1年～3年	①標準学力調査の平均正答率が全国値以上の科目数 ・小学3・4年：2科目/2科目 ②沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差 ・小学5・6年：算数-1.0ポイント以内 ・中学1・2年：数学+1.0ポイント以上	【将来的な到達点】 標準学力調査において、平均正答率が目標値以上の科目数2科目/2科目（小学2年）、県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差が、小学校の算数-1.0ポイント以内、中学校の数学+1.0ポイント以上となることで、一人ひとりの課題を明確にし、確かな学力の向上につなげる。 【今後のスケジュール】 今後は学力調査、リーディングスキルテストや到達度確認テストの調査結果により個々の学力を更に詳しく把握し、きめ細やかな指導につなげ、児童生徒のさらなる基礎学力の定着と学力向上を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 小学3年生・4年生は、標準学力調査において、平均正答率が全国値を上回ることを目標とした。 小学5・6年、中学1・2年は、沖縄県学力到達度調査において、令和6年度実績を踏まえ、目標値を設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
1	4	学習支援員配置事業	H24 ～ R13	通常の授業についていけない児童生徒の学力向上を図るため、小・中学校に学習支援員を配置する。	(小学校) ・8人：4校各2人配置 (中学校) ・4人：2校各2人配置	・小学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差 算数-1ポイント以内 ・中学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差 数学1ポイント以上	【将来的な到達点】 県学力到達度調査（算数、数学）において、小学校は県と本町との平均正答率の差-1ポイント以内、中学校は県と本町との平均正答率の差1ポイント以上となることで、個々の基礎学力の向上を図る。 【今後のスケジュール】 引き続き全小中学校に学習支援員を配置し、基礎学力向上に努める。	【R8成果目標設定の考え方】 沖縄県学力到達度調査において、R6年度実績を踏まえ、目標値を設定した。
1	5	特別支援教育支援員配置事業	H24 ～ R13	特別な支援を要する障害がある児童生徒への学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。	特別支援教育支援員配置数 小学校：21人 中学校：5人 幼稚園：29人	対象となる児童生徒等の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度80%以上	【将来的な到達点】 特別支援員の対応への満足度を80%以上となるよう取り組むことで幼児・児童・生徒の発達段階を踏まえた総合的な教育の充実を図る。 【今後のスケジュール】 引き続き幼稚園、小中学校に特別支援教育支援員を配置し、幼児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善に努める。	【R8成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、大多数の保護者が満足したと考えられる数値として設定した。
1	6	学校ICT推進事業	H24 ～ R13	学校におけるICT機器を活用した授業を効果的に推進するため、ICT環境の整備を行う。これにより、授業の質及び魅力の向上を図るとともに、児童生徒の集中力及び学習効果の向上並びに授業環境の効率化を推進する。	・ICT機器等の整備（電子黒板一式）52台	・教員にアンケートを実施し、ICT機器を活用することで、授業の質が向上したと答えた割合：80%以上 ・児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすくと答えた割合：80%以上	【将来的な到達点】 ICT環境の充実やICT機器を活用により学習指導の工夫改善を図り、児童生徒が電子黒板等を活用した授業で楽しい及び分かりやすくと答えた割合80%以上を維持し、学力を向上させ、人材育成につなげる。 【今後のスケジュール】 【備品購入費】 R8～R11年度にかけて、電子黒板の機能強化を図る。 【その他】 ICT機器や取組について他市町村の良い例を参考に検討を行っていく。	【R8成果目標設定の考え方】 成果目標としては大多数が習熟していると考えられる数値として「80%以上」と設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
1	7	教育相談支援事業	H24 ～ R13	不登校児童生徒数の改善を図るため、小中学校に教育相談員等を配置し、不登校または不登校傾向にある児童生徒及び不登校や発達障がい等の子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対して相談等の支援を行う。 また、学校に作業療法士を派遣し児童生徒の多様性に対応した学習環境を構築し、不登校の未然防止に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年教育相談員：1人配置 ・特別支援教育相談員：1人配置 ・自立支援教室指導員：2人配置 ・適応指導教室学習指導員：2人配置 ・心の教室相談員：6人（小学校、中学校 各1人ずつ） ・作業療法士の派遣 4幼稚園、4小学校、2中学校へ派遣 ・Q-Uテストの実施：4小学校、2中学校（全児童生徒対象） 	不登校児童生徒復帰数：46人	<p>【将来的な到達点】 相談や支援により不登校または不登校傾向の児童生徒を学校へ復帰させ、子どもの社会的孤立を防止する。</p> <p>【今後のスケジュール】 ・不登校の要因を分析して組織的な支援体制を行い、不登校児童生徒復帰数を46人以上にする。 ・多様化する不登校の要因に対して、行政・学校・家庭・地域が連携して登校支援の体制に取り組めるよう情報共有の場を設ける。 ・本人や保護者との教育相談を充実することにより不登校要因の把握に努め、効果的な対策に取り組む。</p>	<p>【R8成果目標設定の考え方】 目標値の設定にあたっては、R6年度実績値46人を目標値に設定した。</p> <p>※復帰数の計上について （文科省）学校教育法施行規則の一部を改正する省令（令和6年8月29日施行）により、不登校児童生徒が学校外の機関や在宅で学習を続けている努力を評価できることが法令上明確化された。これを踏まえ、本町においてもガイドラインを定め、一定の要件のもと学習の評価を行うとともに、同要件を満たせば出席扱いとし、登校復帰の扱いとした。（R5年度実績から）</p>
1	8	中学校外国人英語指導助手配置	H24 ～ R13	中学校英語学力の向上を図るため、中学校に外国人英語指導助手を配置する。	中学校に外国人英語指導助手を1人配置する。	<p>沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校1年 英語 + 1.0ポイント以上 ・中学校2年 英語 + 1.0ポイント以上 	<p>【将来的な到達点】 生徒が英語に対する苦手意識を克服し、沖縄県学力到達度調査における県の英語の平均正答率を3.0%上回ることで、国際的視野を持ち、国際社会において主体的に行動できる人材を育成する。</p> <p>【今後のスケジュール】 中学校外国人英語指導助手を配置し、英語学力向上に努める。</p>	<p>【R8成果目標設定の考え方】 沖縄県学力到達度調査において、県平均正答率を上回ることを目標とした。</p>

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	9	南風原町県外等派遣支援事業	H25 ～ R13	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が運動競技及び文化活動参加のため県外や国外へ派遣される場合に必要派遣費用の支援を行う。	児童・生徒及び青年会等大会派遣の支援数：260人	対象児童等の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者等に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【将来的な到達点】 経済的支援により、経験や活躍の機会を確保し、80%以上の児童生徒の視野が広がった実感することで、青少年の健全育成及び人材育成につなげる。 【今後のスケジュール】 児童生徒及び青年会等の人材育成のため、大会等の派遣を継続して支援していく。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が視野が広がったと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	10	南風原町各種大会派遣支援事業	H25 ～ R13	県外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、町内の小・中学校の児童生徒が、学校を代表し、中学校体育連盟等が主催する県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の大会派遣費用を支援する。	児童生徒の大会派遣の支援延べ77人	保護者アンケートで、児童生徒の視野が広がったと実感した割合：80%以上	【将来的な到達点】 経済的支援により、経験や活躍の機会を確保し、80%以上の児童生徒の視野が広がったと実感することで、児童生徒の健全育成及び人材育成につなげる。 【今後のスケジュール】 今後も児童生徒人材育成のため大会派遣を継続する。	【R8成果目標設定の考え方】 児童生徒が広い視野を持てたかどうかを検証するにあたっては、当該児童生徒の成長をもっとも身近で感じ取ることができる保護者にアンケートを実施することで効果を図ることとする。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。
2	1	南風原町観光景観美化整備事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成及びにぎわい創出を図るため、観光ルートとなる道路及び公園等の整備を行う。	・観光ルートの町道メンテナンス完了 ・公園7箇所の景観美化完了 ・パークゴルフ場の適正な管理実施	魅力的な観光地としての景観形成等が図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する	【将来的な到達点】 良好な景観づくりにより観光地としての景観形成について満足度を80%以上を維持することで、観光客の満足度向上に寄与し、観光誘客及び観光振興につなげる。 【今後のスケジュール】 今後も継続して町道メンテナンス等（美化清掃）やパークゴルフ場の管理を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。 パークゴルフ場の供用開始は令和8年度下旬を予定。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が景観形成が図られたと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業番号 バ 細	事業名	計画 期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考		
事業 番号	細				R8事業内容	R8活動目標（指標）		R8成果目標（指標）	今後の展開方針等	補足説明等
2	2	ヒーローのまちづくり事業	H25 ～ R13	南風原町が輩出した人材の功績を継承するとともに、観光客を本町へ誘客するため、南風原町が輩出した人材の功績や経歴、所有品の展示等のイベント等を実施する。	・イベント開催：3回 (金城哲夫生誕地イベント：2回 ヒーローを題材にした舞台化：1回)	・イベント（上映会、金城哲夫展等）来場者数：3,015人	【将来的な到達点】 観光資源の掘り起こし等により、最終年度（R13）における本事業によるイベント来客者数を4,200人以上とし、これまでの通過型観光から着地型観光への転換を図り、観光振興につなげる。 【今後のスケジュール】 観光客を本町へ誘客するため、町が輩出した人材の功績や経歴、所有品展示等のイベント継続的に実施していく。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。		
2	3	シマじまガイド事業	H24 ～ R13	住民が地元の歴史や文化を学ぶ機会を創出するとともに観光誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を実施する。	・ガイド養成新規2人 ・シマじまガイド開催12回	シマじまガイド参加者：1,400人	【将来的な到達点】 まち歩きイベント開催など体験型・地域交流型の観光を充実させることで、最終年度（R13）における本事業によるイベント参加者数を1,520人以上とし、これまでの通過型観光から着地型観光への転換を図り、観光振興につなげる。 【今後のスケジュール】 町内外からの観光客等の誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を継続的に実施していく。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。		
2	4	黄金森公園スポーツ施設活性化事業	H25 ～ R13	陸上、サッカー等合宿利用者数の増加及びJリーグキャンプ誘致による誘客を図るため、黄金森公園スポーツ施設のJリーグキャンプ受入体制等の整備を行う。	・黄金森公園スポーツ施設整備（陸上芝生の管理委託等）	・陸上、サッカー等合宿利用者数：652人 ・Jリーグキャンプ・全国大会等来場者数：2,828人	【将来的な到達点】 R8年度以降にコロナ禍前の合宿利用者数（560人）を上回り、また、事業最終年度（R13）における合宿利用者（団体）が当該施設を複数回利用した割合50%以上を目指す（R6年度：20団体中8団体）とし、スポーツアイランド沖縄緒形成に寄与する。 【今後のスケジュール】 今後も継続的にスポーツコンベンション誘致活動を行い、Jリーグキャンプ及び合宿等の定着を図る。	【R8成果目標設定の根拠】 利用者はコロナ禍の実績を超えたが、見学者数はコロナ禍の影響により、以前の数値実績の達成にはまだ時間を要すことから、R5年度からR6年度の伸び率を乗じて設定した。		

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	バ 細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
2	5	南風原町観光PR促進事業	H25 ～ R13	本町の認知度向上と地域資源の情報発信を図るため、イメージキャラクターのはえるんや野菜のお友達を活用し、様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを実施する。	・はえるん等利用数(ロゴ使用)：50件 ・イメージキャラクターによる観光PR活動（出動回数年間60回）	・SNS（Instagram）閲覧数：315,000件	【将来的な到達点】 町イメージキャラクターを観光ツールとし、最終年度（R13）におけるSNS閲覧数を315,000件以上とし、町の認知度向上と地域資源の情報発信により、観光振興につなげる。 【今後のスケジュール】 町のイメージキャラクターを活用し、県内外の様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを継続的に実施していく。	【R8成果目標設定の考え方】 SNSを積極的に使い観光PRを実施しているため、SNS（Instagram）閲覧数と設定した。SNS閲覧数は令和5年度、6年度の値を参考に設定した。
2	6	南風原町商品展開力強化支援事業	H24 ～ R13	本町の地域資源を活用して製造及び販売する商品のブラッシュアップ、企業マッチングを支援するとともに、販路開拓を図る。また、優れた特産品については、町内ブランド「はえざる良品」の認証を行う。	・相談(商品開発・販路開拓等)（延べ50件） ・企業マッチング相談（5件以上） ・販路開拓セミナーの実施（1回） ・催事への出展やテスト販売の実施（1回以上） ・優れた地域産品の町内ブランド「はえざる良品」の認証（更新含む5件） ・物産展の開催（1回）	商品改良の実施 「はえざる良品」の認証の実施	【将来的な到達点】 特産品のブラッシュアップやプロモーション等により、販売向上率（個数）を前年度比26%以上アップさせ、地域経済の活性化を図る。 【今後のスケジュール】 販売向上率（個数）：前年度比26%以上UP	【R9成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	7	南風原町和牛改良支援事業	H27 ～ R13	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入（2頭）の導入支援	導入母牛の子牛とそれ以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合 牝110%以上 去勢110%以上	【将来的な到達点】 子牛のブランド化を推進し、事業最終年度（R13）における価格差について、牝110%、去勢110%以上によって、和牛農家の生産基盤を確立させ、経営の安定化を図り、畜産振興につなげる。 【今後のスケジュール】 導入した優良母牛から生産される子牛を保留し、母牛の改良強化を行うことで子牛のブランド化を図り、農家の経営安定化へ繋げていく。	【R8成果目標設定の考え方】 全体的なゼリ価格の高騰や低落等、市場の状況に関わらず、優良母牛から生まれた子牛の価格とそうでない子牛との価格差の割合を一定以上にしておくことにより、優良な子牛のブランド化が図られていると考えられることから、成果目標として設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
2	8				南風原町AIオンデマンド交通実証運行事業	R7 ～ R11			
2	9	ふるさと博覧会事業	R4 ～ R12	ふるさと博覧会を開催し町の知名度を向上させ観光客の誘客を図る。	ふるさと博覧会開催の支援	来場客数：15,400人	【将来的な到達点】 最終年度（R13）における本事業のまつり来場動員数を18,000人以上とし、町の認知度向上と地域資源の情報発信により、観光振興につなげる。 【今後のスケジュール】 町内外からの観光客等の誘客を図るため、ふるさと博覧会を隔年で実施していく。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	1	草木リサイクル事業	H24 ～ R13	焼却ごみを減らし、環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築によりごみ処理処分場の長寿命化を図るため、町内から排出される草木を細かく破碎し堆肥化する。	町内から排出される草木の堆肥化完了	・家庭系草木のリサイクル量（堆肥化）：522トン ・町内一斉清掃等草木のリサイクル量(堆肥化)：93トン	【将来的な到達点】 ごみの資源化を図り、事業最終年度（R13）までに1日1人当たりごみ排出量を415g(資源ごみを除く)とし、施設の長寿命化を図る。 【今後のスケジュール】 今後も継続して町内から発生する草木を堆肥化し、リサイクル量の増を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 草木のリサイクル量を増やし、ごみ処理施設及び最終処分場に搬入される焼却ごみの量を減らすことで、施設の長寿命化を図ることができると考え、設定した。 またリサイクル量は、過去の実績を勘案して設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
3	2	環境保全 3 R推進事業	R1 ～ R13	環境負荷の少ない循環型社会の形成と、ごみ処理処分場の長寿命化を図るため、本町の一般世帯から回収された資源ごみ（古紙、アルミ、スチール、ビン、廃食油、ペットボトル、古着）を細分化したうえで分別作業を実施しリサイクルを推進する。	町内から排出される資源ごみを細分化し分別及びリサイクルの完了	資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、ペットボトル、古着)の分別量 843トン 廃食油の収集分別量12,000リットル	【将来的な到達点】 ごみの資源化を図り、事業最終年度（R13）までに1日1人当たりごみ排出量を415g(資源ごみを除く)とし、施設の長寿命化を図る。 【今後のスケジュール】 今後も継続して町内から排出される資源ごみを細分化したうえで分別し、リサイクル量の増加を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 資源ごみのリサイクル量を増やし、ごみ処理施設及び最終処分場に搬入される資源ごみの量を減らすことで、施設の長寿命化を図ることができると考え、設定した また分別量は、R6年度の収集分別量の実績より算出した。
4	1	放課後児童の居場所づくり支援事業	H24 ～ R13	安全・安心な放課後児童の居場所の確保と子育て支援の充実を目的に、学童クラブの環境改善と質の向上を図り、保護者の負担軽減を進めるとともに、児童館を児童の健全な遊び場及び交流の拠点として機能を強化する。	(1)家賃補助 12か所 (2)ひとり親世帯等学童クラブ利用料支援補助 142人 (3)学童クラブクラウドシステム活用支援 32支援 (4)児童館の照明LED化 2館 (5)児童館の擁壁設置(機能強化) 1館	学童クラブ利用保護者及び児童館利用児童にアンケートを実施し、本事業を検証する。 大多数がよい状況だと判断したと考えられる数値として「80%以上」を目標値とする。	【将来的な到達点】 子ども・子育て環境が充実していると感じることも及び保護者の割合90%以上を目指すことで、安心・安全な放課後児童の居場所を維持するとともに、利用者の声を聞きながら必要な措置を講じていく。 【今後のスケジュール】 今後も継続して学童クラブへの支援を含め、放課後の児童の居場所づくりを行い、児童生徒の健全育成につなげる。	【R8成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が利用満足度が得られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	2	輸入感染症対策推進事業	R2 ～ R13	沖縄への入域異国人観光客が増加しているため、麻しん及び風しんに感染した観光客が来県した場合でも、当該感染症の蔓延を予防するとともに沖縄観光や経済への影響を最小限にするため、麻しん風しん（MR）予防接種の受けやすい体制の構築により接種率の向上を図る。	①MRⅠ期接種目標率 95% ②MRⅡ期接種目標率 95%	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染発生件数 0件	【将来的な到達点】 感染症の蔓延を予防し、外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の町内における発生件数を0件とし、沖縄の観光や経済への影響を最小限に抑える。 【今後のスケジュール】 流行による感染拡大が起こらないよう、引き続き対象者への接種勧奨を積極的に実施していく。	【R8成果目標設定の考え方】 感染症蔓延を防止するために接種率の向上を図り、町内における集団感染を防ぐことが目的のため集団感染の発生件数を目標値として設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	バ 細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
				4	3			
5	1	陸軍病院壕公開活用事業	H24 ～ R13	南風原町の歴史継承及び観光誘客を図るため、沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行うとともに、整備・公開している20号壕を訪れる県内外の見学者に対して、壕内外のガイド案内を実施する。	開壕日数：307日	見学者数9,000人	【将来的な到達点】 最終年度（R13）における陸軍病院壕の見学者数を10,000人以上とし、町の歴史の継承及び観光誘客を図る。 【今後のスケジュール】 今後も継続して沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行い、県内外からの見学者へのガイド案内を実施する。 見学者数の回復を図るため、町観光協会などと連携して旅行会社や学校団体に対する見学方法などの情報発信を強化する。	【R8成果目標設定の考え方】 過去（R1～R6年度）の実績を勘案して設定した。
5	2	子ども平和学習交流事業	H24 ～ R13	子どもたちが平和について理解を深めるため、戦争と平和、差別や人権等について、施設を訪ねたり交流や研修を重ね学習する。	・子ども平和学習交流事業参加者数：8人 ・県内研修（事前学習）及び県外研修を実施 ・研修の成果を報告会等で発表し、報告書にまとめる。	参加児童の保護者へのアンケート ・子どもにより変化がみられた：90% ・参加後、平和や戦争、人権や差別について社会の問題に興味があった：90%	【将来的な到達点】 事業最終年度（R13）における事業参加児童総計374人とし、平和や人権に対する意識の醸成につなげる。 【今後のスケジュール】 各年度児童8人（小学校6年生）の事業参加、研修実施実施を通し、戦争体験者が減少するなかではあるが、各地の若い世代との交流学習の実施や本事業OB会との連携を図ることで、本事業の柱である戦争と平和、差別と人権をテーマにした学習を継続、充実させていく。	【R8成果目標設定の考え方】 児童の平和等に対する理解が深まったかについて、大多数が理解していると考えられる数値として「90%以上」と設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
5	3	伝統芸能保存育成事業	H24 ～ R12	伝統芸能の継承を図るため自治会への道具・衣装・楽器・面具などの購入や修繕に対して補助金を交付する。	伝統芸能保存育成補助 2件	補助団体による伝統芸能上演等回数 7回	【将来的な到達点】 町指定無形民俗文化財（民俗芸能）の定期的な上演により、安定的な継承を実現し、指定文化財以外の伝統芸能の活性化を図り、地域振興につなげる。 【今後のスケジュール】 今後も伝統芸能の保存継承を推進するため、自治会を支援する。	【R8成果目標設定の考え方】 各自治会の伝統行事及び町内外のイベントで演舞等を行う予定回数で設定した。
5	4	資料の公開活用事業	H24 ～ R13	南風原町独自の資源を活用した地域づくりを図るため、南風原文化センターに収蔵されている貴重な歴史資料等をデータベース化して整理し、公開活用を行う。	・写真資料の権利確認 約50,000点 ・資料の公開フォーマットに合わせたデータ整理 ・資料公開システム公開	【R8年度成果目標】 資料公開システム活用開始のデジタルアーカイブについて資料を公開し、関心を持ってもらうことで、南風原文化センター来館者数（壕見学者含む）を合計28,000人とする。	【将来的な到達点】 最終年度（R13）までに民具、文書資料約500点、図書・写真・レコード資料約25,000点の整理、写真資料15万点の権利確認等を実施し、公開可能な所蔵資料をデジタルアーカイブで公開して関心を持たせることで、南風原文化センター来館者数（文化センター施設利用者、壕見学者含む）を合計28,000人以上とし、本町の歴史文化を後世に継承し、地域振興につなげる。 【今後のスケジュール】 R09：登録完了資料の随時公開、写真資料権利確認 R10：登録完了資料の随時公開、写真資料権利確認 R11：登録完了資料の随時公開、デジタル写真資料整理 R12：登録完了資料の随時公開、デジタル写真資料整理 R13：登録完了資料の随時公開、レコード資料整理	【R8成果目標設定の考え方】 デジタルアーカイブを閲覧し、歴史学習を行うことで、本町の歴史・文化に関心を持ち、直接南風原文化センターへ訪れるなど、歴史の継承及び観光誘客につながることを考えると考え設定した。 指標は過去の見学者数を参考に、新型コロナウイルス感染症前の状況に回復することを目標に設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
5	5				海外移住者子弟研修生受入事業	H24 ～ R12			
5	6	民俗芸能交流事業	H26 ～ R12	町内各地にある伝統芸能を披露する場、他地域と交流する場を設け、新たな世代へ地域の伝統芸能を継承し、地域活性化を図るため南風原町民俗芸能交流会を行う。	第31回民俗芸能交流会の開催	出演：6字12演目 参加者数（出演・来客）：450人	【将来的な到達点】 町指定無形民俗文化財（民俗芸能）の定期的な上演により、安定的な継承を実現し、指定文化財以外の伝統芸能の活性化を図り、地域振興につなげる。 【今後のスケジュール】 隔年ごとに民俗伝統交流会を開催 R10：第32回民俗芸能交流会開催 R12：第33回民俗芸能交流会開催	【R8成果目標設定の考え方】 町内には民俗芸能保存会がある字が9字あるが、R8年度は過半数の字が出演、交流することを目標として設定した。 参加者数は、会場となる南風原町立中央公民館黄金ホールの収容人数で設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								1	①
1	②	美化清掃事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内の海浜、道路、公園などの清掃作業を実施する。	美化清掃 10箇所実地	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	R8年度まで実施し、本村のイメージアップに努める。	【R8成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	③	渡嘉敷村観光振興事業	H29 ～ R13	①村内観光誘客イベントの継続開催を支援し、観光誘客を図る。 ②案内業務の充実を図る。 ③PR活動を支援し、観光誘客を図る	各イベント実行委員会への支援・実施や、案内業務や誘客活動に取組む観光協会への支援を行う。 <R8取組> ・とかしまつりの実施 ・とかしまらソン実行委員会へ補助金 ・渡嘉敷村観光協会への補助金	渡嘉敷村の観光振興を図るため、イベント実行委員会等への支援や案内業務や誘致活動に取組む観光協会への支援を行う。	【今後のスケジュール】 ・村内観光誘客イベントの継続開催を支援し、あらたな客層の掘起こしやリピーターの確保に努める。	【R8成果目標設定の考え方】 観光客の足が戻ってきているこれらが大切な時期と捉えているため十全なPR活動と満足度の向上に努めることで、島の魅力をアピールしていく。	
1	④	渡嘉敷村海域安全確保事業	R1 ～ R13	村内の2ビーチ（阿波連ビーチ・渡嘉志久ビーチ）において、ビーチ利用者の水難事故防止及び安全確保を図るため水難救助員等を配置する。	水難救助員等の配置 ・阿波連ビーチ 3名 ・渡嘉志久ビーチ 2名	①水難救助員配置期間中の水難死亡事故 0件	【今後のスケジュール】 ・ビーチにおける遊泳者等の事故防止及び安全確保に努める。	【R8成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。	
1	⑤	渡嘉敷村外国人対応スタッフ配置事業	R8 ～ R13	沖縄本島と渡嘉敷村間の船舶において、様々な言語圏の乗客が不便を感じずに利用できるようにする。 加えて、乗客の案内を滞らず時間内で完了し船舶の安定的な定時出航をするため、外国人対応スタッフの強化を図る。	外国対応スタッフの配置 那覇泊港内：とまりん窓口 北岸事務所	外国人対応スタッフの配置 3人/日（365日対応） のべ1,095人/年	今後も外国人観光客が同じ水準で入域すると考えると、この配置を維持する必要がある。	泊港内、3名/1日の配置が必要。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村		事業番号 ハ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
2	①	自動車航送コスト負担軽減事業	H28 ～ R13	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図るため、渡嘉敷港～那覇泊港間の車輛航送利用者に対し運賃を半額補助する。	年間車両航送台数 自動車 816台 バイク 170台	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか（80%以上）を含め、住民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	本事業の継続により離島における生活環境のハンディが解消されることにより、本村への定住促進に繋げる。		
2	②	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業	H25 ～ R13	渡嘉敷村営定期船の欠航、または時刻に変更あった場合にヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援する	年間補助回数 15回	渡嘉敷村営定期船の欠航時等に代替手段となるヘリコプターの運賃補助を行うことで、利便性が確保されていると感じたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する	本事業の継続により離島における村内航路欠航時の移動手段を確保することで利便性を確保する。	住民が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートを用いて検証する。	
3	①	小学校学習支援員配置事業	H24 ～ R13	村立小学校に学習支援員を配置し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行う	学習支援員の配置人数 渡嘉敷小学校 2名 阿波連小学校 2名	沖縄県学力到達度調査において、県の平均正答率との差が、±0ポイント以上	今後も継続的に学習支援員を配置することで、児童の学力向上および離島の教育環境の改善を図る	【令和8年成果目標設定の考え方】 令和6年度の実績を勘案して設定した	
3	②	児童・生徒派遣支援事業	H25 ～ R13	村外で開催されるスポーツ大会・文化的教育活動及び島外行事等に参加する児童生徒及び引率者に対し、交通費等の補助を行い教育意欲の向上を図る。	村内では体験できない活動を通して、個々の能力や教育意欲の向上を図り、児童・生徒に広い視野を持たせる。	保護者へアンケートを実施し、児童・生徒の視野が広がったと考える保護者の割合80%以上	【今後のスケジュール】 引き続き児童生徒等の派遣費の補助を行い、離島の教育的ハンディの克服につなげ、個々の能力及び教育意欲の向上を図る		
3	③	家庭教育支援事業	H28 ～ R13	小学校1年生～中学3年生を対象に村営学習塾を実施することで、離島地域の教育格差の解消、家庭学習環境の整備を行う。	各学年それぞれ週2回以上の授業計画。 中学3年生においては、高校受験対策をあわせて実施。	①村営学習塾の入塾率65%以上 ②中学3年生の高校受験合格率100%	村営学習塾が、義務教育外の家庭学習機会を補い、村外の地域と学力面での格差が生じないよう学習環境を整える。 村内に高校がなく、高校受験と共に、村外へ進学する児童生徒の進学面を支援する。		
3	⑤	ICT教育推進事業	R7 ～ R13	ICTを使用したわかりやすい授業を実施することによる学校教育の質の向上及び教員のICT機器活用の習熟を図るため、授業支援やICT機器活用に向けた環境整備を行う。	ICT機器を使用した授業支援	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%以上 ・職員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合80%以上	【今後のスケジュール】 引き続き事業を継続し、ICT環境を整備し情報社会に対応できる人材の育成を図る。		

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
				5	①			

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

座間味村		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
1	①				座間味村海域安全隊事業	H24 ～ R13			
1	②	座間味村がらる観光支援事業	H24 ～ R13	観光客誘致を図るため、各イベント実行委員会へ補助金の交付するとともに県外水族館にてプロモーション施策展開を実施する。	・各種イベント実行委員会への補助金交付 ・県外水族館プロモーション施策	入域観光客数120,000人	【今後のスケジュール】 一層の入域増につなげるよう、イベント内容の改善、プロモーション展開を実施していく。R8年度も県外水族館へプロモーション施策を行う。	【R8成果目標の考え方】 観光客数のみならずリピーターづくりに努める。	
1	③	座間味村観光受入拠点事業	H24 ～ R13	観光客の利便性確保及び観光誘客を図るため、座間味村観光協会が実施する観光誘客活動及び観光案内業務等の取り組みに対して補助を行う。	・観光案内所年中無休（台風時等閉鎖） ・村内外観光客誘客活動年2回 ・観光事業者スキルアップ講座 新規メニュー開発 4回 心肺蘇生講習会 2回	・観光客の利便性が図られたか（80%以上）を含め、観光客へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・観光客へのおもてなしに活用できると感じたか（80%以上）を含め、講習会に参加した観光事業者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続してアンケートを実施し、効果を測定することにより、観光客の満足度向上を図る。	【R8成果目標の考え方】 大多数の事業所から評価が得られたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。村内事業所の意見を聞くことで、観光協会職員の意識向上、スキルアップを図る。	
2	①	座間味村島ちび解消移動手段安定化対策事業	H24 ～ R13	定期船欠航時等の沖縄本島への移動手段を確保し、離島の不利性解消を図るため、那覇～座間味村間のヘリコプターチャーター費用に係る運賃負担に補助を行う。	村営船舶航路欠航時におけるヘリコプターチャーター費用の支援実施。	利用者アンケートを実施し「利便性が確保された」との回答90%以上を目標とする。	入域観光客数 【実績】 R4：75,413人 R5：94,843人 R6：104,346人 3年平均：91,534人 →10%増として 例年の入域数を目標100,000人とする。 【今後のスケジュール】 利用者アンケートを継続し、「利便性が確保された」との回答が90%以上を目指す。	【R8成果目標の設定の考え方】 大多数の利用者の満足が確保されたと考えられる数値として「90%以上」と設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

座間味村		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
2	②				座間味村自動車航送運賃低減化事業	H25 ～ R7			
2	④	座間味村大型2種免許取得助成事業	R4 ～ R8	座間味村内唯一の公共交通機関である村営バスについて、大型2種免許保有者が村内に少数である為、今後のバス運行継続の為に運転手の確保が喫緊の課題である。免許取得費用並びに取得期間における宿泊費や交通費の支援を行い、運転手不足の解消、雇用拡大に繋げ、住民ならびに観光客の交通手段の確保、観光客の利用拡大、公共交通の安全性確保を図る。	大型2種運転免許取得者への取得費用の一部助成、 取得期間の宿泊費用、交通費、船舶運賃の助成	申請受付者、助成者4名を目指す。	【今後のスケジュール】 今後の村営バス運転手を確保し、住民ならびに観光客の交通手段の確保、夏場のピーク時における観光客の利用促進、来島者の利用増加に繋がるよう取り組む。	【R8成果目標設定の考え方】 4名分の取得費用一部助成 4名分の船舶運賃、宿泊費、交通費の助成	
2	⑤	幼稚園預かり保育支援事業	R6 ～ R13	自営業者が多く保護者が共働きの家庭が多い本村において、多様な保育ニーズに対応するため預かり保育を実施する。	預かり保育支援事業の実施	預かり希望日数に対しての受入れ実績日数100%	受入れ可能な園児数を増やすため、適切な人員の配置を行う。	現在園児のほぼ全員が降園後の預かり保育を希望しており、希望時間すべての受入れができていないため、人員の配置を行い希望に対応できる体制を整備する。	
2	⑦	座間味村防災体制強化事業	R7 ～ R8	安心安全に暮らせる村及び災害にも強い観光地づくりを推進するために、災害情報や避難情報伝達を様々な手段（メディア）で発信できるよう防災行政無線の機能強化を行い、村の防災体制の向上を図る。	防災行政無線の機器更改並びに撤去作業を目標とする	・防災行政無線の放送配信システム更改、スピーカーの更改、並びに現行設備の撤去	【R9成果目標】 ・R7年度で防災アプリを導入し、またR8年度に防災スピーカーが更改された後に、避難訓練や防災にかかる情報発信、防災放送を行った際に利便性が向上したかのアンケート調査を行い、向上したの回答80%以上	継続的にアンケート回答を実施し、利便性向上だけではなく住民の防災意識向上に努められるようアプリや放送内容のレベルを高めていくため。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

粟国村		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	粟国村交流人口航空運賃コスト負担軽減事業	R3 ～ R13	粟国村へ来訪する人の渡航費負担を軽減させ、観光入域者数の増加を図るため航空事業者が観光客に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補充する。	交流人口を対象とした航空運賃割引の実施	粟国村への観光入域者数：4,000人	【今後のスケジュール】 第4次粟国村総合計画に基づき、入域観光客数の増加を目指す。	【R8成果目標の考え方】 過去の実績及び第4次粟国村総合計画に基づき、設定した
1	②	離島航空路チャーター運航支援事業	R5 ～ R13	那覇・粟国間航空路線の確保・維持により定住条件の整備を図るため、村民の生活路線として運航するチャーター便の運航に伴い生じた欠損額に対し、県と強調して補助を行う。	那覇・粟国間のチャーター運航（離島の生活路線）に対する欠損補助	那覇→粟国間航空路線の確保・維持	【今後のスケジュール】 那覇⇄粟国間航空路線の確保・維持	【令和8年成果目標設置の考え方】 事業の目的から、事業終了後し、継続運航し、本村の航空路が確保・維持されていることを成果目標として設定した。
1	③	粟国村拝所整備事業	R6 ～ R9	伝統行事の保存を行うために、各種拝所について整備を行う	整備工事の完了	整備工事の完了	【R10年度成果目標】 ヤگانウコミ参加者へのアンケートにて「伝統行事保存のための安全で利用しやすい環境整備がなされた」の回答が80%以上	【R10成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数「伝統行事保存のための安全で利用しやすい環境整備がなされた」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	①	環境保全事業	R8 ～ R13	粟国島の多様な鳥類の採餌の場、休息地および渡りの休息地であることから、全域が鳥獣保護区に指定されている。ハブの捕獲や野良猫の不妊・去勢手術を行うことで粟国島に生息または飛来する鳥類の保護を図る。	・捕獲器の設置・見廻り（200基） ・ハブ対策講習会（1回） ・野良猫の不妊・去勢（50頭）	・ハブの捕獲数の減少 ・野良猫の生息見込み数の減少 ・ハブの咬傷被害0件	【今後のスケジュール】 ・粟国島の地理的特殊性から渡り鳥の中継ルートにあたり、国内希少種等の採餌、休息の地となっており、ハブの捕獲や野良猫の不妊・去勢手術を行うことで粟国島に生息又は飛来する鳥類の保護を図り、成果目標の達成につなげる。	【R8成果目標の考え方】 ・ハブの捕獲数は令和2年度からデータがあり、野良猫については生息調査をするため成果目標として設定した。
3	①	環境美化促進事業	H24 ～ R13	魅力的な景観地としての景観形成を図るため、観光地及び観光アクセス道路の美化活動を実施するとともに、外来植物の駆除を行う。	・美化活動の実施 観光地：5箇所 拝所：約90箇所 アクセス道路：13路線 （およびアクセス道路に接続するサブアクセス道路）	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・美化活動の実施 観光地：5箇所 アクセス道路：13路線 （およびアクセス道路に接続するサブアクセス道路） 上記を中心とした村内全域	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

粟国村		事業番号 ハ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業概要	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								R8事業内容	R8活動目標（指標）
3	②	粟国村「ア」の国づくり推進事業	H26 ～ R13	イベントを通して、地域の伝統芸能の保存継承を図るとともに、観光誘客を図るため、粟国村「ア」の国まつりの開催及び広報周知活動を実施する。	①イベント開催【アの国まつり】 1回（2日間） ②広報周知活動【フェア出展】 1回（3日間）	①イベント開催【アの国まつり】 ・イベント出演者(粟国島芸能)：演舞者：50人 ・イベント来場観光客数：100人(2日間) ・粟国村観光PR活動の実施 ②広報周知活動【フェア出展】 ・5,000人に観光PR用の配布物を提供する。	【今後のスケジュール】 R8年度までにイベントを開催し、観光入客数増加及び定住の促進に向けて、村民との交流型イベントを行う。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	③	和牛改良支援事業	H25 ～ R8	本村畜産業の振興を図るため、県内外から母牛となる素牛としての優良雌牛の導入し、付加価値の高い子牛の生産ができるよう支援する	優良雌子牛導入10頭	優良雌子牛導入10頭	現在の島産の子牛のセリにおける平均価格は南部地区に比べ78%（-22%）なので、計画期間の5年間に導入した雌子牛の平均価格を南部地区比率100%にするため1年ごとの改善を+4.4%とし成果目標とする。 ▼導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 【2024年】104.4% 【2025年】108.8% 【2026年】113.2% 【2027年】117.6% 【2028年】122.0%	現在の島産の子牛のセリにおける平均価格は南部地区に比べ78%（-22%）なので、計画期間の5年間に導入した雌子牛の平均価格を南部地区比率100%にするため1年ごとの改善を+4.4%とし成果目標とする。 ▼導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 【2024年】104.4% 【2025年】108.8% 【2026年】113.2% 【2027年】117.6% 【2028年】122.0%	
3	④	粟国島農業活性化事業	R5 ～ R13	本村農業支援のため、散水車をリースし干ばつ対策の強化を図り、さとうきび等の生産力向上を支援する。	4 t 散水車輛 2 台リース	過去3年間の収穫量平均以上 サトウキビ：1,874トン以上 タマネギ：2,733kg以上 もちきび：2,921kg以上	【今後のスケジュール】 粟国村における農産物の増産に取り組む。 サトウキビ：1,874トン以上 タマネギ：2,733kg以上 もちきび：2,921kg以上	【R8成果目標の設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	⑤	和牛出荷支援事業	R8 ～ R13	セリのため村外に出荷する牛の運搬費用及び輸送時に減少した体重を取り戻すための預かり施設での費用助成	出荷支援頭数 83頭	経営難によって閉業した畜産農家数：0事業者	【今後のスケジュール】 本村の畜産業の振興を図るため、セリに出荷する牛の村外へ運搬する費用及び輸送時に減少した体重を取り戻すための預かり施設での費用を支援する。	【R8成果目標設定の考え方】 畜産農家の経営安定化を図る目的で設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

粟国村		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考		
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		R8成果目標（指標）	今後の展開方針等	補足説明等
								今後の展開方針等	補足説明等
4	①	国際交流支援事業	H27 ～ R13	海外での生活体験を通して外国語への学習意欲の向上と豊かな国際性を身につけた人材を育成するため、本村中学生を対象に海外短期留学を実施する。	海外ホームステイ生徒派遣 4人	【成果目標①】 帰国後、派遣対象生徒へ「ホームステイ実施後、授業等への取組姿勢などが向上した」（80%以上）を含め、アンケートを取り本事業のあり方を検証する。 【成果目標②】 英語検定受験者の増加（生徒の60%以上が受験）	【今後のスケジュール】 派遣予定者：4名 【成果目標①】 帰国後、派遣対象生徒へ「ホームステイ実施後、授業等への取組姿勢などが向上した」（80%以上）を含め、アンケートを取り本事業のあり方を検証する。 【成果目標②】 英語検定受験者の増加（生徒の60%以上が受験）	【R8成果目標設定の考え方】 【成果目標①】 大多数の生徒が「授業等への取組姿勢などが向上した」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 【成果目標②】 英語検定受験者増加については、過去の実績を勘案して設定した。	
4	②	学力向上支援事業	H27 ～ R13	島内の児童生徒の学習環境の充実を図り、生徒の学力向上を図るため、村営塾を実施する。	5月から翌年3月まで月平均70コマ以上の村営塾の実施	【成果目標①】 沖縄県学力到達度調査での県平均値以上 【成果目標②】 対象児童生徒の「授業等への取組姿勢などが向上したか」（80%以上）を含め、アンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 【成果目標①】 沖縄県学力到達度調査で県平均を上回る状況を継続する。 【成果目標②】 アンケートの結果、対象児童生徒の「授業等への取組姿勢などが向上した」と答えた割合が80%以上	【R8成果目標設定の考え方】 県到達度調査結果の過去の実績を勘案して設定した。また、アンケートについては、令和5年度より実施。	
4	③	児童・生徒派遣支援事業	H25 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会等及びその指導者等に対し、運賃等の補助を行う。	児童・生徒の島外の大会及び教育活動への参加の支援	対象児童生徒の「視野が広がったか」（80%以上）を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒の派遣を今後も継続し村外での教育活動を通じ、交流活動を継続し児童生徒の生きる力を育む	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

粟国村		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
				5	①			
5	②	粟国村自動車航送運賃低減化事業	R2 ～ R13	村民が沖縄本島と粟国間の移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図る為、粟国～那覇間の車両構想利用者に対して往復運賃の半額補助を行う。	自動車航送運賃を低減するための支援実施	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか（80%以上）を含め、利用者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	定住促進のために、経済的・精神的負担を軽減する。また、住みよい環境を整備することにより、村の総合計画にて目標としている人口増加にも務める。	利用者の大多数が移動しやすい環境が構築されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡名喜村		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	環境保全美化推進事業	H24 ～ R13	観光地や集落内などの緑化及び美化活動	指定箇所の実施	集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成を図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	過去の実績を基に引き続き、魅力的な観光地としての景観形成に取り組む。	
2	①	離島苦解消移動手段安定化対策事業	H25 ～ R13	フェリー欠航時に代替の交通手段として、渡名喜村～那覇空港間のヘリタクシー利用者の運賃負担を支援することにより、島民及び来島者の利便性を確保する。	観光客及び島民に対するフライト実施の支援回数 50回	フェリー欠航時に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 年間フライト数(見込み) R7年度：50回	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、事業の目的である交通の利便性が確保されていると考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	②	渡名喜村自動車航送運賃低減化事業	R6 ～ R13	村民が沖縄本島及び久米島町へ移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図るため、渡名喜村～久米島町～泊港間の車両航送利用者に対し運賃を半額補助する。	年間車両航送台数 自動車 193台 バイク 4台	沖縄本島及び久米島へ移動しやすい環境の構築が図られたか（80%以上）を含め、住民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	本事業の継続により離島における生活環境のハンディが解消されることにより、本村への定住促進に繋げる。	住民が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートを用いて検証する。
3	①	多用途住宅整備事業	H24 ～ R11	農漁業をはじめ多様な産業・各種団体職員等のための住宅を確保し、地域雇用の創出と定住人口の増加を図るため、集落内に集落景観に配慮した多用途住宅を整備する。	実施設計：1件 建築工事：1件	実施設計：1件 建築工事：1件	後継事業において、6棟10世帯の住宅を整備する。	過去の実績を勘案して設定 ※世帯数の考え方 1棟2世帯×4箇所=4棟8世帯 1棟1世帯×2箇所=2棟2世帯 合計6棟 10世帯

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南大東村		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
1	①				健康診査専門スタッフ派遣渡航費用支援事業	H24 ～ R13			
1	②	専門病院受診渡航費助成事業	H25 ～ R13	村内の医療機関では対応できない専門的な治療等を継続して受けられるようにするため、沖縄本島での治療、検査等にかかる渡航費を支援する。	専門病院受診等渡航費助成の実施。	渡航費支援が必要な人への支援率。100%。	【今後のスケジュール】 引き続き渡航費支援が必要な人への支援を行い、継続した医療受診につなげ、受診者の負担軽減を図る。	【R8年度成果目標設定の考え方】 島では対応できない専門治療を受けなければならない人に対して、全員が中断することなく受診できる環境の提供を目標として設定した。	
1	③	遠隔離島定住促進住宅整備事業	R5 ～ R8	Iターン・Uターンによる移住者等の定住促進を図るため、定住促進住宅を整備する。	ユニット製作工事（3戸分）、海上輸送、ユニット組立て工事、外構工事（フェンス、アスファルト部分）の実施。	移住者数 3名	【今後のスケジュール】 R6年度から島外より移住者の住宅としての活用。（当初4戸はフル稼働で移住者4名） R7年度から島外より移住者の住宅としての活用。（追加分2戸完成により移住者6名） R8年度から島外より移住者の住宅としての活用。（追加分3戸完成により移住者9名）	-	
1	④	島のひかり省エネ推進実施計画策定事業	R8 ～ R8	住民が利用する公共施設の照明設備の現状を調査し、LED化による省エネを計画的に進めるための実施計画を策定する。	島のひかり省エネ推進実施計画の策定	島のひかり省エネ推進実施計画策定の完了	【R10年度成果目標】 電力使用量の削減率を設定 R8 実施計画策定 R9 LED更新工事等	R8年度で策定する実施計画に基づき、R9年度において公共施設のLED更新工事等を実施することで、R10年度には電力使用量が具体的に減少し、省エネ効果が数値として発現する。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南大東村		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
1	⑤				南大東島インフルエンサー発信促進事業	R8 ～ R9			
1	⑥	離島住宅建築資材輸送費補助事業	R8 ～ R13	本村で住宅を建築する際に必要となる建築資材の港湾荷役費や海上輸送費を補助し、地理的条件による建築コストの負担を軽減して、住民や移住者の住宅取得と定住を支援する。	住宅建築利用時の資材輸送費補助の利用件数3件	住宅建築件数 3棟	本事業の運用状況や利用件数、実際の輸送費の発生状況を踏まえ、制度の効果と課題を検証しながら、補助内容や手続きの見直しを行い、より利用しやすい仕組みへ改善していく。	-	
2	①	花いっぱいクリーン環境整備事業	H26 ～ R13	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。	観光地及び観光地へのアクセス道路の植栽・美化清掃（観光地 15カ所、アクセス道路 1カ所）	観光客を対象に、観光地としての魅力向上が図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に美化清掃を行い、観光地の景観と魅力向上を図る。	【R8年度成果目標設定の考え方】 引き続き対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、引き続きアンケートにより検証する。	
3	①	人材育成派遣事業	H25 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。	児童生徒の各種大会派遣に対する支援の実施。	派遣された児童生徒が広い視野を持てたか（80%以上）を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き各種大会派遣に対する支援を実施し、島外での交流等により広い視野を持たせ人材育成につなげる。	【R8年度成果目標設定の考え方】 引き続き対象者のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、引き続きアンケートにより検証する。	
4	①	南大東村さとうきびスマート農業基本計画	R7 ～ R9	南大東村の基幹作物であるさとうきびの生産において、スマート農業の技術の導入により生産性の向上、労働負担の軽減、経営の安定化を図るために今後の取組の指針となる基本計画を整備する。	スマート農業技術の導入実証・検討会による実施計画の策定	スマート農業技術の導入実証・検討会による実施計画策定の完了	【今後のスケジュール】 R8年度の実施計画に基づき、通信インフラ（基地局）整備と技術導入・検証を進め、成果を踏まえ対象を拡大し、生産効率と経営安定化を図る。	【R9年度目標の考え方】 R9年度の目標は、R8年度で策定した実施計画に基づき、通信インフラ（基地局）整備やスマート農業技術の試験導入を進め、効果検証により数値目標を具体化し、導入拡大へつなげる考え方である。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南大東村		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考		
事業番号	事業内容			R8事業内容	R8活動目標（指標）		R8成果目標（指標）	今後の展開方針等	補足説明等
4	②	島くらしデジタル化推進計画策定事業	R8 ～ R9	離島住民の生活利便性向上を目的に、医療・教育・行政・産業など暮らしの不便をデジタルで解消する計画を策定する。	島くらしデジタル化推進（基本）計画の策定	島くらしデジタル化推進（基本）計画策定の完了	R8：方向性づくり→指標はまだ設定不可（基盤形成） R9：具体化→数値指標を設定（計画確定） R10：導入・利用→後年度に効果が発現（成果測定）	後年度に効果が現れるのは、R8年度で方向性を定め、R9年度で具体策を決め、R10年度に導入が始まって初めて数値成果が測定可能となるためである。	
5	①	循環型農業推進事業	R4 ～ R8	南大東島のサトウキビ収量および糖度に、土壌の何が強く影響しているかが明らかにされていない為、これらの収量及び糖度に影響する土壌要因を検証する。	土壌実態調査と堆肥作成・施用を実施	土壌実態調査と堆肥作成・施用の実施完了	【今後のスケジュール】 とうきび増産プロジェクト取組計画を検討し、サトウキビの生産増を目指す。	【R9成果目標】 本村のさとうきび増産プロジェクト取組計画において、5%程度の生産増を目標としている。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北大東村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
バ	細				R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
					1	①			
1	②	地域の観光文化資源の担い手育成事業	H24 ～ R13	伝統文化である大東太鼓の担い手を育成・確保し、魅力を積極的に発信することによって観光誘客を図るため、島外の文化交流イベント等に参加する演者の渡航費を補助する。	・文化交流イベントの開催：4回 (県外：1回、沖縄本島：1回、島内：2回)	・島の観光入客者数：1,100人以上	【今後のスケジュール】 ・文化資源の担い手育成と他団体との文化交流事業を継続する。 【将来的な目標】 北大東村において入域観光客数1.4千人以上を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	①	オンライン双方向授業支援モデル事業	H25 ～ R13	村営塾を開講し、児童生徒の個々の学力に応じた学習支援員による指導、及びICTを活用した現役東大生によるオンライン双方向授業を実施することにより、児童生徒の学力向上を図る。	・学習支援員（塾講師）配置：1名 ・東大生によるオンライン双方向授業：授業数550授業/年、講師10名	・令和7年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 ①小学校 県平均以上 ・3年生から6年生の実施 ②中学校 県平均以上 ・1年生、2年生の実施	【今後のスケジュール】 ・今後も支援員配置及びオンライン双方向授業等を実施し児童生徒の学力向上を図る。 【将来的な目標】 北大東村において小学校、中学校共に県平均以上を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	①	離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業	H24 ～ R13	安心・安全に子育てできる環境を整備するため支援員を配置し、認定こども園を実施することで、保護者の育児への負担感を軽減する。	・認定こども園支援員配置：6名	・対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合（80%以上）を含め事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・認定こども園の運営する。 【将来的な目標】 北大東村において育児の負担感が軽減されていると保護者から80%以上評価継続を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の保護者が育児の負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北大東村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
バ	細				R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
					3	②			
3	③	離島特別医療質確保推進事業	H24 ～ R13	島内で対応できない専門医療を受ける際の渡航費の一部助成を行うとともに、専門医療従事者を招聘して相談や検診を行うことにより村民の心身の健康に関する不安を解消する。	・特定重病患者等の検診助成の実施 ・専門医療従事者の招聘	・渡航費支援が必要な人への支援率：100% ・心身の健康に関する不安が解消されたか（80%以上）を含め、受診者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・特定重病患者等の検診の際の渡航費・滞在費助成を継続する。 ・専門医療従事者招聘のための渡航費・滞在費助成を継続する。 【将来的な目標】 北大東村において心身の健康に関する不安が解消されたかを受診者から80%以上評価継続を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 島では対応できない専門治療を受けなければならない人全員が中断することなく受診できる環境を提供することを目標として設定した。	
4	①	北大東村景観形成事業	H26 ～ R13	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・村一周海岸道路の植樹環境整備工事の実施：300m	・魅力的な景観形成が図られたか（80%以上）を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・村特有の岩礁や風景を活かした景観形成を行う事で、観光客の誘致、観光産業の振興に繋げる。 【将来的な目標】 北大東村において魅力的な景観形成が図られていると観光客から80%以上評価を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
5	①	土づくり推進事業	R3 ～ R13	大東島の土壌は、特殊な土壌であり作物栽培を行う上での悪条件な土壌であることから、圃場ごとに土壌カルテの作成を行い、圃場ごとに適した土壌作りを促進し、農産物生産量を増加させる。	・土壌カルテ作成（40圃場）	・土壌カルテ作成（40圃場）	【今後のスケジュール】 ・R8：土壌カルテ作成 ・R9：土壌改善 ・R10：改善土壌への作付 ・R9-10：改善土壌での収穫 ・R10：R9-10の生産量確定値 【R10成果目標】 ・農産物生産量 28,734t以上	【R10成果目標の考え方】 直近7年中最大及び最小を除いた5年の農産物生産量の年間平均値に、過去の平均的な増減率を乗じた値以上を目標として設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北大東村		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
6	①	重要文化的景観拠点エリア活用・修景事業	R6 ～ R9	北大東村の地域振興、文化財活用及び観光振興のため、歴史資源である重要文化的景観の範囲内において、拠点エリアの活用・修景整備を行う。	・整備工事	・整備工事（1期目）完了	【今後のスケジュール】 ・R8～9：整備工事 ・R10：供用開始 【R10成果目標】 ・遺構を活用した施設・空間整備の数_2か所	【R10成果目標の考え方】 北大東村総合計画においては、しまづくりのリーディングプロジェクトとして、「文化的景観を活かしたプライドの醸成と観光交流」を設定した。しまづくりをけん引する施策として、拠点エリアの整備を推進する。
7	①	地域資源活用型観光エンゲージメント創出事業	R7 ～ R11	北大東島特有の地理・歴史資源を活用し、観光産業の発展と地域活性化を図るため、DXによる観光誘客及びプロモーション活動を行うことで地域経済の活性化を図る。	・予約システムなどのDX導入によるWeb構築 ・誘客プロモーション実施（2媒体以上） ・体験商品開発とガイドブックの制作 ・ニュースレター発行とファンミーティングの実施	・島の観光入客者数：1,100人以上	【今後のスケジュール】 R8 誘致開始 R9 施策強化 R10 リピーター育成 R11 総括と確立	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
8	①	人生100年時代のさとうきび栽培技術実証事業	R7 ～ R11	農業が基幹産業である北大東村において、高齢者でも農業を継続できるような省力化技術を実証し、さとうきびを基幹とした人生100年時代の離島農業の振興を図る。	実証事業の実施	実証実験、調査の実施	【今後のスケジュール】 R8：実証実験、調査 R9：実証実験、調査 R10：実証実験、調査 R11：現地農家実証、取りまとめ	本事業を完了後、省略化技術を活用した村内ほ場の整備を進め、持続可能な離島農業の振興を図る。
9	①	低炭素社会構築事業	R6 ～ R9	環境負荷を低減させた省エネルギー化社会を目指し、本村の有する公共施設の照明設備のLED化を行い、温室効果ガスの削減を図る。	省エネ化工事（2期目） ①北大東小中学校等、②村営塾 ①②施設のLED化工事を行う。	省エネ化工事（2期目） ①北大東小中学校等、②村営塾 ①②施設のLED化工事を行う。	【今後のスケジュール】 R8：省エネ化工事（2期目） R9：省エネ化工事（3期目） R10：省エネ化施設運用 【R10成果目標】 施設電力使用量削減率（令和10年度） ・令和6年度比▲20%以上	【R10成果目標の考え方】 省エネ設備導入による効果が安定的に現れると見込まれる令和10年度を評価年度とし、実施計画での試算結果：施設電力使用量削減率▲20%以上を基に目標を設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
					R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	商工観光産業支援事業	H24 ～ R13	民泊利用者の増加を図るため、伊平屋島観光協会の活動を支援する。	・1団体約200名規模の大型の修学旅行を誘致すべく、参画民家50軒を維持できるよう地域（各戸別訪問）を継続的に実施 ・年間受入観光客数延べ800人以上の受入を目指し他県でのPR活動を実施	民泊利用者数 1千人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に伊平屋島観光協会の活動を支援し、民泊利用者の増加を図る。	【R8成果目標の考え方】 過去の実績（R5、R6実績およびR7見込み）を勘案して設定した。	
1	②	観光地イメージアップ推進事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地や観光施設及びアクセス道路、漂着ゴミ回収・分別の美化作業を実施する。	観光施設及びアクセス道路、海浜の美化作業を実施する。 観光地：15カ所 アクセス道路：10路線 海浜：村一円	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め（80%以上）、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に美化清掃作業を実施し、観光地としての魅力向上を図る。	【R8年度成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	③	誘客イベント推進事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、イベントの開催支援等を行う。	・委託事8件 ・補助事業3件	村内入域観光客数 20,990人以上	【今後のスケジュール】 継続的なイベントの開催及び支援を行い観光誘客を図る。	【R8年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案し、直近3か年平均（R4～R6）で設定した。	
1	④	伊平屋西線Wi-Fi基地局整備事業	R8 ～ R8	観光客の利便性を高めるため、西側エリアに携帯キャリア等の電波が届かない箇所にWi-Fi基地局を整備し安心安全な観光地形成を目指す。	・Wi-Fi基地局の整備 5カ所	西側エリア通信カバー率 90%以上	【今後のスケジュール】 Wi-Fi基地局整備を実施し、地域住民や観光客等の利便性を図り安心安全な環境の構築を図る。	【R8年度成果目標の考え方】 地域住民や観光客の利便性が図られたと考えられる値として設定した。	
1	⑤	ふれあいパーク整備事業	R8 ～ R10	子供から大人までを対象とした遊具及び健康器具を整備し、子育て親子同士や世代間の交流を促進させる。	実施設計業務の実施	実施設計業務の完了	R8年度 実施設計業務完了 R9年度 造成工事 R10年度 トレ・東屋建築工事完了 R11年度 第1期公園整備工事 R12年度 第2期公園整備工事 R13年度 供用開始	子育て環境の構築が図られたかを含めアンケート調査により事業のあり方を検証する。 概ね肯定的であると考えられる80%以上とする。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
2	①				伊平屋村優良繁殖牛導入事業	H26 ～ R13			
3	①	伝統文化継承支援事業	H24 ～ R13	島への誇りと愛着を醸成し、次世代を担う健全な人材を育成するため、社会教育の一環として伝統文化、伝統芸能について、地域人材バンク登録者との連携による課外講座を月1回伝統文化学習の日を定め実施する。又、失われつつある本村特有の伝統芸能を継承していくため、保存会及び各集落の活動に対して支援を行う。	・伝統文化学習の日の開催（毎月第3水曜日） ・各支部・団体への支援（6団体）	①伝統文化教室への参加率 100% ②各支部・団体への支援	【今後のスケジュール】 児童・生徒の要望等も鑑み多様な学びの機会を提供する。長期的な展望をもち、継続して後継者を育成し、各支部の支援を行う。	【R8年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	②	特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R13	特別支援を要する児童生徒に対応し特別支援員を配置するとともに、小・中学校での習熟度に遅れのある通級児童生徒を対象とした学習支援員の配置、また家庭学習支援として中学1年から3年生までを対象とした村営塾を開講し、個々にあったきめ細かい学習支援を図る。	・特別支援を必要とする児童へ支援員の配置 各3名 ・学習支援員の配置 各2名	①対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援の対応に満足したか（80%以上）を含め、当事業のあり方を検証する。 ②沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 小学校（国語・算数・理科） - 5ポイント以上 中学校（国語・数学・理科・社会・英語） - 4.3ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒に応じた支援指導を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善、学力及び学習意欲向上を図る。	【R8年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	③	英語学習支援事業	H25 ～ R13	グローバルな時代に適応できる国際性豊かな人材を育成するため、小中学生を対象としたイングリッシュキャンプの開催による動機付けや、本村の中学生を海外に派遣し、異文化体験する機会を与え、将来の本村及び地域社会へ貢献できる人材の育成を図る。	・海外短期留学（アメリカ）派遣 3名 ・E S L キャンプ派遣 3名	保護者へのアンケートで、海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に海外での生活体験や外国人講師との交流を通して、国際的な視野を持つ人材育成を図る。	【R8年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考			
事業番号	事業名				計画期間	R8事業内容		R8活動目標（指標）	R8成果目標（指標）	備考	
										今後の展開方針等	補足説明等
3	④	伊平屋島児童・生徒島外派遣等支援事業	H26 ～ R13	村外で実施されるスポーツ大会及び交流や文化交流等各種教育活動の派遣にかかる負担を支援し、他地域校の児童生徒等との交流や各種スポーツ大会の参加による児童生徒の意識の向上やスポーツの技術向上等様々な面で離島の抱える教育的なハンディを克服する。	・島外開催イベント及びスポーツ大会、文化交流等への参加	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が広い視野を持てたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に島外で実施される各種大会への参加を支援し、児童生徒に広い視野を持たせる。	【R8年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。			
3	⑤	キャリア教育支援事業	H26 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を実施する。	・外部講師を招聘しての授業の実施 ・村内での産業学習の実施 ・本島への職場体験（マナー講座の実施） ・職場体験を通じた発表会	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか（60%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的にキャリア教育を実施し、児童生徒の就業意識向上を図る。	【R8年度成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。			
3	⑥	教育ICT支援員派遣事業	R8 ～ R10	村内小中学校にICT支援員を派遣し、授業でのICT機器活用を支援することで、分かりやすい授業の構築と教育の質の向上を図り、児童生徒の学習意欲や情報活用能力の育成環境を整える。	ICT支援員の配置 学校支援回数・時間	児童生徒及び教員へのアンケート調査 【児童生徒】 ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと回答する割合⇒80%以上 【教員】 ICT支援員の派遣により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合 ⇒80%以上	ICTを効果的に授業へ活用するため、ICT支援員を継続的に配置し、教職員のICT活用スキルの向上と授業改善を段階的に支援する。あわせて、校内研修や活用事例の共有を促進し、学校全体でICTを活かした学習環境の定着を図る。	学力向上の前提として“学習意欲”と“ICT活用の定着”を最重視している。授業改善と習慣化の効果を測る指標として、意欲・ICT活用度が肯定的となる水準を成果目標80%として明確に設定した。			
4	①	幼稚園預かり保育支援事業	H24 ～ R13	保護者の育児における負担軽減を図るため、預かり保育を実施する。	嘱託保育士配置	保護者へのアンケートを実施し、預かり保育により育児における負担感が軽減されたと感じたか（80%以上）を含め、当該事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も預かり保育士を確実に確保し、幼稚園預かり保育を継続的に実施、保護者の育児負担に対する支援を行う。	【R8年度成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が育児における負担感が軽減されたと考えられる値を設定。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。			

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
4	②	適正飼養推進事業	R4 ～ R8	本村の住みよい住環境の提供を図るため、猫の適正飼養に向けた普及・啓蒙活動の取組を行う。	・避妊去勢手術3回/年	・避妊去勢手術実施済猫50頭以上	【今後のスケジュール】 R8 野良猫や野猫の捕獲および捕獲後の猫の対処（避妊・去勢手術助成）などを実施	【R8年度成果目標の考え方】 猫の飼養条例に基づいた避妊・去勢手術助成を先導的に行うことで動物にも人にも優しい住環境づくりを行うことを目標とした
4	③	自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ R13	島民に対しフェリー自動車航送費の支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	自動車航送運賃の低減 R8年度：年間72,000台	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか（80%以上）を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に自動車航送費の支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	【R8年度成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	観光地等クリーンアップ事業	H24 ～ R13	美しい島の景観等を健全な状態で保ち、魅力的な観光地づくりを目指すため、観光関連施設等の美化緑化作業を展開する。	花木の植栽及び肥培管理：16カ所 緑化除草作業及び海浜清掃：16カ所	観光入域者を対象に観光関連施設等の環境美化についてアンケートを実施する。 目標値：80%以上良好の回答を得る。	【今後のスケジュール】 アンケート結果を踏まえて今後の観光地の在り方等について分析、検討した上で、魅力ある観光地づくりに取り組む。	【R8成果目標設定の考え方】 おおよその人が満足したと考える数値を成果目標として設定した。
1	②	いげな尚円王まつり支援事業	H24 ～ R12	伝統文化の継承と観光客の誘致を図るため、いげな尚円王まつりの開催を支援する。 ・いげな尚円王まつりの開催に係る運営費をいげな尚円王まつり実行委員会に対して補助。 ・補助対象経費：委託料、備品購入費、報償費、印刷製本費、使用料、広告料等 ・開催日時：R8年8月15日・16日予定 ・開催場所：伊是名村臨海ふれあい公園内	いげな尚円王まつりの開催	来場者数：2,475人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にまつりを開催し、観光誘客を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	③	いげな88トライアスロン大会支援事業	H24 ～ R13	観光客の誘致を図るため、いげな88トライアスロン大会の開催を支援する。	いげな88トライアスロン大会開催	大会参加者の満足度（80%以上）を含め、当該事業のありかたについて、アンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に大会を開催し、観光誘客及び認知度向上を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 大会参加者が満足することで本村の魅力が伝わり、観光誘客が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	④	「尚円王（金丸）生誕の村」整備事業	H24 ～ R11	観光誘客を図るため、琉球王国時代に作製された旧蔵品等の修復を行う。	旧蔵品の修復を完了	旧蔵品（復元資料）を活用した行事への来場者数：120人	【今後のスケジュール】 復元資料を用いた公事清明祭の開催に際し、広く観光誘客に努める。	【R8成果目標設定の考え方】 復元された旧蔵品を使用する公事清明祭の来場者数を過去3年平均を設定。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	⑤	伊是名村出店事業者販路拡大支援事業	R6 ～ R13	村外で実施される各種イベントへ出店する伊是名村内事業者の増加及び販路拡大を支援する。	R8年度については以下の各フェアへ出店される事業者の出店料を助成する。 1. 離島フェア 2. ありんくりん市 3. 花と食のフェスティバル	各フェア終了後に出店事業者からアンケートを頂き、満足度90%以上を目標に今後の事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 全ての出展終了後に事業者よりアンケートの回答を頂く。90%以上の目標達成出来るよう支援する。	【R8成果目標設定の考え方】 過去のアンケートが95%～100%であったため、R8の目標値を90%以上とする。
2	①	伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ R13	島民に対し、フェリーの自動車航送費へ支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	自動車航送往復運賃（伊是名⇄運天港）の負担軽減	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか（80%以上）を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して自動車航送往復船運賃の負担軽減し、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	①	人材育成事業（日高小との交流事業）	H24 ～ R13	伊是名小学校6年生を北海道に派遣し、環境の全く異なる地域での暮らしや文化を学び、同年代の日高小学校児童生徒との交流を含めた様々な体験を実施し、児童生徒がそこで学んだことを地域の方を対象に発表する。	日高小学校との交流・体験学習の実施 派遣者 伊是名小学校6年生：11人 引率者：5人	児童による報告書の作成及び報告会での発表や、「事業実施後、児童の視野が広がったと感じた又は成長を感じたか（80%以上）」アンケート調査を行い、当該事業の必要性・あり方について検証する。	【今後のスケジュール】 これまでの事業内容を精査し、より効果的な教育事業の展開を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 保護者へのアンケートを実施し、結果から事業のあり方について検証する。
3	②	児童生徒島外諸教育活動支援事業	H24 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で実施される各種大会への参加を支援する。	島外教育活動への派遣費の支援 活動団体数：8団体	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験ができたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援し、人材育成を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が島内ではできない経験ができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	③	幼稚園預かり保育支援事業	H24 ～ R13	幼稚園教育時間終了後に預かり保育を実施し、保護者における育児の負担感の軽減を図る。	預かり保育士の雇用：2人	保護者へのアンケートで預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか（80%以上）を含め、当該事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に預かり保育を実施し、保護者の育児における負担感の軽減を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が負担感の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
					R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
3	⑤	学習支援事業	H24 ～ R13	児童生徒の学力向上を図るため、村営学習塾及び放課後教室の開講、学習支援員の配置を行う。	週4日程度の学習塾を開講 学習支援員の確保：4人	令和2年度～令和6年度までの沖縄県学びのたしかめ調査での村と県の平均正答率の差 小学校 -4.1ポイント以上 中学校 -8.3ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に学習塾を開講し、人材育成を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 R6年度までの過去5年間の実績を踏まえて設定した。	
4	①	伊是名村土づくり支援事業	H24 ～ R13	有機肥料の導入による土づくりを促進し、地力の増強、農作物の生産性向上を図る。	堆肥導入：1,000 t	さとうきび反収：5,600 k g	【今後のスケジュール】 継続的に堆肥を導入し、農作物の生産増加を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 伊是名村さとうきび生産実績から過去5か年分を平均し目標反収を設定。	
4	②	農地の地力強化推進事業	R4 ～ R8	浚渫土砂から礫を取り除き、農地へ作土として供給することで地力強化を推進するとともに、資源循環による環境負荷の低減を図る。	除礫処理量：7,450m ³	作土造成量：13,410 t	【今後のスケジュール】 R5～R8 供用開始 年間作土造成 13,410 t	【R8成果目標の設定】 機械処理能力×土の体積重量より算出した。	
4	③	農業近代化施設整備基本計画策定事業	R8 ～ R8	地域経済の根幹である農産業の持続可能性を確保し、地域活力の向上を図るため、農業近代化施設（ライスセンター）整備基本計画を策定する。	農業近代化施設（ライスセンター）の整備に係る基本計画を策定。	農業近代化施設（ライスセンター）基本計画の策定完了。	供用開始後の生産量（反収）の増加で本事業の在り方を検証する。 成果目標 ・水稲1期作 反収：428 k g ・水稲2期作 反収：397 k g 【今後のスケジュール】 R11 実施設計 R12、13 整備工事 R14 供用開始	【成果目標設定の考え方】 本事業は水稲作物を持続可能な産業とするための計画であるため、供用開始後の生産量（反収）を設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	優良雌牛導入事業	H26 ～ R13	肉用子牛の品質及びセリ価格を向上させることで、畜産農家の経営の安定化を図るため、畜産農家に県内外の優良繁殖雌牛を導入する沖縄県農業協同組合に導入に係る経費の支援（補助）を行う。	優良繁殖雌牛への支援：50件（頭）	■導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合：107%以上	【今後のスケジュール】 優良繁殖雌牛の導入を促進し、肉用子牛の産地として定着させていく。	【R8成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。
2	①	久米島紬販売促進事業	H24 ～ R13	久米島紬及び関連商品の売上増加を図るため、久米島紬事業協同組合が実施する久米島紬の新商品開発や販促開拓等の取組を支援（補助）する。	・物産展等への出展：2回 ・呉服店(問屋)へのセールス：1回 ・産地展示販売スペースの整備：1件 ・産地展示販売：3回 ・アドバイザー招聘：12回	久米島紬及び関連商品の年間売上高 ■反物売上額:7,659万円以上 ■小物売上額:1,909万円以上	【今後のスケジュール】 県内外での販売促進に加え、産地久米島における展示会も開催することで、紬関連商品の売上増加を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。
2	②	久米島特産品販路開拓事業	H25 ～ R13	久米島産の特産品の売上の向上を図るため、経営規模が小さい久米島の特産品事業者の販路拡大に向けて、久米島商工会が行う特産品の販促活動やPR活動を支援（補助）する。	・県内外での物産展開催、出展：県外2回、県内4回	■開催・出展した物産展における久米島産の特産品の販売額：30,200千円 ■商談会参加事業者の年間新規取引先：3件	【今後のスケジュール】 島特産品の売上の向上に向けて、物産展等の目下の売上げ及びPRから、継続取引先確保のための商談会開催へと比重を移行していく。	【R8成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。
3	①	観光誘客促進事業	H26 ～ R13	久米島の知名度向上、観光客の利便性向上及び観光閑散期における観光誘客を図るため、内外における観光広報活動や、SNSによる情報発信、空港等への観光案内所の設置、フィルム・ツーリズムの受入準備等を実施する。	・観光広報：5回 ・久米島観光案内業務：2箇所 ・久米島全島大試泊会開催：1回 ・フィルム・ツーリズムの受入準備（映画ロケ地関連イベント）：1回	■久米島に旅行でいま訪れてみたいと回答した割合:80%以上 ■久米島への観光入域者数：130,000人	【今後のスケジュール】 第3次久米島観光振興計画に基づき観光入域数の目標達成に向けて観光振興施策を実施する。	【R8成果目標設定の考え方】 ■アンケート対象者の大多数が訪れてみたいと考えられる数値として設定した。本事業のあり方についてアンケートにより検証する。 【R8成果目標設定の考え方】 ■久米島町観光振興基本計画に基づき設定した。
3	②	体験交流型観光商品開発販売促進事業	H26 ～ R13	観光消費額の増加を図るため、観光閑散期における教育旅行等の団体客誘致に向けて、県内外における誘致活動や体験プログラムの販売促進等を実施する。	・教育旅行の誘致活動：5回以上 ・教育旅行誘致：12校 ・受入人数：1600人以上	観光体験プログラム売上額 ■教育旅行:17,996,000円以上	【今後のスケジュール】 観光閑散期の入域数の底上げによる平準化を目指して、体験プログラムの質の向上や観光関連商品の売上増加に取り組む。	【R8成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
3	③	久米島観光ブランディング事業	R4 ～ R13	「食」をテーマとしたブランド化を通じた観光消費額の増大を図るため、ご当地グルメ等を発掘し、プロモーション等を行うことで販売を促進する。	・島グルメのプロモーション活動：通年 ・島グルメの販売促進（イベント開催）：2回 ・島グルメ参画事業者の拡大：25店舗 ・ブランド保持に向けたサポート（勉強会開催）：2回	■一人当たりの観光消費額（食事・お酒）：15,586円	【今後のスケジュール】 久米島観光の認知度向上を図り、観光資源を活かした地域ブランドの確立を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 ■久米島町観光振興基本計画に掲げる一人当たりの観光消費額目標値を設定した。
3	④	アウトドアツーリズム展開促進事業	R5 ～ R8	久米島観光における付加価値の創出を通じた新たな顧客層の誘客を図るため、新たな旅のスタイルとして注目されているアウトドアツーリズムを、奥武島キャンプ場を拠点に商品化し販売を促進する。	・アウトドアツーリズムの商品化：3件	■奥武島キャンプ場の利用者数：1,800人	【今後のスケジュール】 アウトドアツーリズムを展開することにより、閑散期の誘客促進及び島内で生産された食材を取り入れたサービスの提供することにより、地域経済の循環につなげていく。	【R8成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。
3	⑤	観光地等環境美化強化事業	R5 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地へのアクセス道路や、観光地として利用されている広場等の環境美化を行う。	・環境美化作業の実施：町内46か所	■観光地として魅力的な景観であると回答した観光客の割合：80%以上	【今後のスケジュール】 観光客の動向や自然環境の変化に注視しながら、最適な回数、美化活動箇所、内容を検討しながら、継続的に環境美化作業を実施する。	【R8成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が魅力的な景観であったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	⑥	スポーツコンベンション推進事業	R5 ～ R13	スポーツキャンプ・合宿のより一層の誘致を図るため、野球関連施設をプロ野球チーム等に求められる水準を満たす競技環境を整備する。	・野球場：高品質（透水性・硬度・均一性等）な土・芝生の整備・管理 ・野球場：安全性を高めるためのセーフティフェンスの改修：1件	■スポーツキャンプ、合宿受入件数：11件	【今後のスケジュール】 競技団体からキャンプ・合宿地として選ばれる競技環境を整備し、キャンプ・合宿の継続的な誘致を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。
3	⑦	久米島まつり活性化事業	R7 ～ R13	久米島来島の契機となり得る魅力的な久米島まつりを開催することで、観光地としての認知度の向上及び入域観光客数の増加を図る。	・久米島まつり開催1回	■久米島まつり来場者数：10,000人	【今後のスケジュール】 久米島に来島する契機となるよう久米島まつりの内容を魅力化に取り組み、来場者の増加と、観光リピーターの確保つなげる。	【R8成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
4	①	英語指導員配置事業	H24 ～ R13	小学生の英語への興味・関心を高めるため、小学校低学年に英語指導員を配置し、外国語授業等の支援を行う。	英語指導員配置数：小学校2名	■英語に対する興味・関心が高まったと回答した児童の割合：80%以上	【今後のスケジュール】 継続的に英語指導員を配置による支援に取り組むことで、広い視野を持ち、異なる文化を持った人々と共に協働して生きていく資質や能力を育成していく。	【R8成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が英語への興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	②	基礎学力向上学習支援員配置事業	H26 ～ R13	児童の学力向上を図るため、小学校に基礎学力向上学習支援員を配置し、国語・算数を中心に学習未定着の児童に支援を行う。	基礎学力向上学習支援員配置数：小学校3名	■小学5、6年生の沖縄県到達度調査における国語・算数の平均正答率：県平均以上 ■小学4年生の学びのたしかめにおける算数の平均正答率：県平均以上	【今後のスケジュール】 継続的に学習未定着の児童を中心に個々の習熟に応じた学習支援に取り組み、学力を底上げしていく。	【R8成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。
4	③	特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R13	特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を各学校に配置し、多様なニーズに対応したきめ細やかな支援を行う。	特別支援教育支援員を配置：小学校9名、中学校2名	■特別支援教育支援員の対応に満足していると回答した対象児童生徒の保護者の割合：80%以上	【今後のスケジュール】 継続的に困難を抱える児童生徒に対して支援を行い、学校生活や学習上の困難の改善していく。	【R8成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	④	小中アシスト相談員配置事業	R4 ～ R13	児童生徒の社会的自立に向けて不登校の児童生徒の登校復帰を促進するため、アシスト相談員を小・中学校に配置し、学校とアシスト相談員協働で不登校の児童生徒が登校できるよう支援する。	・アシスト相談員を配置：小・中学校2名	■不登校率の減少：1ポイント	【今後のスケジュール】 いじめの積極的な認知を図り、新規不登校者を抑えながら、不登校児童生徒の登校につなげていく。	【R8成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。
4	⑤	学校ICT活用支援事業	R5 ～ R12	ICTを活用した分かりやすい授業を実施することで児童生徒の情報活用能力の向上につなげるため、教職員の効果的なICTの活用を支援するほか、授業をさらに効果的なものにするために特別支援学級に電子黒板を整備する	・ICT支援員の配置：1名 ・サービスデスクの設置：1件 ・電子黒板の整備：14台	■ICT活用により授業が分かりやすかったと回答した児童・生徒の割合：80%以上	【今後のスケジュール】 ICTを活用した分かりやすい授業を実施することで、児童・生徒の情報活用能力を育成していく。	【R8成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が分かりやすかったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業番号 ハ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								5	①
5	②	ホームステイ等派遣事業	R5 ～ R13	児童・生徒に国際的な視野を持たせるため、中学生の海外ホームステイ派遣及び小学生の島内在住外国人交流を実施し、異なる言語や文化等への理解を深める機会を提供する。	・海外ホームステイへの派遣：中学生2人 ・島内在住外国人との交流：小学生12人	■国際的な視野が広がったと回答した生徒の割合：80%以上 ■英語に対する学習意欲が向上したと回答した児童の割合：80%以上	【今後のスケジュール】 海外ホームステイ、島内在住外国人との交流を通して語学力向上ならびに異文化理解を深め、国際社会において主体的に行動できる人材を育成していく。	【R8成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が分かりやすかったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
5	③	久米島現代版組踊推進事業	H24 ～ R13	地域住民等の久米島の歴史・文化に対する興味・関心を高め、保存・継承につなげるため、小中高校生による久米島の歴史的遺産を題材に、沖縄に古くから伝わる古典芸能「組踊」をベースに、琉舞、エイサー、空手等の民俗芸能の要素を取り入れた現代版組踊の舞台公演等を実施する。	・現代版組踊公演：1回 ・各種イベントへの出演：6回	■久米島の歴史・文化に対する興味・関心が高まったと回答した舞台公演来訪者の割合：80%以上	【今後のスケジュール】 新たなメンバーの参加を募り、舞台の活動を通して久米島の歴史文化に対する理解を深め、地域住民をはじめ内外に発信していく。	【R8成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
5	④	文化遺産保存活用事業	H24 ～ R11	古くから中国、東南アジア諸国等との交易・交流を通じて形成された沖縄独自の歴史・文化を保存・継承するため、久米島にのこる近世久米島の歴史及び中国文化、江戸文化の受容の一端を読み取れる貴重な資料「古文書」を修復、翻刻口語訳し公開・活用する。	・古文書の修復：100件 ・修復した古文書の翻刻、口語訳：30件	■修復文書速報ロビー展見学者数：6,320人以上 ■修復を行った古文書の調査利用件数・社数：60件以上、5名以上	【今後のスケジュール】 修復した資料を積極的に展示会や研究紀要等において公開するとともに、研究者への調査利用も受け入れ、得られた調査結果の公開を行っていく。	【R8成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
5	⑤	歴史遺産保存活用事業	R8 ～ R8	古くから中国、東南アジア諸国等との交易・交流を通じて形成された沖縄独自の歴史遺産を保存・活用・継承するため、久米島近海に残る朝貢貿易の歴史遺産の一部の展示及び海底に残される遺産の動画を制作し広く公開する。	・遺産の展示：4基 ・東奥武海底遺物の映像制作：1動画	・遺産の展示完了 ・東奥武海底遺物の映像制作完了	【R9成果目標】 ■博物館入館者数：4,600名 【今後のスケジュール】 地域の歴史を如実に示す特徴的な痕跡であるため、関係課や観光協会と連携して、学校や修学旅行などの教育関係を中心に利用を促し、目標の達成につなげていく。また、民間事業者主体の遺跡見学ツアーの造成が行われており、現地ツアー前に博物館の展示や映像を見学することで理解をより深められるように取り組む。	【R9成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。
6	①	航空運賃コスト負担軽減事業	H30 ～ R13	観光入域数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補填することで、割高な渡航運賃の低減を行い観光客等が訪れやすい環境を整備する。	交流人口を対象とした航空運賃割引の実施	■久米島町への観光入域者数：130,000人以上	【今後のスケジュール】 ・観光振興基本計画の目標値を基準とし、入域観光客数の増加を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 ■久米島町観光振興基本計画に基づき設定した。
6	②	児童・生徒各種大会派遣支援事業	H27 ～ R13	島外において開催される各種大会等への参加を通じて児童・生徒に広い視野を持たせるため、同大会等の参加に要する派遣旅費に対する支援を行い、地理的・経済的な理由に左右されず参加できる環境を整備する。	島外で開催される各種大会・コンクール等に参加する生徒の保護者に派遣旅費を支援：453人	■島外において開催される各種大会等に参加して視野が広がったと回答した児童・生徒の割合：80%以上	【今後のスケジュール】 派遣旅費の補助により多くの生徒に派遣機会をもたらす。	【R8成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6	③	幼稚園預かり保育運営事業	R6 ～ R13	就学1年前の子どもを安心・安全に預けられる環境を整え保護者の育児に係る負担感を軽減するため、幼稚園児の預かり保育を実施する。	・預かり保育の実施：2園	■安心・安全に子どもを預け、育児の負担感が軽減されたと回答した保護者の割合：80%以上	【今後のスケジュール】 預かり保育指導員・ヘルパーを確保し、預かり保育を実施する。	【R7成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が負担感が軽減されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
6	④	離島交通課題対策事業	R7 ～ R13	公共交通、観光バス及び各産業の資材等を運搬するトラックの運行を維持することで、住民並びに観光客の利便性の確保と、各種産業の経済活動の支えを図るため、当該運行のドライバーに従事する意欲のある者に、一定の条件を付して大型免許の取得に係る費用の一部を支援（補助）する。	・大型免許を取得する者への補助：5名	■公共交通（町営バス）、観光バス、資材等を運搬するトラックを運行するドライバーへの従事者数：5名	【今後のスケジュール】 不足するドライバーを、計画的に育成・確保できるよう広報活動を強化して取り組む。	【R8成果目標設定の考え方】 ■ドライバーの不足数及び高齢に伴う引退数を勘案して設定した。
6	⑤	景観まちづくり推進事業	R8 ～ R8	久米島ならではの豊かな自然、田園風景、歴史文化名所等を保全し、良好な眺望景観の確保・創出を図るため、景観形成の指針となる計画の検討及び改定を行う。	景観まちづくり計画改定版の策定：1件	景観まちづくり計画改定版の策定完了	【R9成果目標】 ■策定する景観まちづくり計画において、景観保全に係る目標値を設定し、当該数値目標とした施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R8：計画改定 R9～：計画施行、施策展開	【R9成果目標設定の考え方】 ■R8に策定する計画の中で調査・検討し設定する

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業番号 ハ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考			
事業番号	事業名				計画期間	R8事業内容		R8活動目標（指標）	R8成果目標（指標）	今後の展開方針等	補足説明等
1	①	八重瀬町外国語指導強化事業	H24 ～ R13	小中学校の発達過程に応じ、外国文化への興味関心や英語能力を高め、国際化社会に柔軟に対応できる人材を育成するため、英語指導助手を配置する。	英語指導助手：5人配置 小学校4校：3人配置し分担 中学校2校：2人配置	①小学校 対象児童へのアンケート調査により「英語に対する興味・関心が高まった」の割合：80%以上 ②中学校 沖縄県学力到達度調査（英語）における、県と本町との平均正答率の差 平均以上	【今後のスケジュール】 小学生、中学生の児童生徒に外国語にふれ合う機会を与える。 ・英語興味・関心アンケート調査の実施 ・話すこと、書くこと、コミュニケーション能力の定着を図る 【小学生】英語の興味・関心高まった：80%以上が令和13年度までの9回のうち6回達成する 【中学生】県との平均正答率の差：平均以上が令和13年度までの9回のうち6回達成する	【R8成果目標設定の考え方】 英語に対する興味・関心度をアンケートにより数値化し、学力到達度テストにより本町と本県の児童の学力の差を計ることで本事業のあり方を検証する。			
1	②	八重瀬町ICT支援員配置事業	H24 ～ R13	児童生徒の情報機器操作能力や情報活用能力の向上を図るための支援と併せ、教員による電子黒板等のICT機器を活用した分かりやすい授業が展開できるよう小中学校にICT支援員を配置する。	ICT支援員を2人配置する。 小学校4校・中学校2校を分担する。	対象児童生徒へのアンケート調査により「ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか」の割合：80%以上	【今後のスケジュール】 ICT支援員の配置を継続し、児童生徒の情報機器の操作能力や情報活用能力の向上を図る。 対象児童生徒の保護者へアンケートを実施し、特別支援員の対応に満足したか：80%以上が令和13年度までの9回のうち9回達成する	【R8成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち、大多数にとってICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。			
1	③	八重瀬町学力向上支援事業	H25 ～ R13	学習の遅れがちな児童生徒へ授業中や放課後学習の支援を行い、基礎基本の学力を定着させ学力の向上を図るため、小中学校へ学習支援員を配置する。	学習支援員を6人配置する。 小学校4校に対して4人配置する。 中学校2校に対して2人配置する。	沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 小学校（国語・算数） 平均以上 中学校（国語・数学） +4.0ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も同様な人数の確保及び増員をし、引き続き支援体制を維持し基礎学力の定着を図り、全体の底上げを目指す。 【小学生】国語・算数：平均以上が令和13年度までの9回のうち6回達成する 【中学生】国語・数学：平均以上が令和13年度までの9回のうち6回達成する	【R8成果目標設定の考え方】 学力達成度テストにより本町と本県の児童の学力の差を計ることで本事業のあり方を検証する。			

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
1	④	八重瀬町特別支援員配置事業	H27 ～ R13	特別な支援を要する児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援員を配置する。	特別支援員を20人配置する。 小学校4校に対して18人配置する。 中学校2校に対して2人配置する。	保護者に対するアンケートにより「特別支援員の対応に満足した」と考える割合：80%	【今後のスケジュール】 特別支援員の配置を継続し、特別な支援を要する児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。 対象児童生徒の保護者へアンケートを実施し、特別支援員の対応に満足したか：80%以上が令和13年度までの9回のうち9回達成する	【R8成果目標設定の考え方】 対象となる児童生徒の保護者のうち、大多数が特別支援員の対応に満足したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	⑤	八重瀬町ICT教育強化事業	H26 ～ R8	校内ネットワークへの接続や学習用端末と連携が可能な電子黒板を導入し主体的な学びの意欲向上及び学びの深化を図るため、町内小中学校にICT機器を整備する。	ICT機器の整備 ・電子黒板：10台 ・電子黒板用PC：10台	児童生徒へのアンケートによりICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合：80%以上	【今後のスケジュール】 ICT機器を活用した授業を実施する中で、児童生徒の授業に対する興味・集中力を高めるとともに、情報活用能力の向上を図る。 事業の最終年度となる令和8年度の成果目標として、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%以上を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち、大多数にとってICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。
1	⑦	「夢・未来」スポーツレベルアップ事業	H27 ～ R13	八重瀬町民のスポーツへの意識を高めるとともに、沖縄県及び全国レベルの各種競技大会での八重瀬町出身選手（児童生徒）の活躍を支援するため、派遣費の助成やスポーツ教室を開催する。	スポーツクリニックの開催（1競技） 児童生徒の県外派遣費の助成	①スポーツ教室の保護者へのアンケートで、「スポーツへの意識が更に高まったか」の割合：80%以上 ②県外大会派遣費助成の保護者へのアンケートで、「児童生徒が広い視野を持てたか」の割合：80%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続してトップアスリートによるスポーツ教室を開催し、児童生徒のスポーツへの意識を高める。また、県外で実施される各種大会参加への支援を行い、児童生徒に広い視野を持たせる。 【今後の実施着地点】 数値については、派遣された児童生徒の大多数の視野が広がったと考えられる数値として80%以上を継続する。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数がスポーツへの意識が更に高まった又は広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	⑧	八重瀬町国際交流人材育成事業	H24 ～ R13	外国語教育や国際理解教育の充実を図るため、児童生徒を海外派遣及び海外中高校生を沖縄県内にて受入し、国際感覚に富む人材の育成に取り組む。	・海外短期派遣生徒数 12名 ・受入海外中高校生 4名	保護者へのアンケート実施。 「児童生徒の国際的な視野が広がった」の回答率100%	今後も情報化・国際化時代を担う人材育成の為、交流事業を実施する。 各年成果目標である「児童生徒の国際的な視野が広がった」の回答率100%を事業最終R14年まで100%継続する。	保護者へのアンケート実施。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	⑨	八重瀬町青少年女人材育成交流事業	H26 ～ R13	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外の児童生徒との交流を実施する。	・児童生徒交流者数 16人	保護者へのアンケート実施。 「児童生徒の視野が広がった」の回答率100%	今後も今後の沖縄県・八重瀬町を担う人材育成の為、交流事業を実施する。 各年成果目標である「児童生徒の視野が広がった」の回答率100%を事業終期R14年まで100%継続する。	保護者へのアンケート実施。
2	①	八重瀬町イベント事業	H24 ～ R13	町特有の地域資源を活用したイベントの開催支援を行い、国内外へ情報を発信することで町内への集客を図る。	やえせ桜まつりへの補助	期間中の来場者 26,000人以上	【今後のスケジュール】 引き続き、地域資源を活用したイベントの開催支援を行うとともに、実施体制・内容の検証、イベント内容の見直しを行い、観光客の誘致・町産品PRを実施する。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	八重瀬町観光地美化作業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	観光地や施設及びアクセス道路の美化作業 観光地：13箇所 アクセス道路：45箇所	観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると 感じている人の割合：80%	【今後のスケジュール】 今後も継続して美化清掃を行い、観光地としての魅力向上を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地として、ふさわしい景観及び道路環境であると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	③	運動公園施設等整備事業	H24 ～ R13	スポーツキャンプの誘致を図るため、運動施設の整備を行う。	・サッカー場プロ仕様芝生整備 ・運動公園整備工事及び芝生用肥料及び資材等の購入	野球キャンプの受入れ 5件以上 サッカーキャンプの受入れ 4件以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して運動施設の整備を行い、スポーツキャンプの誘致を図る。 【今後の実施着地点】 野球キャンプ5件以上の受入れと、サッカーキャンプ5件以上受入れを設定する。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考		
事業番号	事業名			R8事業内容	R8活動目標（指標）		R8成果目標（指標）	今後の展開方針等	補足説明等
2	④	八重瀬町観光プロモーション事業	H26 ～ R13	観光振興を推進するために観光プロモーションの管理業務支援員の配置、観光プロモーションの企画立案及び運営管理を行い、観光客の誘客を図る。	・プロモーション企画実施 6回以上 ・SNS等による情報発信 100回以上	主要観光施設の入域客数 193,000人以上	【今後のスケジュール】 今後も八重瀬町観光拠点施設を中心とした誘客プロモーションを継続し、観光キャラクターや地域資源を活用した観光PRを実施することにより、観光地としての認知度向上及び八重瀬町観光ブランドの構築を図る。 事業の最終年度となるR13年度まで、主要観光施設の入域客数267,000人以上を継続する。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	⑤	八重瀬町スポーツ観光交流屋内運動場整備事業	R4 ～ R10	各種スポーツキャンプやスポーツイベント等の誘致強化を図るため、既設体育施設を屋内運動場として機能強化改修整備を行い、スポーツツーリズムの推進を図る。	旧具志頭小学校体育館の屋内運動場リニューアル機能強化整備工事、駐車場整備に伴う用地買収	旧具志頭小学校体育館の屋内運動場リニューアル機能強化整備工事、駐車場整備に伴う用地買収	【今後のスケジュール】 各種スポーツキャンプやスポーツイベント等の誘致強化を図るため、実施設計書に基づいて旧具志頭小学校体育館を屋内運動場として、機能強化改修整備を行い、各種スポーツキャンプやスポーツイベント等の受入れを行う。 【今後の実施着地点】 屋内運動場整備事業完了後、スポーツキャンプ2件以上の受入れを設定する。	【R8成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けたスポーツツーリズムの推進施策を実施していくことを成果目標として設定した。	
2	⑥	八重瀬町スポーツ観光交流施設活性化事業	R4 ～ R13	多様なスポーツ等の練習拠点機能を有する八重瀬町スポーツ観光交流施設において、多様なスポーツキャンプや大会の誘致を図るため、受入れに必要な整備を行い、スポーツを活用したスポーツツーリズムの推進を図る	サッカーグラウンドのプロ仕様芝生管理委託。	サッカーキャンプの受入れ2件以上	【今後のスケジュール】 今後も継続してスポーツ観光交流機能であるサッカーグラウンドの整備を行い、スポーツキャンプの誘致を図る。	【R8 成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に平均値を算出し、平均値以上を設定した。	
2	⑦	スポーツキャンプ事業	H26 ～ R12	観光客の落ち込む冬場に県全体で誘客促進を図るため、県の推進するスポーツコンベンション事業と連携し、サッカーチーム、野球チーム等のスポーツチームを誘致することで、観光客の誘客を図る。	集客力のあるプロチームを含む4チーム以上の誘致を行う。	充実した練習環境でキャンプを行うことで来年度以降のリピートをしてもらい、観光客数が落ち込む沖縄の冬季に集客を図る。			

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
3	①	放課後児童クラブ利用者負担軽減事業	R4 ～ R12	日中、保護者が家に居ない小学生に対し、放課後や学校休校日に子どもが安心して過ごせる場所を提供する。 児童クラブを利用する非課税世帯、ひとり親世帯に対して保育利用料を減免した場合に補助を行う。	非課税世帯、ひとり親世帯に対して保育利用料を減免している放課後児童クラブへ補助を行う。	保護者が、本事業により就労できた又は就労を継続できたか経済的な負担軽減につながったかを検証する。	【今後のスケジュール】 保護者の経済的な負担軽減につながったか、アンケート等により検証する。	【R8成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。
4	②	八重瀬町地産地消費フェア事業	H26 ～ R13	拠点産地に指定されている農作物等や畜産物・水産物及びそれらを使用した加工品等について、イベント開催を通じて地場産業の情報発信や展示販売等を実施し、農林水産業の振興を図る。	八重瀬町地産地消費フェア等の開催支援	・地産地消費フェア来場者数：2300人以上	【今後のスケジュール】 イベントを通じて地場産業の情報発信や地域と協力した展示販売等を実施し、農林水産業の振興を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定。 また地域と協力した展示販売等も加えることにより、地域全体で地場産業の発展に寄与していきたい。
4	③	八重瀬町和牛改良支援事業	H29 ～ R11	農家の経営安定化に向けて子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入頭数：20頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合110%以上 沖縄県内の家畜市場における子牛価格 令和6年度平均 雌：412,323円 去勢：532,565円		
4	④	乳用牛改良支援事業	H29 ～ R10	乳用牛の改良強化を図るため、農家に対して優良乳用牛を貸し付ける者に対し支援を行う。	優良乳用牛導入頭数：15頭	生産乳量：4,000,000kg以上 乳質（脂肪率）：4.0%以上		

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
6	①	八重瀬歴史文化継承事業	R4 ～ R13	八重瀬町の歴史・文化の継承を図るため、八重瀬町の歴史・文化に関して調査、資料収集、編集。調査成果を活用し、企画展を開催する。	[移民・出稼ぎ編] ・会議（2回） ・収集した証言や資料の整理。 ・パネル展の開催 200人 [近代資料] ・有識者会議（4回） ・横内文書調査 ・近代資料の整理	企画展の開催 200人 歴史民俗資料館における令和4年度～令和6年度企画展平均観覧者数（一般） パネル展 200人	【今後のスケジュール】 R8年度以降も町の歴史・文化の調査研究及び資料収集を継続し、その継承を図る。 企画展の来場者数200人を令和13年度まで継続する。	【R8年度成果目標設定の考え方】 類似取組の実績を参考に設定した。
6	④	八重瀬町生涯学習・文化振興拠点施設整備事業	H30 ～ R9	沖縄近代史資料館を整備することで、沖縄県南部地域に新たな歴史学習の観光ルートを構築し、持続可能な観光地づくり及び観光誘客を図る。	・建築本体工事、建築工事監理業務 ・沖縄近代史調査（学習院等の所蔵資料）	・建築本体工事、建築工事監理業務、 ・沖縄近代史調査（学習院等所蔵資料の撮影、複写）	【R10成果目標】 年間来館者数を35,000人とする。 【今後のスケジュール】 令和10年度以降も、沖縄近代史に関する資料をさらに充実させるとともに、定期的に企画展示を開催し、来館者数の増加を図る。	近隣歴史遺跡、また施設が整備される東風平運動公園の県外入域者数や修学旅行の誘致も見込み、後年度効果が発現する成果目標（指標）を設定した。
7	①	YAESE 結 フェスタ事業	H29 ～ R13	（10月～11月） 町内の観光資源を活用し、町の観光認知度向上・町内への誘致を図るイベントの開催を支援することで、町内における需要の想起、交流人口の拡大、地域活性化を目指す。	イベントの開催支援 YAESE 結 フェスタ事業 来場者 32,000人以上	開催支援を行ったイベントへの 来場者数 32,000人以上	【今後のスケジュール】 イベントの成果（来場者へのPR、イベント内容の情報発信等）を通じ、更なる観光認知度の向上と誘客を図る。	【成果目標設定の考え方】 過去実績を勘案して設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	美化緑化推進事業	H25 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を行う。	公園9カ所の美化・緑化を実施し、観光客等が気持ちよく利用できるように取り組む。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、本事業のあり方についてアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 来村者のうち大多数が観光地としてふさわしい景観及び道路環境と感じていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	②	ヤシガニ生息状況調査事業	R5 ～ R10	①水納島におけるヤシガニ生息状況調査を集中的に実施して全島の生息状況を解明する。 ②多良間島におけるヤシガニの詳細な食性調査で消化管内容物のDNA分析を行い餌資源を把握し保護区の設定の環境指標として活用したい。 ③多良間島におけるヤシガニのプラスチックごみ漂着による化学物質汚染状況調査を実施する。ヤシガニは食用としても供されるので調査の必要性は高いものがある。	①県内でも大型のヤシガニが生息する水納島一帯の生息状況調査を実施する。 ②多良間島におけるヤシガニの食性調査を実施する。 ③多良間島におけるヤシガニのプラスチックごみの化学物質汚染状況調査を実施する。	①水納島におけるヤシガニの個体の大きさ、生息分布図を作成する。 ②多良間島におけるヤシガニの食性調査で消化管内容物のDNA分析を行い餌資源を把握して保護区設定の環境指標として活用する。 ③食用としても供されているヤシガニのプラスチックごみ等の化学物質汚染状況を明らかにする。	コメント①水納島における島全体生息状況調査で大型個体を含む生息分布図を作成する。また、個体の大きさ重量を測定して、その分布図を作成する。 コメント②消化管内容物のDNA分析で餌資源を明らかにする。 ③プラスチックごみ等の化学物質汚染状況を明らかにする。 このことで、島嶼域における指標に成り得ると考える。	コメント①水納島における、個体調査目標をR5年度850個体からR8年度1500個体を目標にした。
2	①	児童生徒島外教育諸活動事業	H27 ～ R13	各種大会が島外で開催されるため、児童生徒・引率者が（派遣）参加するための交通費（航空運賃）及び宿泊費の補助金を交付する。	①児童生徒、引率者の大会派遣に係る交通費（航空運賃）宿泊費に対する補助 ②島外の児童生徒との競争や交流の機会を通して、広い視野を広げさせながら意識の向上を図る	アンケートにより大会を通して、「島内ではできない経験ができた。意識の向上につながった」割合：80%	【今後のスケジュール】 引き続き、島外への派遣を積極的に行い、児童生徒の意識高揚、能力向上を図りながら成果達成につなげていく。 【今後の目標】 派遣された児童・生徒へのアンケートで、島内ではできない経験することができたか（80%以上）をの肯定的な意見を継続することで、人材育成へ繋げていく。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者において概ね肯定的な数値として設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村		事業番号 ハ 細	事業名	計画 期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								2	②
2	③	村営学習塾開設事業	H28 ～ R13	児童生徒の学力の向上を図るため、村営学習塾を開講し、国語・算数（数学）・英語を中心とした学習支援を対面で実施する。また、社会情勢を鑑みた上で臨機応変に対応できるように、オンラインでの支援も視野に入れ実施する。	村営学習塾の開設	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校（国語・算数）-4.0ポイント以上 ・中学校（国語・数学・英語）-6.0ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も社会情勢に合わせた方法（オンライン）も取り入れながら継続的に村営学習塾を開講し、学習支援員（2名）を配置することにより、効果的に学習できる環境を整え、学校外学習支援を強化することで、児童生徒の学力向上を図るとともに、 沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校（国語・算数）-4.0ポイント以上 ・中学校（国語・数学・英語）-6.0ポイント以上 という成果目標の達成を目指す。	【R8 成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	④	多良間村就業意識向上支援事業	H30 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図るため、職業体験等のキャリア教育を行う。	・沖縄本島へ小学6年生(4名)、引率者(5名) ・宮古島市へ中学1年生(10名)、引率者(5名) ・沖縄本島へ中学2年生(15名)、引率者(5名) ・島内での「ライフキャリア教育」中学3年生(11名)	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も社会情勢に合わせた方法（オンライン）も取り入れながら、継続的にキャリア教育を行い、児童生徒の就業意識の向上を図るとともに、 キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)という成果目標の達成を目指す。	【R8 成果目標設定の考え方】 対象児童のうち大多数の職業意識が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村		事業番号 ハ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								2	⑤
3	①	多良間村自動車航送コスト負担軽減事業	H27 ～ R13	村民が島外へ移動しやすい環境を構築することで、小規模離島における定住環境の改善を図るため、村民の自動車航送に係る運賃の一部を補助する。	宮古島⇄多良間島間の自動航送運賃の補助	運賃補助によって島外へ移動しやすい環境となっているが、島民アンケート（80%以上）も含め、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 自動車航送コストの負担軽減により、離島の地理的条件の不利益を軽減し定住環境の改善に繋げる。	【R8成果目標の設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって宮古島へ移動しやすい環境となっていると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	②	多良間村離島航空路チャーター運航支援事業	R6 ～ R13	多良間－石垣間の航空路の運航・維持により村民の利便性向上や定住条件の整備、交流人口の増加等で村の振興に繋げる。その、チャーター便の運航に伴い生じた欠損額に対し、補助を行う。	多良間-石垣間のチャーター運航に対する欠損補助	多良間-石垣間航空路線の運航・維持	【今後のスケジュール】 多良間-石垣間航空路線の運航・維持	【R8成果目標設定の考え方】 事業の目的から、事業終了後も継続運航し、本村の航空路が今後も維持されていることを成果目標として設定した。	
3	③	命と地域を守る総合体制強化事業	R8 ～ R12	村内における救命・防災体制の強化を図り、住民の安心と安全を守る。救急活動を専門の民間事業者へ委託、専門性を活かし地域に寄り添った総合的な支援ネットワークを構築。災害・事故・急病など多様なリスクに対応できる持続可能な地域防災・救命体制を整備する。	1、救急体制強化 ・救急救命士の派遣・委託による迅速な対応 ・離島地域での救急搬送支援体制の強化 ・救命資機材の配備と維持管理 2、防災体制強化 ・地域住民向け防災訓練・救命講習の実施 ・災害時の避難支援ネットワークの構築 3、総合連携 ・行政・医療福祉機関・消防・地域団体との協働体制 ・ICTを活用した救急・防災情報のリアルタイム共有 など	・体制の強化が図られたか（80%以上）、消防団・医療福祉関係や講習会へ参加した村民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・島内の救急要請への対応率100%	【今後のスケジュール】 離島の救命と防災総合的な体制強化。単なる救急支援ではなく、離島の生活環境に根ざした包括的な安全保障を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が体制強化が図られたと考える値として設定した。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容					R8活動目標（指標）			今後の展開方針等	補足説明等
4	①				多良間村心身障害児等旅費助成交付金事業	R3 ～ R13			
4	②	多良間村地下水源保全推進事業	R6 ～ R8	生活用水、農業用水等の用水利用のほとんどを地下水に依存する多良間村において、住民生活、産業基盤等の根幹を成す地下水源を適正に保全するため、島内唯一の最終処分場の復旧工事及び浸出水処理施設の機能強化工事を実施する。	浸出水処理施設に関して、技術上の基準を適合させる。	環境に安全・安心な施設の機能強化	【今後のスケジュール】 R8 浸出水処理施設機能強化工事の実施	R7年度の最終処分場復旧工事が完了。復旧した処分場から送水される原水を浸出水処理施設で処理しなければならないが、現在の施設では十分な処理が行えないので機能強化を行い、浸出水を処理することにより、地下水源を保全する	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
R8事業内容	R8活動目標（指標）				今後の展開方針等	補足説明等			
								1	①
1	②	竹富町民離島航空路チャーター運航支援事業	R6 ～ R13	本町住民の交通手段である石垣・波照間航空路線を確保・維持するため、チャーター便の運航に伴い生じた欠損額について、県と協調して補助を行う。	石垣・波照間のチャーター運航(離島の生活路線)に対する欠損補助 1路線	石垣-波照間航空路線の確保・維持 1路線	【今後のスケジュール】 石垣⇄波照間航空路線の確保・維持	【R8成果目標設定の考え方】 事業の目的から、事業終了後も継続運航し、本町の航空路が確保・維持されていることを成果目標として設定した。	
1	③	竹富町救急救命業務委託事業	R5 ～ R8	本町の救急救命業務の拡充を図るため、急患患者が多発する西表西部地区において、民間救急事業者に委託し救急救命士の24時間専任体制の構築維持	救急患者が多い西表島西部地区における救命救急に係る各種活動の実施 (1) 事故発生や発病等による諸病者への救急救命対応及び医療機関への搬送活動 (2) 西表西部診療所から他の医療機関への搬送搬送及び搬送中における救急救命活動 (3) 応急手当の普及活動及び疾病予防等の啓発活動	・救急搬送の拡充が図られたか（80%以上）を含め消防団・医療関係へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・西表西部地区における救急搬送要請への対応率100%			
1	④	うなり崎公園整備事業	H24 ～ R8	西表西部地区に整備されたうなり崎公園において、地域住民の要望でもある児童及び幼児のための安心・安全な公園の整備を図り、地域住民のみならず各島より訪れた人々とのふれあい、休息、遊戯等の総合的な利用を目的とする町立公園の整備を図る。	児童遊具ゾーン整備の実施	児童遊具ゾーン整備の完了	【R9成果目標】 地域福祉の向上及び魅力的な観光地としての景観形成が図られたか（80%以上）を含め、観光客や町民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R7～R8 整備工事 R9 アンケート実施	【R9成果目標設定の考え方】 住民・観光客双方を対象に本事業に関するアンケートを実施し、効果を測定するものとした。数値については、大多数の利用者にとって利便性の確保及び魅力的な観光地として考えられる数値として80%以上とした。	

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
大	細				R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	⑥		小浜公園整備事業	R8 ～ R9	小浜地区において、子どもたちが遊ぶことのできる遊具や広場、休息・団欒ができる東屋、健康増進を目的とした遊具を整備し、子どもから高齢者まで様々な世代が利用でき、訪れた人々とのふれあいの場・交流できる空間を創出することを目的に公園を整備する。	公園整備に係る実施設計業務を行う。	公園整備に係る実施設計業務を完了する。	<p>【R10成果目標】 魅力的な施設としての利便性が確保されているか（80%以上）を含め、利用者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。また、整備後は施設の適切な維持管理に努め、利用満足度の維持向上を図る。</p> <p>【今後のスケジュール】 R8 実施設計業務 R9 公園整備工事 R10 供用開始、アンケート実施</p>	<p>【R10成果目標設定の考え方】 利用者の利便性確保について本事業に関するアンケートを実施し、効果を測定するものとした。対象者のうち大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として80%以上と設定した。</p>
2	①		竹富町観光誘客・受入対策事業	H24 ～ R13	持続可能な観光まちづくりの実現に向け、滞在型・着地型観光および責任ある観光を推進しつつ、観光情報の発信を強化するとともに、誘客・受入体制の充実および観光消費の拡大につながる施策を推進し、観光客の満足度と消費額の維持・向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・入域観光統計調査 ・産業連関調査 ・滞在型観光推進プロモーション事業 ・小浜島地域経済活性化推進事業 ・SNS・DXによる竹富町の観光消費拡大事業 	観光客を対象としたアンケート調査を実施し、観光満足度評価平均70ポイント以上（最高100ポイントで10ポイントきざみ）を目指す。	<p>【今後のスケジュール】 観光客を対象に、観光満足度含むアンケート調査を継続的に実施しながら、本取組の効果および成果目標の拡大、本事業のあり方等を適宜検証し、持続可能な観光振興に取り組む。</p>	<p>【R8 成果目標設定の考え方】 観光客の観光満足度を確保することが持続可能な観光振興につながる為、アンケート調査で観光満足度評価平均70ポイント以上獲得することを目標値とした。</p>
2	②		竹富町文化振興・観光交流拠点整備事業	R2 ～ R10	竹富町の自然・歴史・文化の継承及びそれらを活用するコンテンツを作成し利用者満足度向上を図るとともに、サテライトを含む拠点施設を整備する事により、観光客の来訪促進を図るとともに、住民の地域理解を深める。	<p>令和3年度に作成した基本計画に沿って、サテライト施設の整備を行う。 閉館している小浜島民俗資料館をサテライト施設として位置づけ、機能強化事業を行い活用につなげる。 また、サテライト施設としての位置づけが見込まれる竹富島蒐集館においても、資料調査を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・竹富島貴宝院蒐集館の資料調査およびデータベースを作成する ・町史所蔵の写真をデジタル化する 	<p>【R11年度成果目標】 ①来館者アンケート満足度80% ②閲覧者数 40,000人/年</p> <p>【今後のスケジュール】 R4～6 無形文化財開取等 R6～8 公表データ作成・サテライト施設の機能強化（小浜島） R9 サテライト施設開館 拠点実施設計 R10 デジタルミュージアム開館 拠点施設整備工事</p>	<p>【R11年度成果目標設定の考え方】 ①対象者のうち大多数が公開資料に満足していると考えられる値として設定。 ②基本構想の中で算出した来館者数と観光前にデジタル資料を閲覧する人数は等しいと想定し、年間40,000人程度の閲覧数を目標とする。</p>

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
2	③	竹富島コンドイ園地整備事業	R6 ～ R10	竹富島コンドイ園地において、利用者負担の仕組みの導入とコンドイ浜ならではの自然資源の魅力もさらなる利活用を目的に園地を整備する	実施設計の策定	実施設計の策定完了	【R11成果目標】 利用者満足度90%以上 【今後のスケジュール】 R6：基本構想、基本計画 R7：基本設計、地質調査 R8：実施設計 R9：整備工事 R10：整備工事	竹富島全体での訪問満足度を参考に設定した。
2	④	西表島世界遺産センターに係る情報発信体制等整備事業	R7 ～ R8	本町が整備に取り組んでいる西表島世界遺産センターについて、来訪者等に対する同施設の紹介や、同施設を拠点とした活動等の各種情報発信を行うための情報発信体制の整備を行うもの。	ホームページ、パンフレット、展示解説冊子、展示解説冊子等の作成	ホームページ、パンフレット、展示解説冊子、展示解説冊子等の作成	西表島世界遺産センターへの来館者数75,000人以上 【達成年度】 令和9年度 【今後の事業のスケジュール】 令和8年度にて整備した情報発信体制を適切に運用し、効果的な情報発信に努める。	【後年度成果目標の考え方】 過去の入域観光客数調査及び他地域での先行類似施設実績を勘案して設定した。
4	①	竹富町和牛生産推進事業	H24 ～ R12	町内の繁殖農家が生産する仔牛の品質及び価格を向上させるため、農家が優良繁殖雌牛を導入する際の導入費用を支援する。また、離島港湾入口に靴底消毒用マットを設置する。 これに加え、和牛受精卵の導入支援並びに受精卵移植支援により、市場性の高い和牛受精卵子牛を増産することで、市場価格の引き上げや、生産基盤強化に繋がり、さらなる生産者の意欲向上や、生産コストの改善・効率化に期待ができる。	・離島港湾靴底消毒用マット設置、6箇所（竹富・黒島・小浜・西表大原・上原・波照間） ・優良繁殖雌牛導入支援 ・和牛受精卵導入・移植支援	・防疫マット設置 6箇所 家畜伝染病等の発生件数0件 ・優良繁殖雌牛導入支援 60万×80頭導入支援 ・和牛受精卵導入・移植支援 5万×390個	導入牛から生まれた子牛とそうでない牛との価格差を指標とすることで、竹富町畜産牛のブランド力の向上が図れてきているが導入牛の不妊等もあることから、妊娠牛の導入を行うことで、事故牛リスクの軽減が図れる。 繁殖牛の増頭により、伝染病に対する防疫対策は否めない為、継続的に取り組んでいく。 受精卵技術の優位性を最大限に活用し、市場性の高い和牛受精卵子牛の生産体制を確立します。	過去の実績を勘案して設定した。
4	②	仲間川のサキシマスオウノキ遊歩道整備事業	R8 ～ R9	仲間川天然保護区域に生育する日本最大規模のサキシマスオウノキへと続く遊歩道が老朽化により危険な状態となっている。自然文化財に触れる機会を損失している現状を改善し、地域の活性化につなげることを目的とし、遊歩道整備（1・2工区）を行う。	遊歩道整備（1・2工区）	遊歩道整備（1・2工区）の完了	【R10 成果目標】 西表島観光客数26万人 【今後のスケジュール】 R6：実施設計、関係機関調整完了 R7～9：整備工事 R10：供用開始	過去3年間の西表島観光客数実績を勘案して設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	地域振興対策事業	H24 ～ R13	「日本最西端与那国島国際カジ釣り大会」及び「日本最西端与那国島一周マラソン大会」開催の支援を行う	・カジ釣り大会【7月】 ・マラソン大会【11月】への補助	イベント開催月入域観光客数 ・7月：3,000人 ・11月：3,600人 合計：6,600人	イベント開催月の入域観光客数の合計 令和8年：6,600人 SNSの活用や新規コンテンツを交え、インバウンド観光客を含む観光客数の増加を目指す	過去の実績を勘案して設定した
1	②	与那国町誘客促進活性化事業	H30 ～ R13	・観光アピールを行い、与那国町の認知度を向上させ、観光誘客を図る、受入体制を強化・周知させ、観光客の増加を図る	①誘客受入体制強化 ②既存事業PR強化 ③与那国島観光芸術フェアの実施	令和8年入域観光客 46,000人/年	県内外へのプロモーションを実施し、観光誘客を図る	過去の実績を勘案して設定した
1	③	与那国町特産品強化事業	H25 ～ R13	与那国島の特産品販路拡大及び売上の増加を図るため、与那国町工商事業者の支援を行う。	①特産物を活用した新商品・新メニューの開発、リニューアル支援 ②商談会・物産展への出展支援	①新メニューの開発支援：2件 ②既存商品のリニューアル支援：3件 ③新商品、リニューアル商品のテスト販売の支援：2件 ④商談会・物産展への出展支援：10事業者	特産品の販路拡大のため、商談会・物産展への出展及び商品開発の支援を実施する。	
2	①	優良牛繁殖雌牛導入事業	H25 ～ R13	農家の経営の安定化に向けて、町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、優良繁殖雌牛及び妊娠牛導入を支援する。	・優良母牛及び妊娠牛導入の支援：15頭	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 115%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して優良母牛及び妊娠牛導入の支援を行い、子牛のブランド化を推進することで農家の経営の安定化を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	与那国町漁業担い手育成プラン実施事業	H26 ～ R8	漁業従事者の維持確保を図るため、漁業の担い手に漁船や漁業設備を貸し付ける団体に対し、漁船等の導入費用の一部を補助する。	・漁業従事者団体が、操業に必要な漁船等を新規・既存漁業者に貸し付ける場合の購入支援の実施	・漁業従事者数の維持確保：42人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して与那国町の漁業従事者団体による漁業設備の貸し付けに対して支援を行い、漁業従事者の維持確保を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	③	与那国町和牛出入荷経費補助事業	R8 ～ R13	安定的な畜産経営及び地域畜産振興を図るため、牛をセリ市場に出入荷する際の輸送費を補助し、地理的特殊性に起因する輸送コストの負担を軽減する。	セリに伴う和牛出入荷経費の補助	・年間出荷頭数の維持：210頭以上 ・出荷農家戸数の維持：23農家	与那国の不利性を引き続き解消し、安定的な畜産経営及び地域畜産振興につなげる。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
3	1	家庭学習支援モデル事業	H24 ～ R12	都市部と学習環境に格差がある本町の小学生のため、家庭学習支援を目的とした「町営学習塾」を開設する。	町営学習塾において学習指導の実施	沖縄県学力到達度調査において、町と県の平均正答率の差 小学生 国語：+7.5ポイント以上 算数：+9.8ポイント以上 中学生 数学：+2.7ポイント以上 英語：0ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も学力向上を図るため、町営塾を開設する。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	②	教育諸活動助成事業	H24 ～ R13	島外との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会派遣等に対し、航空運賃等の補助を行う。	島外で開催される大会等へ参加する児童生徒及びその指導者に対し、航空運賃等の補助を行い、児童生徒の能力・才能を発揮する機会と提供し、可能性を伸ばす。	児童生徒、保護者、指導者へアンケート調査を実施し、「島内ではできない経験ができた（80%以上）」を含め、本事業について検証する。	引き続き派遣費の補助を行い、対象児童生徒、保護者、指導者に対しアンケート調査を実施する。	視野が広がったと考えられる値として設定した。
3	③	地域国際交流事業	H24 ～ R13	小学6年生を台湾花蓮縣にあるタバロン小学校へ派遣し、地元小学生との交流授業及びICT交流を通じて国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	・現地交流授業の実施：14名【児童】10名【引率7・通訳3】 ・派遣前後のICT交流授業の実施 ・報告会の実施 ・報告書の作成 ・全体集会や学習発表会での発表 ・保護者向けの事後アンケート調査実施	事業実施後、児童の「国際的な視野の広がり」を感じたか（80%以上）を含め、保護者と担任教諭へのアンケートにより、本事業のあり方を検討する。	【今後のスケジュール】 今後も児童が国際社会への興味・関心と外国語によるコミュニケーションの意欲を高める教育機会を提供し、より広い視野を備えた人材の育成を図っていく。	【R8目標設定理由】 派遣された児童のうち大多数が国際的な視野が広がったと考えられる値として設定した。
3	④	与那国町ジュニア海外語学研修派遣事業	H25 ～ R13	中学生を英語圏の語学研修へ派遣し、ネイティブによる語学学校の授業や海外での生活・体験をとおして、語学力の向上と国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	・研修への派遣：4人 ・生徒報告書の作成 ・報告会の実施 ・新聞社へ感想文を寄稿 ・生徒・保護者・教諭向けの事後アンケート調査の実施	事後アンケート調査において「国際的な広い視野を持てたかどうか」「語学能力・学習意欲の向上」の肯定回答（80%以上）を含め、保護者・教諭へのアンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 継続して中学生を英語圏の語学研修へ派遣することで、語学力向上と国際的な広い視野を備えた人材の育成を図る。	【R6目標設定理由】 派遣された生徒のうち大多数が国際的な視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、保護者・教諭向けアンケートにより検証する。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			R8活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
3	⑤	与那国民謡の文化継承事業	R3 ～ R9	伝統文化を活用した町づくりを推進するため、民謡ゆかりの地に解説板を設置し、町内外からの来訪者に民謡の持つ文化的価値を広く周知し、教育や観光に活用する。	・解説版（5点）の設置 ・映像撮影（5曲）の実施 ・民謡巡りツアーの実施	民謡解説板設置5基完了。 民謡文化の理解度（80%）を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	与那国民謡の調査を実施し、ゆかりの地が特定できる民謡については、順次、解説板を設置していく。地域学習や観光に活用できるルートやマップづくりに取り組み、民謡文化の保存継承に役立つ環境整備を推進する。	参加者のうち大多数が理解に役立ったと考えられる数値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。
3	⑤	学力向上推進支援事業	R8 ～ R13	学力向上と学校教育環境の充実を図るために、小中学校への学習支援員を配置し、学習支援を行う。	学習支援員の配置：2名	沖縄県学力到達度調査において、町と県の平均正答率の差 小学生 算数：+4.4ポイント以上 中学生 数学：-3.3ポイント以内	【今後のスケジュール】 町と県の平均正答率の差が以下になるように目指す。 小学生 算数：+4.4ポイント以上 中学生 数学：-3.3ポイント以内	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	①	安心・安全のまちづくり支援事業	H25 ～ R13	教育時間終了後の幼稚園児等及び小学校低学年児童の安全な居場所を確保し、子育てに関する負担軽減を図るため、指導員を配置し預かり保育を行う。	・預かり保育の実施	子育てに対する負担感の軽減が感じられた（90%以上）を含め、利用児童の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する	今後は子育てに関する負担軽減のみならず、保育の質も高めていくことを目指す。	利用児童の保護者のうち大多数にとって子育て負担が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	①	少子高齢化対策事業	H24 ～ R13	島内の妊産婦が良質かつ適切な医療を受けられる機会を確保するため、妊産婦が島外の病院へ通院する際に必要な渡航費等の経費を補助する。	・妊産婦定期健診の実施 ・妊産婦一人当たり受診回数：12回/人	・島外での妊婦健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合 100%	基本的に石垣市での健診及び出産を対象としているが、高度周産期医療が必要で石垣市での出産が困難な状態等に限り、沖縄本島での対応も助成対象とすることとし、また、新生児集中治療室で医療を受けていた期間（30日を限度）の経費も助成対象とすることで、妊産婦の経済的及び精神的負担にも対応していく。	
5	②	歯科医院に係る渡航費助成事業	R6 ～ R8	歯科医院通院に係る渡航費の一部助成を行うことにより、町民の健康を守る。	・歯科医院通院に係る渡航費助成の実施	歯科通院に係る経済的負担が軽減されたか（80%以上）を含め、受診者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 歯科通院の際の渡航費助成の実施。	【R7成果目標設定の考え方】 受診者の大多数にとって通院に係る負担が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和8年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		R8成果目標（指標）	備考	
事業番号	バ 細			R8事業内容	R8活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
				6	①			

R8活動目標（指標）：令和8年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R8成果目標（指標）：令和8年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。